仙台市文化財調査報告書第 424 集

大野田遺跡

第 1 次 調 査

―都市計画道路「川内・柳生線」関連遺跡―

発掘調査報告書Ⅲ

２０１４ 年 ３ 月

仙 台 市 教 育 委 員 会

仙台市文化財調査報告書第 424 集

おおのだいせき

大野田遺跡

第 1 次 調 査

—都市計画道路「川内・柳生線」関連遺跡—

発掘調査報告書Ⅲ

2 0 1 4 年 3 月

仙 台 市 教 育 委 員 会

表紙題字　五十嵐光造　筆

Ⅶ層Ⅳ区 調査区全景（北から）

Ⅶ層Ⅳ区 配石群全景（東上空から）

巻頭図版 2

Ⅶ層Ⅱ区 202 配石全景（北から）

Ⅶ層Ⅱ区 207 配石全景（南から）

Ⅶ層Ⅱ区 208 配石全景（東から）

Ⅶ層Ⅱ区 209 配石全景（東から）

Ⅶ層Ⅳ区 412 配石全景（東から）

Ⅶ層Ⅳ区 414 配石全景（南から）

Ⅶ層Ⅳ区 417 配石全景（北から）

Ⅶ層Ⅳ区 424 配石全景（東から）

Ⅴ層Ⅱ～Ⅳ区 調査区全景（東から）

Ⅴ層Ⅳ区 環状集石・配石群全景（東上空から）

巻頭図版 4

Ⅴ層Ⅳ区 401 環状集石全景（東から）

Ⅴ層Ⅳ区 401 配石全景（西から）

Ⅴ層Ⅳ区 402 配石全景（南から）

Ⅴ層Ⅳ区 403 配石全景（南から）

Ⅴ層Ⅳ区 404 配石全景（南東から）

縄文土器（十腰内系）

縄文土器（堀之内系）

巻頭図版 6

縄文土器（在地系）

縄文土器（特殊土器、鳥頭形突起が付いた浅鉢）、土製品（土笛・イノシシ・鐸・キノコ・スプーン形土製品）

土製品（土偶）

土製品（土製円盤）

巻頭図版 8

土製品（耳飾り、腕輪形土製品）、石製品（ヒスイ製垂飾）、骨角器（銛、釣針）

石　器（石鏃）

序　　文

仙台市の文化財行政に対しまして、日頃から多大なご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

仙台市の南部に位置する富沢・大野田地区は、緑豊かな田園が広がる地域でありましたが、地下鉄南北線の開業を契機として、道路網の整備や宅地化が急速に進行する地域であり、仙台市中心部と結ぶ幹線道路の建設が待たれておりました。こうした動きの中で、都市計画道路「川内柳生線」の建設が計画され、昭和62・63年度に試掘調査を行い、昭和63年度の王ノ壇遺跡から調査を開始し、平成7年度の元袋遺跡、大野田遺跡の調査を持って発掘調査を終了しました。その間に富沢駅周辺土地区画整理事業が開始されました。これらの開発に伴う調査が頻繁に行われ、年毎に先人の生活文化の様相が解明されつつあるところであります。現在まで継承されてきた先人たちの文化遺産を新しい「まちづくり」の中でどのように保存し、活用していくかについては地域の方々を交えて考えていかなければならないことと存じます。

さて、このたび報告いたします大野田遺跡の発掘調査は、平成5年度から平成7年度にかけて実施されました。その結果、縄文時代から古代にいたるまで、連綿として続いた人々の生活の痕跡を発見いたしました。とりわけ縄文時代後期の祭祀にかかわる資料が多数発見され、特に土偶は300点以上出土しています。これらの発見はこの地域の歴史の一端を解明するための一助となる大きな成果の一つであると存じます。本報告書はそれらの発掘調査成果をまとめたものであります。平成12年度に刊行致しました王ノ壇遺跡発掘調査報告書、同じく16年度に刊行致しました元袋遺跡の発掘調査報告書に続いて刊行致します本書をもって都市計画道路「川内・柳生線」にかかわる発掘調査を終了したことになります。本報告書の作成作業は緊急雇用創出事業として平成21年度から実施していたものであります。

最後になりましたが、仙台市では平成23年3月11日の東日本大震災からの復興に向け、「ともに、前へ仙台～3・11からの再生～」を掲げて、復興計画を進めているところです。

未曾有の大震災から3年を迎えましたが復興はまだ道半ばといえます。そうした中、本報告書の刊行にあたりまして、ご協力、ご指導、ご助言をいただきました多くの皆様や関係機関各位に心より感謝申し上げるとともに、文化財行政に対しまして、さらに大きなご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、刊行のご挨拶といたします。

平成26年3月

仙台市教育委員会

教育長　上　田　昌　孝

例　　言

1．本書は、都市計画道路「川内・柳生線」（現：「仙台・館腰線」）建設に伴い、1993年度から1995年度にかけて仙台市教育委員会が実施した「大野田遺跡」（第1次調査）の発掘調査報告書である。

2．本書の作成業務は、仙台市教育委員会の委託を受け、株式会社ノガミが行った。これは緊急雇用創出事業による業務である。

3．大野田遺跡第1次調査の整理作業については、遺構図のトレースは、平成22年度に三協技術株式会社、出土遺物の水洗・註記は平成21年度に三協技術株式会社、接合・復元・登録は平成22年度に株式会社玉川文化財研究所が、いずれも緊急雇用創出事業による業務として仙台市教育委員会の委託を受けて行ったものである。

4．本書の作成および編集は、仙台市教育委員会主濱光朗・荒井　格の監理のもと株式会社ノガミが行った。遺物の整理は、縄文土器・土師器・須恵器・土製品などは主濱光朗・工藤信一郎（仙台市教育委員会）・金内元・湯原勝美・千田幸生（株式会社ノガミ）、石器・石製品は荒井　格・水野一夫・庄子裕美（仙台市教育委員会）・村端和樹・湯原勝美（株式会社ノガミ）、遺構図・写真は主濱光朗・湯原勝美が行った。

5．本書の執筆分担は下記のとおりである。

Ⅰ　1・2…… 主濱光朗
Ⅱ　1・2…… 湯原勝美
Ⅲ　1・2・3　1）…… 主濱光朗
Ⅲ　3　2）・3）…… 湯原勝美
Ⅲ　3　4）…… 村端和樹
Ⅳ…… 主濱光朗
Ⅴ…… 主濱光朗と湯原勝美との協議による
Ⅵ…… 主濱光朗と湯原勝美との協議による
Ⅶ　1　1）・2）…… 千田幸生
Ⅶ　1　6）…… 村端和樹
Ⅶ　1　3）～5）、2　1）・2）、3…… 湯原勝美

6．調査成果については、すでに『現地説明会資料』、『仙台市史　通史編1　原始』、『仙台市史　特別編2　考古資料』、『仙台市文化財パンフレット』第38・39・49集、『第5回土偶研究会　発表資料』などで一部公表しているが、本書の内容はそれらに優先するものである。

7．発掘調査の記録や整理に関わる資料および出土遺物などは、仙台市教育委員会で保管している。

8．発掘調査および報告書作成にあたり、次の方々と機関から多大な御指導・御助言・御協力をいただいた。記して感謝の意を表する次第である。

岡田康博（青森県教育委員会）、成田滋彦（青森県教育委員会）、遠藤正夫（青森市教育委員会）、
児玉大成（青森市教育委員会）、秋元信夫（鹿角市教育委員会）、藤井安正（鹿角市教育委員会）、
佐藤正彦（陸前高田市立博物館）、高橋圭介（三春町教育委員会）、上野修一（栃木県立博物館）、
富岡直人（岡山理科大学）、守田益宗（岡山理科大学）、蟹沢聡史（東北大学）、星川清親（東北大学）、
佐々木隆（仙台市科学館）
パリノサーベイ株式会社、株式会社橋本店、ヘリワーク、株式会社シン技術コンサル
なお、分析、鑑定を実施した資料もあるが、整理期間と紙面の都合により掲載できなかった。

凡　　例

1．本書の土色については「新版標準土色帖」（小山・竹原：1975、1997）を使用した。

2．本文および図版で使用した方位の北は座標北を基準としている。

3．図版中のレベルは海抜標高を示す。

4．調査区の基準点は国家座標（平面直角座標系Ｘ）に位置付けている。測量の基準線は、道路のセンター杭 No.2 と No.17 を結んだ線を調査区の南北の基準線として、元袋遺跡から大野田遺跡までの調査区全体にグリッドを組んだ。因みに基準点 G1 は杭 No.2 の 3 m南である。

　座標値は、No.2：X = -197981.26　Y = 4224.7496、No.17：X = -198279.9276　Y = 4196.6294 である。

5．層位名は、基本層位をローマ数字、遺構内堆積土については算用数字を使用している。さらに細分される場合は、それぞれにアルファベットの小文字を併用した。

6．本書の検出遺構の表示については次の略号を使用し、原則として区と遺構種別ごとに番号を付した。番号は、先頭に一桁の区番号、その後ろに発見した遺構種別ごとの二桁の番号を付し、三桁の算用数字で表記した。

SB：掘立柱建物跡	SD：溝　跡	SI：竪穴住居跡・竪穴遺構	SK：土　坑
SR：河川跡	SX：性格不明遺構	P：ピット・柱穴	

　集石・配石・埋設土器・小溝状遺構群は、略号を使用せず、遺構名称の先頭にそのまま番号を付した。

7．遺構図に使用したスクリーン・トーンは以下のとおりである。

遺　構　　配石掘り方　　焼土　　柱痕跡・炭化物範囲

8．出土遺物の分類と登録には次の略記号を使用し、分類ごとに登録番号を付した。

A：縄文土器	C：非ロクロ土師器	D：ロクロ土師器	E：須恵器
Ka：打製石器	Kb：磨製石器	Kc：礫石器	Kd：石製品
N：金属製品	O：自然遺物	Pa：土　偶	Pb：装飾品
Pc：ミニチュア	Pd：土　錘	Pe：土製円盤	Pf：その他
Q：骨角器			

9．遺物実測図に使用したスクリーン・トーンは以下のとおりである。

土師器・須恵器　　黒色処理　　剥離痕　　マメツ痕

土製品　　アスファルト付着　　黒色物付着　　剥離痕　　剥落痕

石　器・石製品　　敲打痕　　ザ　ラ　　摂理面　　加熱処理

火ハネ　　被熱痕　　黒色物付着　　煤付着

二重パティナ・マメツ痕

10．縄文土器の展開図において▼は展開する土器の端部を示し、▽はその土器の正面図における中心位置を示しており、展開図中のスクリーン・トーンは地文あるいは充填された縄文、撚糸文等の施文範囲を示している。

目　　次

序　文
例　言
凡　例

Ⅰ　はじめに ……1
　1．調査に至る経緯 ……1
　2．調査要項 ……1

Ⅱ　遺跡の位置と環境 ……3
　1．遺跡の位置と地理的環境 ……3
　2．歴史的環境 ……3

Ⅲ　調査の方法と概要 ……5
　1．調査経過と概要 ……5
　2．発掘調査の方法 ……7
　3．整理の方法 ……7
　　1）整理の概要 ……7
　　2）土錘の分類 ……9
　　3）土製円盤の分類 ……10
　　4）打製石器の分類 ……10

Ⅳ　基本層序 ……16

Ⅴ　縄文時代の遺構と遺物 ……18
　1．Ⅶ　層 ……18
　　1）Ⅱ区　配　　石 ……23
　　埋設土器 ……31
　　土　　坑 ……35
　　2）Ⅲ区　埋設土器 ……45
　　土　　坑 ……46
　　3）Ⅳ区　配　　石 ……48
　　埋設土器 ……62
　　土　　坑 ……77
　　性格不明遺構 ……87
　　4）Ⅴ区　土　　坑 ……88
　2．Ⅴ　層 ……94
　　1）Ⅱ区　土　　坑 ……97
　　河 川 跡 ……99
　　2）Ⅲ区　竪穴遺構 ……129
　　埋設土器 ……131
　　土　　坑 ……133
　　溝　　跡 ……133
　　河 川 跡 ……135
　　3）Ⅳ区　環状集石 ……139
　　配　　石 ……140
　　埋設土器 ……146
　　土　　坑 ……147
　　性格不明遺構 ……149
　　4）Ⅴ区　配　　石 ……150
　　土　　坑 ……150
　　河 川 跡 ……151
　　5）Ⅵ区　土　　坑 ……210
　　6）遺物包含層出土遺物 ……211
　3．遺構外出土遺物 ……266

Ⅵ　古墳時代以降の遺構と遺物 ……328
1．Ⅲ　層 ……328
1）Ⅰ区　竪穴住居跡 ……335
溝　　跡 ……336
小溝状遺構群 ……336
2）Ⅱ区　竪穴住居跡・竪穴遺構 ……337
土　　坑 ……342
溝　　跡 ……343
小溝状遺構群 ……345
3）Ⅳ区　竪穴住居跡・竪穴遺構 ……347
掘立柱建物跡 ……362
土　　坑 ……365
溝　　跡 ……366
小溝状遺構群 ……367
4）Ⅴ区　竪穴住居跡・竪穴遺構 ……369
掘立柱建物跡 ……378
土　　坑 ……381
溝　　跡 ……384
小溝状遺構群 ……385
5）Ⅵ区　竪穴住居跡・竪穴遺構 ……386
土　　坑 ……389
溝　　跡 ……390
小溝状遺構群 ……393
性格不明遺構 ……395
2．遺構外出土遺物 ……399

Ⅶ　ま　と　め ……401
1．縄文時代 ……401
1）縄文土器 ……401
2）土　　偶 ……426
3）土製円盤 ……433
4）土　　錘 ……437
5）その他の土製品 ……437
6）打製石器 ……440
2．古墳時代以降 ……446
1）遺構の変遷 ……446
2）墨書土器 ……446
3．総　括 ……446

引用・参考文献
遺構一覧表
報告書抄録

付　図　大野田遺跡遺構配置図（Ⅶ層・Ⅴ層・Ⅲ層）

挿 図 目 次

第 1 図　遺跡位置図 ･････････････････････････････････ 3
第 2 図　周辺の遺跡 ･････････････････････････････････ 4
第 3 図　調査区位置図 ･････････････････････････････････ 6
第 4 図　調査区設定図 ･････････････････････････････････ 7
第 5 図　土錘分類図 ･････････････････････････････････ 8
第 6 図　土製円盤分類図 ･････････････････････････････････ 8
第 7 図　主な打製石器分類模式図 ･････････････････････････ 12
第 8 図　基本層序模式図 ･････････････････････････････････ 16
第 9 図　Ⅶ層遺構配置図（1）･････････････････････････ 19・20
第 10 図　Ⅶ層遺構配置図（2）ピット群 ･････････････ 21・22
第 11 ～ 15 図　Ⅶ層Ⅱ区 配石（1）～（5）･････････ 23 ～ 27
第 16 図　Ⅶ層Ⅱ区 配石（6）・配石出土遺物（1）･････････ 28
第 17・18 図　Ⅶ層Ⅱ区 配石出土遺物（2）・(3) ･････ 29・30
第 19 図　Ⅶ層Ⅱ区 埋設土器 ･････････････････････････････ 31
第 20 ～ 22 図　Ⅶ層Ⅱ区 埋設土器出土遺物（1）～（3）
･････ 32 ～ 34
第 23 ～ 27 図　Ⅶ層Ⅱ区 土坑（1）～（5）･････････ 35 ～ 39
第 28 ～ 32 図　Ⅶ層Ⅱ区 土坑出土遺物（1）～（5）・40 ～ 44
第 33 図　Ⅶ層Ⅲ区 埋設土器・埋設土器出土遺物 ･････････ 45
第 34 図　Ⅶ層Ⅲ区 土坑（1）･････････････････････････････ 46
第 35 図　Ⅶ層Ⅲ区 土坑（2）・土坑出土遺物 ･････････････ 47
第 36 ～ 43 図　Ⅶ層Ⅳ区 配石（1）～（8）･････････ 48 ～ 57
第 44 ～ 47 図　Ⅶ層Ⅳ区 配石出土遺物（1）～（4）・58 ～ 61
第 48・49 図　Ⅶ層Ⅳ区 埋設土器（1）・(2) ･････････ 62・63
第 50 図　Ⅶ層Ⅳ区 埋設土器（3）・埋設土器出土遺物（1）64
第 51 ～ 62 図　Ⅶ層Ⅳ区 埋設土器出土遺物（2）～（13）
･････ 65 ～ 76
第 63 ～ 69 図　Ⅶ層Ⅳ区 土坑（1）～（7）･････････ 77 ～ 83
第 70 図　Ⅶ層Ⅳ区 土坑（8）・土坑出土遺物（1）･････････ 84
第 71・72 図　Ⅶ層Ⅳ区 土坑出土遺物（2）・(3) ･････ 85・86
第 73 図　Ⅶ層Ⅳ区 性格不明遺構 ･････････････････････ 87
第 74 図　Ⅶ層Ⅴ区 土坑・土坑出土遺物 ･････････････････ 88
第 75 図　Ⅴ層遺構配置図 ･････････････････････････ 95・96
第 76 図　Ⅴ層Ⅱ区 土坑・土坑出土遺物（1）･････････････ 97
第 77 図　Ⅴ層Ⅱ区 土坑出土遺物（2）･････････････････････ 98
第 78 図　Ⅴ層Ⅱ区 SR201 河川跡・
SR201 河川跡出土遺物（1）･････････ 99
第 79 ～ 107 図　Ⅴ層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物
（2）～（30）･････ 100 ～ 128
第 108 図　Ⅴ層Ⅲ区 SI301 竪穴遺構（1）･････････････････ 129
第 109 図　Ⅴ層Ⅲ区 SI301 竪穴遺構（2）・
SI301 竪穴遺構出土遺物･････ 130
第 110 図　Ⅴ層Ⅲ区 埋設土器・埋設土器出土遺物（1）･･ 131
第 111 図　Ⅴ層Ⅲ区 埋設土器出土遺物（2）･････････････ 132
第 112 図　Ⅴ層Ⅲ区 土坑・土坑出土遺物・溝跡 ････････ 133
第 113 図　Ⅴ層Ⅲ区 SR301 河川跡・SR301 河川跡
出土遺物（1）･････････ 135･136
第 114・115 図　Ⅴ層Ⅲ区 SR301 河川跡出土遺物（2）・(3)
･････････ 137･138
第 116 図　Ⅴ層Ⅳ区 401 環状集石･････････････････････ 139
第 117 ～ 120 図　Ⅴ層Ⅳ区 配石（1）～（4）･････ 140 ～ 143
第 121 図　Ⅴ層Ⅳ区 配石（5）・配石出土遺物（1）･････････ 144
第 122 図　Ⅴ層Ⅳ区 配石出土遺物（2）･････････････････ 145
第 123 図　Ⅴ層Ⅳ区 配石出土遺物（3）・埋設土器 ･････････ 146
第 124 図　Ⅴ層Ⅳ区 土坑（1）･････････････････････････ 147
第 125 図　Ⅴ層Ⅳ区 土坑（2）・土坑出土遺物 ･････････････ 148
第 126 図　Ⅴ層Ⅳ区 性格不明遺構 ･････････････････････ 149
第 127 図　Ⅴ層Ⅴ区 配石・土坑 ･････････････････････････ 150
第 128 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501・502 河川跡･････････････････ 151
第 129 ～ 184 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物
（1）～（56）･････････ 152 ～ 207
第 185 ～ 186 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR502 河川跡出土遺物
（1）・(2) ･････････････････ 208･209
第 187 図　Ⅴ層Ⅵ区 土坑・土坑出土遺物 ･････････････････ 210
第 188 ～ 240 図　Ⅴ層 包含層出土遺物 ⑴ ～ ⑸･･211 ～ 263
第 241 ～ 302 図　遺構外出土遺物（1）～（62）････ 266 ～ 327
第 303 図　Ⅲ層遺構配置図（1）･････････････････････ 329･330
第 304 図　Ⅲ層遺構配置図（2）･････････････････････ 331･332
第 305 図　Ⅲ層遺構配置図（3）･････････････････････ 333･334
第 306 図　Ⅲ層Ⅰ区 SI101 竪穴住居跡・
SI101 竪穴住居跡出土遺物･････ 335
第 307 図　Ⅲ層Ⅰ区 溝跡・小溝状遺構Ⅰ群 ･････････････ 336
第 308・309 図　Ⅲ層Ⅱ区 SI201 竪穴住居跡（1）・(2)
･････････ 337･338
第 310 図　Ⅲ層Ⅱ区 SI201 竪穴住居跡出土遺物･････････ 339
第 311 図　Ⅲ層Ⅱ区 SI202・SI203 竪穴遺構･････････････ 340
第 312 図　Ⅲ層Ⅱ区 SI204 竪穴住居跡･････････････････ 341
第 313 図　Ⅲ層Ⅱ区 土坑 ･････････････････････････････ 342
第 314 図　Ⅲ層Ⅱ区 溝跡 ･････････････････････････････ 343
第 315 図　Ⅲ層Ⅱ区 小溝状遺構Ⅰ～Ⅷ群 ･････････ ･345･346

第 316 図　Ⅲ層Ⅳ区 SI401 竪穴住居跡・
SI401 竪穴住居跡出土遺物（1）・・・・・・・・ 347
第 317 図　Ⅲ層Ⅳ区 SI401 竪穴住居跡出土遺物（2）・・・・・ 348
第 318 図　Ⅲ層Ⅳ区 SI402 竪穴住居跡（1）・・・・・・・・・・・・・ 349
第 319 図　Ⅲ層Ⅳ区 SI402 竪穴住居跡（2）・
SI402 竪穴住居跡出土遺物（1）・・・・・・・・ 350
第 320・321 図　Ⅲ層Ⅳ区 SI402 竪穴住居跡出土遺物
（2）・（3）・・・・・・・・・ 351･352
第 322 図　Ⅲ層Ⅳ区 SI403 竪穴住居跡・・・・・・・・・・・・・・・・・ 353
第 323・324 図　Ⅲ層Ⅳ区 SI403 竪穴住居跡出土遺物
（1）・（2）・・・・・・・・・ 354･355
第 325 図　Ⅲ層Ⅳ区 SI404 竪穴遺構・
SI404 竪穴遺構出土遺物・・・・・・・・・・・・・・ 356
第 326・327 図　Ⅲ層Ⅳ区 SI405 竪穴住居跡
（1）・（2）・・・・・・・・・ 357･358
第 328 図　Ⅲ層Ⅳ区 SI405 竪穴住居跡出土遺物・・・・・・・・・ 359
第 329 図　Ⅲ層Ⅳ区 SI406・SI408・SI409 竪穴遺構・・・・・ 360
第 330 図　Ⅲ層Ⅳ区 SI406 竪穴遺構出土遺物・・・・・・・・・・・ 361
第 331 図　Ⅲ層Ⅳ区 SB401 掘立柱建物跡・・・・・・・・・・・・・・ 362
第 332 図　Ⅲ層Ⅳ区 SB402 掘立柱建物跡・・・・・・・・・・・・・・ 363
第 333 図　Ⅲ層Ⅳ区 SB403 掘立柱建物跡・・・・・・・・・・・・・・ 364
第 334 図　Ⅲ層Ⅳ区 土坑 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 365
第 335 図　Ⅲ層Ⅳ区 土坑出土遺物・溝跡・溝跡出土遺物 ・・ 366
第 336 図　Ⅲ層Ⅳ区 小溝状遺構Ⅰ～Ⅲ群 ・・・・・・・・・・ 367･368
第 337 図　Ⅲ層Ⅴ区 SI501・SI502 竪穴遺構・・・・・・・・・・・・ 369
第 338 図　Ⅲ層Ⅴ区 SI501 竪穴遺構出土遺物・・・・・・・・・・・ 370
第 339 図　Ⅲ層Ⅴ区 SI503 竪穴遺構（1）・・・・・・・・・・・・・・ 371
第 340 図　Ⅲ層Ⅴ区 SI503 竪穴遺構（2）・
SI503 竪穴遺構出土遺物（1）・・・・・・・・・・ 372
第 341 図　Ⅲ層Ⅴ区 SI503 竪穴遺構出土遺物（2）・・・・・・・ 373
第 342 図　Ⅲ層Ⅴ区 SI504 竪穴遺構・SI505 竪穴住居跡・
SI504 竪穴遺構出土遺物・・・・・・・・・・・・・・ 374
第 343 図　Ⅲ層Ⅴ区 SI506 竪穴遺構 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 375
第 344 図　Ⅲ層Ⅴ区 SI507 竪穴住居跡（1）・・・・・・・・・・・・・ 376
第 345 図　Ⅲ層Ⅴ区 SI507 竪穴住居跡（2）・・・・・・・・・・・・・ 377
第 346 図　Ⅲ層Ⅴ区 SB501 掘立柱建物跡・・・・・・・・・・・・・・ 378
第 347 図　Ⅲ層Ⅴ区 SB502 掘立柱建物跡 ・・・・・・・・・・・・・・ 379
第 348 図　Ⅲ層Ⅴ区 SB503 掘立柱建物跡・・・・・・・・・・・・・・ 380
第 349 ～ 351 図　Ⅲ層Ⅴ区 土坑（1）～（3）・・・・・ 381 ～ 383
第 352 図　Ⅲ層Ⅴ区 土坑出土遺物・溝跡・溝跡出土遺物
・・・・・ 384
第 353 図　Ⅲ層Ⅴ区 小溝状遺構Ⅰ～Ⅴ群 ・・・・・・・・・・・・・ 385
第 354 図　Ⅲ層Ⅵ区 SI601 竪穴住居跡・・・・・・・・・・・・・・・・ 386
第 355 図　Ⅲ層Ⅵ区 SI602・SI603・SI604 竪穴遺構・・・・・ 387
第 356 図　Ⅲ層Ⅵ区 SI601 竪穴住居跡・
SI604 竪穴遺構出土遺物・・・・・・・・・・・・・ 388
第 357 図　Ⅲ層Ⅵ区土坑（1）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 389
第 358 図　Ⅲ層Ⅵ区 土坑（2）・溝跡（1）・・・・・・・・・・・・・ 390
第 359 図　Ⅲ層Ⅵ区 溝跡（2）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 391
第 360 図　Ⅲ層Ⅵ区 小溝状遺構Ⅰ～Ⅸ群 ・・・・・・・・・・ 393･394
第 361 図　Ⅲ層Ⅵ区 性格不明遺構 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 395
第 362・363 図　遺構外出土遺物（1）・（2）・・・・・・・・・ 399･400
第 364 図　縄文土器分布図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 405
第 365 ～ 377 図　縄文土器集成図（1）～（13）・・・ 405 ～ 417
第 378 図　仙台湾　下ノ内浦遺跡〔1996〕・大野田遺跡
多条沈線文土器　変遷試案 ・・・・・・・・・・・・・ 419･420
第 379 図　仙台湾　下ノ内浦遺跡〔1996〕・大野田遺跡
櫛歯状沈線文土器　変遷試案 ・・・・・・・ 421･422
第 380 図　内面に格子目状沈線を施す深鉢
変遷試案 ・・・・・・・ 423･424
第 381 図　大野田遺跡出土の異系統土器を中心とする
変遷試案 ・・・・・・・・・・・ 425
第 382 図　土偶分布図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 426
第 383 ～ 386 図　土偶集成図（1）～（4）・・・・・・・・ 427 ～ 430
第 387 図　文様から見た土偶　変遷試案 ・・・・・・・・・・・ 431･432
第 388 図　土製円盤分布図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 435
第 389・390 図　土製円盤の分類別長・短軸規模分布図
（1）・（2）・・・・・・・・・ 436･437
第 391 図　土錘の分類別出土点数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 438
第 392・393 図　土製品分布図（1）・（2）・・・・・・・・・・・ 439･440
第 394 ～ 397 図　石器分布図（1）～（4）・・・・・・・・ 442 ～ 445
第 398 図　Ⅲ層の主な遺構変遷図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 447
第 399 図　墨書土器分布図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 448
第 400 図　墨書文字集成図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 448

表　目　次

第 1 表　打製石器分類表 …… 13
第 2 表　Ⅶ層遺構一覧表（1）…… 89
第 3 表　Ⅶ層遺構一覧表（2）…… 90
第 4 表　Ⅶ層遺構一覧表（3）…… 91
第 5 表　Ⅶ層遺構一覧表（4）…… 92
第 6 表　Ⅶ層遺構一覧表（5）…… 93
第 7 表　Ⅴ層遺構一覧表（1）…… 264
第 8 表　Ⅴ層遺構一覧表（2）…… 265
第 9 表　Ⅲ層遺構一覧表（1）…… 396
第 10 表　Ⅲ層遺構一覧表（2）…… 397
第 11 表　Ⅲ層遺構一覧表（3）…… 398
第 12 表　仙台湾（名取川下流域）の縄文時代
後期前半を中心とする土器変遷 …… 418
第 13 表　土製円盤の平面形態別一覧表 …… 433
第 14 表　土製円盤 b・c 類の穿孔箇所別一覧表 …… 433
第 15 表　土製円盤 c 類の穿孔面別一覧表 …… 433
第 16 表　土製円盤の地区別一覧表 …… 433
第 17 表　土製円盤の分類別一覧表 …… 434
第 18 表　土製円盤が出土したⅤ・Ⅶ層の
主な遺構一覧表　（出土量順）…… 434
第 19 表　土錘の地区別一覧表 …… 438
第 20 表　土錘の分類別一覧表 …… 438
第 21 表　打製石器の器種別石材組成一覧表 …… 441

写真図版目次

写真図版 1　遺跡写真
写真図版 2 ～ 9　Ⅶ層Ⅱ区検出遺構（1）～（8）
写真図版 10　Ⅶ層Ⅱ区検出遺構（9）・Ⅲ区検出遺構（1）
写真図版 11　Ⅶ層Ⅲ区検出遺構（2）
写真図版 12 ～ 23　Ⅶ層Ⅳ区検出遺構（1）～（12）
写真図版 24　Ⅶ層Ⅳ区検出遺構（13）・Ⅴ区検出遺構
写真図版 25　Ⅴ層Ⅱ区検出遺構・Ⅲ区検出遺構（1）
写真図版 26　Ⅴ層Ⅲ区検出遺構（2）・Ⅳ区検出遺構（1）
写真図版 27 ～ 29　Ⅴ層Ⅳ区検出遺構（2）～（4）
写真図版 30　Ⅴ層Ⅳ区検出遺構（5）・Ⅴ区検出遺構（1）
写真図版 31　Ⅴ層Ⅴ区検出遺構（2）・Ⅵ区検出遺構
写真図版 32　Ⅲ層Ⅰ区検出遺構・Ⅱ区検出遺構（1）
写真図版 33 ～ 35　Ⅲ層Ⅱ区検出遺構（2）～（4）
写真図版 36　Ⅲ層Ⅱ区検出遺構（5）・Ⅳ区検出遺構（1）
写真図版 37 ～ 40　Ⅲ層Ⅳ区検出遺構（2）～（5）
写真図版 41　Ⅲ層Ⅳ区検出遺構（6）・Ⅴ区検出遺構（1）
写真図版 42 ～ 46　Ⅲ層Ⅴ区検出遺構（2）～（6）
写真図版 47　Ⅲ層Ⅴ区検出遺構（7）・Ⅵ区検出遺構（1）
写真図版 48・49　Ⅲ層Ⅵ区検出遺構（2）・（3）
写真図版 50 ～ 54　Ⅶ層Ⅱ区遺構内出土遺物（1）～（5）
写真図版 55　Ⅶ層Ⅱ区遺構内出土遺物（6）・Ⅲ区遺構内出土
遺物・Ⅳ区遺構内出土遺物（1）
写真図版 56 ～ 59　Ⅶ層Ⅳ区遺構内出土遺物（2）～（5）
写真図版 60　Ⅶ層Ⅳ区遺構内出土遺物（6）・Ⅴ区遺構内出遺物
写真図版 61 ～ 70　Ⅴ層Ⅱ区遺構内出土遺物（1）～（10）
写真図版 71　Ⅴ層Ⅲ区遺構内出土遺物（1）
写真図版 72　Ⅴ層Ⅲ区遺構内出土遺物（2）・Ⅳ区遺構内出土
遺物（1）
写真図版 73　Ⅴ層Ⅳ区遺構内出土遺物（2）・Ⅴ区遺構内出土
遺物（1）
写真図版 74 ～ 97　Ⅴ層Ⅴ区遺構内出土遺物（2）～（25）
写真図版 98　Ⅴ層Ⅴ区遺構内出土遺物（26）・Ⅵ区遺構内出土
遺物
写真図版 99 ～ 122　Ⅴ層包含層出土遺物（1）～（24）
写真図版 123 ～ 146　遺構外出土遺物（1）～（24）
写真図版 147　Ⅲ層Ⅰ区遺構内出土遺物・Ⅱ区遺構内出土遺物・
Ⅳ区遺構内出土遺物（1）
写真図版 148 ～ 150　Ⅲ層Ⅳ区遺構内出土遺物（2）～（4）
写真図版 151　Ⅲ層Ⅴ区遺構内出土遺物（1）
写真図版 152　Ⅲ層Ⅴ区遺構内出土遺物（2）・Ⅵ区遺構内出土
遺物・遺構外出土遺物（1）
写真図版 153　遺構外出土遺物（2）
写真図版 154　墨書文字集成

Ⅰ　はじめに

1．調査に至る経緯

平成元年４月に政令指定都市に移行した仙台市は高速鉄道南北線の開業や、市内南北での副都心構想による開発が進められていた。これに呼応して、各地区で交通渋滞緩和に向けて、都市計画道路の建設、整備が実施され、仙台市南部の太白区では、市中心部に至る道路網の渋滞緩和と高速鉄道南北線への接続のため、南北道の建設が急がれていた。都市計画道路「川内・柳生線」は、高速鉄道長町南駅や国道286号線へ南から接続する道路として一部開通していたが、大野田地区の旧笊川から柳生地区にかけての約1.5㎞の区間が未開通となっていた。

昭和62年、都市計画道路「川内・柳生線」の未開通部分の開通予定が決定されたことを受け、仙台市教育委員会では路線敷内の分布調査及び試掘調査を実施した。昭和62年度に実施した名取川以北の試掘調査では、これまで知られていた大野田遺跡、元袋遺跡の南に新たに２遺跡が発見された。それぞれ、所在する小字名から王ノ壇遺跡、皿屋敷遺跡として、新規に遺跡登録した。昭和63年度には名取川以南の柳生地区の試掘調査を実施したが、新たな遺跡は発見されなかった。分布調査及び試掘調査の結果を基に、仙台市教育委員会では仙台市建設局道路部と遺跡の取り扱いについて協議を重ね、道路建設工事に先立って、記録保存のために４遺跡の発掘調査を実施することとした。４遺跡の調査対象面積は路線幅34ｍ、長さ約900ｍの約32,400㎡である。発掘調査は南半の王ノ壇遺跡、皿屋敷遺跡から始め、順次大野田遺跡、元袋遺跡の調査に着手することとした。

昭和63年度から平成４年度に王ノ壇遺跡の調査を実施し、平成３年度に皿屋敷遺跡の調査を行なった。大野田遺跡の調査は、平成４年度に遺跡南部を除く部分で試掘調査を行い、遺跡全域に古代及び縄文時代の遺構と遺物が確認され、全域の調査を実施することとした。王ノ壇遺跡の調査終了後元袋遺跡の調査と並行して平成５年度から７年度までの３ヵ年で実施し、これをもって７年半に亘る４遺跡の調査を全て終了した。都市計画道路「川内・柳生線」大野田－柳生間の全線は平成８年度に開通した。

2．調 査 要 項

(1) 遺　　跡　　名：大野田遺跡（宮城県遺跡登録番号01094、仙台市遺跡登録番号Ｃ－112）
(2) 所　　在　　地：仙台市太白区大野田字元袋、袋東（現：大野田一丁目）地内
(3) 調　査　目　的：都市計画道路「川内・柳生線」（現：「仙台・館腰線」）建設に伴う事前調査
(4) 調　査　主　体：仙台市教育委員会
(5) 調　査　担　当：仙台市教育委員会生涯学習部文化財課
(6) 調査担当職員：小川淳一（平成５～７年度）　主濱光朗（平成５～７年度）　赤澤靖章（平成５～６年度）
　　五十嵐康洋（平成５～６年度）　川名秀一（平成５～６年度）　竹田幸司（平成５年度）
　　神成浩志（平成５年度）　高橋綾子（平成６～７年度）
(7) 調　査　期　間：平成５年度　４月12日～平成６年３月25日
　　平成６年度　４月４日～12月22日
　　平成７年度　４月４日～10月13日
(8) 調査対象面積：8,820㎡
(9) 調　査　面　積：約7,480㎡

報告書作成要項

平成21年度

(1) 調　査　主　体：仙台市教育委員会
(2) 調　査　担　当：仙台市教育委員会生涯学習部文化財課

(3) 調査担当職員：主査　主濱光朗
(4) 調　査　組　織：三協技術株式会社
調査員　島田　亘
(5) 調　査　期　間：平成 21 年 11 月 12 日～平成 22 年 3 月 31 日

平成 22 年度
(1) 調　査　主　体：仙台市教育委員会
(2) 調　査　担　当：仙台市教育委員会生涯学習部文化財課
(3) 調査担当職員：主査　主濱光朗
(4) 調　査　組　織：株式会社玉川文化財研究所
調査員　佐々木竜郎
(5) 調　査　期　間：平成 22 年 5 月 10 日～平成 23 年 3 月 31 日

平成 23 年度
(1) 調　査　主　体：仙台市教育委員会
(2) 調　査　担　当：仙台市教育委員会生涯学習部文化財課
(3) 調査担当職員：主査　主濱光朗　　主任　工藤信一郎　　主事　水野一男　　庄子裕美
(4) 調　査　組　織：株式会社ノガミ
主任調査員　金内　元　　調査補助員　湯原勝美
(5) 調　査　期　間：平成 23 年 6 月 7 日～平成 24 年 3 月 31 日

平成 24 年度
(1) 調　査　主　体：仙台市教育委員会
(2) 調　査　担　当：仙台市教育委員会生涯学習部文化財課
(3) 調査担当職員：主査　主濱光朗　　主査　荒井　格　　主任　工藤信一郎　　主事　庄子裕美
(4) 調　査　組　織：株式会社ノガミ
主任調査員　湯原勝美　　調査補助員　村端和樹
(5) 調　査　期　間：平成 24 年 5 月 7 日～平成 25 年 3 月 29 日

平成 25 年度
(1) 調　査　主　体：仙台市教育委員会
(2) 調　査　担　当：仙台市教育委員会生涯学習部文化財課
(3) 調査担当職員：主査　主濱光朗　　主査　荒井　格　　専門員　結城慎一
(4) 調　査　組　織：株式会社ノガミ
主任調査員　湯原勝美　　調査補助員　千田幸生　佐藤典邦
(5) 調　査　期　間：平成 25 年 4 月 22 日～平成 26 年 3 月 31 日

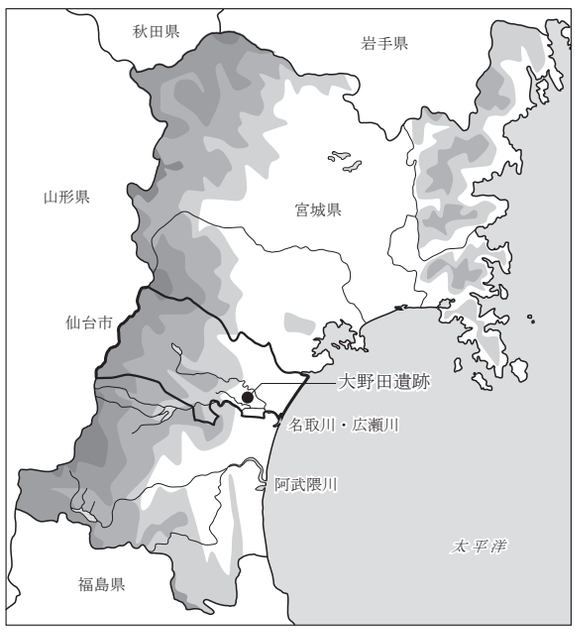
Ⅱ　遺跡の位置と環境

1．遺跡の位置と地理的環境

本遺跡は、仙台市南部の太白区大野田字元袋、袋東（現：大野田一丁目）地内に所在しており、JR 東日本東北本線太子堂駅の東約 500ｍ、地下鉄南北線富沢駅の北東約 700ｍの地点に位置する。遺跡の南約 1km には名取川が東流しており、東南東約 2.7km の地点で広瀬川と合流している。

周辺の地形を概観すると、西側に南北に連なる奥羽山脈、その東部に幅 10 ～ 30km で並走する陸前丘陵、さらに東側には宮城野海岸平野が広がっている。宮城野海岸平野のうち仙台市南部の広瀬川と名取川の合流点付近では、河間低地を郡山低地、広瀬川以北を霞ノ目低地、名取川以南を名取低地と呼称している。

遺跡の所在する大野田地区は名取川の北岸にあり、郡山低地に所属する。大野田地区は、南側を東流する名取川、東・北側を袋状に蛇行する笊川によって囲まれている。笊川周辺と名取川北岸には旧河道と自然堤防が発達しており、その内側は後背湿地となっている。本遺跡は大野田地区の東部に位置し、標高 9m 前後の自然堤防上に立地している。遺跡の構成土壌はシルトを主体とした河川堆積土である。



第１図　遺跡位置図

2．歴史的環境

本遺跡の所在する名取川下流域には数多くの遺跡が存在しており、これまでの調査で旧石器時代から連綿と続く人々の営みが見つかっている。ここでは、本遺跡の調査成果を踏まえ、断続的ではあるが大野田地区を中心とした縄文時代後期前半、古墳時代前期、奈良・平安時代の遺跡について概観する。

縄文時代の遺跡は、名取川とその支流である笊川によって形成された自然堤防上から数多く見つかっている。六反田遺跡からは後期初頭の住居跡が複数検出されており、大規模な集落跡が想定されている。下ノ内浦遺跡からは後期前葉の配石、集石、埋設土器遺構、土坑からなる墓域が見つかっている。伊古田遺跡では後期中葉の遺物包含層から多量の土器とともに土偶が約 20 点出土している。このうち最大の土偶は高さ 41cm 以上あり、国内でも最大級のものである。本遺跡の南側に隣接する王ノ壇遺跡からは後期中葉の環状配石遺構、埋設土器遺構、竪穴遺構、土坑などが見つかっている。

古墳時代前期の集落跡は、小規模ながら大野田古墳群、伊古田遺跡、六反田遺跡、下ノ内遺跡などで検出されている。また、本遺跡から体部上半に櫛描文が施された土師器壺が出土しているが、市内での類例として、本遺跡から北東へ約 6.3km 離れた若林区の押口遺跡から出土したほぼ同様の土師器壺が確認されている。

奈良・平安時代では、山口遺跡、下ノ内浦遺跡、下ノ内遺跡、伊古田遺跡、六反田遺跡、元袋遺跡、王ノ壇遺跡などで集落跡が検出されている。生産遺構として、富沢遺跡から水田跡が見つかっているほか、大野田古墳群、王ノ壇遺跡、六反田遺跡、富沢遺跡、山口遺跡、下ノ内遺跡、下ノ内浦遺跡、伊古田遺跡、袋前遺跡、元袋遺跡などで畑跡である可能性が考えられる小溝状遺構群が多数検出されている。また、本遺跡の西側には大野田官衙遺跡が確認されている。周囲には幅約 3ｍの大溝が方形に廻っており、規模は東西約 190ｍ、南北約 250ｍである。区画内には大型の掘立柱建物跡が 6 棟検出されており、いずれも真北を基準に規則正しく配置されている。文献上には未見であるが、8 世紀前半頃の官衙と考えられている。

国土地理院発行 1：50,000「仙台」（平成 13 年要部修正）に加筆。

No.	遺跡名	立地	種別	年代
1	大野田遺跡	自然堤防	祭祀跡・集落跡	縄文（後・晩）・弥生（中）・古墳・奈良・平安
2	元袋遺跡	自然堤防	集落跡・屋敷跡	縄文・弥生・古墳・奈良・平安・中世・近世
3	王ノ壇遺跡	自然堤防	集落跡・屋敷跡	縄文（後）・弥生・古墳・奈良・平安・中世
4	皿屋敷遺跡	自然堤防	集落跡	縄文・奈良・平安・中世
5	大野田官衙遺跡	自然堤防	官衙関連	奈良
6	袋前遺跡	自然堤防	集落跡	縄文・古墳・奈良・平安
7	大野田古墳群	自然堤防	集落跡・古墳群	縄文・弥生・古墳・平安・中世
8	六反田遺跡	自然堤防	集落跡	縄文（中・後・晩）・弥生・古墳・奈良・平安・中世
9	下ノ内遺跡	自然堤防	集落跡	縄文（中・後・晩）・弥生・古墳・奈良・平安・中世
10	伊古田遺跡	自然堤防	集落跡	縄文（後・晩）・古墳・奈良・平安
11	下ノ内浦遺跡	自然堤防	集落跡	縄文（早・前・後）・弥生・古墳・奈良・平安・中世
12	山口遺跡	自然堤防・後背湿地	集落跡・水田跡	縄文（早・中・後・晩）・弥生・奈良・平安・中世
13	富沢館跡	自然堤防	城館跡	中世・近世
14	鍛冶屋敷前遺跡	自然堤防	集落跡	縄文（後・晩）・奈良・平安
15	鍛冶屋敷 A 遺跡	自然堤防	集落跡	縄文（後・晩）・奈良・平安
16	南ノ東遺跡	沖積平野・自然堤防	散布地	弥生・平安
17	船渡前遺跡	段丘	集落跡	縄文・弥生・奈良・平安
18	上野遺跡	段丘	集落跡	縄文（中・後・晩）・奈良・平安
19	山田条里遺跡	沖積平野	水田跡・屋敷跡	縄文・平安・近世・近代
20	山田上ノ台遺跡	段丘	集落跡	旧石器・縄文（早・中・後）・奈良・平安・近世
21	北前遺跡	段丘	集落跡	縄文（早・中）・平安・近世
22	御堂平遺跡	谷底平野	集落跡	縄文・平安・中世
23	芦ノ口遺跡	丘陵	集落跡	縄文（早）・弥生・古墳・平安
24	土手内遺跡	丘陵	集落跡	縄文・弥生・古墳・奈良・平安

No.	遺跡名	立地	種別	年代
25	土手内横穴墓群	丘陵斜面	横穴墓群	古墳（末）
26	三神峯遺跡	丘陵	集落跡	縄文（前・中）・平安
27	裏町古墳	丘陵麓	前方後円墳	古墳
28	三神峯古墳群	丘陵	円墳	古墳
29	原遺跡	段丘	円墳・集落跡	縄文・弥生・古墳・奈良・平安
30	富沢遺跡	自然堤防・後背湿地	包含地・水田跡	旧石器・縄文・弥生・古墳・奈良・平安・中世・近世
31	二塚古墳	丘陵麓	前方後円墳	古墳
32	一塚古墳	丘陵麓	円墳	古墳（中）
33	茂ケ崎城跡	丘陵	城館跡	中世
34	兜塚古墳	段丘	前方後円墳	古墳（中）
35	陸奥国分寺跡	段丘	寺院跡	奈良・平安
36	陸奥国分尼寺跡	段丘	寺院跡	奈良・平安
37	若林城跡	自然堤防	円墳・集落跡・城館跡	古墳・平安・中世・近世
38	南小泉遺跡	自然堤防	集落跡・屋敷跡	縄文・弥生・古墳・奈良・平安・中世・近世
39	遠見塚古墳	自然堤防	前方後円墳	古墳（中）
40	西台畑遺跡	自然堤防	集落跡・包含地	縄文・弥生（中）・古墳・奈良・平安・中世
41	郡山遺跡	自然堤防	官衙跡・寺院跡	縄文（後・晩）・弥生（中）・古墳・奈良・平安
42	北目城跡	自然堤防	城館跡・集落跡	縄文（後）・弥生・古墳・奈良・平安・中世・近世
43	高田 B 遺跡	自然堤防・後背湿地	集落跡・包含地	縄文・弥生・古墳・平安・中世・近世
44	柳生台畑遺跡	自然堤防	集落跡・屋敷跡	古墳・奈良・平安・中世
45	安久遺跡	自然堤防	集落跡	縄文（晩）・弥生・奈良・平安・中世
46	安久東遺跡	自然堤防	集落跡	弥生・古墳・奈良・平安・中世・近世
47	栗遺跡	自然堤防	集落跡	弥生・古墳・奈良・平安
48	中田南遺跡	自然堤防	集落跡・屋敷跡	縄文（晩）・弥生（中）・古墳・奈良・平安・中世

第 2 図　周辺の遺跡

Ⅲ　調査の方法と概要

1．調査経過と概要

調査は平成５年４月 12 日から実施した。地権者の移転との絡みもあり、調査区南部のⅥ区を除いたⅠ区～Ⅴ区の西半部から調査を開始した。大野田遺跡の南の王ノ壇遺跡の調査において、縄文時代から中世までの遺構・遺物が検出されていることから同様の時期の遺構検出を予想して調査に入った。なお、Ⅲ区については表土を除去した時点で、既に古代の遺構面は削平されており、縄文後期の包含層と後世の水路跡が確認されたため、Ⅱ、Ⅳ区の進捗に合わせて調査を行なうこととした。平成５年 11 月 17 日に、環状集石の検出と多量の土偶等の祭祀関係の遺物が出土したことから、報道発表を行った。平成６年度にはⅠ区～Ⅴ区の東半部の調査を行ない、地権者が移転した後の敷地南部をⅥ区として東半部の調査を行なった。前年度の報道発表の反響が大きく、更に下層から配石が検出され、祭祀関係の遺物の出土量が多くなったことから、報道発表後に検出した配石遺構、祭祀関係遺物を中心とした遺物を市民に公表するため、平成６年４月 20 日に報道発表、４月 23 日に現地説明会を開催し、約 550 名の市民が参加した。この年度内にⅠ区～Ⅵ区の西側半断面の建設工事を行い、川内・柳生線を暫定的に開通させた。平成７年度には一旦暫定開通させたⅥ区の西半部の道路を、東側に切り回して西半部を調査し、平成７年９月 29 日に大野田遺跡の調査を終了した。

調査概要

平成５年度：Ⅰ区～Ⅴ区西半部の古代から縄文時代の調査

平成６年度：Ⅰ区～Ⅴ区西半部の縄文時代の調査・Ⅰ区～Ⅵ区東半部の古代から縄文時代の調査

平成７年度：Ⅵ区西半部の古代から縄文時代の調査

調査成果

Ⅶ　層（縄文時代後期前葉）

Ⅰ区：なし。

Ⅱ区：配石 17 基、埋設土器６基、土坑 74 基。

Ⅲ区：埋設土器４基、土坑 13 基。

Ⅳ区：配石 20 基、埋設土器 27 基、土坑 107 基、性格不明遺構１基。

Ⅴ区：土坑２基。

Ⅵ区：なし。

Ⅴ　層（縄文時代後期前葉・晩期中葉）

Ⅰ区：なし。

Ⅱ区：土坑６基、河川跡１条。

Ⅲ区：竪穴住居跡１軒、埋設土器３基、土坑２基、溝跡１条、河川跡１条。

Ⅳ区：集石１基、配石 10 基、埋設土器２基、土坑 21 基、性格不明遺構１基。

Ⅴ区：配石１基、土坑２基、河川跡１条。

Ⅵ区：土坑１基。

Ⅲ　層（古墳時代前期、奈良・平安時代）

Ⅰ区：竪穴住居跡１軒、溝跡３条、小溝状遺構群１群。

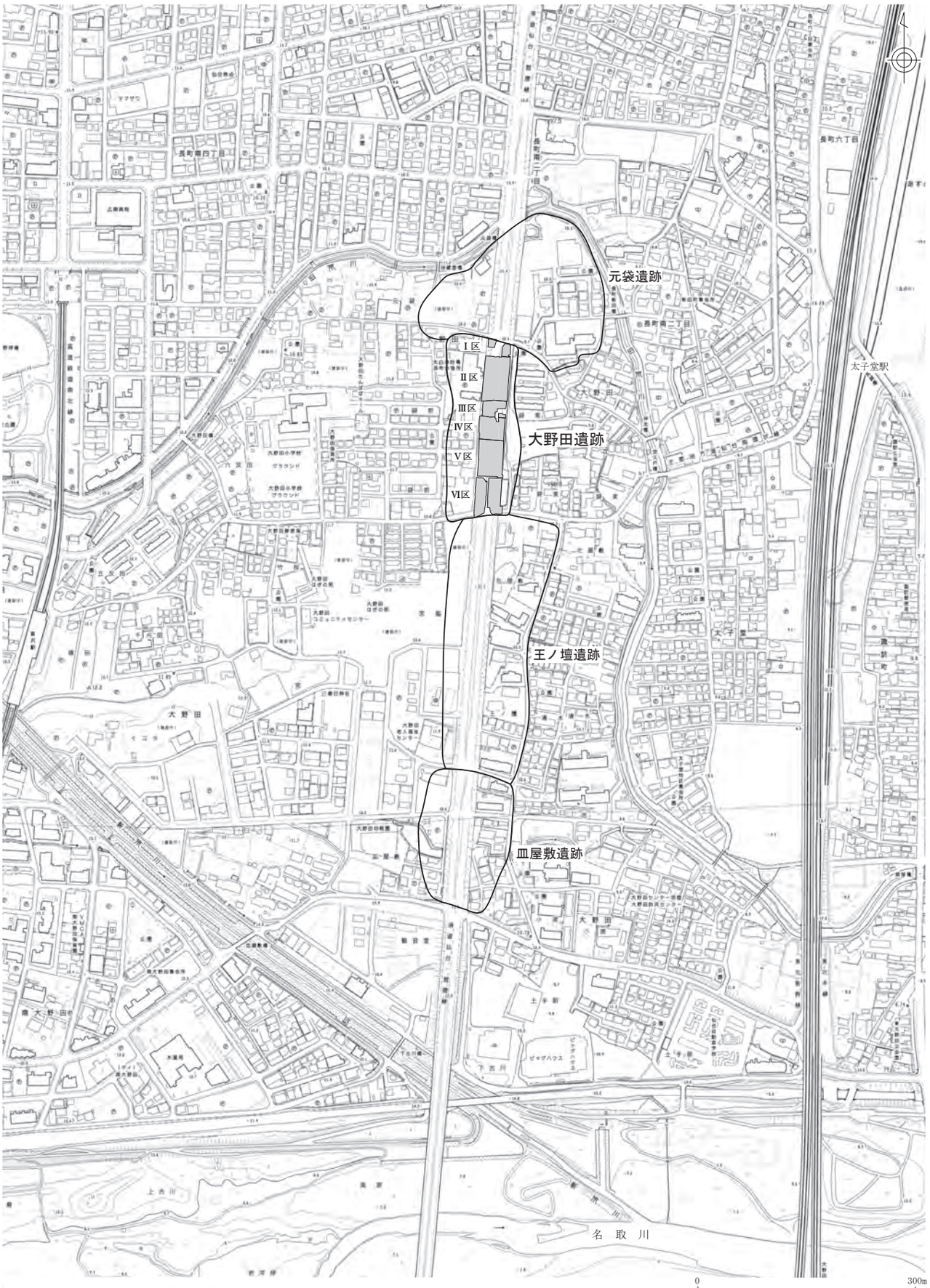
Ⅱ区：竪穴住居跡２軒、竪穴遺構２基、土坑９基、溝跡７条、小溝状遺構群８群。

Ⅲ区：なし。

Ⅳ区：竪穴住居跡４軒、竪穴遺構４基、掘立柱建物跡３棟、土坑 13 基、溝跡４条、小溝状遺構群４群。

Ⅴ区：竪穴住居跡２軒、竪穴遺構５基、掘立柱建物跡３棟、土坑 39 基、溝跡７条、小溝状遺構群５群。

Ⅵ区：竪穴住居跡１軒、竪穴遺構３基、土坑 13 基、溝跡５条、小溝状遺構群９群、性格不明遺構３基。



仙台市発行「仙台市都市計画基本図 1：5,000」（平成 4 年測量、平成 18 年修正）を縮小・加筆。

第 3 図　調査区位置図

2．発掘調査の方法

調査区の設定

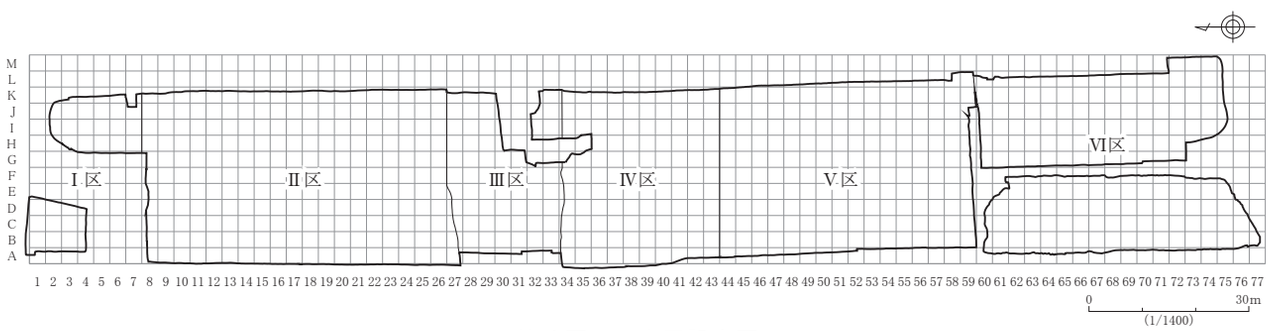
都市計画道路「川内・柳生線」の大野田遺跡にかかる部分は南北の直線道路であり、その路線幅は36m、長さは約250mである。調査区の基準線は道路のセンター杭を使用し、南北の基準線を設定後調査区全体に3mメッシュのグリッドを組んだ。グリッド南北基準線は国家座標GNから4°30′東偏している。グリッド名は東西を西から東にアルファベットで、南北を北から南へアラビア数字で表し、両者の組み合わせによって呼称することとした。調査を開始した平成5年度当初は、路線敷内の地権者の移転が完了していなかった南側部分を除き、更に付近住民の生活道路及び、調査事務所を確保したうえで調査を開始した。

調査区内の水路、地形の状況によって調査区を分け、北からⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ区とし、各区の西側半断面の調査から着手した。地権者の移転が完了した後の南側の調査区はⅥ区とし、平成6年度から調査を実施した。Ⅰ区は1～7グリッド、Ⅱ区は8～27グリッド、Ⅲ区は28～33グリッド、Ⅳ区は34～43グリッド、Ⅴ区は44～59グリッド、Ⅵ区は60～77グリッドである。

調査の記録

検出された遺構は、3ｍメッシュのグリッド杭を使用して基準線を設定し、簡易遣り方測量により作図した。調査区全体図を縮尺1/40の平面図、1/20の土層断面図を作成し、各遺構は縮尺1/20を基本として平面図、土層断面図を作成し、必要により縮尺1/10の遺構細部の実測図を作成した。また、縄文時代後期の柱穴群に関しては調査期間中に建物の把握に努めたが、建物の把握は困難であった。

記録写真は、遺跡全景、調査区全景、遺構の検出・調査過程・全景・細部・断面・遺物の出土状況など必要に応じて撮影した。遺跡全景、調査区全景写真については空中写真を委託して撮影したものもある。主として、35㎜版の白黒及びカラーリバーサル写真を用い、状況に応じて6×7版の白黒及びカラーリバーサル写真を撮影した。調査の進行状況は随時35㎜版カラーで撮影した。



第4図　調査区設定図

3．整理の方法

1）整理の概要

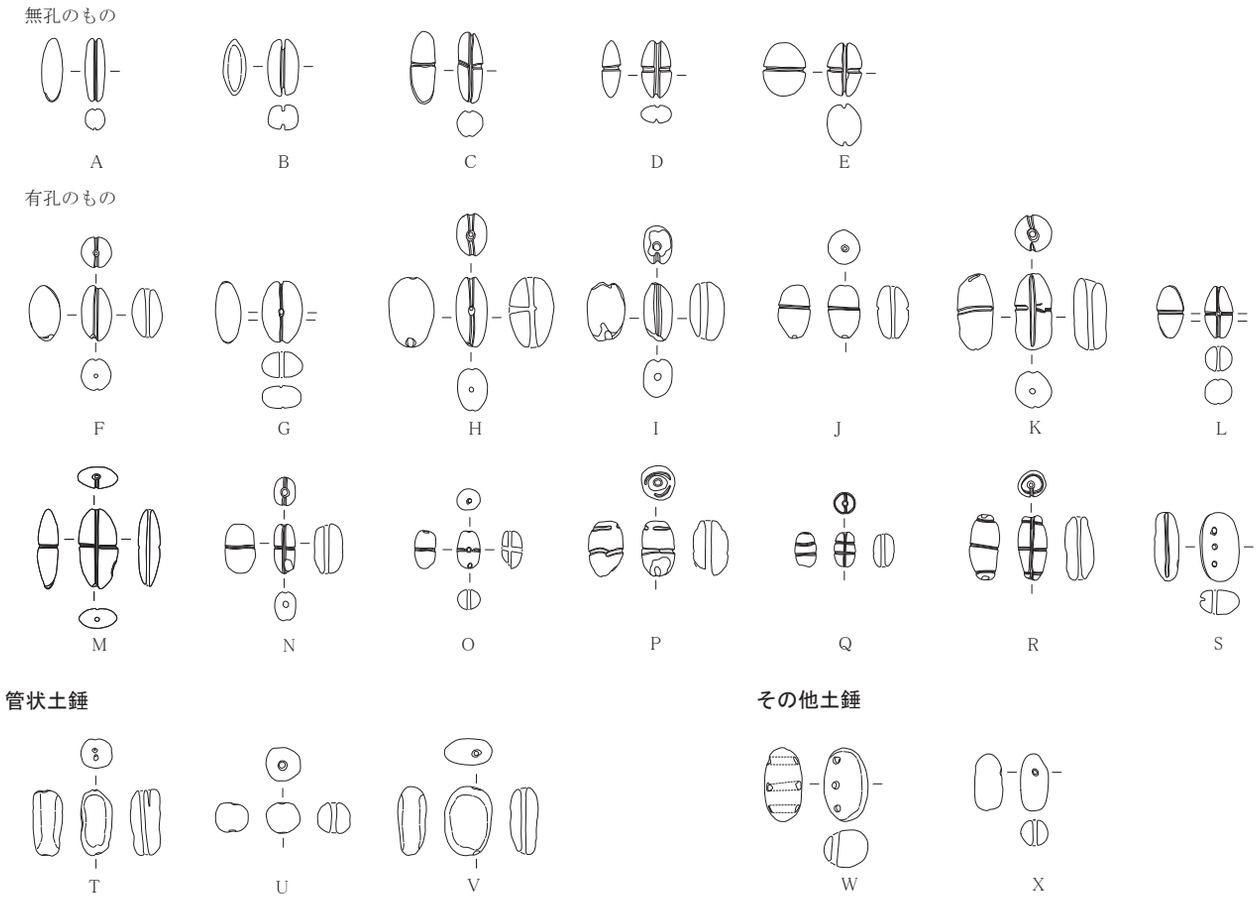
遺構の整理

遺構の実測図は発掘調査現場では平面図、断面図共に手実測で作成しており、それらを区毎、層位毎に整理した後、すべてのデジタル化を行った。デジタル化とともに層位毎に遺構配置図を作成し、合成して全体遺構配置図を作成した。遺構は種類毎に点検・整理を行い、遺構個別図を作成した。遺構の登録・表示は略号とアラビア数字で表し、区毎にそれぞれ通し番号を付けた。

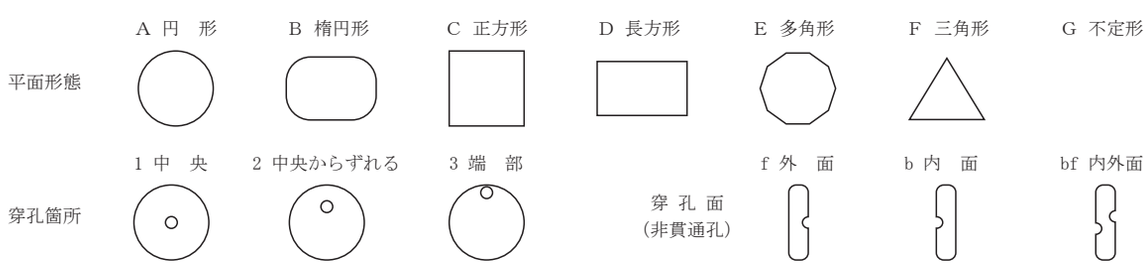
報告書に掲載した遺構図の縮尺は、全体図（1/250）、各遺構図（1/60）を基本としているが、遺構の規模・特徴など必要に応じて他の縮尺を適宜用いている。

遺物の整理

出土した遺物は整理用平箱にして約2,160箱、各種サンプル類約100箱程である。発掘調査後の文化財パンフレッ



第 5 図　土錘分類図



第 6 図　土製円盤分類図

ト作成時に使用した遺物については、普及啓蒙事業に使用するため他の遺物と分けて作業を行った。他の遺物については水洗作業時に縄文土器、土師器、土製品についてバインダー処理を施した。土器、土製品については接合作業を行い、残存状況と出土状況が良好なもの、特徴が明確なものを抽出して実測図を作成した。石器、石製品は分類基準によって分類されたものから出土状況が良好なもの、特徴が明確なものを抽出して実測図を作成した。実測図はデジタル化を行った。

報告書に掲載した実測図の縮尺は、土器、礫石器は1/3、土製品は1/2、剥片石器は2/3を基本としているが、遺物の大きさ、特徴など必要に応じて他の縮尺を適宜用いている。

出土した遺物のうち、土錘、土製円盤、打製石器については下記の基準をもとに分類した。

2）土錘の分類

土錘は、形態や素材の違いで、有溝土錘、管状土錘、その他土錘、土器片錘の4類に大別した。

有溝土錘（A～S類）

無孔のもの（A～E類）と有孔のもの（F～S類）がある。

A：紡錘形で、断面形は円形である。長軸に溝が巡る。

B：紡錘形で、断面形は楕円形である。長軸に溝が巡るもので、溝は横断面の短軸に沿って巡る。

C：紡錘形で、断面形は円形である。長・短軸に十字形に溝が巡る。

D：紡錘形で、断面形は楕円形である。長・短軸に十字形に溝が巡るもので、長軸の溝は横断面の短軸に沿って巡る。

E：紡錘形で、断面形は楕円形である。長・短軸に十字形に溝が巡るもので、長軸の溝は横断面の長軸に沿って巡る。

F：紡錘形で、断面形は円形である。長軸に溝が巡る。長軸方向に孔が貫通する。

G：紡錘形で、断面形は楕円形である。長軸に溝が巡るもので、溝は横断面の短軸に沿って巡る。短軸方向に孔が貫通する。

H：紡錘形で、断面形は楕円形である。長軸に溝が巡るもので、溝は横断面の長軸に沿って巡る。長軸方向に孔が貫通し、短軸方向に非貫通の孔が穿たれる。

I：紡錘形で、断面形は楕円形である。長軸に溝が巡るもので、溝は横断面の長軸に沿って片側だけ巡る。長軸方向に孔が貫通する。

J：紡錘形で、断面形は円形である。短軸に溝が巡る。長軸方向に孔が貫通する。

K：紡錘形で、断面形は円形である。長・短軸に十字形に溝が巡る。長軸方向に孔が貫通する。

L：紡錘形で、断面形は円形である。長・短軸に十字形に溝が巡る。短軸方向に孔が貫通する。

M：紡錘形で、断面形は楕円形である。長・短軸に十字形に溝が巡るもので、長軸の溝は横断面の短軸に沿って巡る。長軸方向に孔が貫通する。なお、長軸の溝が片側だけで全周しないものもある。

N：紡錘形で、断面形は楕円形である。長・短軸に十字形に溝が巡るもので、長軸の溝は横断面の長軸に沿って巡る。

O：紡錘形で、断面形は円形である。短軸に溝が巡る。長・短軸方向にそれぞれ孔が貫通する。

P：紡錘形で、断面形は円形である。短軸に溝が2条巡る。長軸方向に孔が貫通する。

Q：紡錘形で、断面形は円形である。長軸に1条、短軸に2条の溝が十字形に巡る。長軸方向に孔が貫通する。

R：紡錘形で、断面形は円形である。長軸に1条、短軸に3条の溝が十字形に巡る。長軸方向に孔が貫通する。なお、長軸の溝が片側だけで全周しないものもある。

S：小判形で、断面形は楕円形である。長軸に溝が巡るもので、溝は横断面の長軸に沿って片側だけ巡っている。短軸の中央からややずれた位置に3個の孔が並んで貫通する。

管状土錘（T～V類）

T：円柱状で、長軸方向に孔が貫通する。

U：球状で、中央に孔が貫通する。

V：小判形で、断面形は楕円形である。中心からややずれて長軸方向に孔が貫通する。

その他土錘（W・X類）

W：小判形で、断面形は楕円形である。短軸の中央からややずれた位置に3個の孔が並んで貫通する。有溝土錘S

類の側縁に溝をもたないものである。

X：円柱状で、断面形は円形である。中心からややずれて短軸方向に孔が貫通する。

土器片錘

土器の破片を利用して、周縁を打ち欠いたり磨ったりして円形や方形状に整形したもので、端部に抉り（ひも掛け用）が入っているものである。

平面形態からA：円形、B：楕円形、C：正方形、D：長方形の4種に分類した。このうち楕円形と長方形のものについては、両端に抉りを入れる軸の違いで1：長軸、2：短軸の2種に分けた。また、対をなす抉りの数で、a：両端で一対となる2箇所、b：長・短軸で直交して二対となる4箇所、c：その他の3種に細分した。

3）土製円盤の分類

土製円盤は、孔の有無及び孔の貫通・非貫通の違いでa～c類の3類に大別した。a類は孔がないもの、b類は孔が開いているもの、c類は非貫通の孔が穿たれているものである。

いずれも、平面形態からA：円形、B：楕円形、C：正方形、D：長方形、E：多角形、F：三角形、G：不定形の7種に分類したのち、b・c類については、孔を開けた位置で1：中央、2：中央からずれる、3：端部の3種に分けた。また、非貫通孔を有するc類については、さらに穿孔した面でf：外面、b：内面、bf：内外面の3種に細分した。なお、a類では、通常の土器片との識別がつかないため不定形（G類）については抽出しなかった。

4）打製石器の分類

石器は、基本的に「下ノ内遺跡」〔仙台市教育委員会2011〕に記載された分類基準に基づいて分類している。磨製石器（Kb）・礫石器（Kc）・石製品（Kd）に関しては、そのまま上記の分類基準に従って分類しており、細分等の検討は行っていない。

今回、大野田遺跡から出土した打製石器のうち登録した4,673点の分類を行なったが、上記に示された分類項目だけでは合理的に判断できない点や本遺跡出土の石器群の特色を反映できない点があるため、大枠の分類基準に従いつつも部分的な定義の変更や、分類細分項目の追加を行った。

以下、本遺跡における打製石器の分類基準を示す。

石　鏃（Ka-a）

有　茎（Ka-a1）いわゆる有茎鏃。a1-1～a1-8まで8種に分類した。

a1-1：先端から基部まで直線的に開き、基部は直線的ないし、若干の抉りが見られるもの。

a1-2：先端から基部まで凸状のゆるやかな丸みを有するもので、基部は直線的ないし若干の抉りが見られるもの。

a1-3：茎部の作り出しが細く、長いもの。茎部の長さが器体の約半分にせまる。

a1-4：先端から基部までの間に明瞭な屈曲点を有するもの。

a1-5：茎部の作り出しが短く、小さいもの。

a1-6：茎部の作り出しが明瞭ではなく平面形態が菱形状のもの。

a1-7：平面形態が先端から基部まで内湾しながら開くもの。幅に対し長さの長いものが多い。

a1-8：先端から基部までの間に抉入状の調整が見られるもの。

平　基（Ka-a2）基部が平坦なもの。細分していない。

凹　基（Ka-a3）いわゆる凹基無茎鏃。今回、a3-1～a3-2-2まで3種に分類した。

a3-1　：凹部（脚部）がごく浅い抉入で形成されるもの。

a3-2-1：凹部が深い抉入で形成され、先端から基部までの間に明瞭な屈曲を有するもの。

a3-2-2：凹部が深い抉入で形成され、先端から基部まで直線状ないしゆるやかな凸状の丸みを有するもの。

円基状（Ka-a4）凸状の丸い基部を持つもの。細分していない。石鏃の計測値を検討した結果、円基状としたものは他の石鏃よりも長さ・幅・厚さの数値が大きく、そのほとんどが石鏃未製品と推定できることから円基ではなく円基状とした。

未製品・失敗品（Ka-a5）製品としての石鏃よりも、長さ・幅・厚さの数値が大きく未製品と判断できるもの。粗

雑な両面加工体で楕円形を呈するものが多い。円基状との区別は、明瞭な先端部をもたないこと、平面形がなめらかではないこと、側面観がジグザグ状を呈することなどを基準に区別した。

欠損分類不可（Ka-a6）欠損が著しく分類基準を判断できないもの。欠損があっても分類基準を判断できるものについては本項目に含めていない。

尖頭器（Ka-b）

細分していない。b2 以外は確認できないが項目だけ掲げておく。

有　茎（Ka-b1）

無　茎（Ka-b2）

欠損分類不可（Ka-b3）欠損が著しく分類基準を判断できないもの。

石　錐（Ka-c）

棒　状（Ka-c1）つまみ状の頭部を持たない棒状のもの。

つまみ付き（Ka-c2）c2-1 ～ c2-4 の 4 種に分類した。

c2-1：つまみ状の頭部を持ち、長い錐部を持つもの。つまみ部は円形状の小さいもの、やや幅の広いものがある。

c2-2：縦長・長楕円形のつまみ部を持ち、つまみ部と同程度の長さの錐部を持つもの。

c2-3：つまみ部と錐部の境が明瞭ではなく、つまみ部から錐部先端まで凹状に内湾しながら徐々に細くなっていくもの。

c2-4：不定形の剥片の一端に錐部を作り出したもの。一般的につまみ部は大きく、錐部は小さい。

欠損分類不可（Ka-c3）欠損が著しく分類基準を判断できないもの。欠損があっても分類基準を判断できるものについては本項目に含めていない。

石　匙（Ka-d）

石匙については、縦型（d1）と横型（d2）の 2 類に大別し、素材形状と加工部位によって細別した。

縦　型（Ka-d1）つまみ部を基準とした場合、縦に長いもの。d1-1 ～ d1-8 まで 8 種に分類した。

d1-1：縦長剥片（石刃状剥片を含む）を素材とし、素材末端部側につまみ部を作り出すもの。調整は一側縁・二側縁調整の他、端部に調整のあるものも含む。

d1-2：縦長剥片（石刃状剥片を含む）を素材とし、素材打面側につまみ部を作り出すもの。調整は一側縁・二側縁調整の他、端部に調整のあるものも含む。

d1-3：三角形～二等辺三角形状の剥片を素材とし、つまみ部の反対側が尖頭状となるもの。細部調整による 2 辺が交わる場合が多い。

d1-4：周縁部が急斜度調整で覆われ、つまみ部の反対側が弧状となるもの。つまみ部以外は調整が全周し、円形掻器状となる。

d1-5：打面側が著しく幅広で、末端が、収束する剥片を用い、打面側の幅の広い部分につまみ部を作り出すもの。素材末端は細部調整による 2 辺が交わる。

d1-6：横長剥片を縦位に用い、素材側縁部につまみ部を作り出すもの。素材端部側に細部調整が行われる。

d1-7：両面調整・半両面調整により、刃部が作り出されるもの。

d1-8：上記 d1 ～ d7 の分類基準にあてはまらないもの。

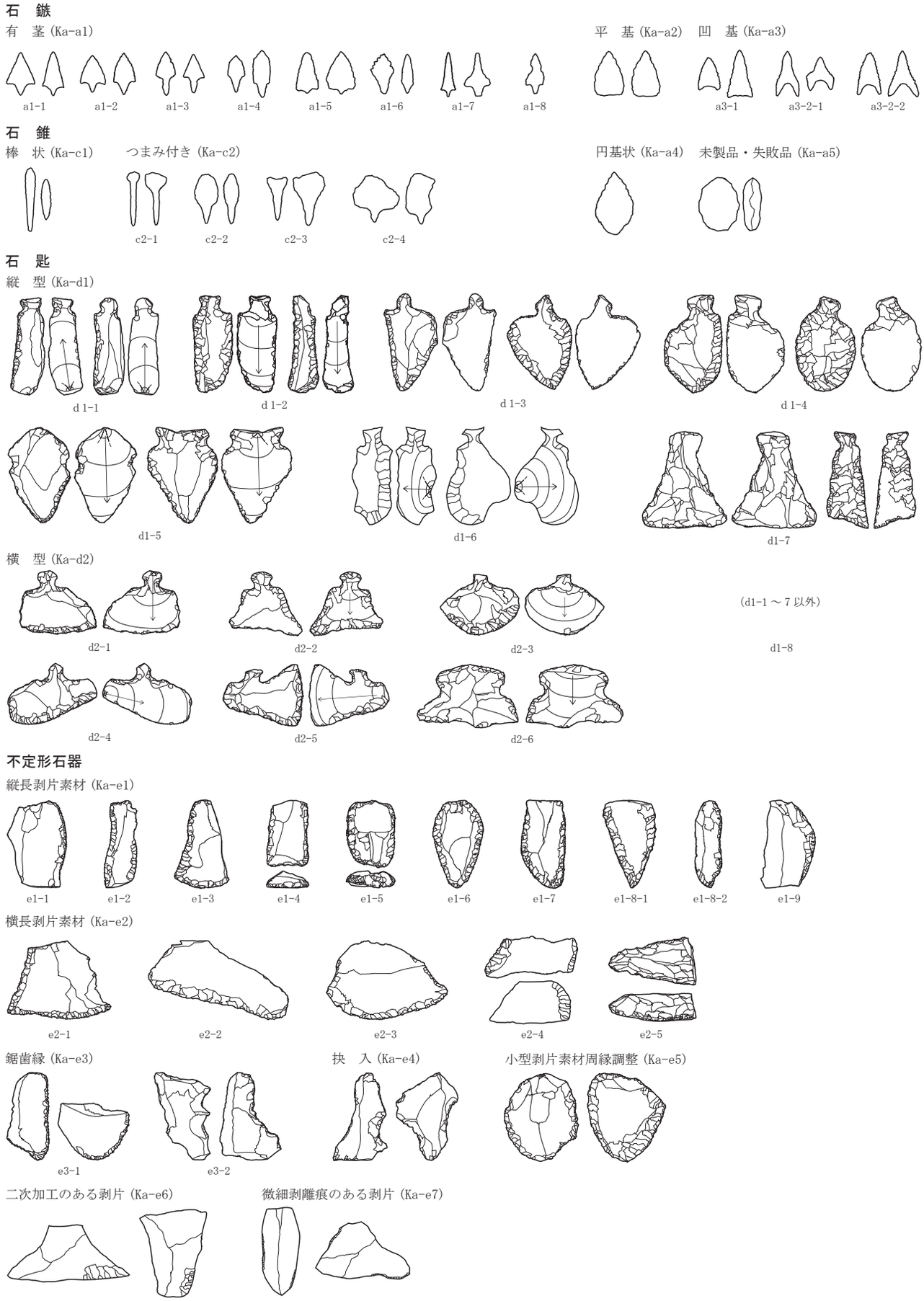
横　型（Ka-d2）つまみ部を基準とした場合、横に長いもの。d2-1 ～ d2-6 まで 6 種に分類した。

d2-1：横長剥片を縦位に用い、素材末端部側が細部調整により直線状もしくはゆるやかな弧状を呈するもの。つまみ部は打面側に作り出される。

d2-2：横長剥片を縦位に用い、素材末端部側が細部調整によりやや凹状に内湾するもの。つまみ部は打面側に作り出される。

d2-3：横長剥片を縦位に用い、素材末端部側が細部調整により円弧状を呈するもの。つまみ部は打面側に作り出される。

d2-4：縦長剥片を横位に用い、素材側縁部＋端部に細部調整が施される。刃部は直線状もしくはゆるやかな弧状をなすものが多い。つまみ部は素材側縁部に作り出される。



第 7 図　主な打製石器分類模式図

第１表　打製石器分類表

種　別	器　種	分　類	細　分	備　考
打製石器	石　鏃	有　茎	Ka-a1-1	
			Ka-a1-2	
			Ka-a1-3	
			Ka-a1-4	
			Ka-a1-5	
			Ka-a1-6	
			Ka-a1-7	
			Ka-a1-8	
		平　基	Ka-a2	
		凹　基	Ka-a3-1	
			Ka-a3-2-1	
			Ka-a3-2-2	
		円基状	Ka-a4	
		未製品・失敗品	Ka-a5	
		欠損分類不可	Ka-a6	
	尖頭器	有　茎	Ka-b1	
		無　茎	Ka-b2	
		欠損分類不可	Ka-b3	
	石　錐	棒　状	Ka-c1	
		つまみ付き	Ka-c2-1	
			Ka-c2-2	
			Ka-c2-3	
			Ka-c2-4	
		欠損分類不可	Ka-c3	
	石　匙	縦　型	Ka-d1-1	
			Ka-d1-2	
			Ka-d1-3	
			Ka-d1-4	
			Ka-d1-5	
			Ka-d1-6	
			Ka-d1-7	
			Ka-d1-8	
		横　型	Ka-d2-1	
			Ka-d2-2	
			Ka-d2-3	
			Ka-d2-4	
			Ka-d2-5	
			Ka-d2-6	
		欠損分類不可	Ka-d3	
	不定形石器	縦長剥片素材	Ka-e1-1	一側縁調整
			Ka-e1-2	二側縁調整
			Ka-e1-3	端部台形状調整
			Ka-e1-4	端部直縁状調整（いわゆる直刃）
			Ka-e1-5	端部弧状調整（ゆるやかな弧状）
			Ka-e1-6	端部弧状調整（収束）
			Ka-e1-7	端部弧状調整（いわゆる偏刃）
			Ka-e1-8-1	端部尖頭状調整
			Ka-e1-8-2	端部尖頭状調整（片側凹状に内湾）
			Ka-e1-9	側縁弧状調整
		横長剥片素材	Ka-e2-1	角縁状調整
			Ka-e2-2	端部直縁状調整
			Ka-e2-3	端部弧状調整
			Ka-e2-4	側縁調整
			Ka-e2-5	片面急斜度調整
		鋸歯縁	Ka-e3-1	
			Ka-e3-2	
		抉　入	Ka-e4	
		小形剥片素材周縁調整	Ka-e5	
		二次加工のある剥片	Ka-e6	
		微細剥離痕のある剥片	Ka-e7	
		欠損分類不可	Ka-e8	
	石　箆	半両面加工	Ka-f1	
		両面加工	Ka-f2	
	打製石斧		Ka-g	
	楔形石器		Ka-h	
	異形石器		Ka-i	
	剥　片		Ka-l	
	石　核		Ka-m	
	未製品類		Ka-n	

d2-5：台形状の縦長剥片を横位に用いる。素材端部・側縁部に細部調整が行われ、台形状の刃部が形成される。つまみ部は素材側縁部に作り出される。

d2-6：横長剥片を縦位に用いる。つまみ部は素材打面側の素材中位に近い幅の広い部分に作り出される。

欠損分類不可（Ka-d3）欠損が著しく分類基準を判断できないもの。欠損があっても分類基準を判断できるものについては本項目に含めていない。

不定形石器（Ka-e）

不定形石器については、下ノ内遺跡における分類基準と本遺跡の分類基準とでは同様な部分と異なる部分があるので以下に説明する。

下ノ内遺跡では、e1 を削器（石器の側縁に鋭角の刃部を持つもの）、e2 を掻器（石器の端部に鈍角の刃部を持つもの）で分類しているが、大野田遺跡の資料を見る限り、明確に分類することは不可能で、あらゆる縁辺に二次調整を施す本遺跡の石器の特徴から、スクレイパー類として一括して把握することにし、素材形態と加工部位によって分類することとした。今回の分類では、e1 を縦長剥片素材、e2 を横長剥片素材として大別し、加工部位によって、それぞれ細分した。このような分類方法をとったのは、不定形石器の様々な形態ヴァリエーションを説明しやすいからである。縦長剥片素材のものを e1-1 ～ e1-9 の 10 種、横長剥片素材のものを e2-1 ～ e2-5 の 5 種に分類した。

e3 の鋸歯縁石器（鋸歯状の刃部を持つもの）、e4 のノッチ（抉入状の刃部を持つもの）については、下ノ内遺跡の分類を踏襲している。e3 の鋸歯縁石器については細部調整の大きさに応じて e3-1・e3-2 の 2 種に分類した。

e5 については、下ノ内遺跡の分類では円形掻器（石器の全周縁に刃部を持つもの）としている。今回の分類では上記とほぼ同義ではあるが、e5 をスクレイパー類として「小形剥片素材周縁調整」として認識することとした。

e6・e7 は、下ノ内遺跡の分類では、それぞれ RF（石器の一部に刃部加工が見られるもの）、UF（石器の刃部に使用痕［摩滅･光沢］が見られるもの）とされている。また、不定形石器とは別の器種として、j:二次加工のある剥片（刃部加工を目的としていない二次加工）や k：微細剥離痕のある剥片（微細な剥離痕を有する剥片）という類似しているが異なる分類項目も存在している。今回報告する大野田遺跡の資料を観察したところ、上記の 4 分類は困難であると認識したため、今回の分類では、e6 を二次加工のある剥片（剥片の縁辺の長さの二分の一に満たない部分的な細部調整の見られるもの）、e7 を微細剥離痕のある剥片（微細な剥離痕の見られるもの）の 2 分類に限定し、不定形石器の中に統合することとした。したがって、今回の打製石器の分類項目の中には Ka-j と Ka-k は存在しないこととする。

以下に不定形石器の各分類の詳細を示す。

縦長剥片素材（Ka-e1）

e1-1：一側縁調整。一側縁に縁辺の長さの二分の一以上に細部調整が見られるもの。

e1-2：二側縁調整。二側縁に縁辺の長さの二分の一以上に細部調整が見られるもの。

e1-3：端部台形状調整。側縁と端部の細部調整により逆台形状のもの。素材打面側が幅狭く、末端側が幅広い。側縁は真っ直ぐもしくは内湾気味に開き、端部は直縁状もしくはゆるやかな弧状である。

e1-4：端部直縁状調整（いわゆる直刃）。一側縁もしくは二側縁＋端部に細部調整が行われ、端部が直線状となるもの。

e1-5：端部弧状調整（ゆるやかな弧状）。一側縁もしくは二側縁＋端部に細部調整が行われ、細部調整により端部がゆるやかな弧状となるもの。

e1-6：端部弧状調整（収束）。一側縁もしくは二側縁＋端部に細部調整が行われ、細部調整により端部が小さな弧状となるもの。一般的に素材打面側が幅広く、末端部側は幅狭となる。

e1-7：端部弧状調整（いわゆる偏刃）。一側縁もしくは二側縁＋端部に細部調整が行われ、細部調整により端部が弧状となるもので、弧状の部分が中心軸からずれるもの。いわゆる偏刃。

e1-8-1：端部尖頭状調整。二側縁に細部調整が行われ、素材端部で交わり尖頭状となるもの。一般的に素材打面側が幅広く、素材末端部側で収束する。

e1-8-2：端部尖頭状調整（片側凹状に内湾）。二側縁に細部調整が行われ、素材端部で交わる尖頭状のもので、端部に近い片側縁を浅いノッチ状に加工するもの。

e1-9：側縁弧状調整。一側縁のみに弧状の細部調整が行われるもの。

横長剥片素材（Ka-e2）

e2-1：角縁状調整。側縁と端部の細部調整により四角形から台形状となるもの。側縁部の調整と端部の調整の交わる部分に鋭い角が形成される。

e2-2：端部直縁状調整。素材端部が細部調整によりほぼ直線状のもの。いわゆる横型削器。側縁部に調整の認められるものもあるが、鋭い角部が形成されない点で e2-1 と識別する。

e2-3：端部弧状調整。素材端部が細部調整により弧状となるもの。e2-2 と共に主要剥離面側に調整を行うものが多い。これは素材末端部のヒンジフラクチャーを利用して急斜度の刃部を形成する意図が読み取れる。

e2-4：側縁調整。素材側縁部のみに細部調整が見られるもの。

e2-5：片面急斜度調整。石器背面側（被剥離面側）に片面急斜度調整が見られるもの。

鋸歯縁石器（Ka-e3）剥片の縁辺の二分の一以上に、連続的な鋸歯状の調整が見られるもの。e3-1・e3-2 の 2 種に分類した。

e3-1：細かい調整を連続的に行い鋸歯状にするもの。

e3-2：粗い調整を連続的に行い鋸歯状にするもの。

抉入石器（Ka-e4）ノッチ状の細部調整が見られるもの。

小形剥片素材周縁調整（Ka-e5）≒円形掻器。長・幅比約 1：1 の寸詰まりの剥片を素材とし、周縁部に細部調整を行うもの。細部調整は全周するもの、打面部分を残すものがある。

二次加工のある剥片（Ka-e6）剥片の縁辺の長さの二分の一に満たない部分的な細部調整が見られるもの。

微細剥離痕のある剥片（Ka-e7）微細な剥離痕を有する剥片。

欠損分類不可（Ka-e8）欠損が著しく分類基準を判断できないもの。欠損があっても分類基準を判断できるものについては本項目に含めていない。

以下、出土点数が少なく細分は行っていないが分類項目だけ掲げておく。

石　箆（Ka-f）

f1：半両面加工。

f2：両面加工。

打製石斧（Ka-g）

楔形石器（Ka-h）

両極剥離による剥離痕が明瞭に認められる石器。

異形石器（Ka-i）

二次加工のある剥片（Ka-j）**・微細剥離痕のある剥片**（Ka-k）

前述した理由から分類項目から省く。

剥　片（Ka-l）

石　核（Ka-m）

未製品類（Ka-n）

粗雑な両面調整、もしくは片面調整が認められ、器種の特定が困難な未製品だが、尖頭器・石錐・石箆・打製石斧等の面的調整の行われる石器の未製品と推定できる石器。大きさ・形状で石鏃の未製品・失敗品（Ka-5）と特定できないものは本項目に含めている。石核（Ka-m）と類似するものもあるが、平坦剥離が顕著なものは本項目に含めている。

Ⅳ　基本層序

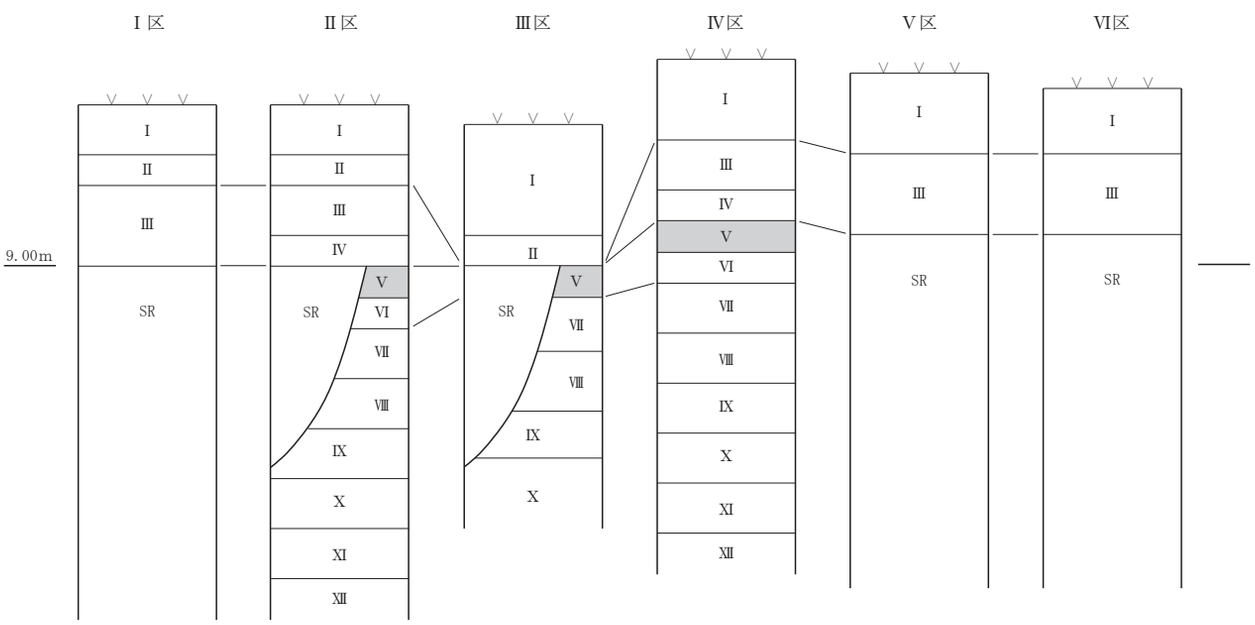
調査区が約 250m の細長い範囲に亘るため、土色、土性などに若干の違いはみられ、細別される層もあるがⅠ～Ⅻ層までの大別 12 枚の層が確認された。

Ⅰ層：主に粘土層で構成される。色調は灰オリーブ色（7.5Y4/2）である。Ⅳ～Ⅴ区北半を除く地域に分布し、層厚は 15 ～ 25cm で、現代の水田耕作土である。層の下部には酸化鉄の集積がみられる。Ⅳ～Ⅴ区北半は水田ではなかったことから色調、土性は暗褐色（10YR3/3）のシルト層である。層中に縄文時代から現代までの遺物を含んでおり、縄文時代の配石遺構を構成する礫が地表面でみられる部分があった。

Ⅱ層：シルト層で構成される。色調は褐灰色（10YR6/1）である。Ⅰ～Ⅲ区にみられ、Ⅴ・Ⅵ区では一部、部分的にみられる程度である。層厚は 5 ～ 10cm で、水田耕作土と考えられ、酸化鉄が集積している。

Ⅲ層：シルト層で構成される。色調は黄褐色（10YR5/6）である。粘性がやや強い。Ⅲ区以外の全域に分布しており、層厚は 10 ～ 25cm で、調査区の南および北側で厚くなっている。層中に縄文時代の遺物を含んでいる。本層上面が古代および古墳時代の遺構検出面である。

Ⅳ層：シルト層で構成される。色調は褐色（10YR4/4 一部 10YR4/6）であるが一定していない。Ⅱ区およびⅣ区にのみ分布し、層厚は 5 ～ 15cm で、Ⅳ区側が厚くなっている。マンガンの集積がみられる部分があり、層中に縄文時代の遺物を含んでいる。



層	土　色	土　性	混入物等	備　考
Ⅰ	灰オリーブ（7.5Y4/2）	粘土		表土。
Ⅱ	褐灰（10YR6/1）	シルト		
Ⅲ	黄褐（10YR5/6）	シルト	粘性やや有。	上面で古墳～平安時代の遺構を検出。
Ⅳ	褐（10YR4/4）	シルト		
Ⅴ	黒褐（10YR2/2）	シルト	炭化物、焼土、骨片、砂礫多量。	遺物包含層。上面で縄文時代後期・晩期の遺構を検出。
Ⅵ	暗褐（10YR3/3）	シルト	炭化物、焼土粒。	
Ⅶ	黒褐（10YR3/2）	砂質シルト		上面で縄文時代後期の遺構を検出。
Ⅷ	褐（10YR4/4）	シルト		
Ⅸ	黄褐（10YR5/6）	砂質シルト		
Ⅹ	褐（10YR4/4）	砂質シルト		
Ⅺ	暗褐（10YR3/4）	シルト	砂質シルトの部分有。	
Ⅻ	褐（7.5YR4/4）	シルト質砂		

第 8 図　基本層序模式図

Ⅴ層：シルト層で構成される。色調は黒色～黒褐色～暗褐色～褐色である。Ⅱ区南半部～Ⅳ区にかけて分布し、層厚は15～35cmで、Ⅱ区で厚くⅢ、Ⅳ区で薄くなる。Ⅱ、Ⅲ区では3層（7.5YR2/1、10YR2/1、10YR2/3）、Ⅳ区では7層（10YR2/3、10YR2/1、10YR2/2、10YR3/2、10YR3/3、10YR3/4、10YR4/4）に細分される。層中に多量の炭化物粒や焼土粒、骨片等の有機物、砂礫を含み、さらに多量の縄文時代後期前葉の遺物を含んでおり、全域で遺物包含層となっている。特にⅡ区では大型の破片や一括遺物が多くみられ、遺物の種類も多い。Ⅲ区は上部が後世の水田耕作により削平され層厚が薄くなっている。Ⅳ区では前述のとおり、7層に細別される部分があり、包含されている遺物は磨滅した小破片が多く含まれている。これらのことからⅣ区のⅤ層は人為的に盛土され、層上面に集石遺構、配石遺構、埋設土器等が構築されたものと考えられる。

Ⅵ層：シルト層で構成される。色調は暗褐色（10YR3/3）である。Ⅱ区およびⅣ区の一部に分布し層厚は10cm前後である。層中に炭化物、焼土粒を含んでいる。

Ⅶ層：主に砂質シルト層で構成される。色調は黒褐色（10YR3/2）である。Ⅱ区南半部～Ⅳ区にかけて分布し、層厚は25～40cmで、Ⅱ区の一部に厚い部分がみられる。層中に炭化物粒、小礫および縄文時代後期初頭～前葉の遺物を含んでいる。層上面が縄文時代後期前葉の遺構検出面であり、配石遺構、埋設土器のほか多数の柱穴が検出された。

Ⅷ層：シルト層で構成される。色調は褐色(10YR4/4)である。Ⅱ区南半～Ⅳ区にかけて分布し、層厚は15～40cmである。層中に風化礫の小片を含む部分がみられる。

Ⅸ層：砂質シルト層で構成される。色調は黄褐色（10YR5/6）である。Ⅱ区南半～Ⅳ区にかけて分布し、層厚は15～30cmである。層中に細砂や微砂の砂粒を含む部分がみられる。

Ⅹ層：砂質シルト層で構成される。色調は褐色（10YR4/4）である。Ⅱ区南半～Ⅳ区にかけて分布し、層厚は20cm前後である。層中に砂粒を含む部分がみられる。

Ⅺ層：シルト層で構成される。色調は暗褐色(10YR3/4)である。Ⅱ区南半とⅣ区で確認された。層厚は20～25cmである。一部に砂質シルトの部分や炭化物粒を微量に含む部分がある。

Ⅻ層：シルト質砂層で構成される。色調は褐色(7.5YR4/4)である。Ⅱ区南半とⅣ区で確認された。層厚は20cm以上で、シルトの小ブロックを含む部分がある。

Ⅴ 縄文時代の遺構と遺物

縄文時代の遺構は、Ⅶ層上面とⅤ層上面から検出した。便宜上、Ⅶ層上面から検出したものをⅦ層の遺構・遺物、Ⅴ層上面から検出したものをⅤ層の遺構・遺物と呼称する。

両層の間には間層（Ⅵ層）を挟むが、出土した遺物からは明瞭な時期差は確認できず、双方とも後期前葉（南境式期）の時期と考えられる。なお、Ⅴ層は遺物包含層で、後期前葉の遺物を多量に包含している。

これに後続する時期の遺構として、Ⅴ層で晩期中葉（大洞 C_2 式期）の土坑 1 基を検出した。調査区南端のⅥ区から単独で検出されたもので、ほかに該期の遺構や遺物は見つかっていない。

また、遺構は検出していないが、このほかに中期中～末葉（大木 8b ～ 10 式期）にかけての遺物がわずかに出土している。

調査区の地形は全体に平坦であるが、Ⅳ区だけ周囲よりわずかに高くなっており、両層の遺構はここを中心に分布が見られる。

Ⅴ層上面からは河川跡が 3 条見つかっている。SR201 はⅠ区からⅡ区中央にかけて、川幅の狭い SR301 はⅢ区南側からⅣ区北側にかけて、SR501 はⅤ区からⅥ区にかけて確認されている。堆積土はシルトを主体としており、比較的穏やかな流れであったと推測されるが、河床は深くⅨ層以下に及んでいる。

以下、Ⅶ層の遺構と遺物、Ⅴ層の遺構と遺物をそれぞれ地区ごとに図示したのち、遺物包含層出土遺物、遺構外出土遺物の順で掲載する。遺構の詳細については、各層毎の末尾に一覧表で掲載する。

1．Ⅶ　層

遺構は、Ⅱ区からⅣ区にかけて、配石 37 基、埋設土器 37 基、土坑 196 基、性格不明遺構 1 基を検出した。

配石には、下部に土坑を伴うものと配石のみのものがあり、配石下部の土坑には、底面中央付近に礫が 1 ～数個検出されたものや、底面付近に赤色顔料の分布が認められたもの、耳飾りが検出されたものなどがある。また、Ⅳ区の南端には、門前貝塚で検出された海を向く配石と類似する南を向くような形の配石がみられる。配石に用いられている礫の石材は大部分が安山岩で、その他の石材は僅かである。

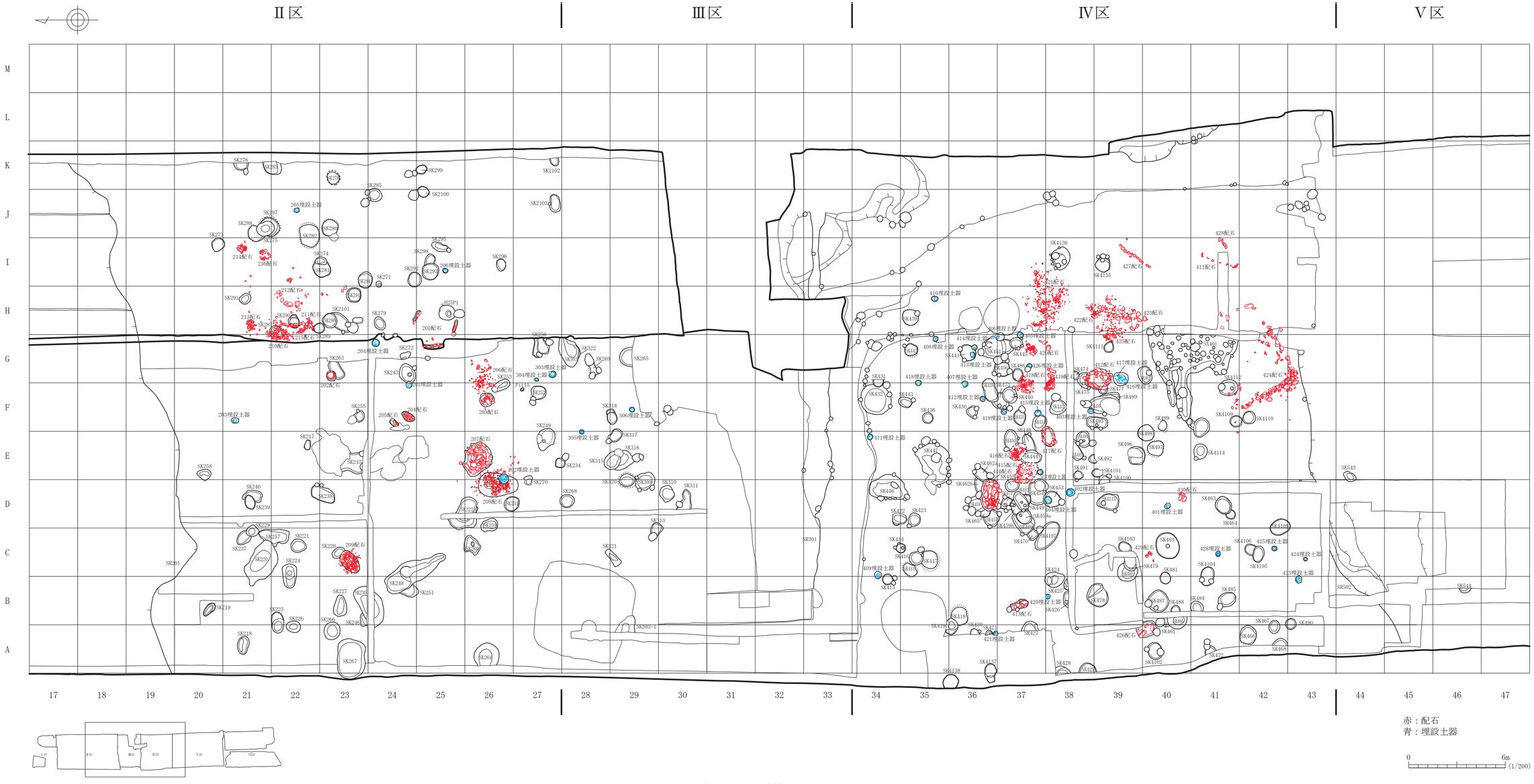
埋設土器には、内部に礫がみられるものや土器が入れ子状になっているもの、土器片や礫でふたをかぶせたような状態のもの、1 基の掘り方に 2 個の土器が埋設されているもの等がみられる。

土坑には、耳飾りや赤色顔料の分布がみられるもの等があり、上部の配石が削平されて下部の土坑のみが検出されたものが多く存在するものと考えられる。また、底面近くで完形の土器や土偶が出土するものや焼土、炭化物と共に鳥類や魚類、獣の骨片が出土したものがある。

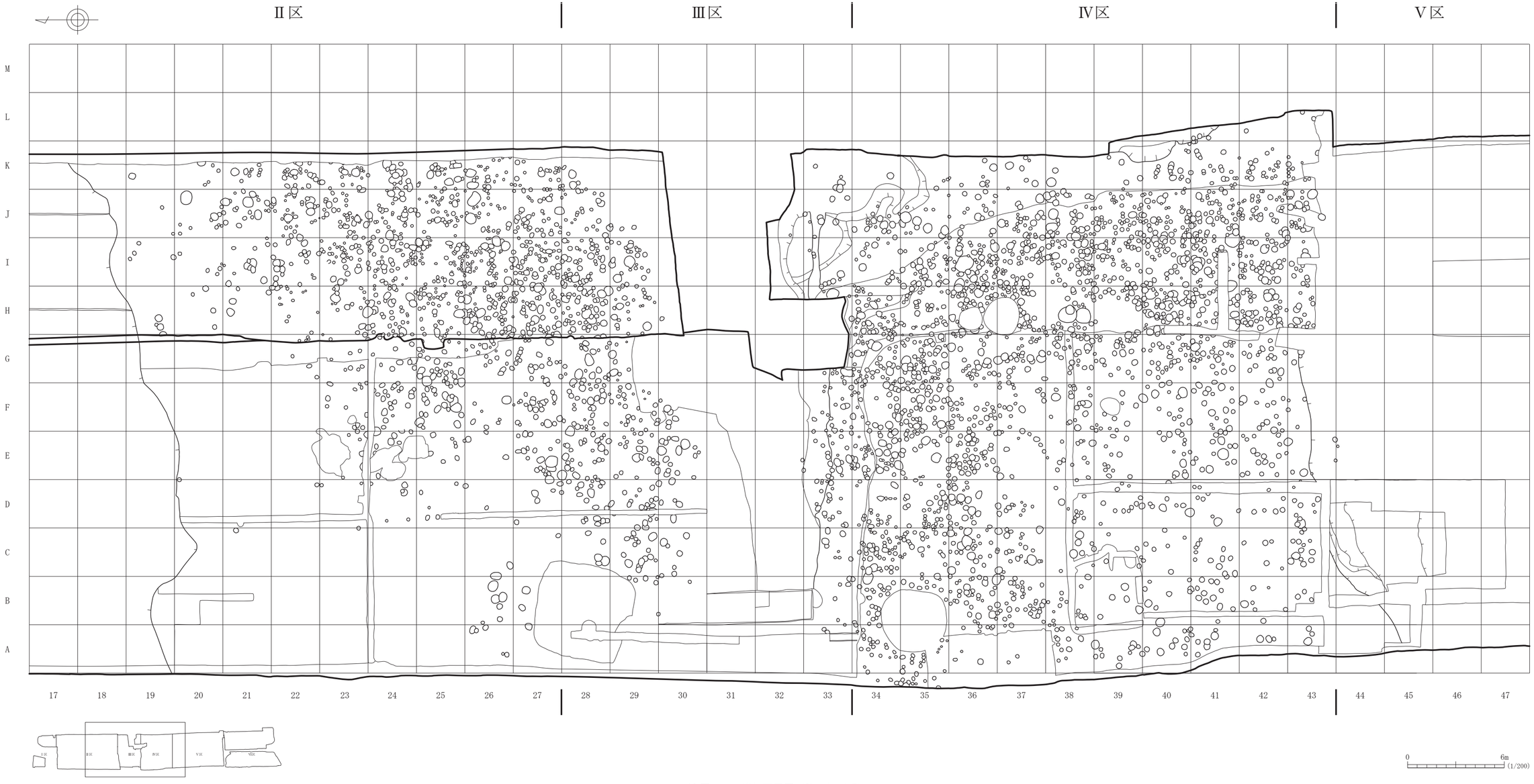
Ⅱ区のピットの中には、立石の掘り方となっているものがあり、配石の一部の残存であると考えられるものや外径 90 ～ 100 ㎝で中央に径 35 ～ 40 ㎝の柱痕跡が検出され、単独で柱状のものを立てていたものと考えられるものがある。

このほかにピットが多数検出されており、柱痕跡が確認されたものが多数含まれていることから、掘立柱建物跡の存在が想定される。配石や土坑を中心として、周囲に掘立柱建物跡が多数存在する遺構の配置関係が想定されたが、具体的な掘立柱建物跡の指摘はしていない。これらのピットについてはピット群として遺構配置図のみ掲載した。

Ⅴ層の河川跡に切られて、調査区北側（Ⅰ区～Ⅱ区中央）と中央の一部（Ⅲ区南側～Ⅳ区北側）、南側（Ⅴ区～Ⅵ区）は失われており、遺構配置の全容は不明である。

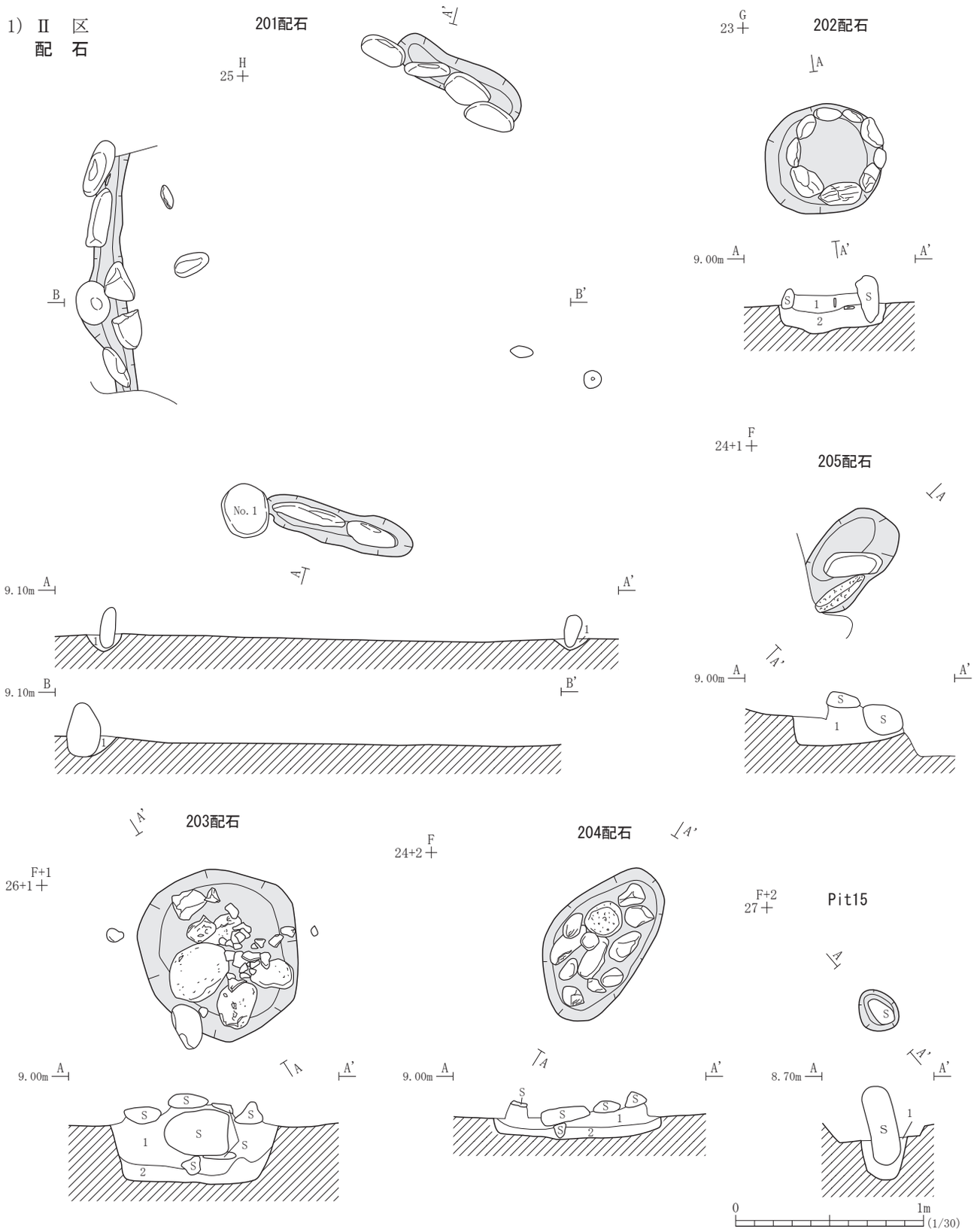


第９図　Ⅶ層遺構配置図（1）



第 10 図　Ⅶ層遺構配置図（2）ピット群

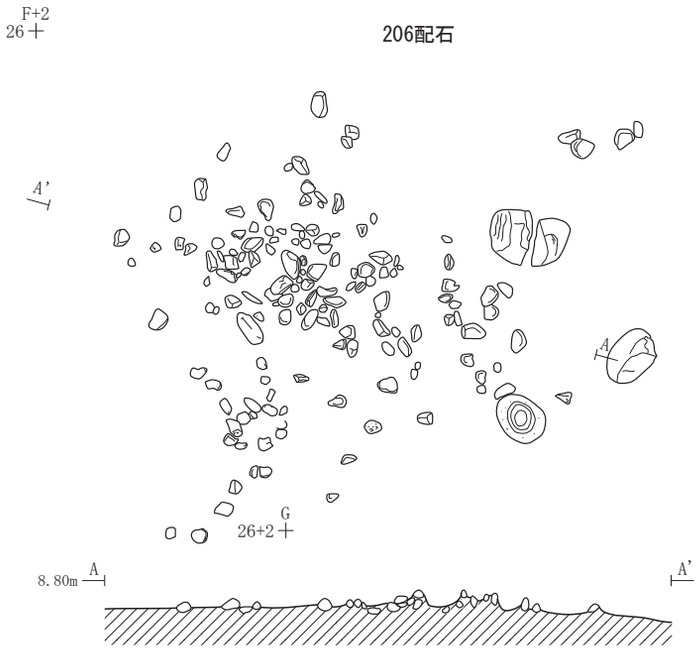
1）Ⅱ　区
配　石

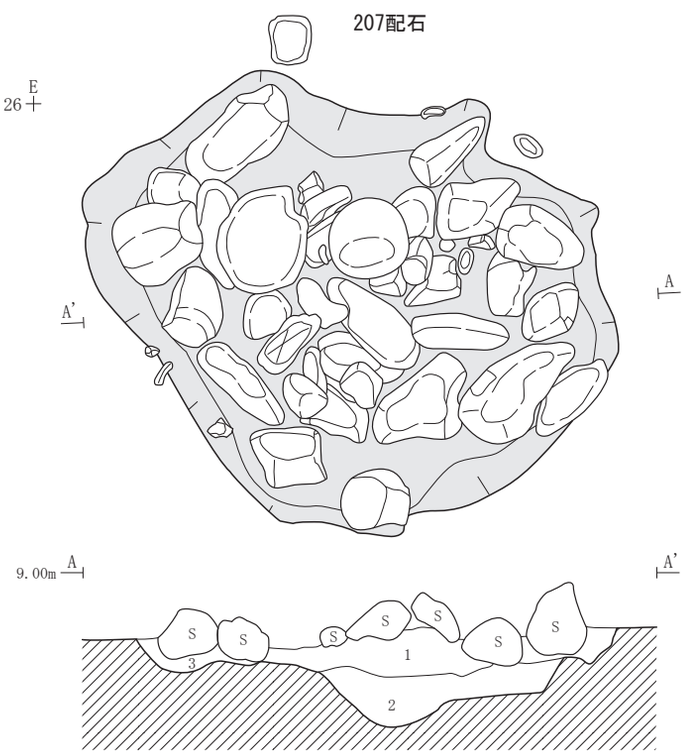


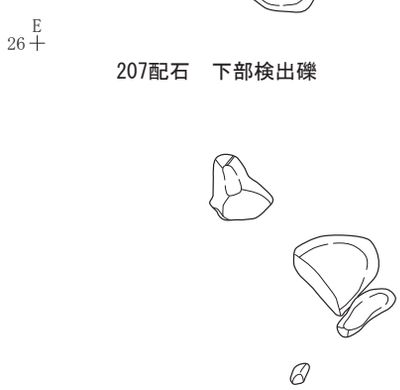
配石	層位	土　色	土　性	備　考
201	1	10YR4/2 灰黄褐	粘土質シルト	炭化物・褐色土ブロックを含む。（掘り方埋土）
202	1	7.5YR5/4 にぶい褐	シルト	炭化物・焼土ブロックを含む。
	2	7.5YR2/1 黒	シルト質粘土	炭化物・焼土斑・小礫を含む。
203	1	7.5YR3/1 黒褐	シルト	炭化物・焼土斑を多量に含む。
	2	10YR3/2 黒褐	粘土質シルト	炭化物・黄褐色土ブロックを含む。

配石	層位	土　色	土　性	備　考
204	1	10YR3/1 黒褐	シルト	炭化物・焼土ブロックを多量に含む。
	2	7.5YR2/1 黒	シルト質粘土	炭化物・小礫を含む。
205	1	7.5YR3/2 黒褐	シルト質粘土	炭化物・焼土ブロックを多量に含む。
Pit15	1	10YR3/2 黒褐	粘土質シルト	立石掘り方。炭化物を含む。

第 11 図　Ⅶ層Ⅱ区 配石（1）

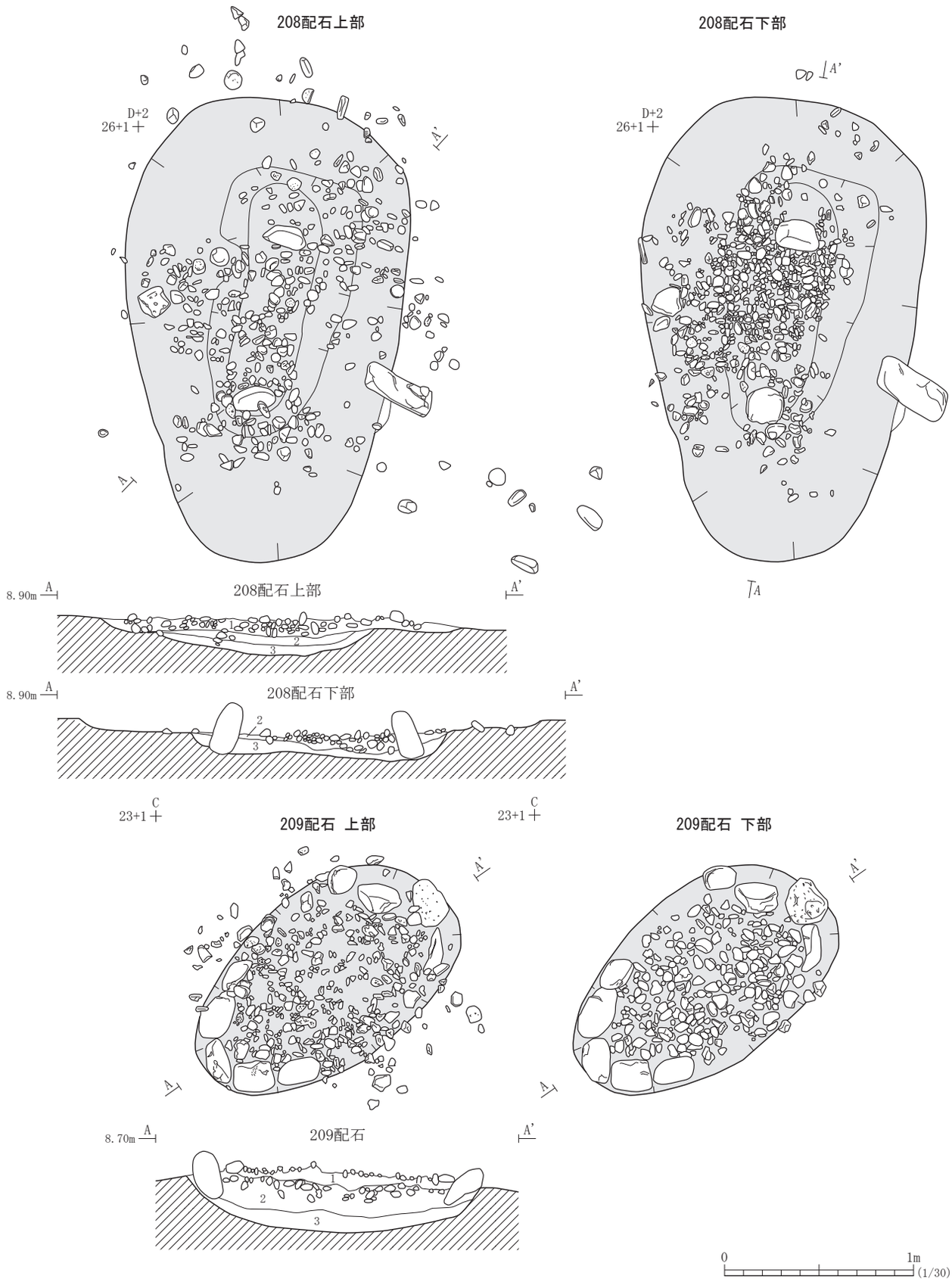






配石	層位	土　色	土　性	備　考
207	1	7.5YR3/1 黒褐	シルト質粘土	炭化物・細礫を含む。
	2	7.5YR4/3 褐	粘土	炭化物を含む。
	3	10YR6/4 にぶい黄橙	シルト質粘土	炭化物を含む。

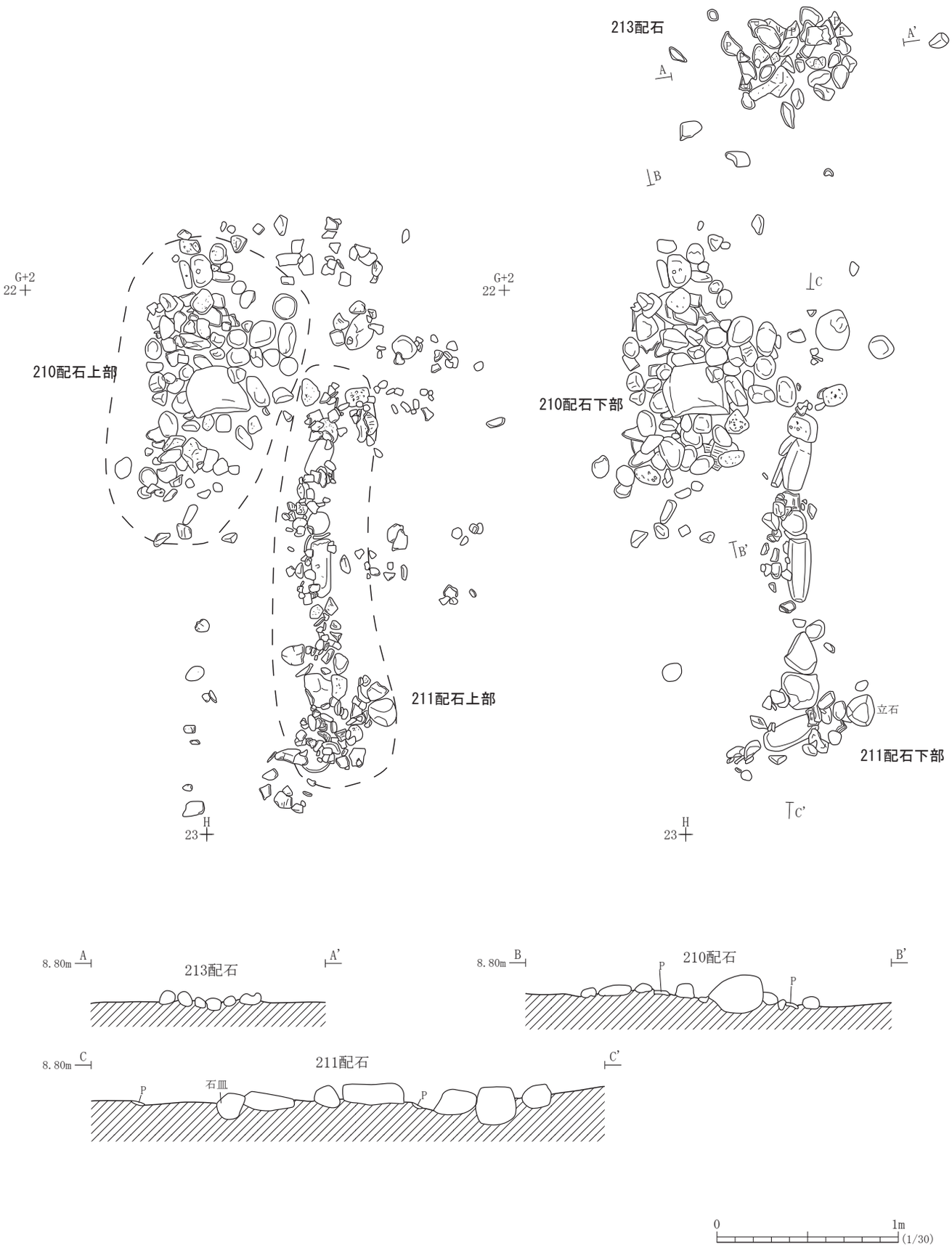
第 12 図　Ⅶ層Ⅱ区 配石（2）



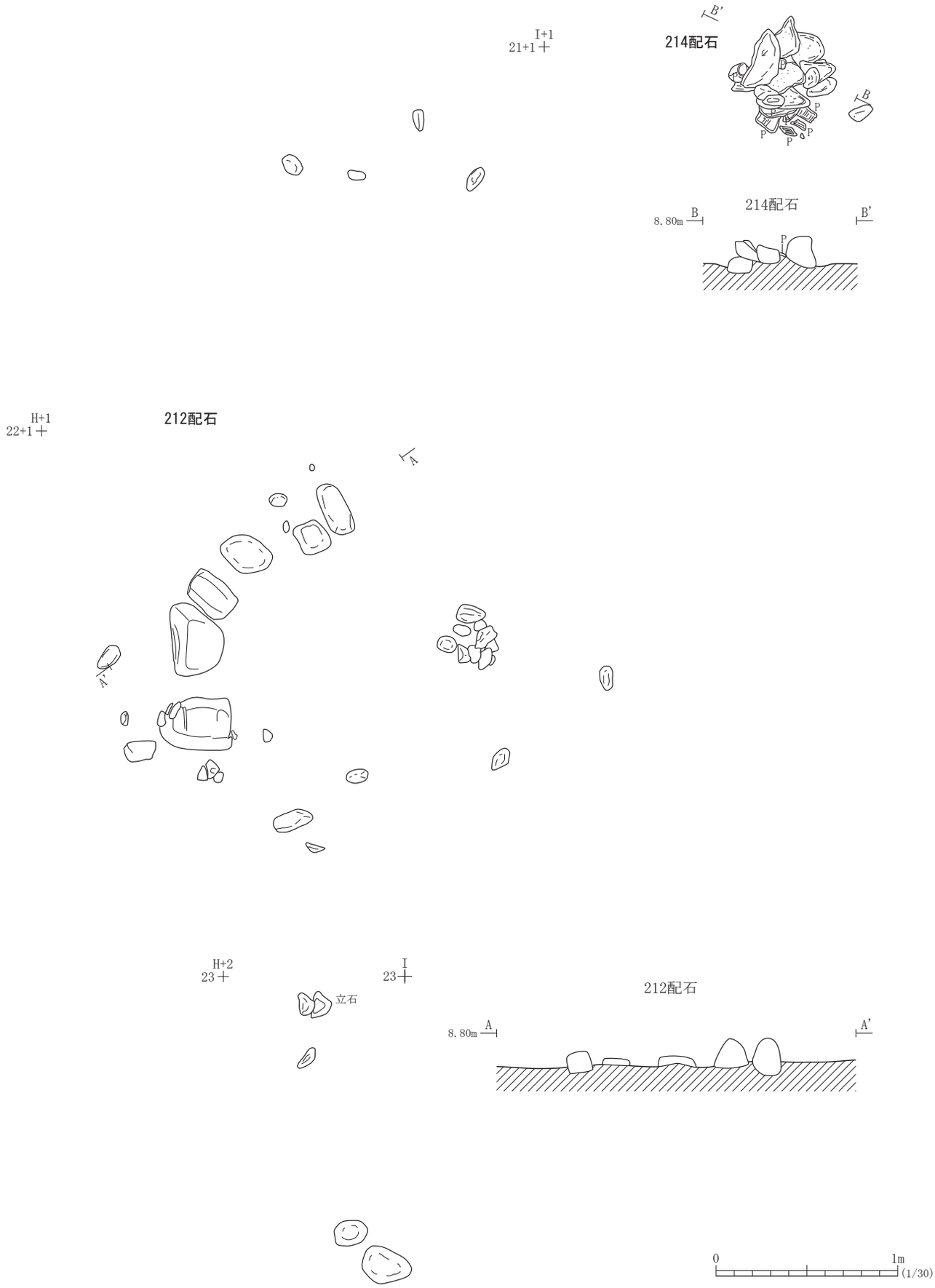
配石	層位	土　色	土　性	備　考
208	1	2.5Y3/1 黒褐	砂質シルト	炭化物・小礫を含む。Ⅴ層の土とほとんど区別できない。
	2	10YR4/3 にぶい黄褐	シルト質粘土	炭化物を含む。小礫が主体。
	3	10YR6/4 にぶい黄橙	シルト質粘土	炭化物を多量に含む。小石極少量混入。

配石	層位	土　色	土　性	備　考
209	1	10YR4/6 褐	シルト	小礫混入。
	2	10YR4/4 褐	粘土質シルト	炭化物を微量含む。
	3	10YR4/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物を微量含む。

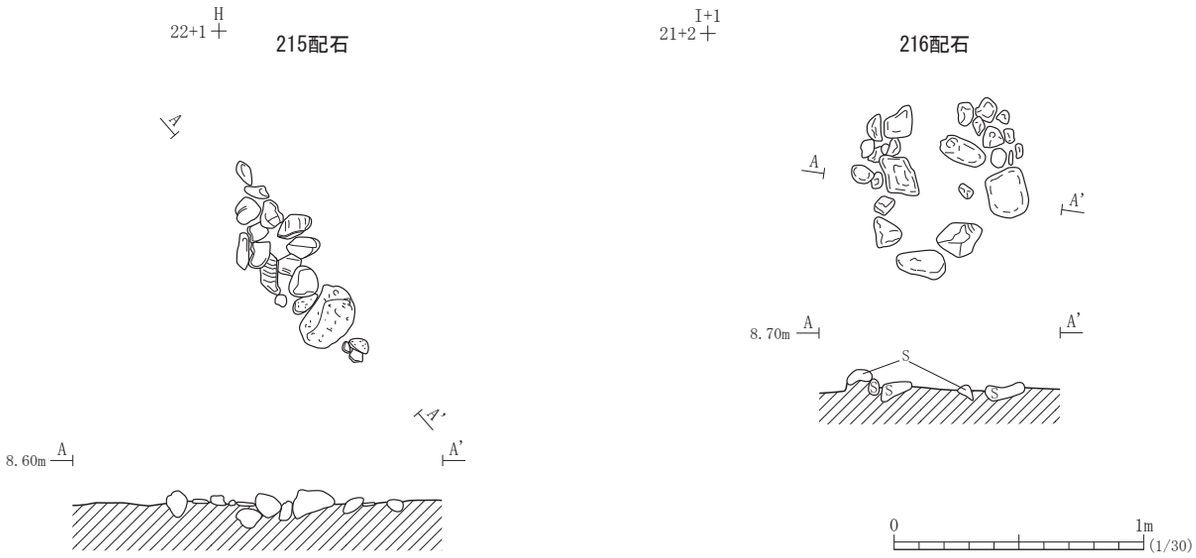
第 13 図　Ⅶ層Ⅱ区 配石（3）

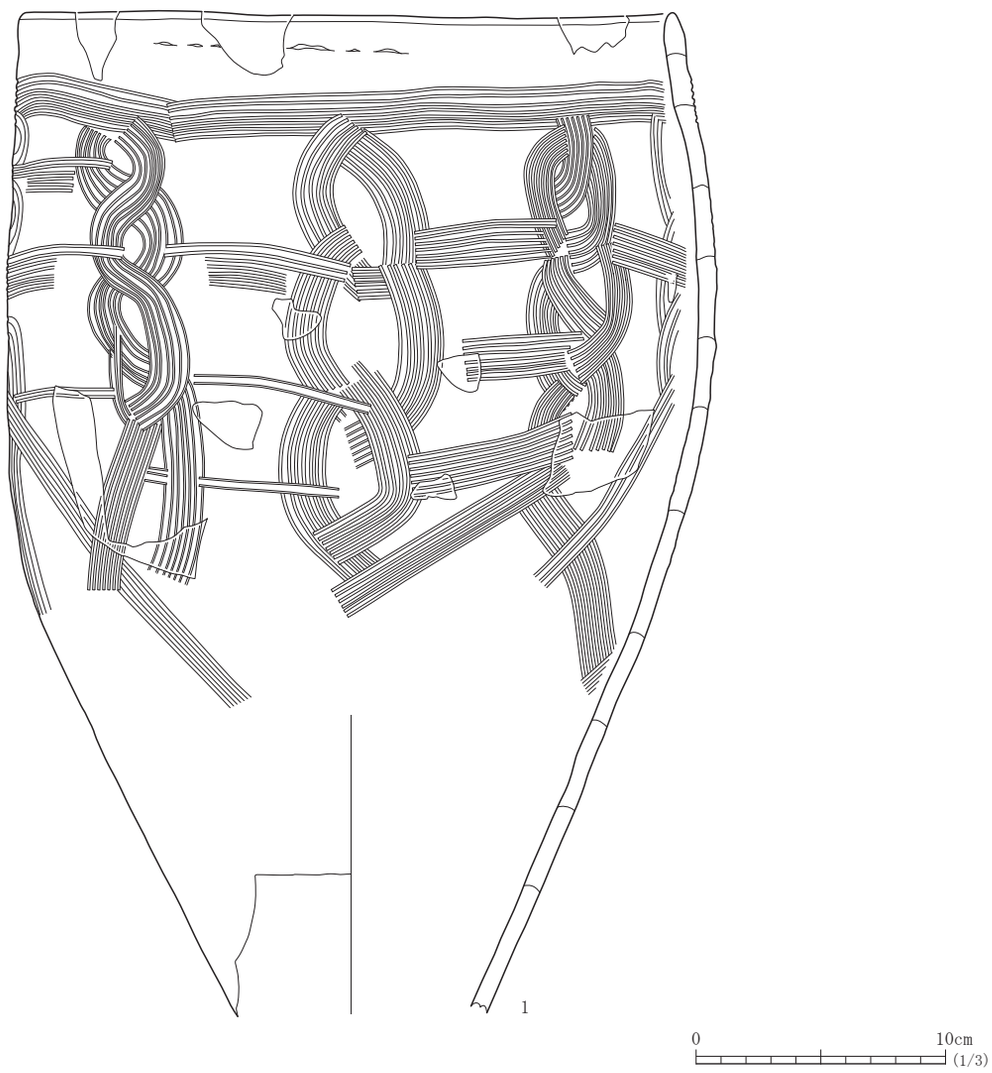


第 14 図　Ⅶ層Ⅱ区 配石（4）



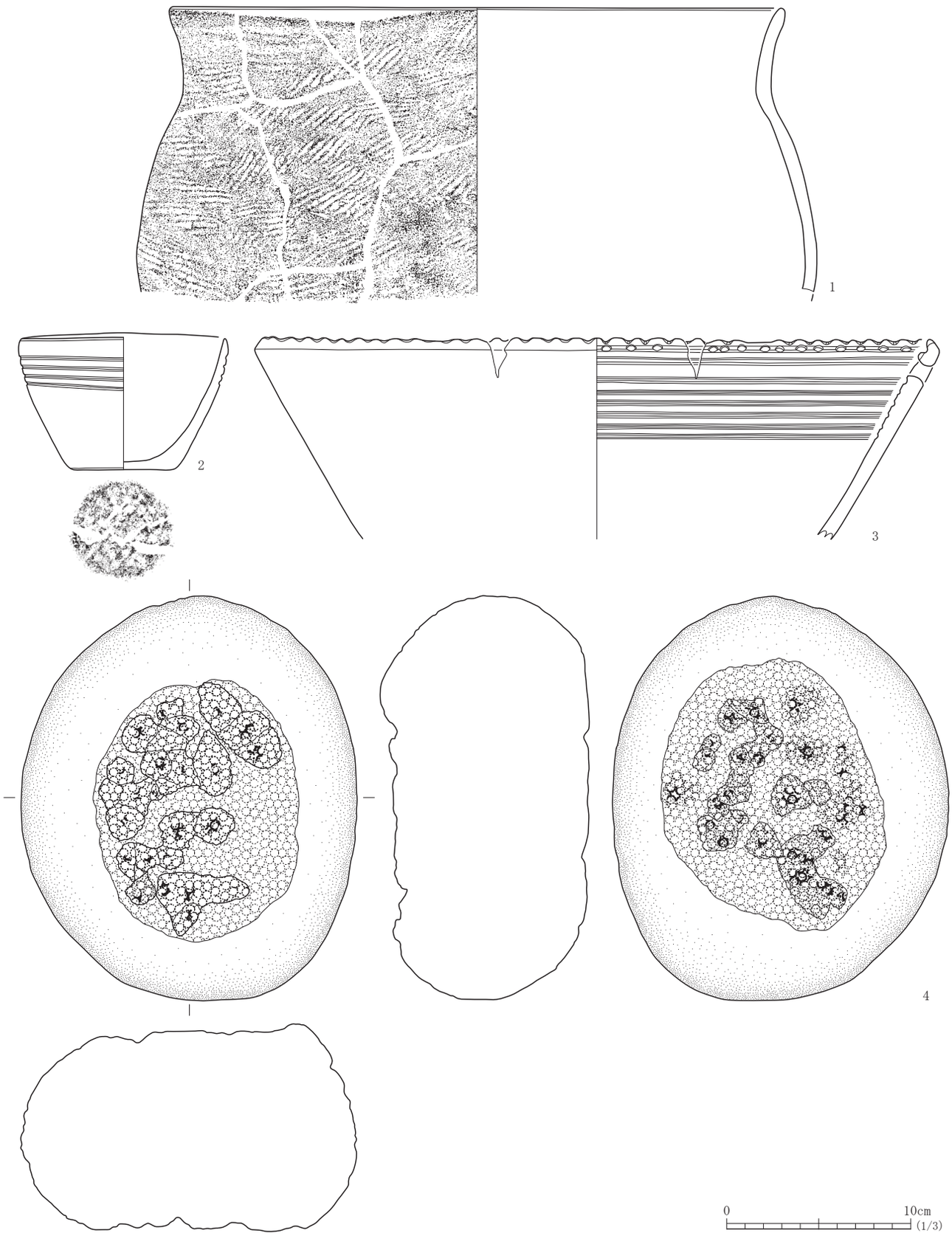
第 15 図　Ⅶ層Ⅱ区 配石（5）





No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-421	207 配石	縄文土器	深鉢	櫛歯状沈線文。		50-1

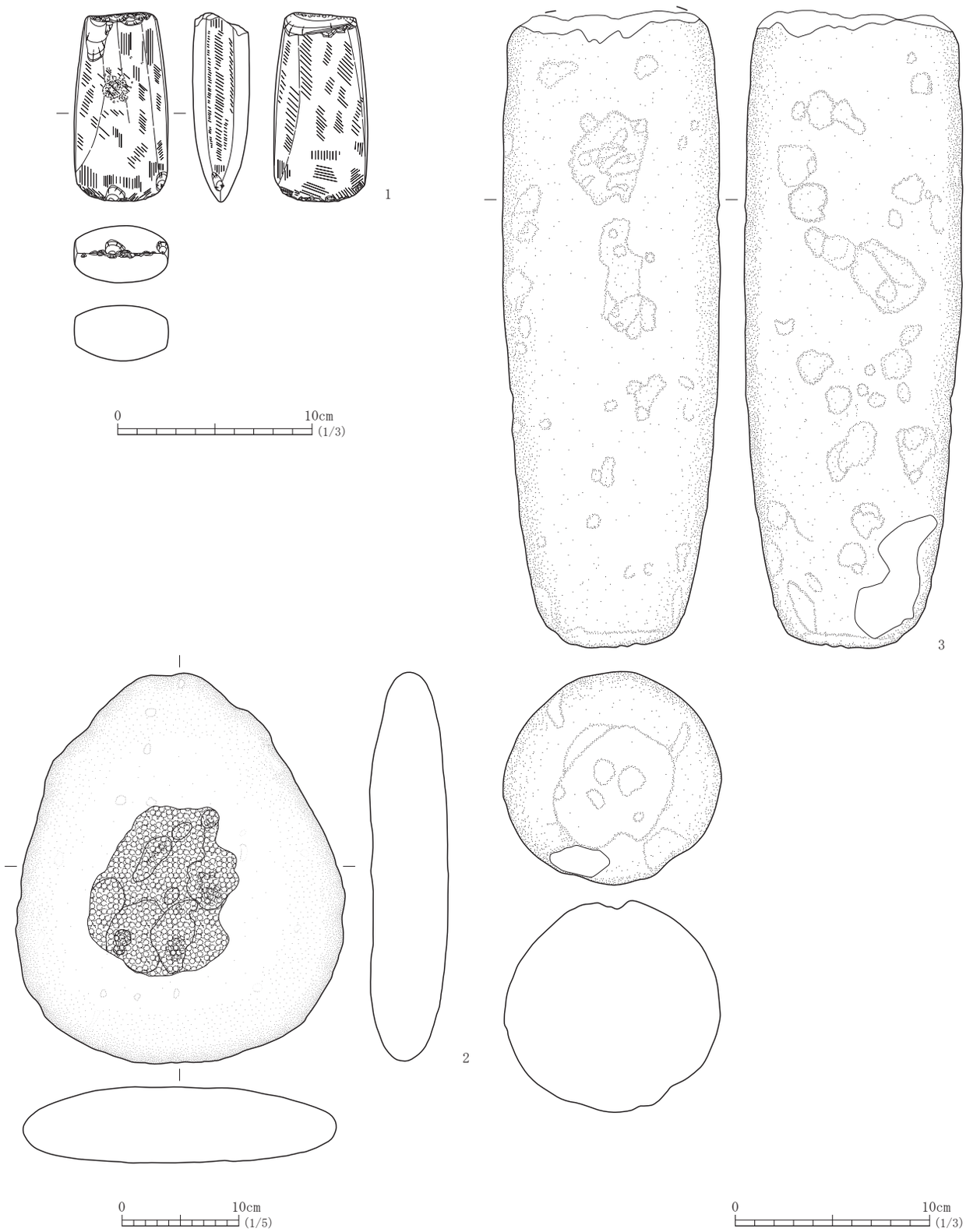
第 16 図　Ⅶ層Ⅱ区 配石（6）・配石出土遺物（1）



No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-816	207 配石	縄文土器	深鉢	縄文Ｌ横・斜位施文。		50-2
2	A-776	214 配石	縄文土器	鉢	沈線文。	底部網代痕。	50-3
3	A-782	214 配石	縄文土器	浅鉢	外面　口唇部：刻み目。内面　沈線文、円形刺突文。	波状口縁。補修孔１ヶ所残存。	-

No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備　考	写真図版
4	Kc-037	207 配石	凹石	安山岩	Kc-b	21.9	18.2	11.2	4,900.0		50-4

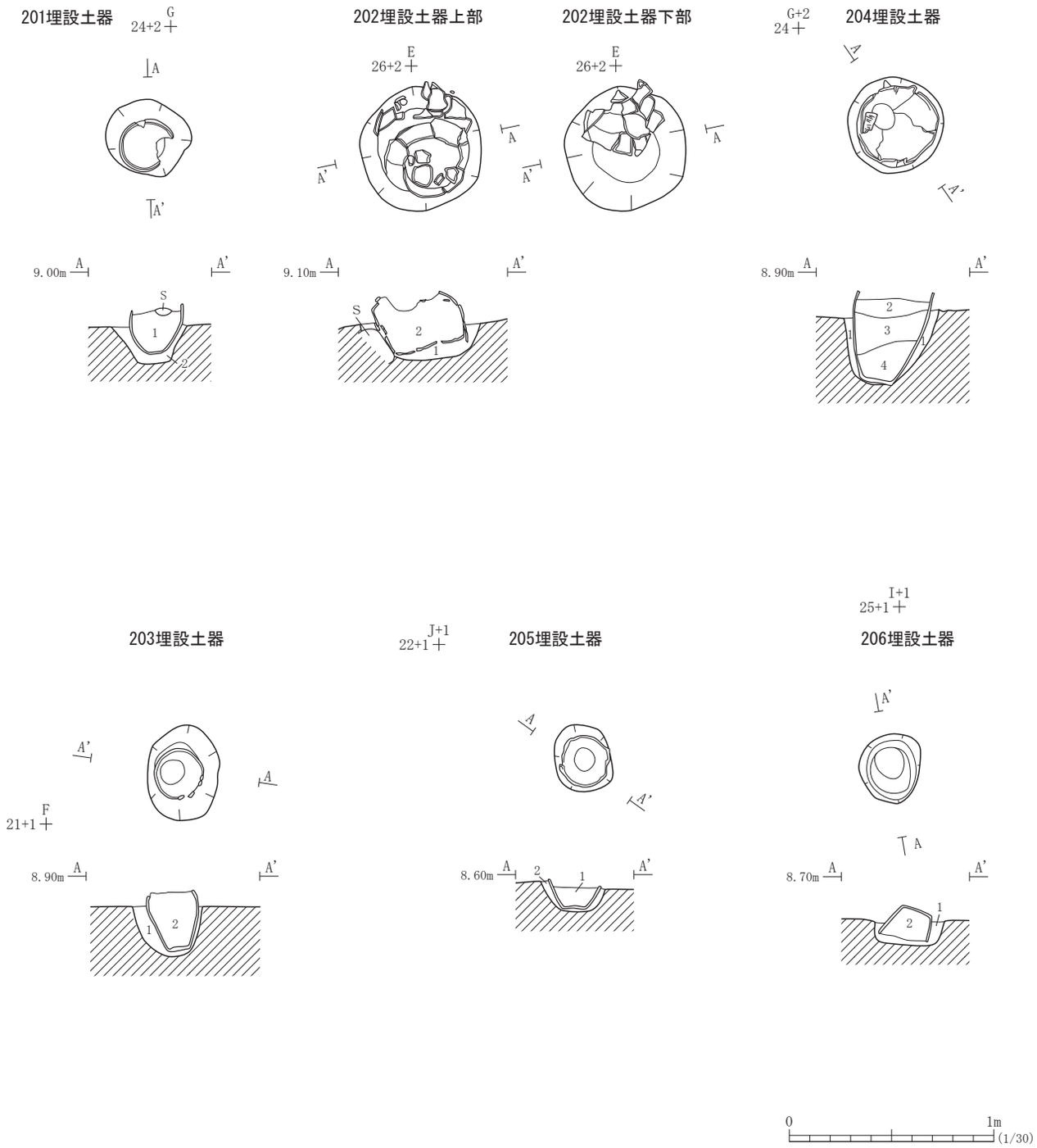
第 17 図　Ⅶ層Ⅱ区 配石出土遺物（2）



No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備　考	写真図版
1	Kb-081	211 配石	磨製石斧	凝灰岩	Kb-a	9.7	4.8	2.9	221..2		50-5
2	Kc-132	205 配石	台石	安山岩	Kc-g	33.3	28.2	6.5	7,905.0		50-6
3	Kd-001	211 配石	石棒	安山岩	Kd-b	(32.5)	11.2	10.8	(5,400.0)		50-7

第 18 図　Ⅶ層Ⅱ区 配石出土遺物 (3)

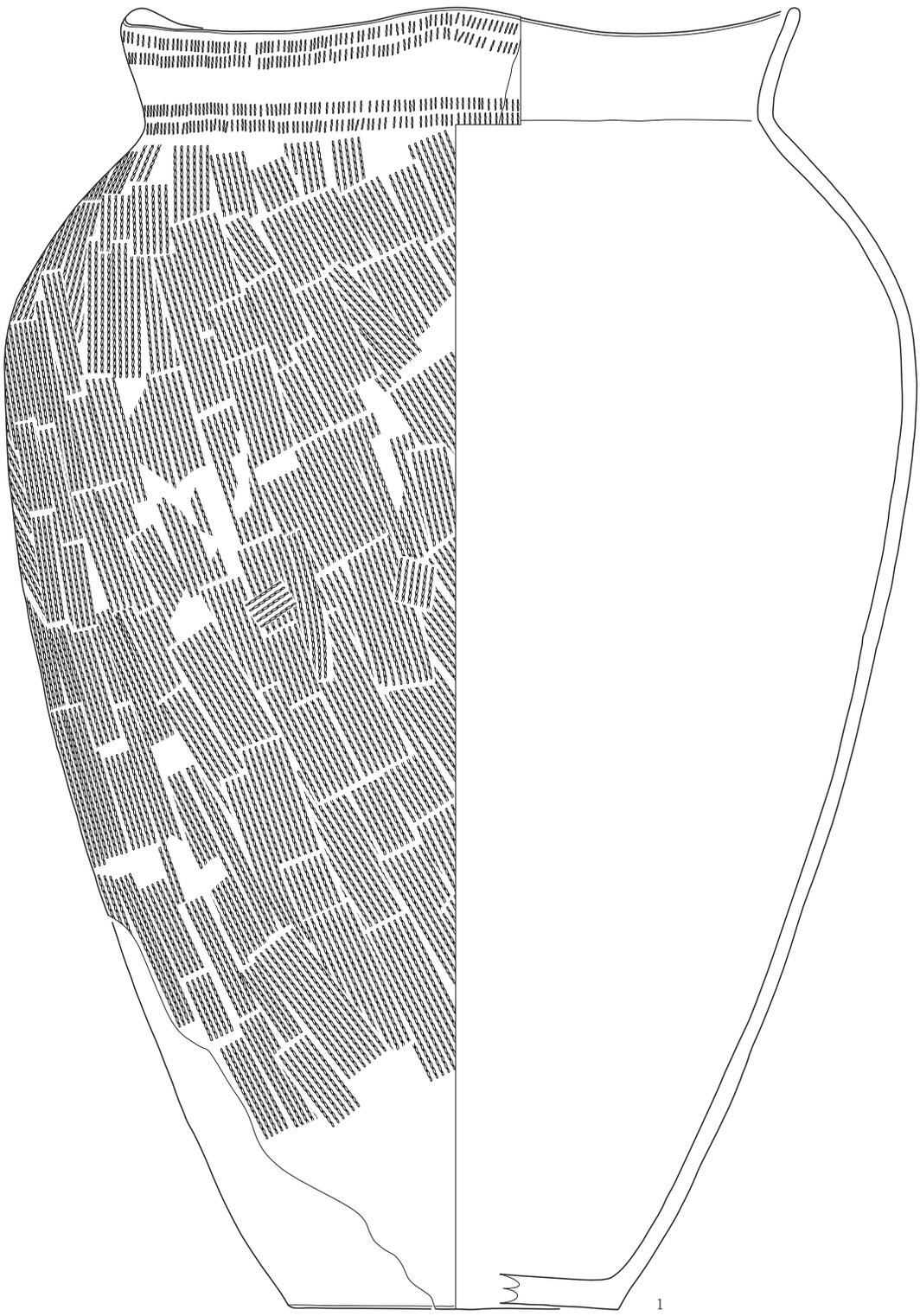
埋設土器



埋設土器	層位	土　色	土　性	備　考
201	1	10YR3/2 黒褐	砂質シルト	細骨片を含む。
	2	2.5Y2/1 黒	粘土質シルト	
202	1	2.5Y2/1 黒	シルト質粘土	炭化物を含む。
	2	2.5Y3/1 黒褐	シルト質粘土	包含層同様小骨片を含む。
203	1	7.5YR2/1 黒	粘土	炭化物・小礫斑を含む。
	2	2.5Y5/3 黄褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
204	1	10YR3/1 黒褐	粘土質シルト	
	2	10YR4/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
	3	10YR2/2 黒褐	粘土質シルト	にぶい黄褐色粘土質シルト、小礫、炭化物を多量に含む。
	4	10YR2/1 黒	粘土質シルト	炭化物を含む。

埋設土器	層位	土　色	土　性	備　考
205	1	10YR5/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物・黒褐色砂質シルトを含む。
	2	10YR6/3 にぶい黄橙	粘土質シルト	炭化物、黒褐色砂質シルトを多量に含む。
206	1	10YR6/6 明黄褐	粘土質シルト	黒褐色砂質シルト・褐色シルト・炭化物を含む。
	2	10YR7/4 にぶい黄橙	粘土質シルト	黒褐色砂質シルト・褐色シルト・炭化物を含む。

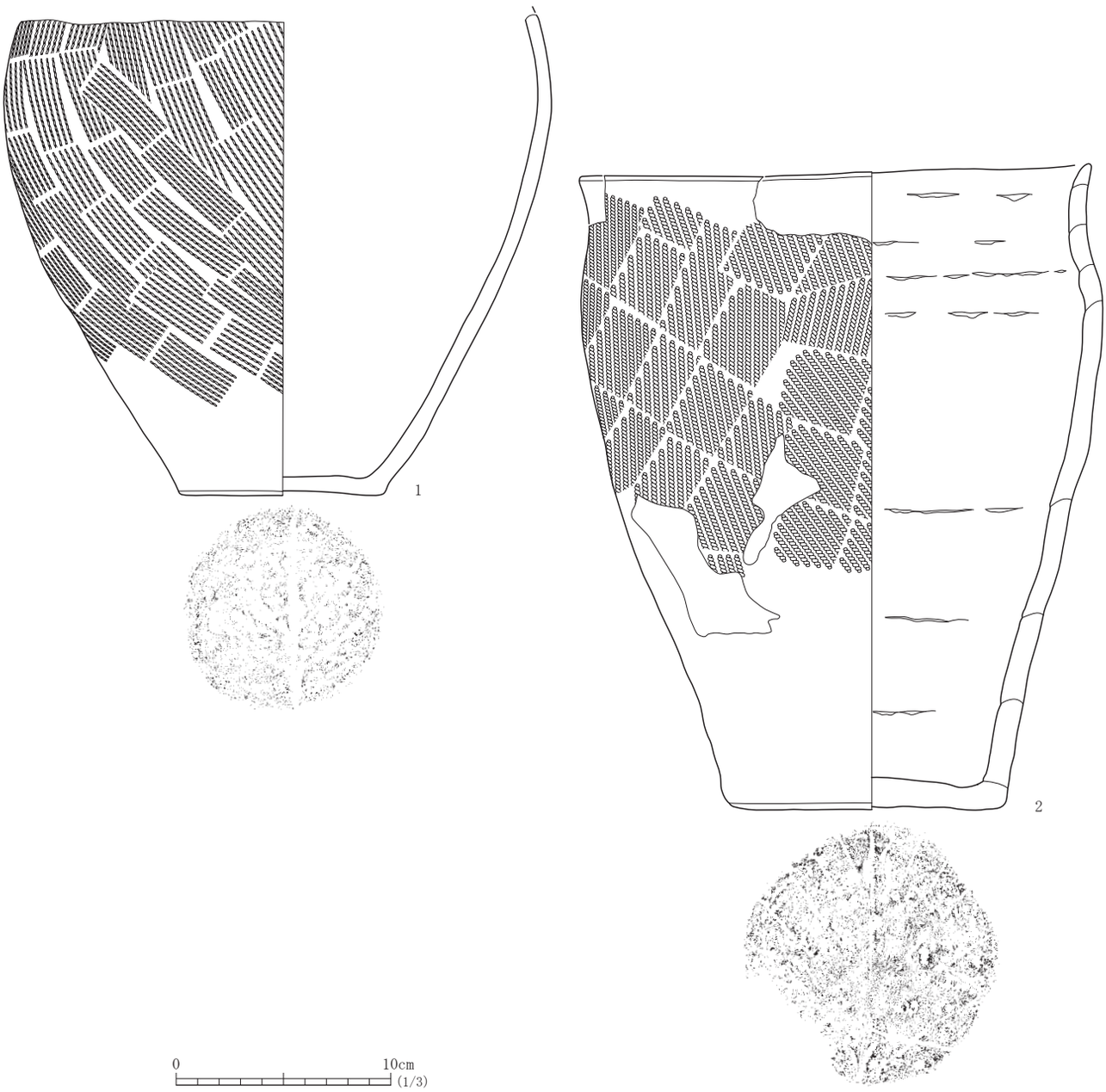
第 19 図　Ⅶ層Ⅱ区 埋設土器



0　10cm
(1/3)

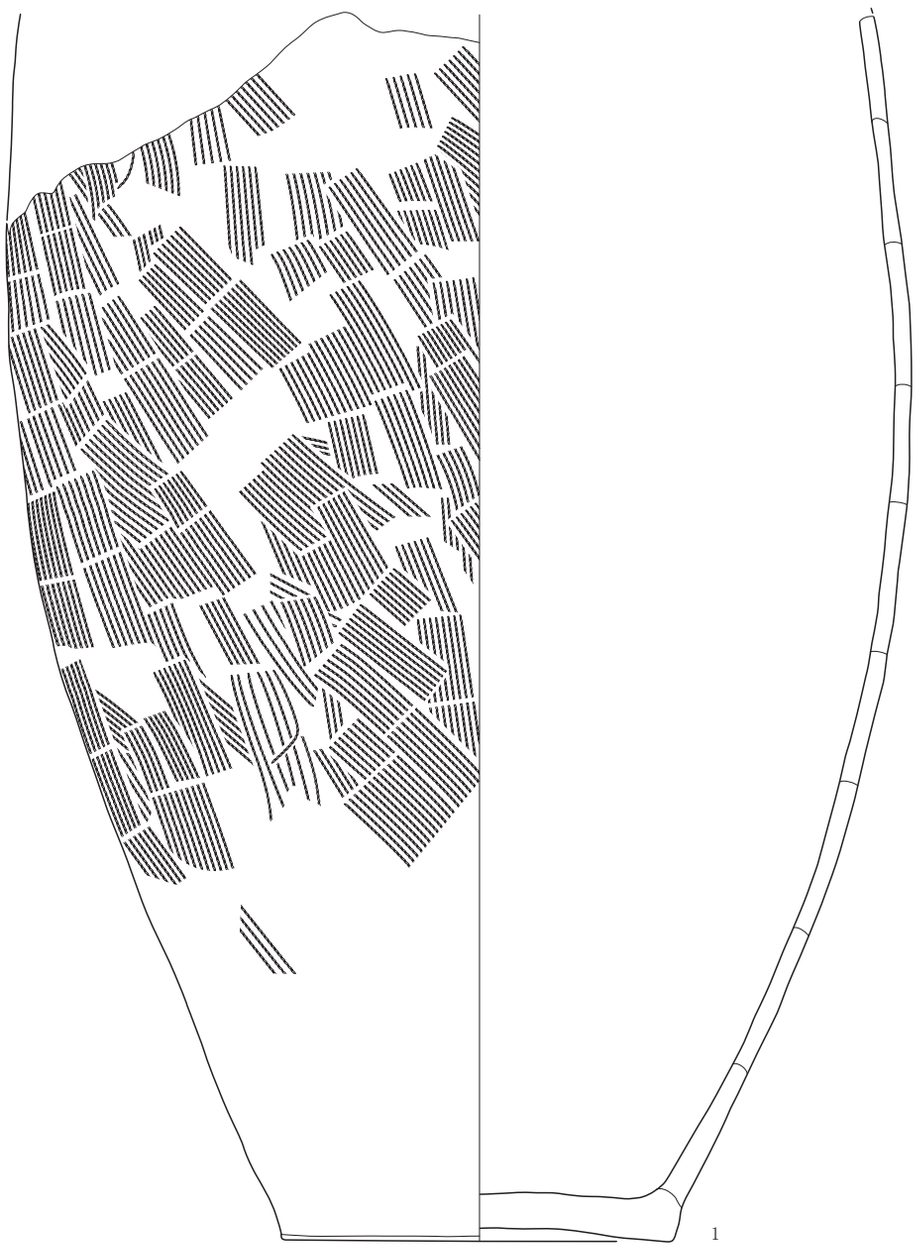
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-801	202 埋設土器	縄文土器	深鉢	口縁部・頸部：絡状体圧痕文。胴部：撚糸文 L 縦・斜位施文。	波状口縁。4 単位。	51-1

第 20 図　Ⅶ層Ⅱ区 埋設土器出土遺物（1）



No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-016	201 埋設土器	縄文土器	深鉢	撚糸文 L 斜位施文。	底部木葉痕。	-
2	A-002	203 埋設土器	縄文土器	深鉢	外面　胴部：縄文 LR 縦・斜位施文。	底部木葉痕。内面　輪積痕。	51-2

第 21 図　Ⅶ層Ⅱ区 埋設土器出土遺物（2）

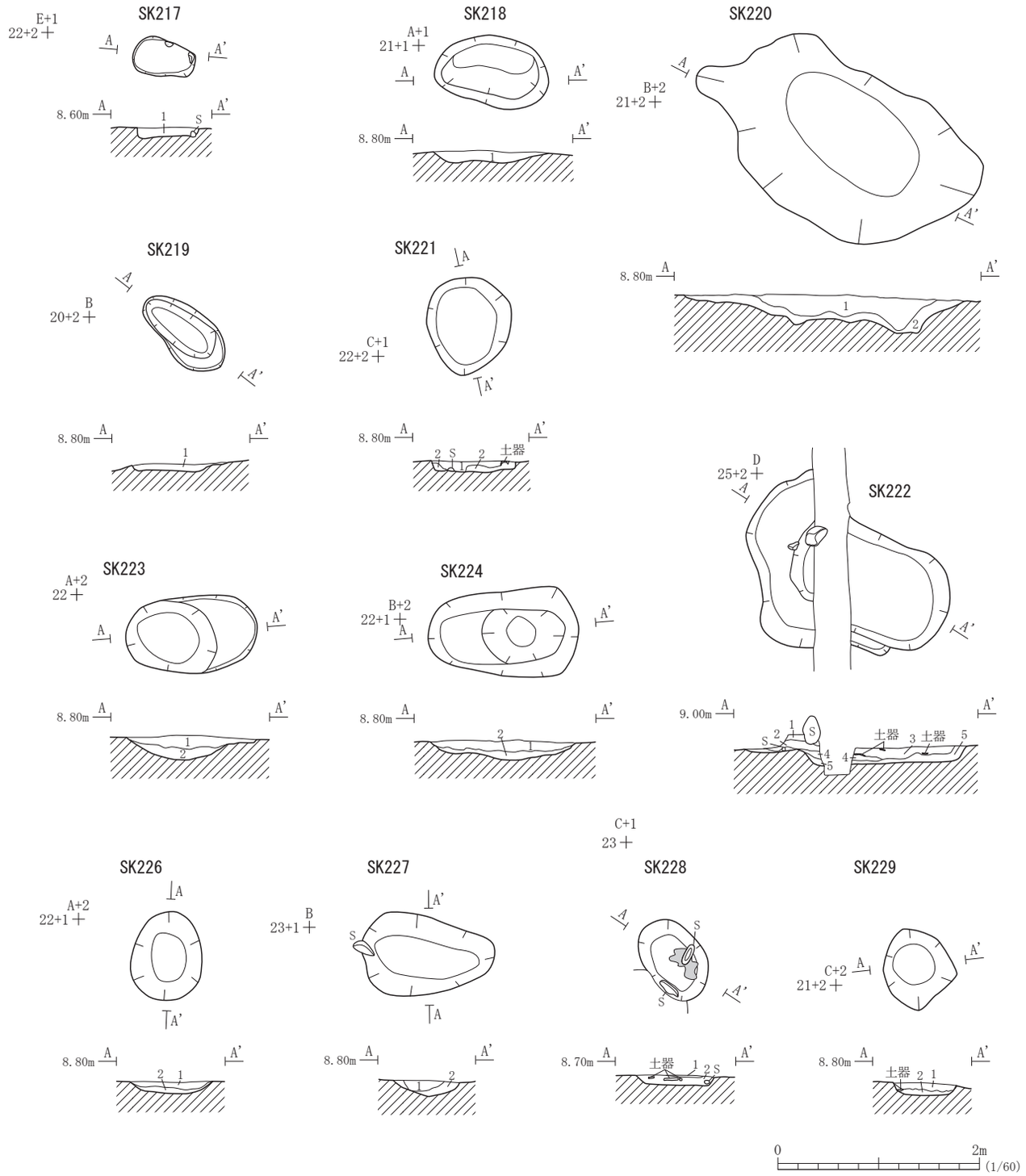


0　10cm
(1/3)

No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-183	204 埋設土器	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 縦・斜位施文。		51-3

第 22 図　Ⅶ層Ⅱ区 埋設土器出土遺物 (3)

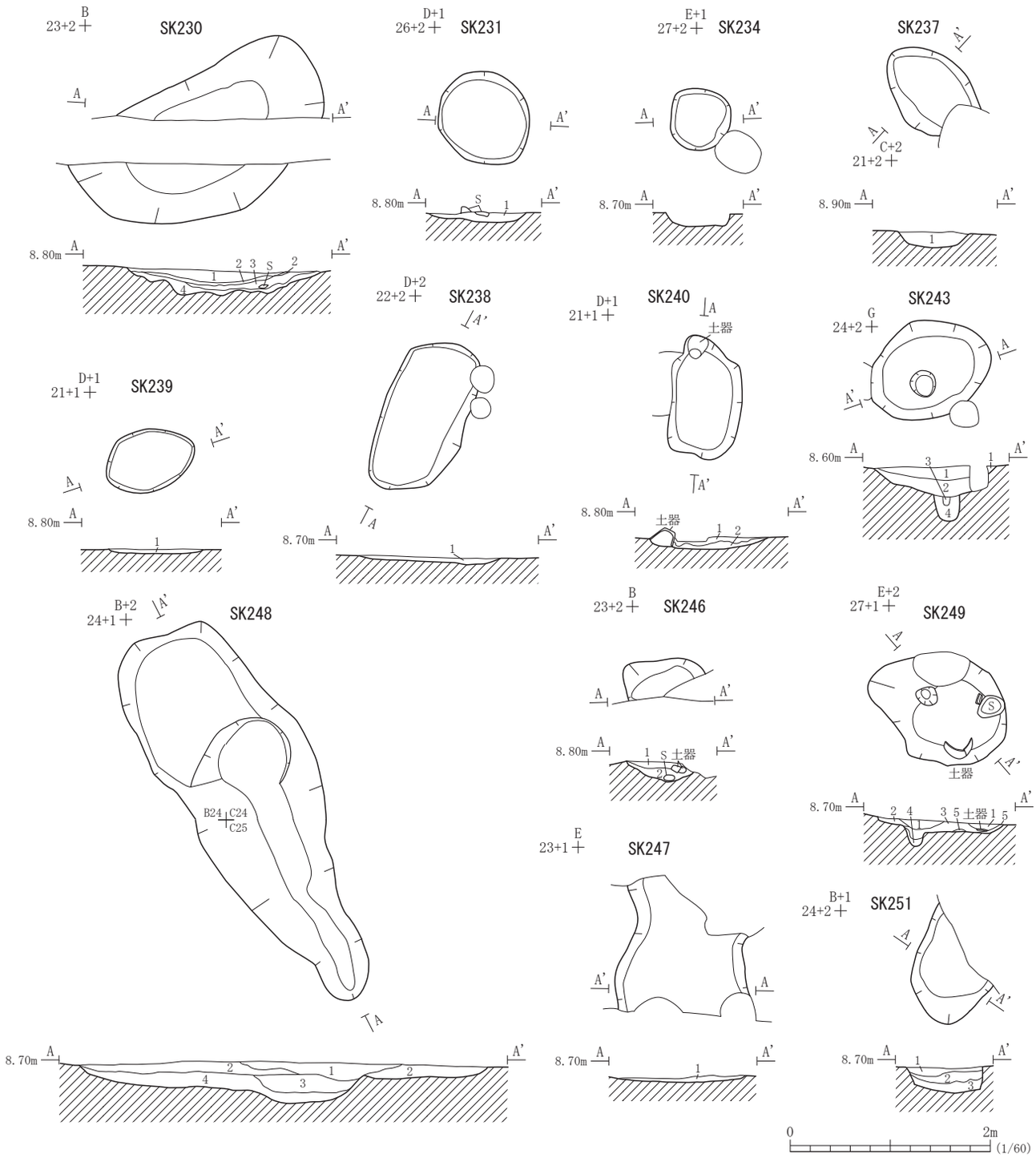
土　坑



SK	層位	土　色	土　性	備　考
217	1	10YR2/2 黒褐	シルト	砂粒多量、炭化物粒を含む。
218	1	10YR3/3 暗褐	シルト	黒褐色ブロックを少量含む。
219	1	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物粒を多量に含む。
220	1	7.5YR2/3 極暗褐	シルト	炭化物・焼土粒を含む。
	2	10YR1.7/1 黒	シルト	炭化物・焼土粒を含む。
221	1	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物粒を含む。
	2	10YR4/4 褐	シルト	黒褐色シルト粒を少量含む。
222	1	7.5YR2/1 黒	砂質シルト	炭化物、パミスを含む。
	2	10YR1.7/1 黒	砂質シルト	炭化物多量、小礫（φ数～1. 数cm）を含む。
	3	10YR4/4 褐	粘土質シルト	炭化物、小礫、骨片を含む。
	4	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物、骨片を含む。
	5	10YR4/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物、小礫を含む。

SK	層位	土　色	土　性	備　考
223	1	10YR3/3 暗褐	シルト	黒褐色シルトブロック・炭化物を少量含む。
	2	10YR4/4 褐	シルト	炭化物を少量含む。
224	1	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒を少量含む。
	2	10YR4/4 褐	シルト	黒褐色シルト粒を少量含む。
226	1	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物粒を含む。
	2	10YR4/4 褐	シルト	炭化物粒を含む。
227	1	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	黒褐色シルト粒を少量含む。
228	1	5YR4/6 赤褐	シルト	焼面。
	2	7.5YR3/4 暗褐	シルト	
229	1	10YR2/3 黒褐	シルト	明黄色粘土ブロックを含む。
	2	10YR4/4 褐	シルト	黒褐色シルト粒を含む。

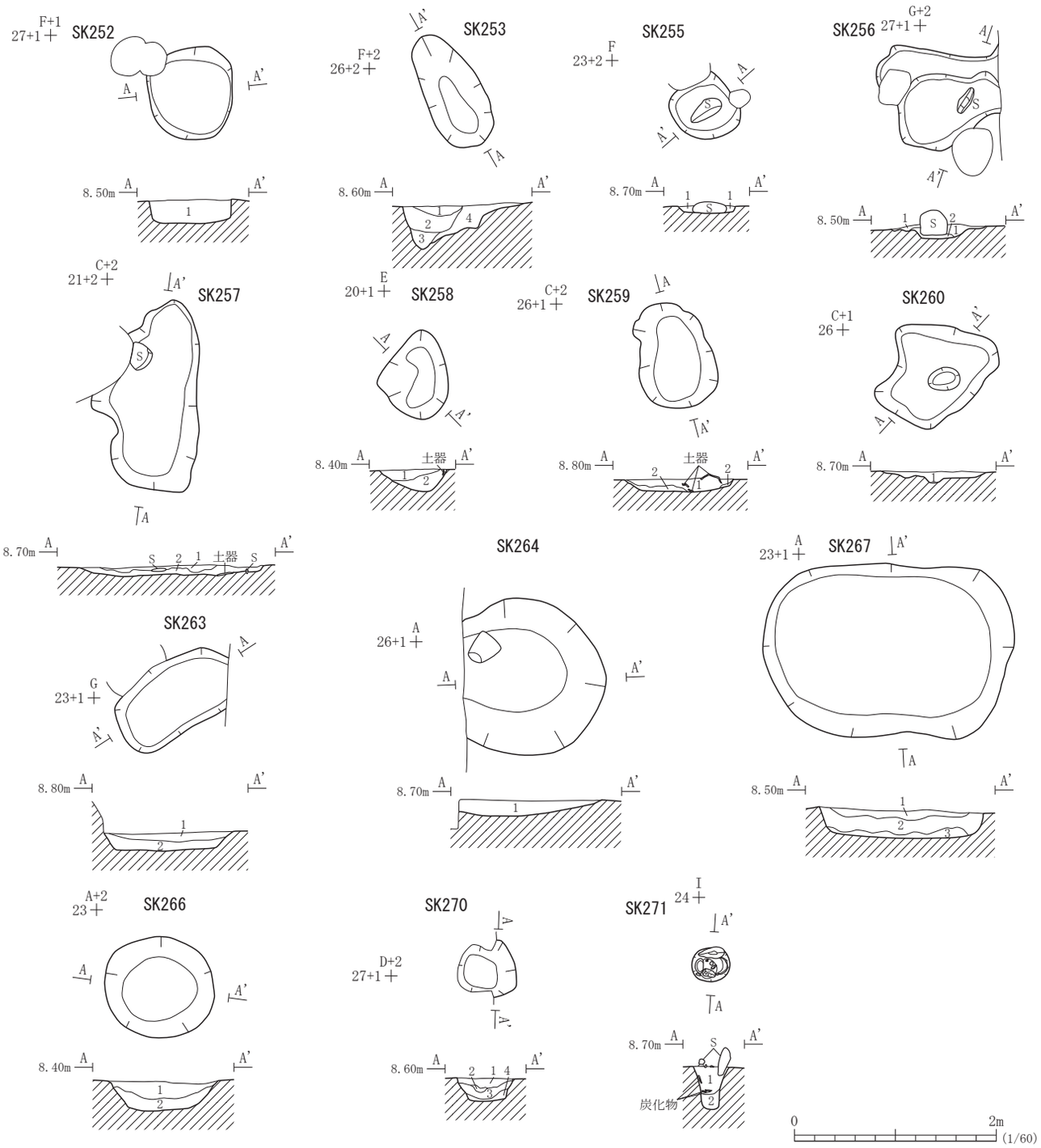
第 23 図　Ⅶ層Ⅱ区 土坑（1）



SK	層位	土　色	土　性	備　考
230	1	10YR3/2 黒褐	シルト	炭化物粒多量、骨片極多量含む。
	2	10YR4/6 褐	シルト	炭化物粒を少量含む。
	3	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒・骨片を多量に含む。
	4	10YR4/4 褐	シルト	炭化物粒を多量に含む。
231	1	7.5YR3/1 黒褐	粘土	炭化物を多量に含む。
237	1	10YR3/3 暗褐	シルト	黒褐色シルトブロック、炭化物粒を含む。
238	1	10YR3/2 黒褐	シルト	骨片を多量に含む。
239	1	10YR2/1 黒褐	シルト	炭化物粒・骨片を多量に含む。
240	1	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物粒・骨片を多量に含む。
	2	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒を少量含む。
243	1	10YR5/3 にぶい黄褐	砂質シルト	炭化物・黄褐色土斑を含む。
	2	10YR4/3 にぶい黄褐	砂質シルト	炭化物・黄褐色土斑を含む。
	3	10YR6/3 にぶい黄橙	粘土	
	4	10YR3/2 黒褐	粘土	炭化物を含む。

SK	層位	土　色	土　性	備　考
246	1	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物粒多量、骨片を微量含む。
	2	10YR5/8 黄褐	シルト	炭化物粒を少量含む。
247	1	10YR4/3 にぶい黄褐	砂質シルト	炭化物・黄褐色土を含む。
248	1	10YR5/2 灰黄褐	シルト	炭化物を含む。
	2	2.5Y6/3 にぶい黄	シルト	炭化物を含む。
	3	2.5Y5/3 黄褐	シルト	炭化物を含む。
	4	2.5Y6/4 にぶい黄	シルト	炭化物を含む。
249	1	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物・骨片を含む。
	2	10YR4/3 にぶい黄褐	シルト	炭化物を含む。
	3	10YR1.7/1 黒	シルト	炭化物を多量に含む。
	4	10YR3/4 暗褐	粘土質シルト	
	5	10YR4/4 褐	シルト	炭化物を少量含む。
251	1	7.5YR5/4 にぶい褐	シルト	炭化物を含む。
	2	7.5YR5/3 にぶい褐	シルト	炭化物を含む。
	3	10YR5/4 にぶい黄褐	シルト	炭化物を含む。

第 24 図　Ⅶ層Ⅱ区 土坑（2）

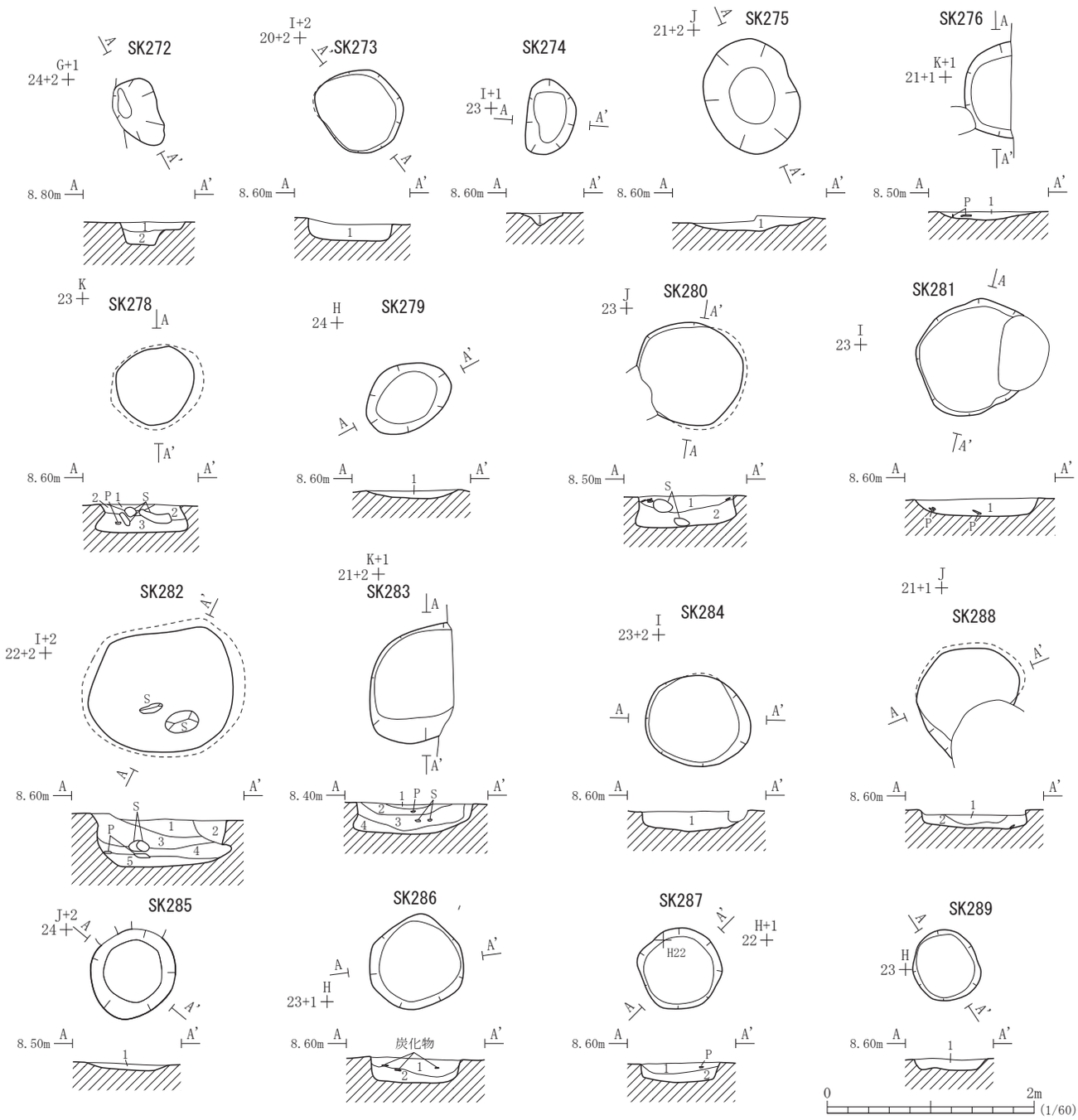


SK	層位	土　色	土　性	備　考
252	1	10YR4/2 灰黄褐	粘土質シルト	黄褐色土・炭化物を含む。
253	1	2.5Y6/4 にぶい黄	粘土質シルト	黄褐色土ブロックを含む。
	2	2.5Y5/3 黄褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
	3	2.5Y5/4 黄褐	粘土	
	4	7.5YR4/2 灰褐	粘土質シルト	炭化物・焼土を含む。
255	1	10YR4/4 褐 10YR2/2 黒褐	シルト 砂質シルト	炭化物・小礫（φ 5 ㎜～ 1 ㎝）を含む。
256	1	10YR6/3 にぶい黄橙	粘土質シルト	
	2	7.5YR6/3 にぶい褐	粘土質シルト	
257	1	2.5Y3/1 黒褐	砂質シルト	炭化物を含む。
	2	2.5Y5/3 黄褐	粘土質シルト	
258	1	7.5YR3/4 暗褐	シルト	炭化物、焼土を微量含む。
	2	10YR3/3 暗褐	粘土質シルト	炭化物を多量に含む。
259	1	10YR2/2 黒褐	砂質シルト	炭化物・小礫（φ 1 ～ 3 ㎝）を含む。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物・小礫（φ 1 ～ 3 ㎝）を微量含む。
260	1	5YR3/2 暗赤褐	粘土質シルト	炭多量、暗褐色土を含む。

SK	層位	土　色	土　性	備　考
263	1	10YR3/1 黒褐	粘土	炭化物を含む。
	2	10YR3/2 黒褐	粘土	暗褐色粘土を含む。
264	1	7.5YR4/3 褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
266	1	10YR4/4 褐	砂質シルト	
	2	10YR3/4 暗褐色	砂質シルト	炭化物を微量含む。
267	1	10YR6/4 にぶい黄橙	粘土質シルト	
	2	10YR5/3 にぶい黄褐	粘土	黄褐色土ブロック・炭化物を含む。
	3	10YR6/3 にぶい黄橙	粘土	
270	1	10YR6/4 にぶい黄橙	粘土質シルト	炭化物を含む。
	2	10YR6/3 にぶい黄橙	砂質シルト	
	3	10YR5/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
	4	10YR5/3 にぶい黄褐	砂質シルト	炭化物を含む。
271	1	10YR2/2 黒褐	シルト質粘土	炭化物を多量に含む。
	2	7.5YR5/4 にぶい褐	シルト質粘土	炭化物・褐色シルトを含む。

第 25 図　Ⅶ層Ⅱ区 土坑（3）

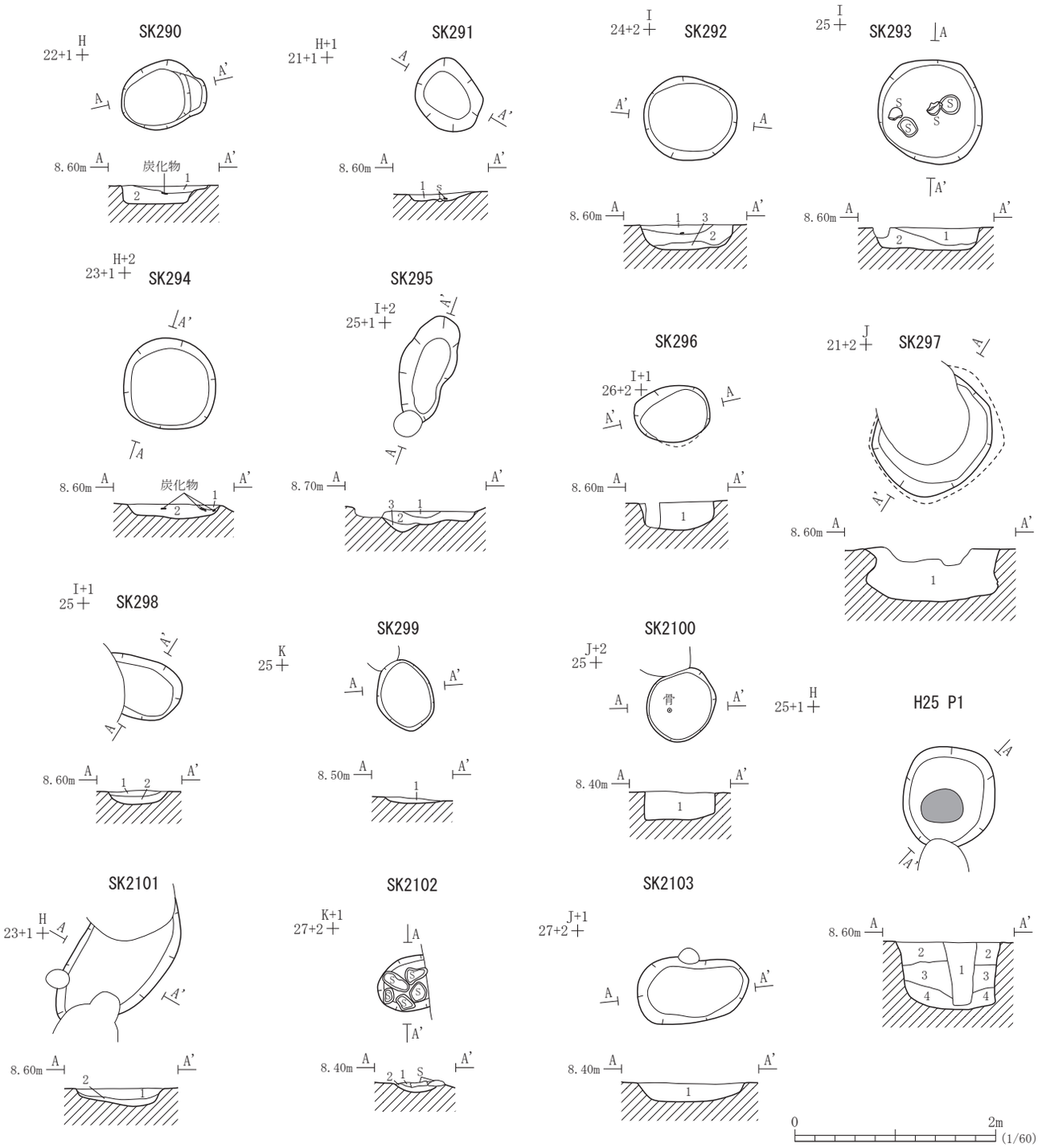
1. Ⅶ　層



SK	層位	土　色	土　性	備　考
272	1	10YR4/2 灰黄褐	粘土質シルト	炭化物を多量に含む。
	2	10YR3/2 黒褐	粘土質シルト	炭化物を多量に含む。
273	1	10YR5/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物・細石を含む。
274	1	10YR3/1 黒褐	粘土質シルト	炭化物を多量に含む。
275	1	10YR4/2 灰黄褐	粘土質シルト	炭化物を多量に含む。
276	1	10YR3/1 黒褐	粘土質シルト	炭化物・細礫を含む。
278	1	10YR3/3 暗褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
	2	10YR3/1 黒褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
	3	10YR3/1 黒褐	粘土質シルト	炭化物、褐色シルトを多量に含む。
279	1	10YR5/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物・焼土を含む。
280	1	7.5YR5/3 にぶい褐	砂質シルト	大きめの炭化物を含む。
	2	7.5YR4/4 褐	粘土質シルト	炭化物・焼土ブロックを多量に含む。
281	1	10YR6/3 にぶい黄橙	粘土質シルト	炭化物・暗褐色土を含む。
282	1	7.5YR6/4 にぶい橙	砂質シルト	炭化物・焼土を含む。
	2	7.5YR5/4 にぶい褐	粘土質シルト	炭化物・焼土を含む。
	3	7.5YR4/3 褐	粘土質シルト	炭化物・焼土・黒褐色砂質シルト斑を含む。
	4	7.5YR4/3 褐	粘土質シルト	炭化物・焼土、黒褐色砂質シルトブロックを多量に含む。
	5	7.5YR4/4 褐	粘土質シルト	炭化物・焼土、黒褐色砂質シルトブロックを多量に含む。

SK	層位	土　色	土　性	備　考
283	1	10YR7/4 にぶい黄橙	粘土質シルト	黒褐色砂質シルトを含む。
	2	10YR6/4 にぶい黄橙	粘土質シルト	炭化物を含む。
	3	10YR4/2 灰黄褐	粘土質シルト	炭化物・焼土・黄褐色シルト質砂を含む。
	4	10YR5/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物・黒褐色砂質シルトを含む。
284	1	10YR5/4 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物・黒褐色砂質シルトを含む。
285	1	10YR3/1 黒褐	砂質シルト	炭化物・細礫を含む。
286	1	10YR6/4 にぶい黄橙	粘土質シルト	炭化物を含む。
	2	10YR5/4 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
287	1	10YR6/4 にぶい黄橙	粘土質シルト	炭化物を含む。
	2	10YR5/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
288	1	10YR7/4 にぶい黄橙	粘土質シルト	炭化物・褐色シルトを含む。
	2	10YR4/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物・褐色シルトを含む。
289	1	10YR3/1 黒褐	粘土質シルト	炭化物・黄褐色シルト質砂を含む。

第 26 図　Ⅶ層Ⅱ区 土坑（4）

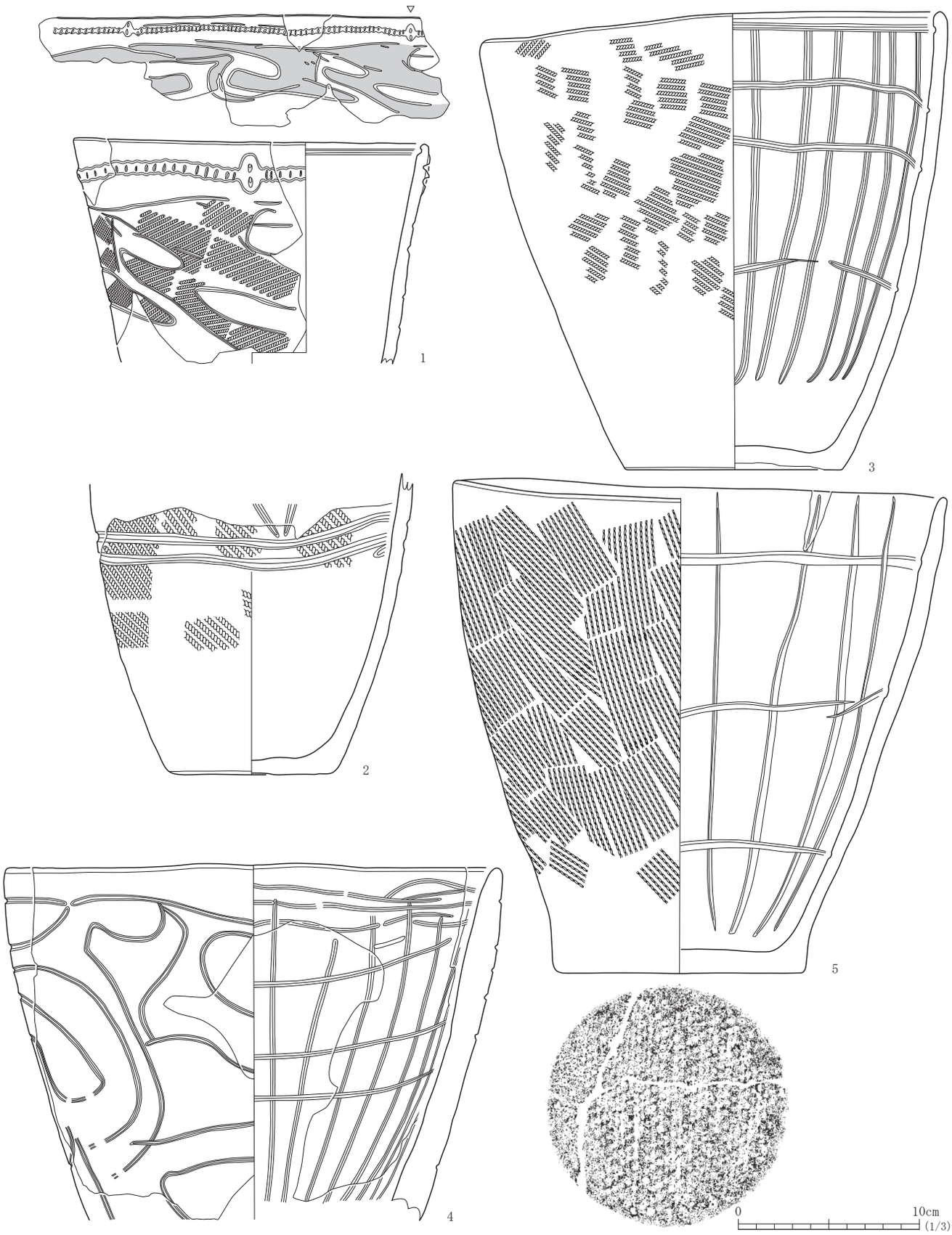


SK	層位	土　色	土　性	備　考
290	1	10YR5/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物・黄褐色シルト質砂を含む。
	2	10YR6/3 にぶい黄橙	粘土質シルト	炭化物を含む。
291	1	10YR5/4 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物・焼土を含む。
292	1	10YR7/3 にぶい黄橙	砂質シルト	炭化物・黒褐色砂質シルトを多量に含む。
	2	10YR4/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物・黒褐色砂質シルトを含む。
	3	10YR3/3 暗褐	粘土質シルト	炭化物・黒褐色砂質シルトを含む。
293	1	10YR6/6 明黄褐	粘土質シルト	炭化物・黒褐色砂質シルトを含む。
	2	10YR4/4 褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
294	1	10YR7/3 にぶい黄橙	粘土質シルト	炭化物・黒褐色砂質シルトを多量に含む。
	2	10YR4/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
295	1	10YR6/4 にぶい黄橙	粘土質シルト	
	2	10YR4/2 灰黄褐	粘土質シルト	炭化物・焼土を少量含む。
	3	10YR5/4 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物・焼土を少量含む。
296	1	10YR5/4 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物・細礫を含む。
297	1	10YR5/4 にぶい黄褐	粘土質シルト	暗褐色土ブロック・黒褐色土ブロック・粘土ブロックを含む。壁際に崩れた土あり。

SK	層位	土　色	土　性	備　考
298	1	10YR4/2 灰黄褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
	2	10YR6/4 にぶい黄橙	粘土質シルト	黒褐色砂質シルトを多量に含む。
299	1	10YR5/4 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物・細礫を含む。比較的大きめの骨が出土。
2100	1	10YR4/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	焼土・炭化物を多量に含む。大きめの骨片多量出土。
2101	1	10YR5/1 褐灰	粘土質シルト	炭化物を少量含む。
	2	10YR4/3 にぶい黄褐	シルト質粘土	
2102	1	10YR3/1 黒褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
	2	10YR4/3 にぶい黄褐	砂質シルト	炭化物を含む。
2103	1	10YR4/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
H25P1	1	10YR3/2 黒褐	粘土質シルト	炭化物を含む。柱痕跡。
	2	10YR6/4 にぶい黄橙	粘土質シルト	暗褐色土と互層。
	3	10YR7/4 にぶい黄橙	シルト質砂	褐色砂質シルトと暗褐色土互層。
	4	10YR7/3 にぶい黄橙	粘土質シルト	暗褐色土と互層。

第 27 図　Ⅶ層Ⅱ区 土坑（5）

1. Ⅶ　層



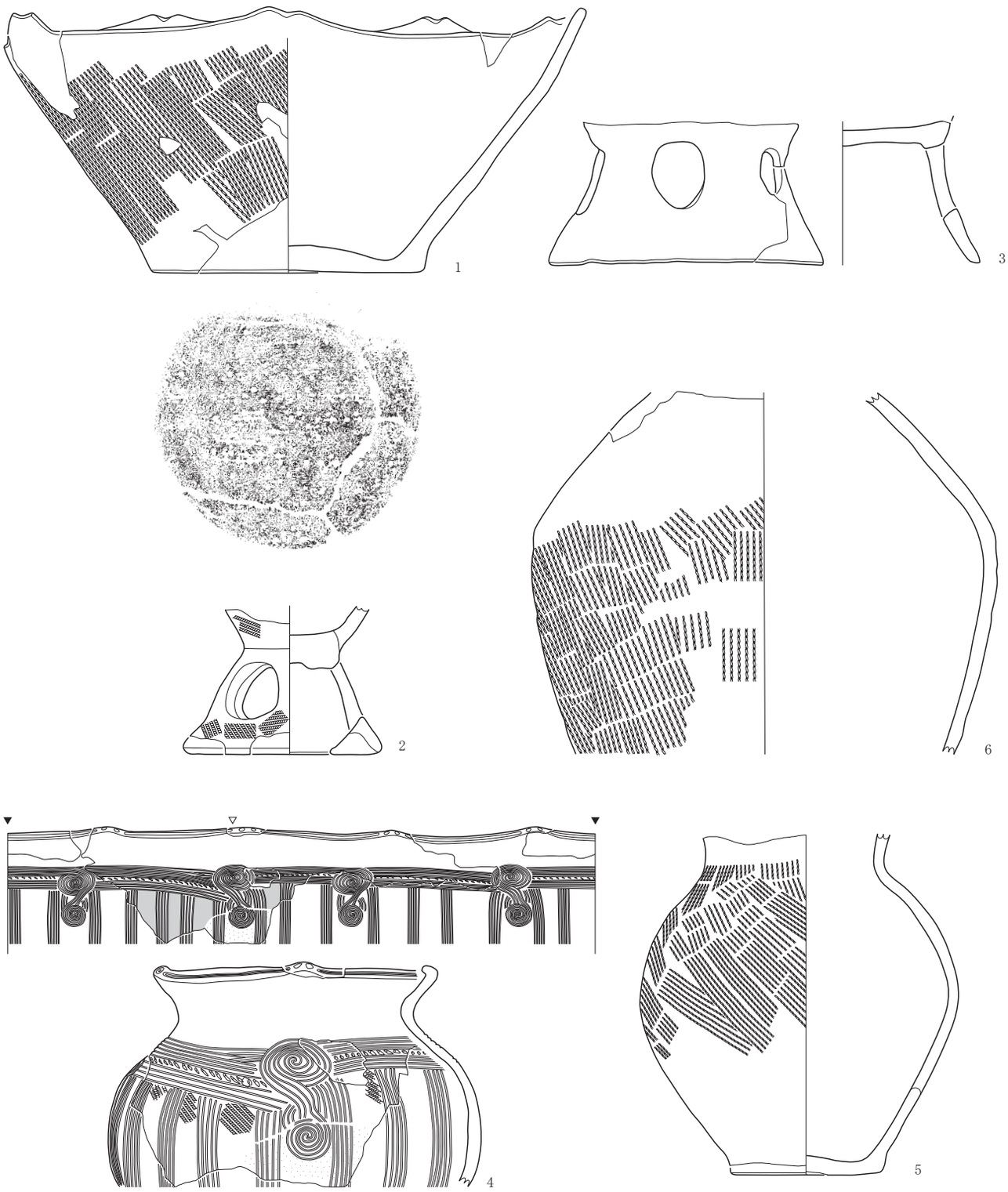
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-787	SK220	縄文土器	深鉢	外面　口縁部:隆線上に刻み目。胴部:沈線文、縄文 LR 横位施文。内面　口縁部:沈線文。		-
2	A-014	SK281	縄文土器	深鉢	沈線文、縄文 RL 横位施文。	底部板状圧痕。	51-4
3	A-003	SK280	縄文土器	深鉢	外面　縄文 LR 縦・横位施文。内面　格子目状沈線文。		52-1
4	A-270	SK257	縄文土器	深鉢	外面　沈線文。内面　格子目状沈線文。		-
5	A-001	SK282	縄文土器	深鉢	外面　撚糸文 L 縦・斜位施文。内面　格子目状沈線文。	底部網代痕。	53-1

第 28 図　Ⅶ層Ⅱ区 土坑出土遺物（1）

No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-233	SK257	縄文土器	深鉢	外面　撚糸文L縦･斜位施文。内面　格子目状沈線文。(縦位沈線は櫛歯状)		52-2
2	A-006	SK264	縄文土器	深鉢	縄文 LR 斜位施文。		-
3	A-042	SK280	縄文土器	深鉢	縄文 LR 横・斜位施文。	波状口縁。2 単位。	52-3
4	A-018	SK280	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 斜位施文。		52-4
5	A-152	SK264	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 斜位施文。		53-2
6	A-519	SK294	縄文土器	鉢	沈線文、縄文 LR 縦・横位施文、磨り消し。	底部木葉痕。	53-3
7	A-926	SK297	縄文土器	浅鉢	内面　沈線文、刺突文。	鳥頭形突起。A-927（第 86 図 3）と同一個体か。	53-4
8	A-924	SK221	縄文土器	浅鉢	沈線文。		53-5

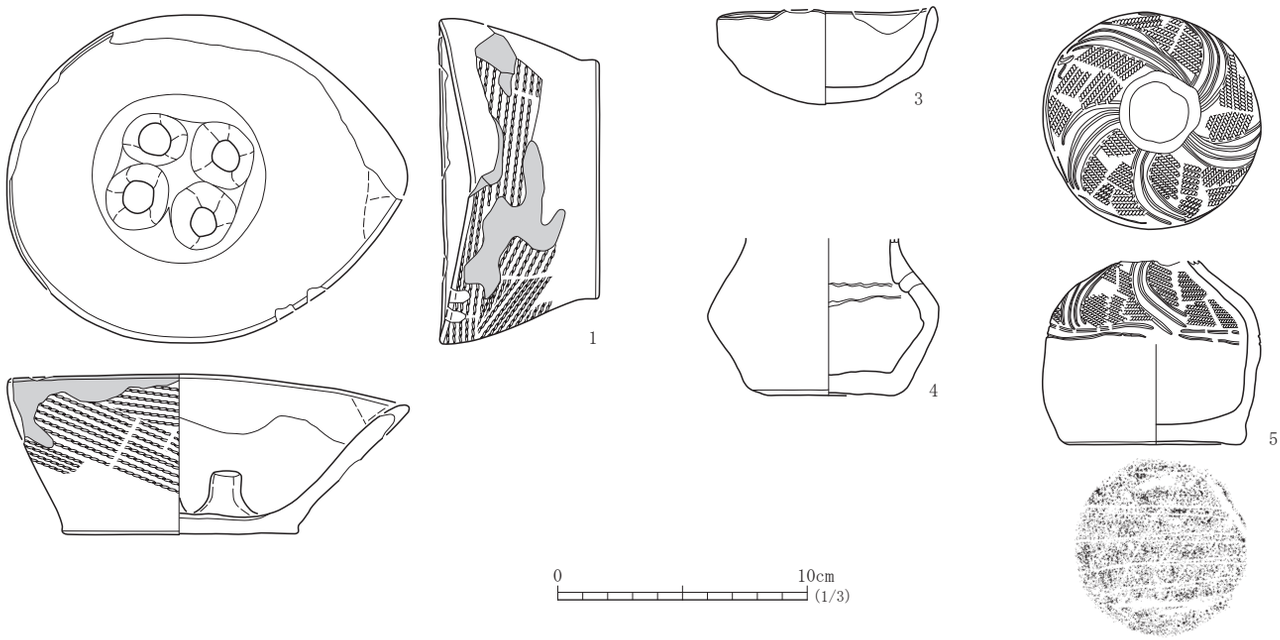
第 29 図　Ⅶ層Ⅱ区 土坑出土遺物（2）

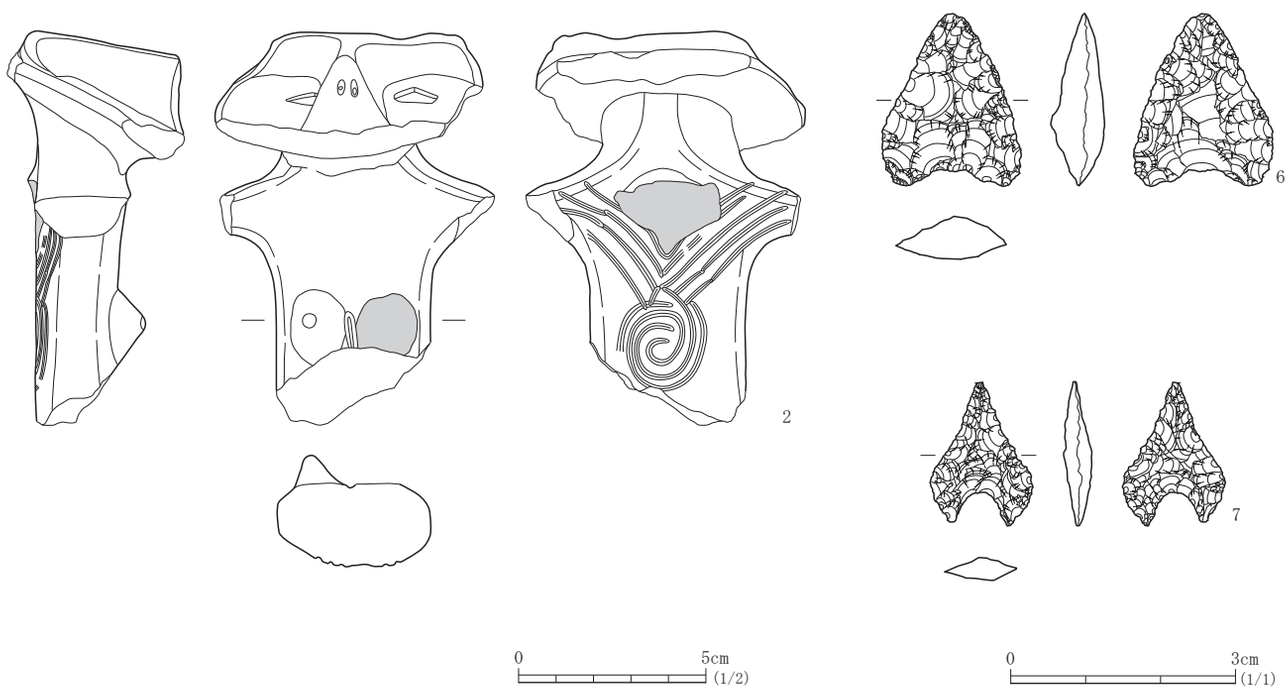
1. Ⅶ　層



No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-758	SK280	縄文土器	浅鉢	撚糸文R斜位施文。	波状口縁。5単位。底部網代痕。	53-6
2	A-533	SK293	縄文土器	台付鉢	縄文LR縦・斜位施文。	脚部透穴3ヶ所。受部内面底部煤付着。	54-1
3	A-549	SK259	縄文土器	台付鉢		脚部透穴5ヶ所。	54-2
4	A-750	SK220	縄文土器	壺	多条沈線文、刺突文、縄文LR縦位施文。	波状口縁。4単位。	54-3
5	A-563	SK280	縄文土器	壺	撚糸文R縦・斜位施文。		-
6	A-669	SK282	縄文土器	壺	撚糸文R縦・斜位施文。		54-4

第30図　Ⅶ層Ⅱ区 土坑出土遺物（3）



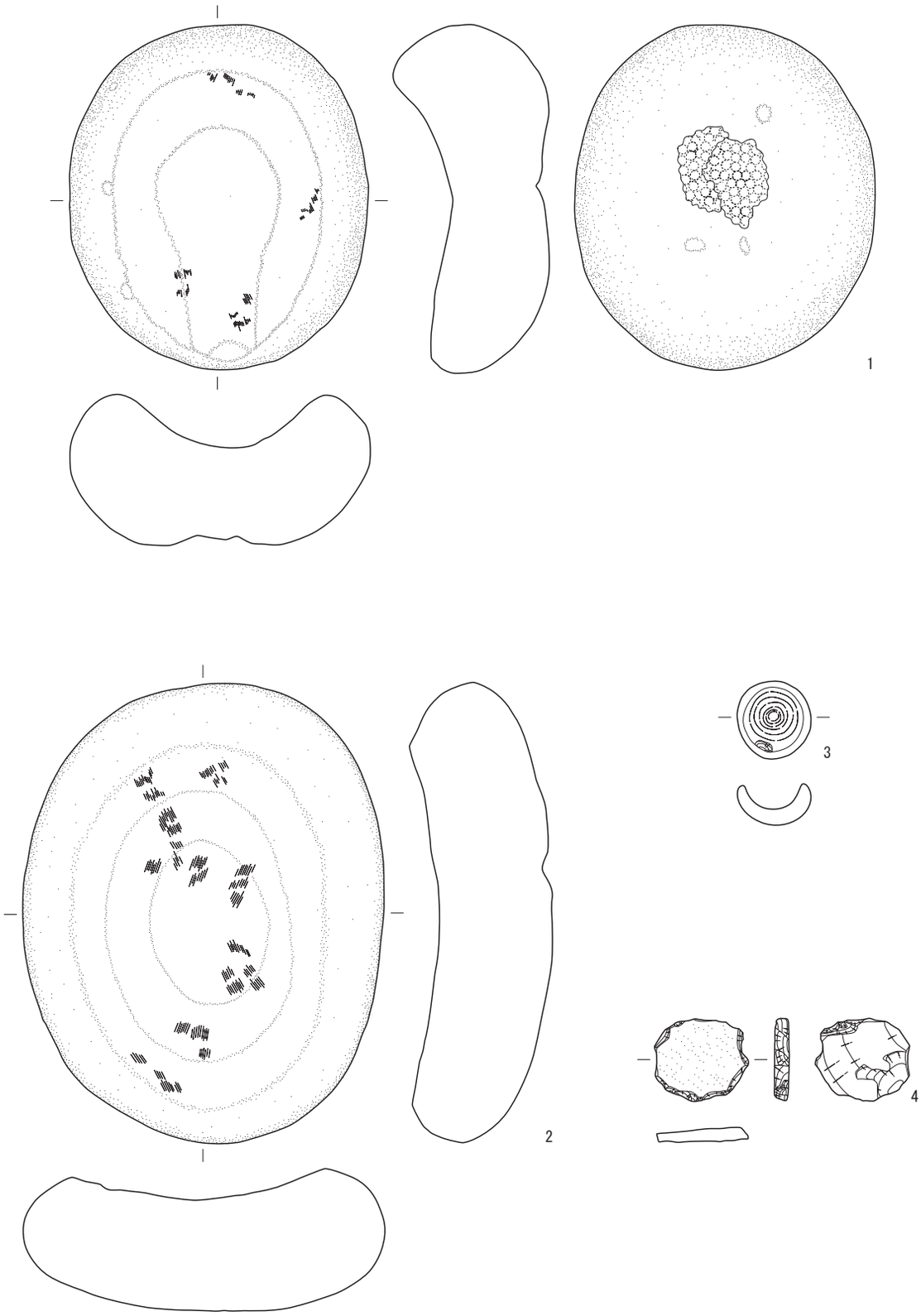


No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-955	SK280	縄文土器	特殊土器	撚糸文R斜位施文。	片口状。外面被熱痕。器面剥離。内面底部突起4ヶ所。	54-5

No.	登録番号	出土遺構	器　種	文様等	備　考	写真図版
2	Pa-407	SK280	土偶	沈線文。	頭・腕・胴部片。接合痕。	54-6
3	Pc-360	SK282	ミニチュア		浅鉢。	-
4	Pc-362	SK259	ミニチュア		鉢。内面輪積痕。	-
5	Pc-364	SK283	ミニチュア	沈線文、縄文LR縦位施文。	壺。底部不明圧痕（二重木葉痕か）。	-

No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備　考	写真図版
6	K-1361	SK272	石鏃	流紋岩	Ka-a3-1	2.3	1.9	0.7	2.1		54-8
7	K-1441	SK248	石鏃	鉄石英	Ka-a3-2-1	1.9	1.4	0.4	0.6		54-7

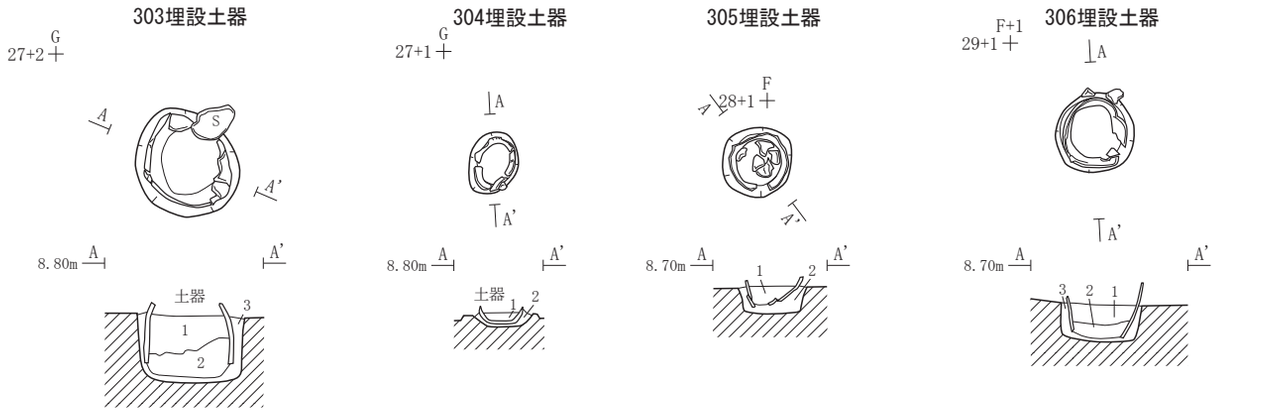
第31図　Ⅶ層Ⅱ区 土坑出土遺物（4）



No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備　考	写真図版
1	Kc-122	SK253	石皿	安山岩	Kc-f	16.7	14.5	7.5	1,922.0		55-1
2	Kc-110	SK280	石皿	安山岩	Kc-f	22.2	17.5	6.7	3,240.0		54-9
3	Kd-046	SK224	石碗	凝灰岩	Kd-h	3.8	3.6	2.0	25.1		55-2
4	Kd-019	SK253	石製円盤	流紋岩	Kd-h	4.0	4.5	0.6	16.9		-

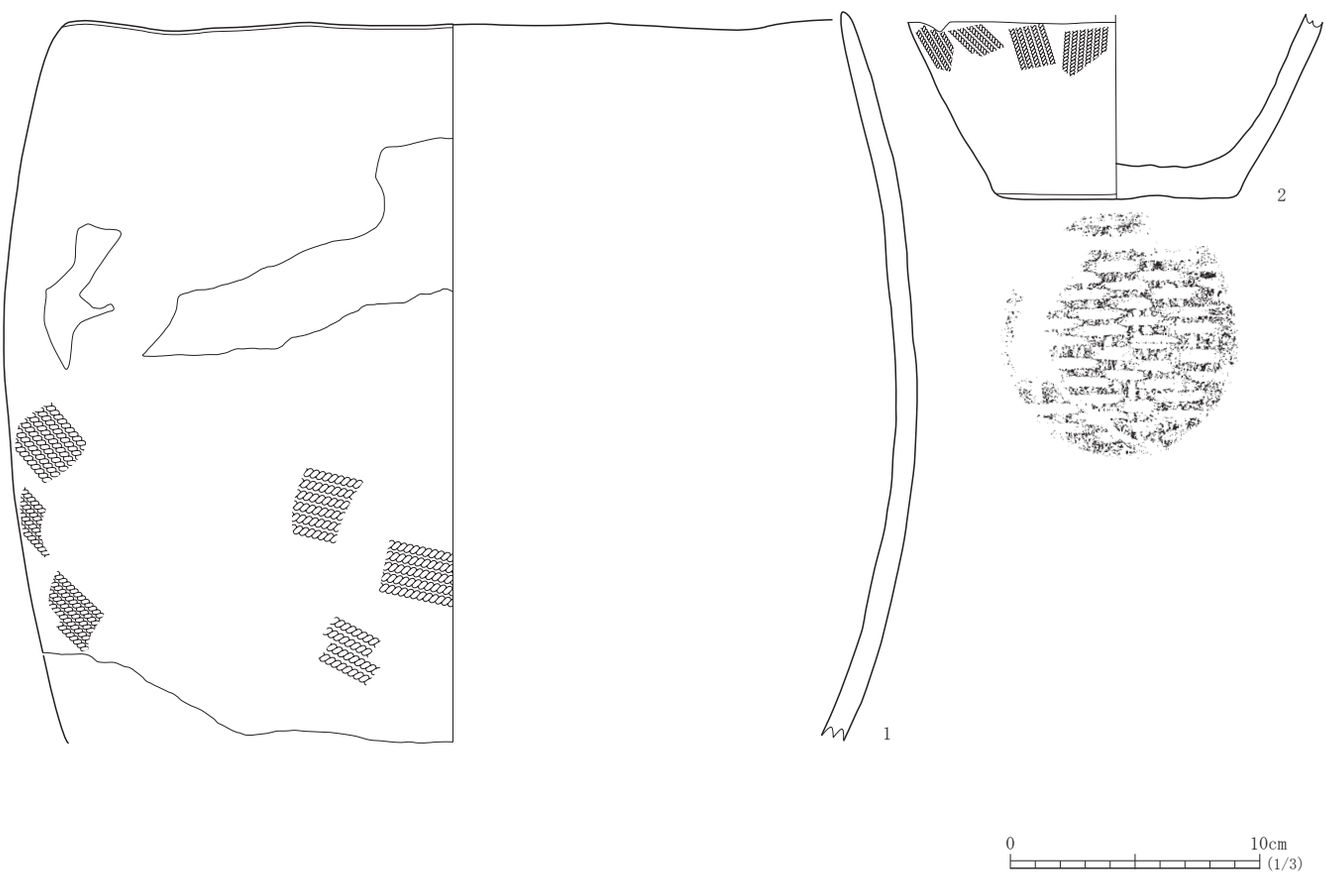
第 32 図　Ⅶ層Ⅱ区 土坑出土遺物 (5)

2）Ⅲ　区
埋設土器



埋設土器	層位	土　色	土　性	備　考
303	1	10YR3/2 黒褐	砂質シルト	炭化物を含む。
	2	10YR4/4 褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
	3	7.5YR3/2 黒褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
304	1	10YR3/2 黒褐	砂質シルト	
	2	7.5YR3/2 黒褐	砂質シルト	炭化物を含む。

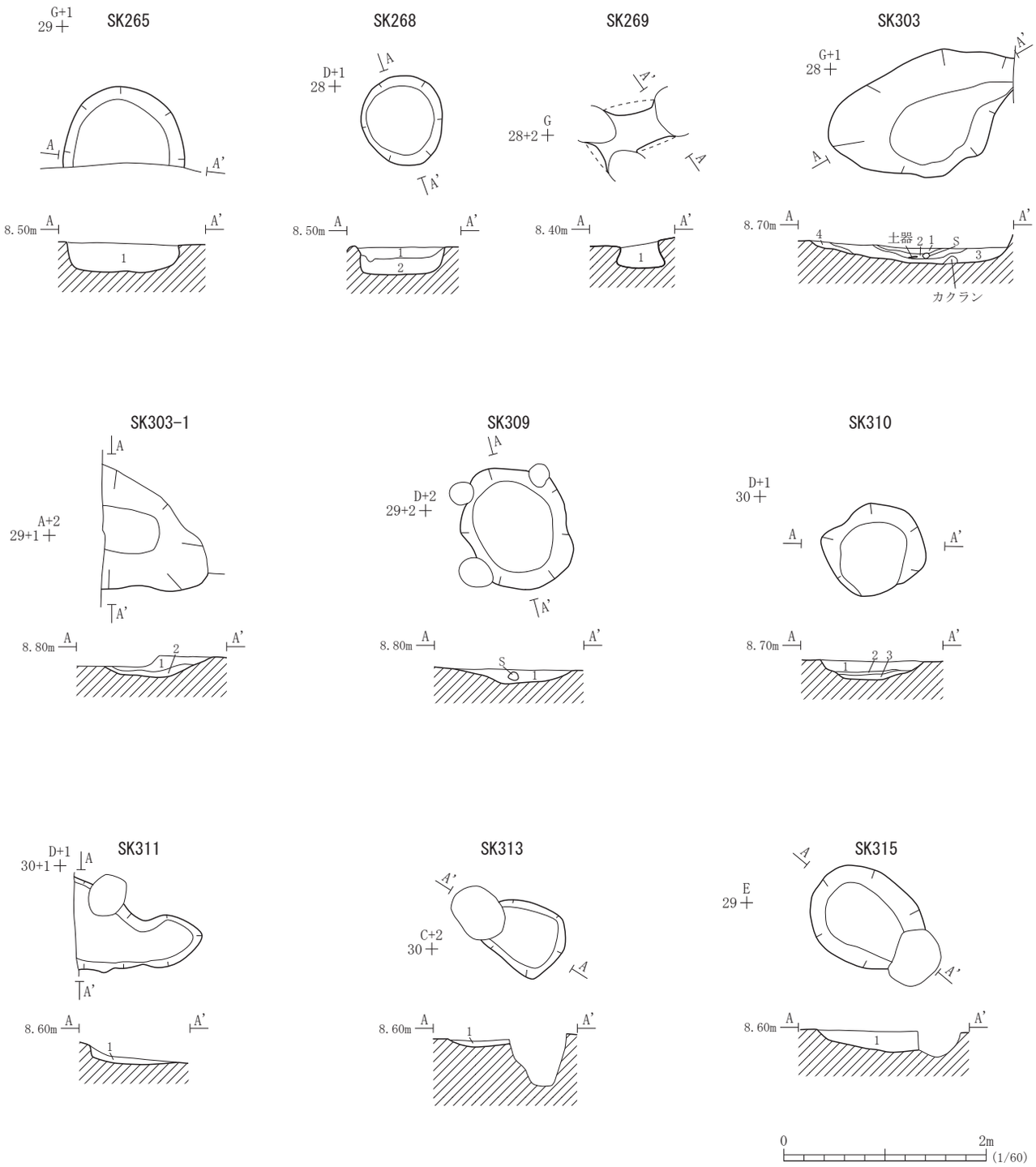
埋設土器	層位	土　色	土　性	備　考
305	1	10YR4/2 灰黄褐	粘土質シルト	黄褐色粘土を含む。
	2	10YR5/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	黄褐色粘土を含む。
306	1	7.5YR2/2 黒褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
	2	10YR5/4 にぶい黄褐	粘土	炭化物を含む。
	3	10YR3/2 黒褐	粘土質シルト	炭化物を含む。



No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-866	303 埋設土器	縄文土器	深鉢	縄文 LR 縦・斜位施文。		55-3
2	A-368	304 埋設土器	縄文土器	深鉢	縄文 RL 横・斜位施文。	底部網代痕。	-

第 33 図　Ⅶ層Ⅲ区 埋設土器・埋設土器出土遺物

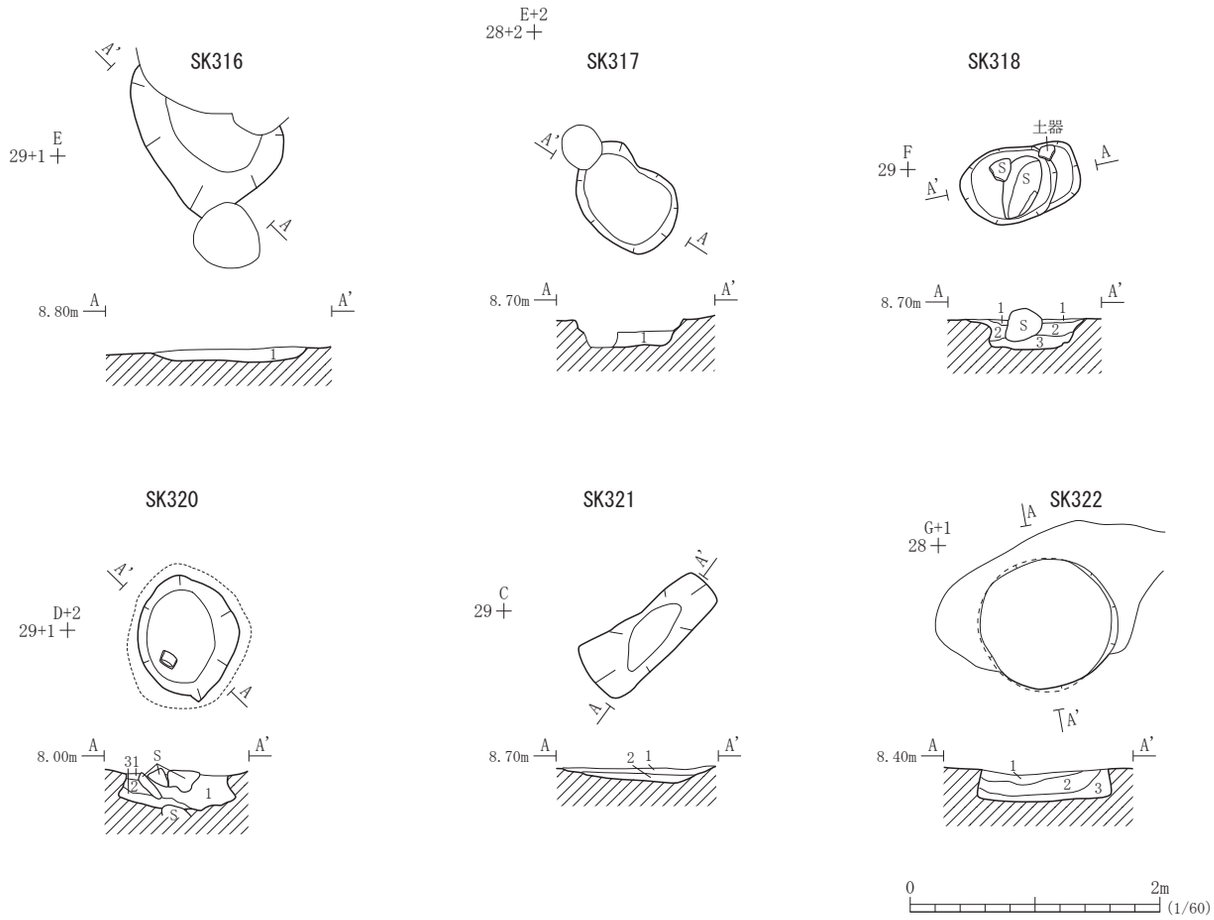
土　坑



SK	層位	土　色	土　性	備　考
265	1	10YR5/4 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物を含む。黄褐色土ブロックを多量に含む。
268	1	10YR5/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	
	2	10YR5/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	黄褐色土ブロック多量、炭化物を含む。
269	1	10YR5/4 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
303	1	10YR3/2 黒褐	砂質シルト	炭化物を含む。
	2	10YR6/3 にぶい黄橙	粘土	炭化物・焼土を含む。
	3	10YR4/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物・焼土を含む。
	4	10YR5/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物・焼土を含む。

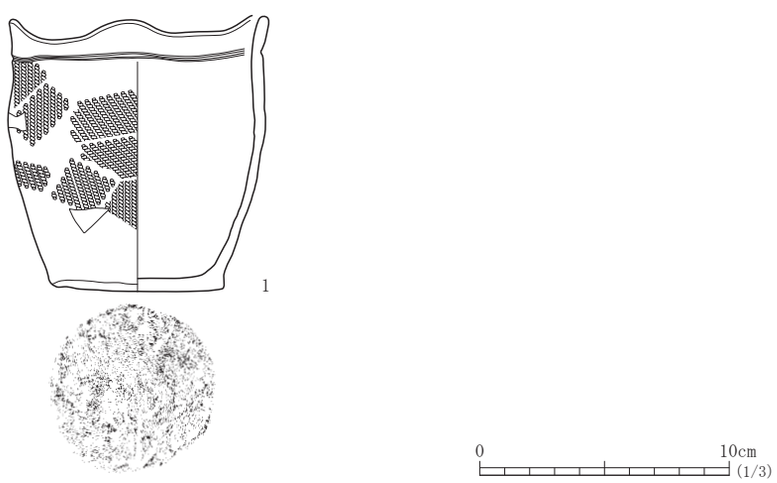
SK	層位	土　色	土　性	備　考
303-1	1	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物を含む。
	2	2.5Y6/4 にぶい黄	粘土	炭化物を含む。
309	1	10YR4/3 にぶい黄褐	砂質シルト	炭化物を含む。
310	1	10YR3/2 黒褐 10YR4/3 にぶい黄褐	砂質シルト シルト	炭化物・焼土粒・骨片を含む。
	2	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物を多量に含む。
	3	7.5YR3/4 暗褐	シルト	炭化物・焼土・骨片を含む。
311	1	7.5YR4/2 灰褐	砂質シルト	炭化物を含む。
313	1	7.5YR4/3 褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
315	1	10YR4/2 灰黄褐	粘土質シルト	炭化物・黄褐色土ブロックを含む。

第 34 図　Ⅶ層Ⅲ区 土坑（1）



SK	層位	土　色	土　性	備　考
316	1	5YR3/1 黒褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
317	1	10YR4/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物を多量に含む。
318	1	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒、骨片を含む。
	2	10YR4/4 褐	シルト	炭化物多量、風化礫（φ 1 cm未満）を含む。
	3	10YR3/4 暗褐	粘土質シルト	焼土粒、炭化物、骨片を含む。
320	1	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物・焼土粒・骨片・礫を含む。
	2	10YR3/4 暗褐	粘土質シルト	炭化物・褐色シルトブロックを含む。
	3	7.5YR3/4 暗褐	シルト	炭化物・焼土を含む。

SK	層位	土　色	土　性	備　考
321	1	10YR2/1 黒	粘土質シルト	炭化物を含む。
	2	2.5Y6/3 にぶい黄	シルト	
322	1	10YR6/4 にぶい黄橙	粘土質シルト	炭化物を多量に含む。
	2	10YR5/4 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物を多量に含む。
	3	10YR5/3 にぶい黄褐	粘土	炭化物を含む。

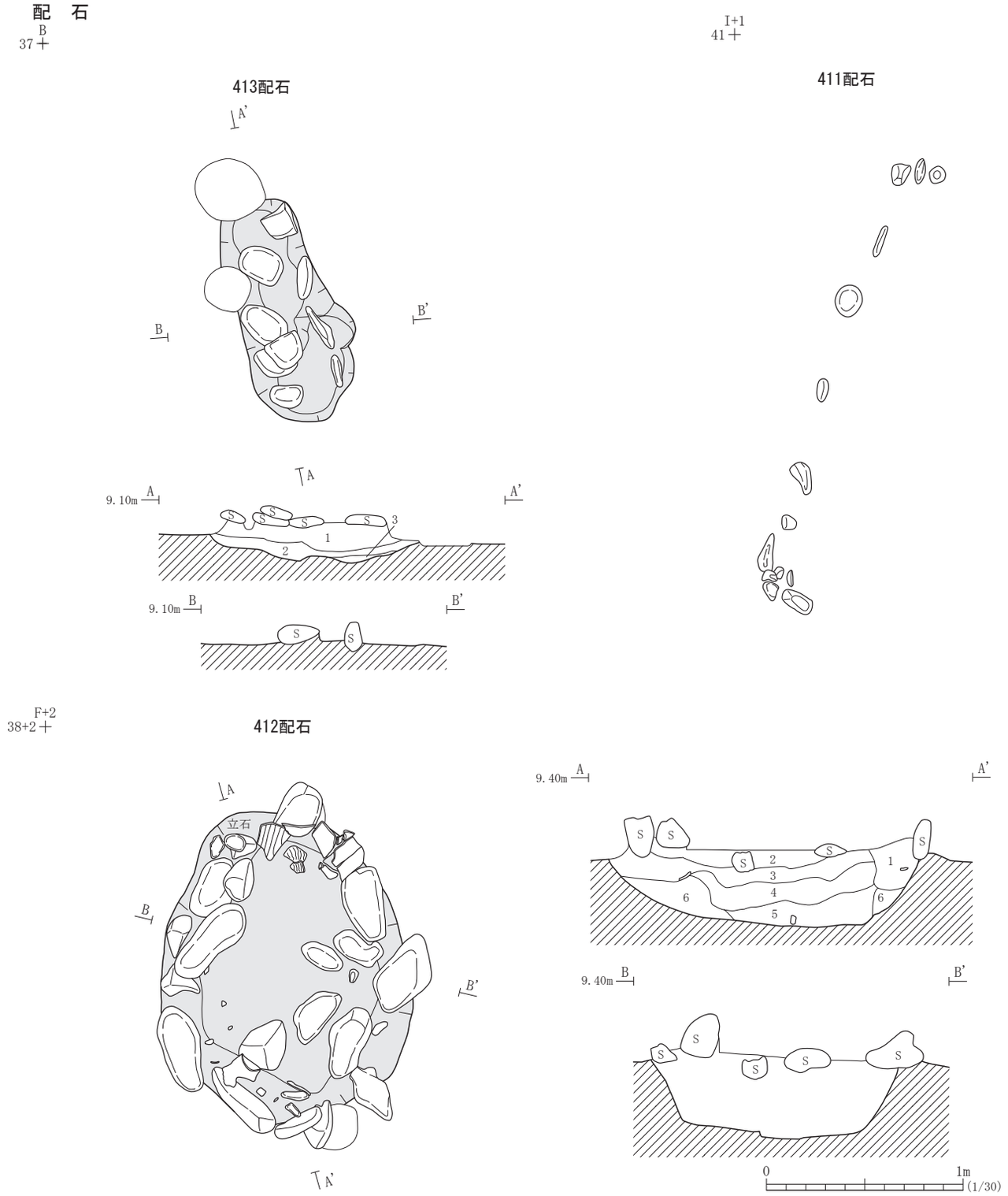


No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-367	SK310	縄文土器	深鉢	沈線文、縄文 LR 縦・斜位施文。	波状口縁。4 単位。底部木葉痕。	55-4

第 35 図　Ⅶ層Ⅲ区 土坑（2）・土坑出土遺物

1. Ⅶ　層

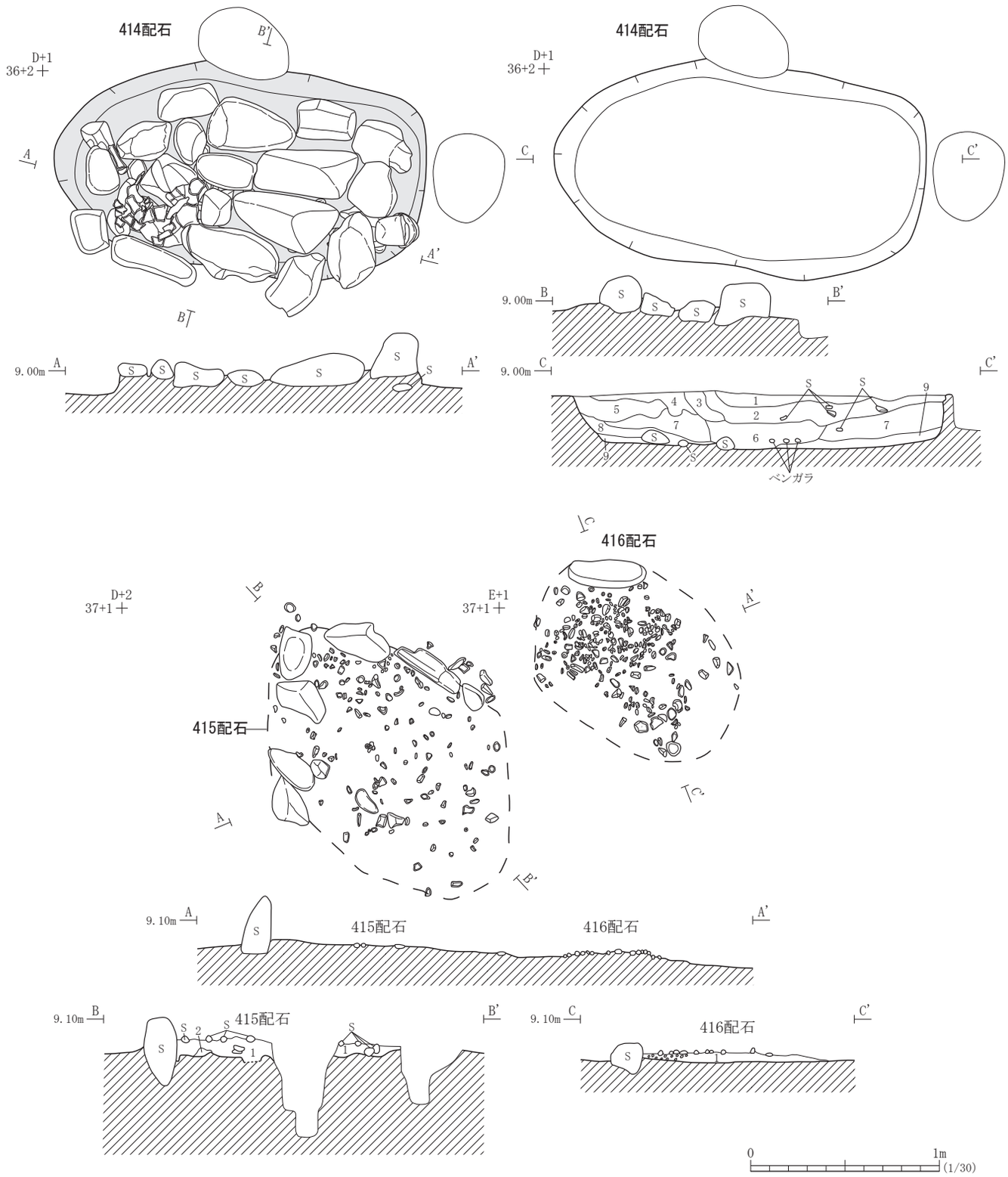
3) Ⅳ　区
配　石



配石	層位	土　色	土　性	備　考
412	1	10YR2/2 黒褐	シルト	暗褐色シルト小ブロックを多量に含む。礫の抜けた痕跡。
	2	10YR2/3 黒褐	シルト	暗褐色シルト粒を多量に含む。
	3	10YR4/3 にぶい黄褐	シルト	黒褐色シルト小ブロックを多量に含む。
	4	10YR4/4 褐	シルト	黒褐色シルト小ブロックを多量に含む。
	5	10YR4/3 にぶい黄褐	シルト	底面直上に骨粉を多量に含む。
	6	10YR4/4 褐	シルト	暗褐色シルト・褐色砂質シルトブロック。

配石	層位	土　色	土　性	備　考
413	1	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物粒・焼土粒・骨粒を多量に含む。
	2	7.5YR4/4 褐 10YR3/4 暗褐	シルト質砂 シルト	混在。
	3	10YR3/4 暗褐	シルト	

第 36 図　Ⅶ層Ⅳ区 配石 (1)

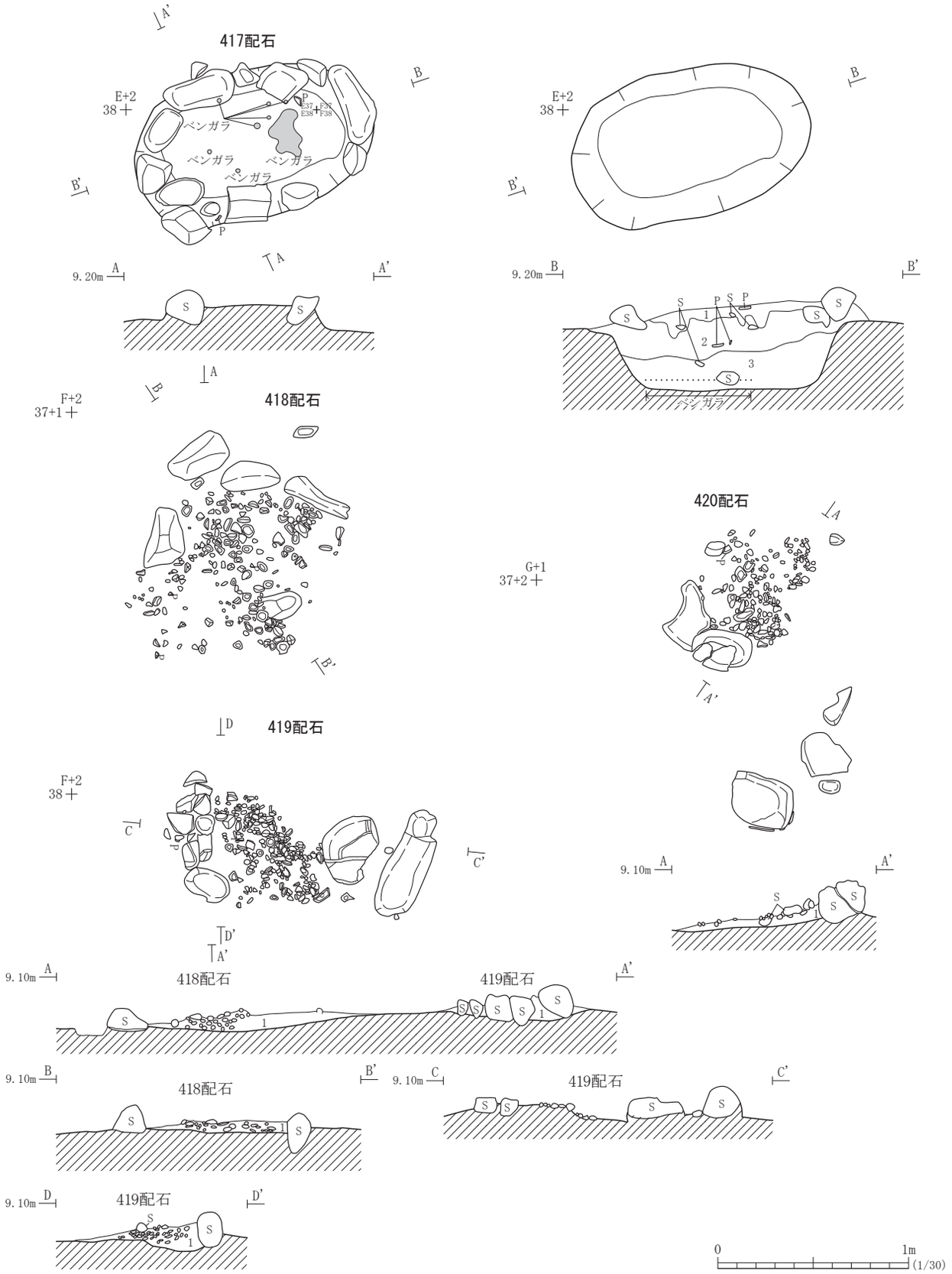


配石	層位	土　色	土　性	備　考
414	1	10YR3/4 暗褐	シルト	
	2	10YR2/3 黒褐	シルト	土器片多い。焼土粒・炭化物粒・骨片を含む。
	3	10YR3/4 暗褐	シルト	
	4	10YR2/3 黒褐	シルト	土器片多い。焼土粒・炭化物粒・骨片を含む。
	5	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	炭化物粒を少量含む。
	6	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物粒・焼土粒・骨片・ベンガラを含む。
	7	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	土器片・炭化物粒・焼土粒を微量含む。
	8	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	
	9	10YR3/4 暗褐	シルト	中央部を除きうすく平坦に分布。

配石	層位	土　色	土　性	備　考
415	1	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物・礫（φ 5 ㎜～ 80 ㎜）を多量に含む。
416	1	10YR2/3 黒褐	シルト	暗褐色シルト粒・礫（φ 3 ㎜～ 5 ㎝）を多量に含む。

第 37 図　Ⅶ層Ⅳ区 配石（2）

1. Ⅶ　層



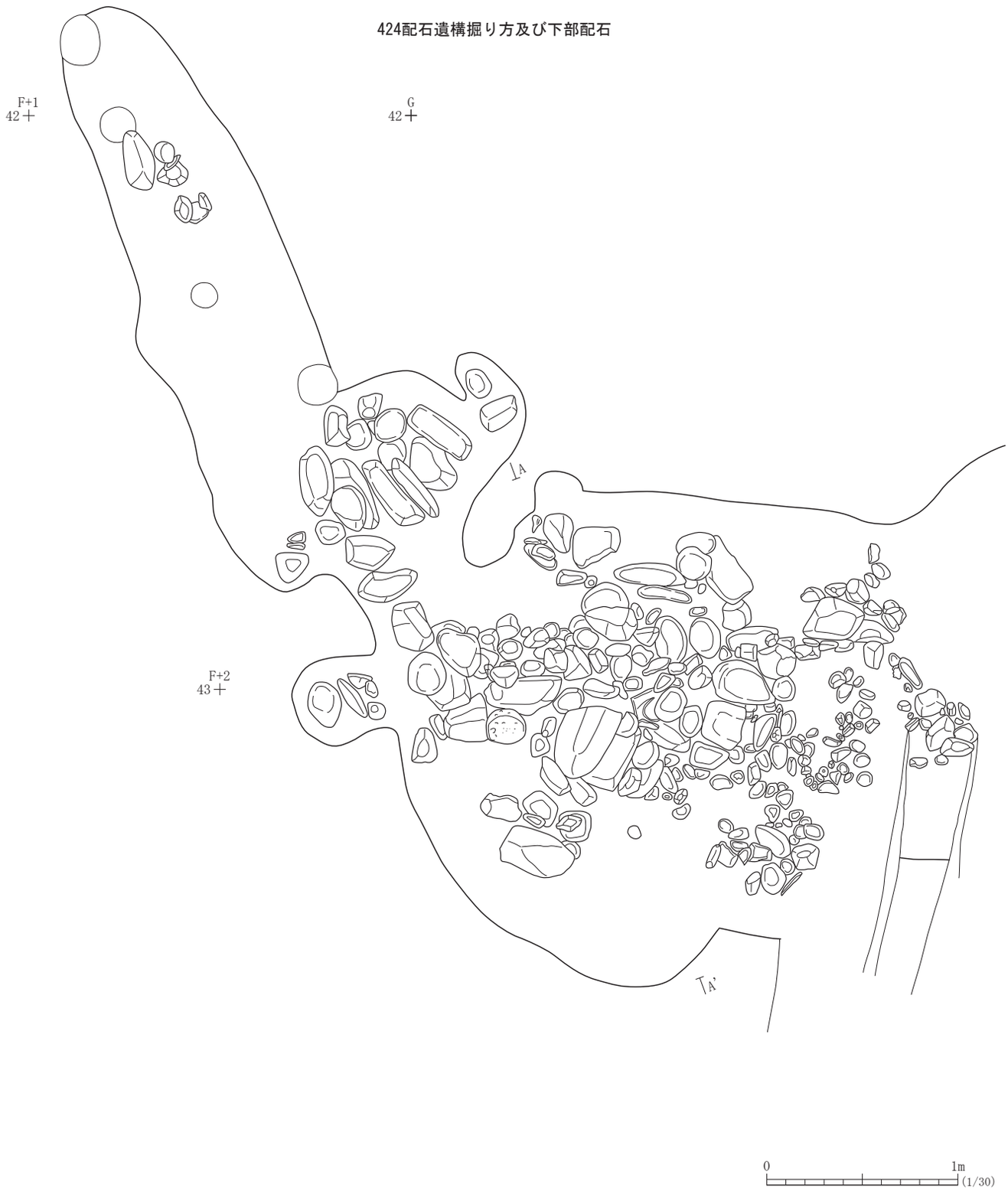
配石	層位	土　色	土　性	備　考
417	1	10YR6/4 にぶい黄橙	シルト	黒褐色シルトを含む。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	にぶい黄橙色シルト小ブロック、炭化物を多量に含む。(人為埋土)
	3	10YR4/4 褐	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂・炭化物を多量に含む。底面の直上にベンガラ少量認められる。(人為埋土)

配石	層位	土　色	土　性	備　考
418	1	10YR4/4 褐 10YR2/3 黒褐	シルト	混在。炭化物少量、暗褐色・褐色土小粒を多量に含む。
419	1	10YR4/4 褐	シルト	
420	1	7.5YR4/4 褐 10YR3/2 黒褐	シルト質砂 シルト	混在、小礫(φ 2 ㎜～ 10 ㎝)を多量に含む。

第 38 図　Ⅶ層Ⅳ区 配石 (3)

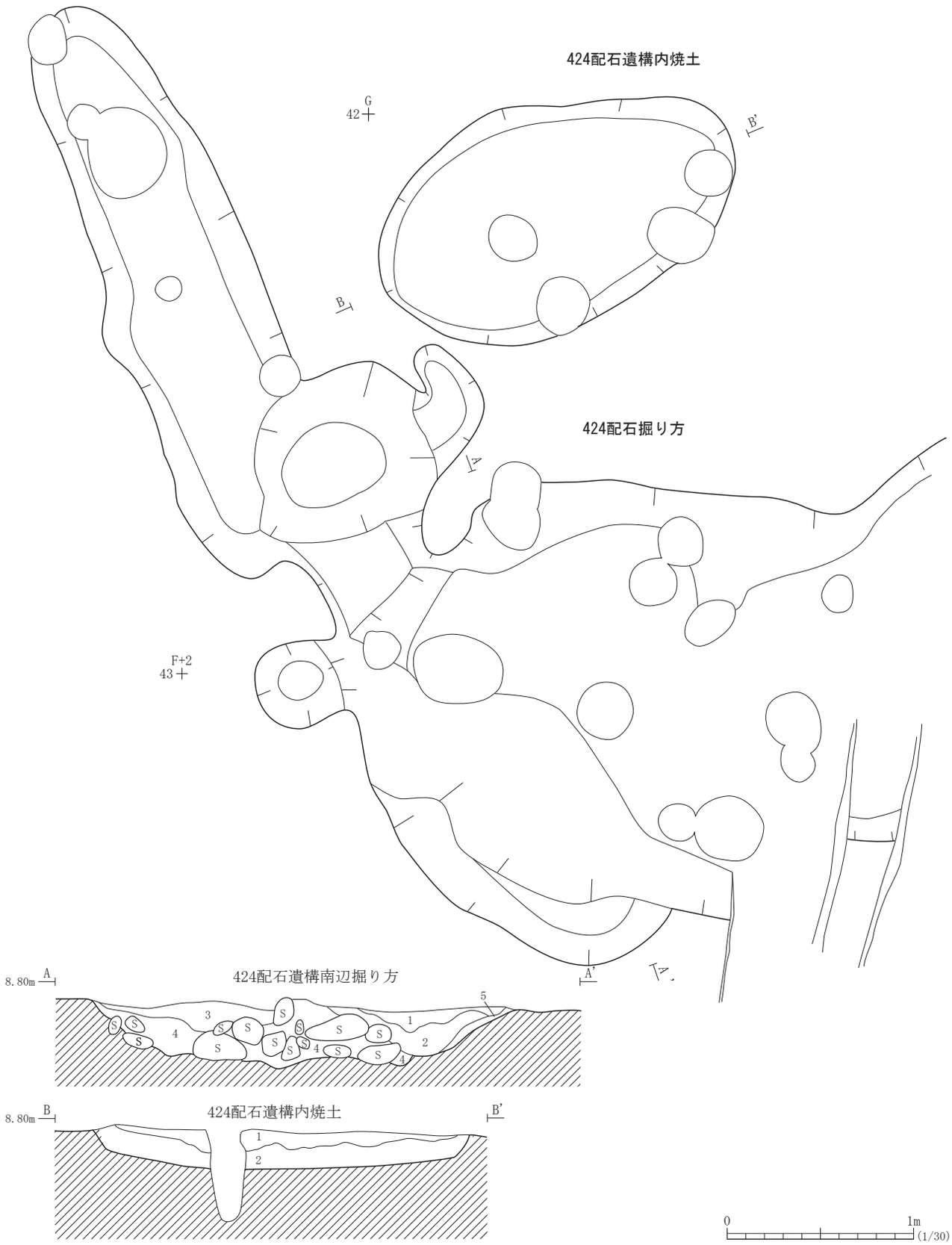
第 39 図　Ⅶ層Ⅳ区 配石（4）

第 40 図　Ⅶ層Ⅳ区 配石（5）



第 41 図　Ⅶ層Ⅳ区 配石（6）

1. Ⅶ　層

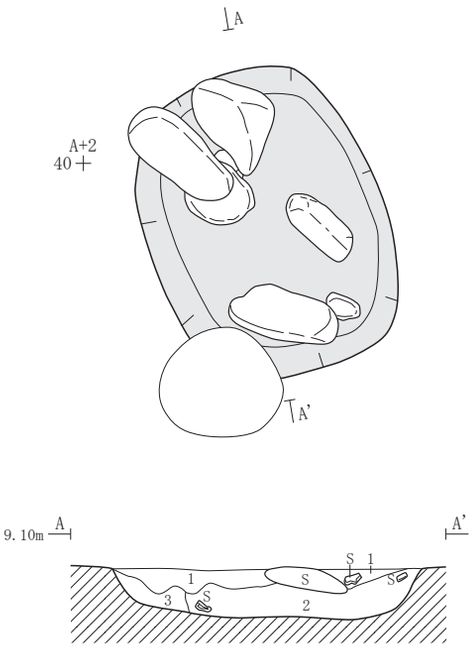


配石	層位	土　色	土　性	備　考
424	1	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。焼土ブロック。
	2	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。

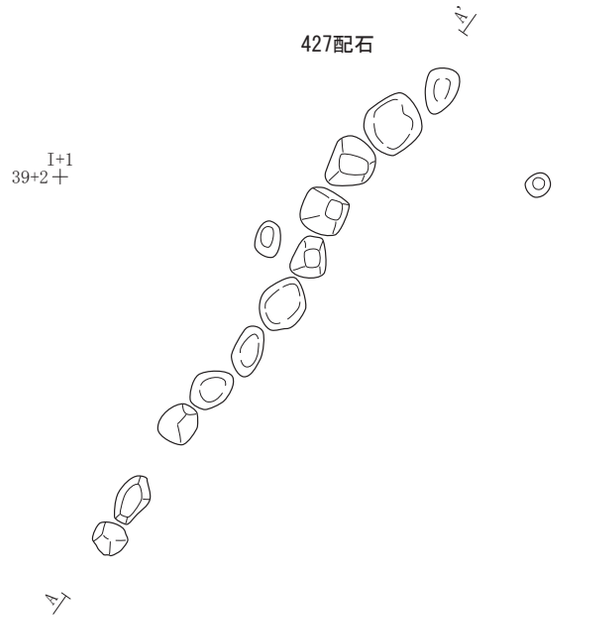
配石	層位	土　色	土　性	備　考
424 南辺	1	10YR4/6 褐	細砂	黒褐色シルトブロック。
	2	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物粒、粗砂を多量に含む。
	3	10YR3/2 黒褐	粗砂	礫（φ 0.5 ～ 10 ㎜）を多量に含む。
	4	10YR3/3 暗褐	砂礫	礫（φ 0.5 ～ 30 ㎜）を多量に含む。
	5	10YR3/4 暗褐 10YR3/2 黒褐	シルト シルト	混在。

第 42 図　Ⅶ層Ⅳ区 配石（7）

426配石

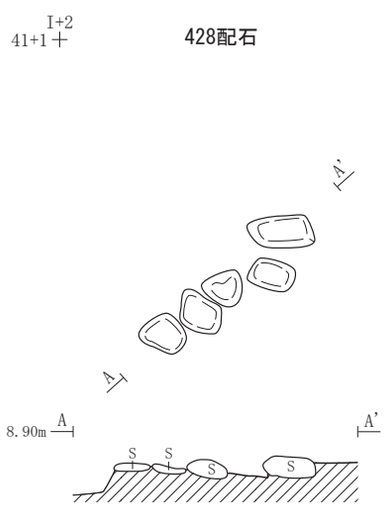


427配石



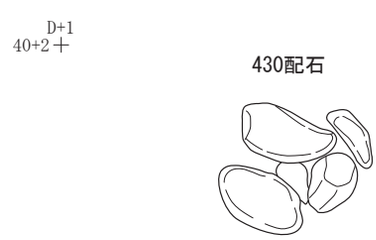
配石	層位	土　色	土　性	備　考
426	1	10YR2/2 黒褐	粘土質シルト	
	2	10YR2/2 黒褐	シルト シルト質砂	
	3	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。

428配石

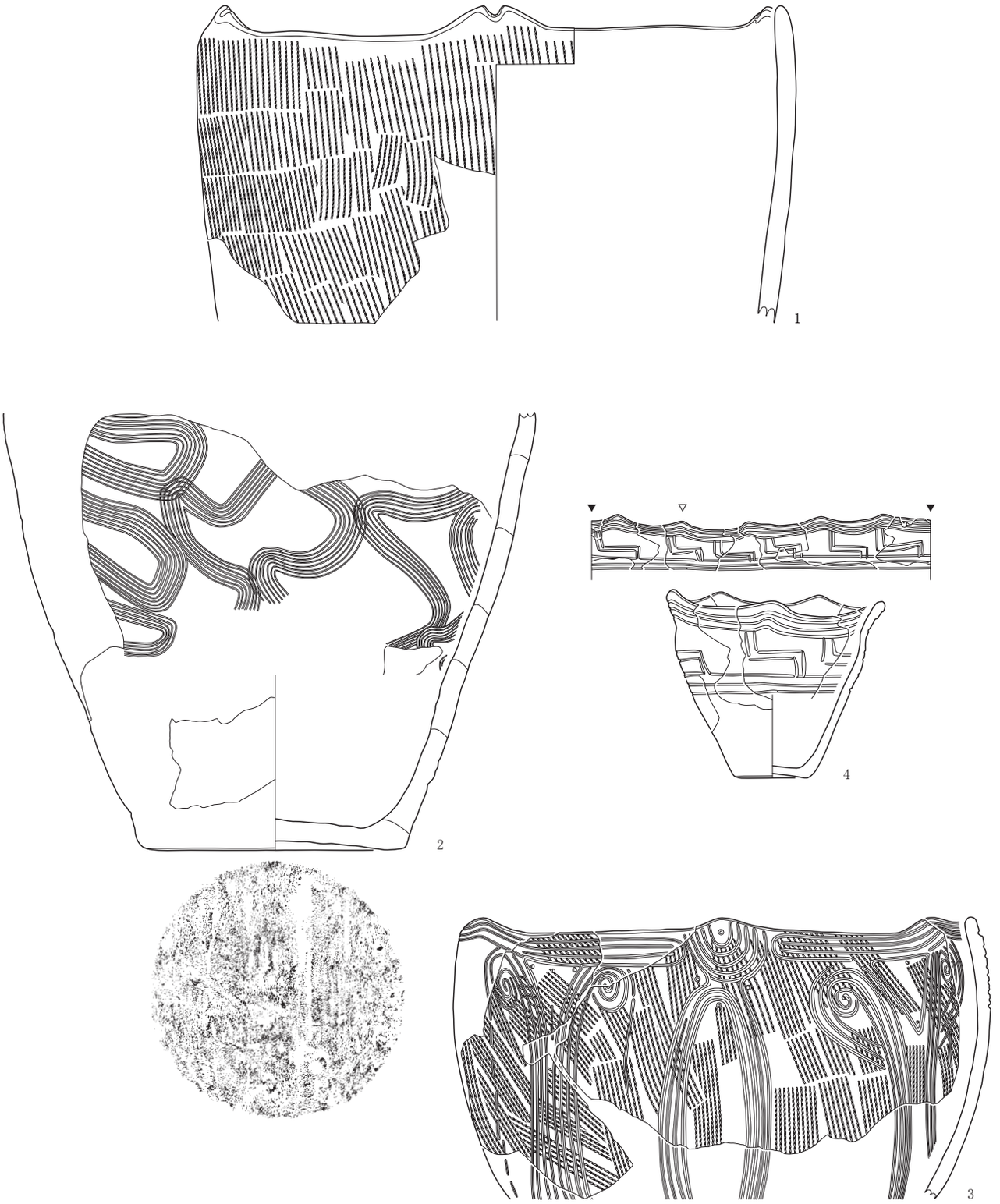


429配石

430配石

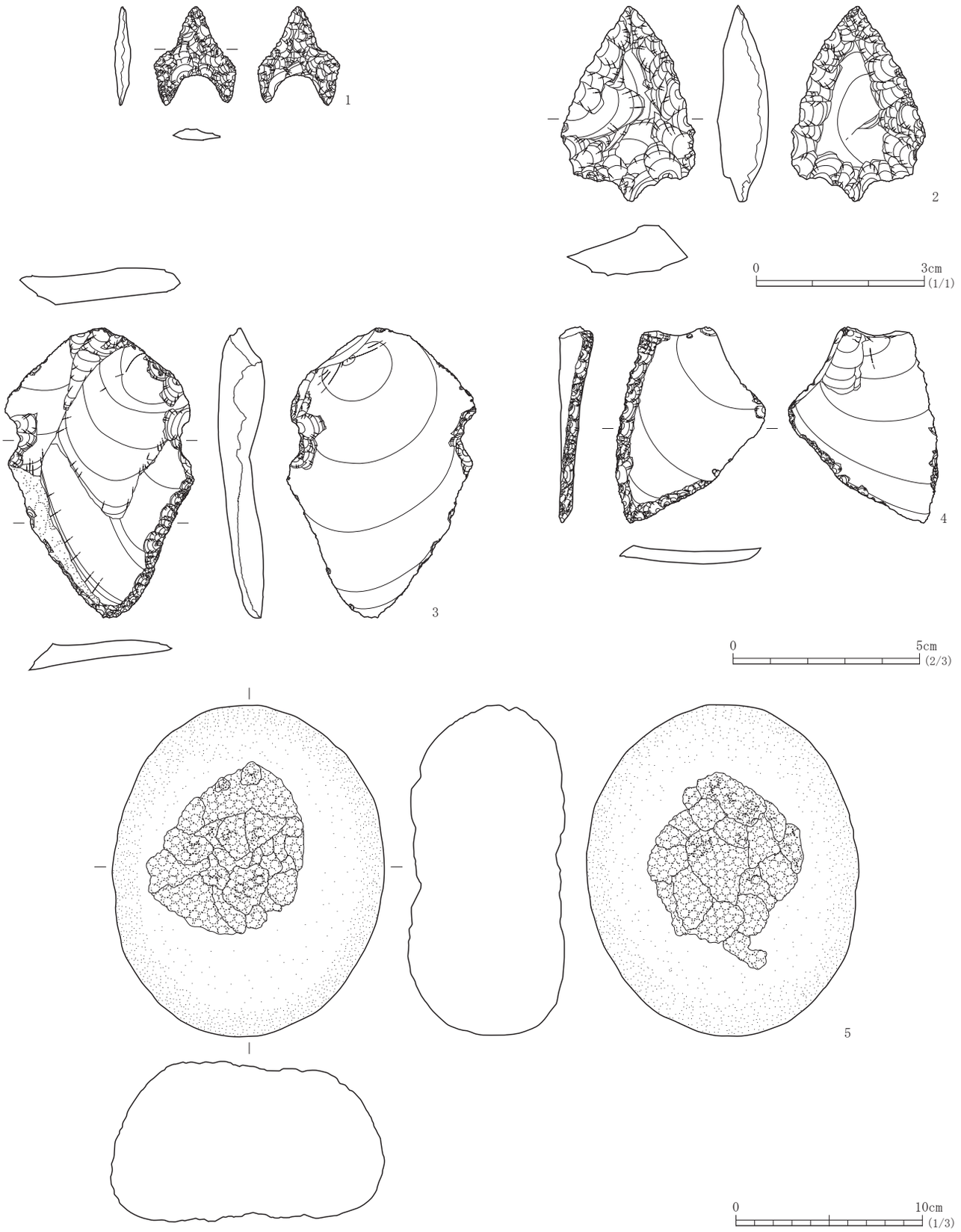


第 43 図　Ⅶ層Ⅳ区 配石（8）



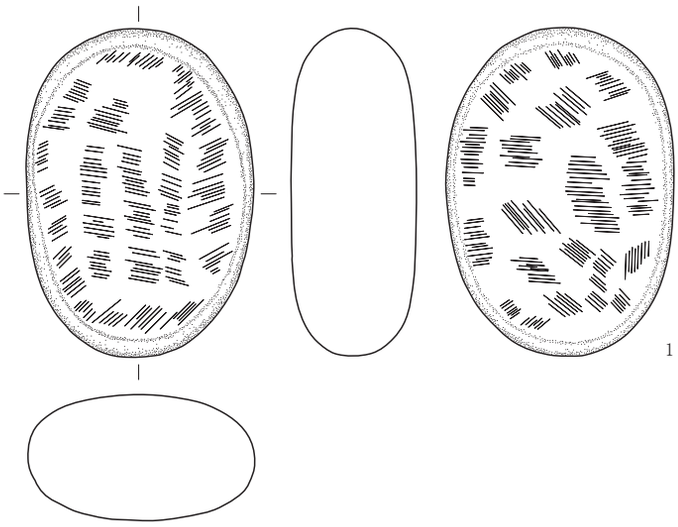
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-678	414 配石	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 縦位施文。	波状口縁。6 単位。	－
2	A-763	416 配石	縄文土器	深鉢	櫛歯状沈線文。	底部木葉痕。	－
3	A-895	424 配石	縄文土器	深鉢	多条沈線文、刺突文、撚糸文 R 縦・斜位施文。	波状口縁。	55-5
4	A-280	425 配石	縄文土器	鉢	沈線文。	波状口縁。5 単位。	55-6

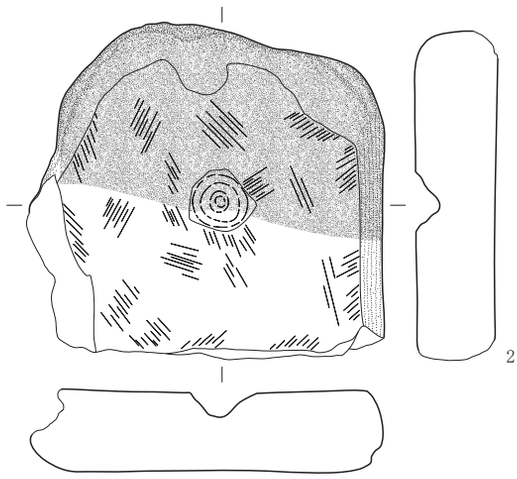
第 44 図　Ⅶ層Ⅳ区 配石出土遺物（1）

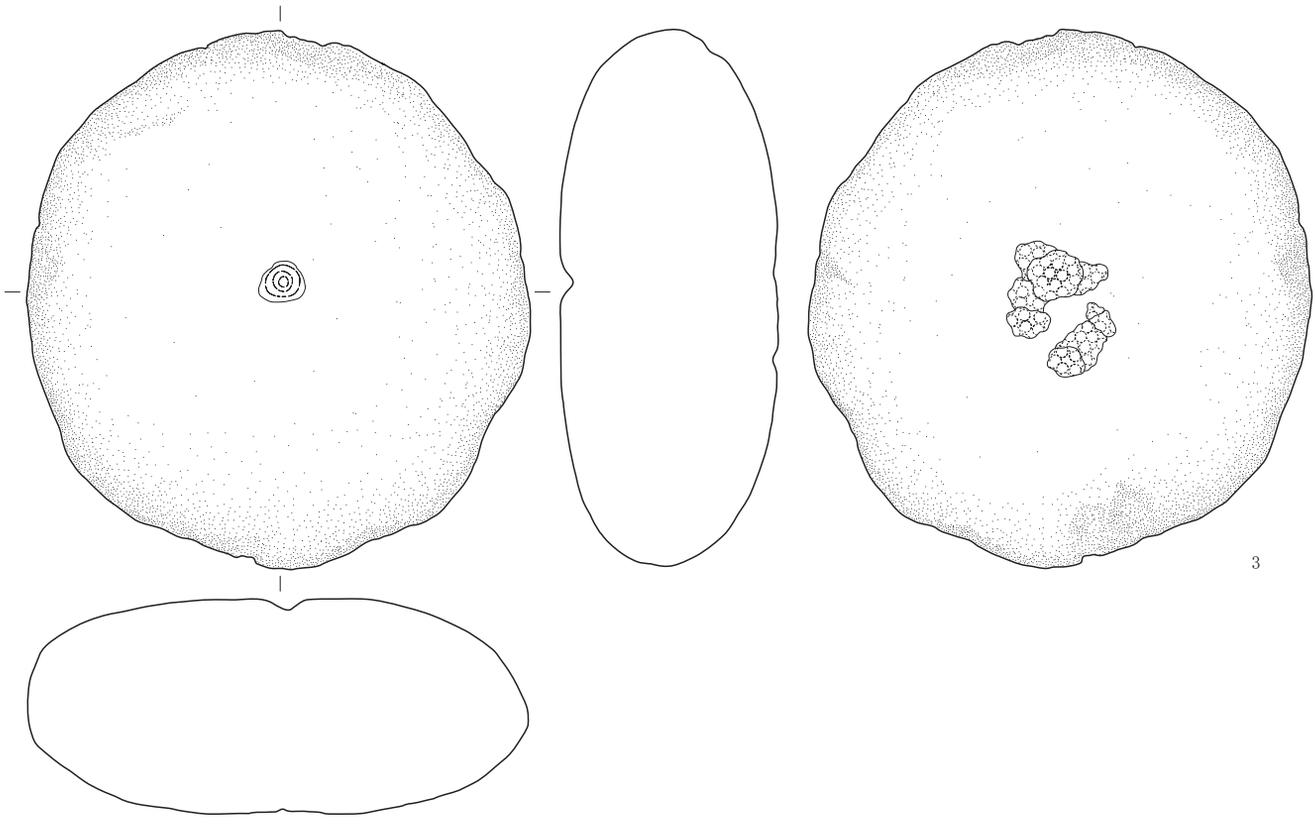


No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備　考	写真図版
1	K-0332	417 配石土坑	石鏃	珪質頁岩	Ka-a3-2-1	1.8	1.5	0.3	0.3		55-7
2	K-3805	411 配石下	石鏃	珪質頁岩	Ka-a1-5	3.5	2.4	0.9	5.7		55-8
3	K-2996	414 配石下	石匙	珪質頁岩	Ka-d1-5	7.8	5.0	1.2	35.0		55-9
4	K-3226	414 配石下	不定形石器	珪質頁岩	Ka-e1-8-1	5.3	4.0	0.9	11.4		55-10
5	Kc-048	415 配石	凹石	安山岩	Kc-b	17.7	14.5	8.4	2,600.0		-

第 45 図　Ⅶ層Ⅳ区 配石出土遺物（2）



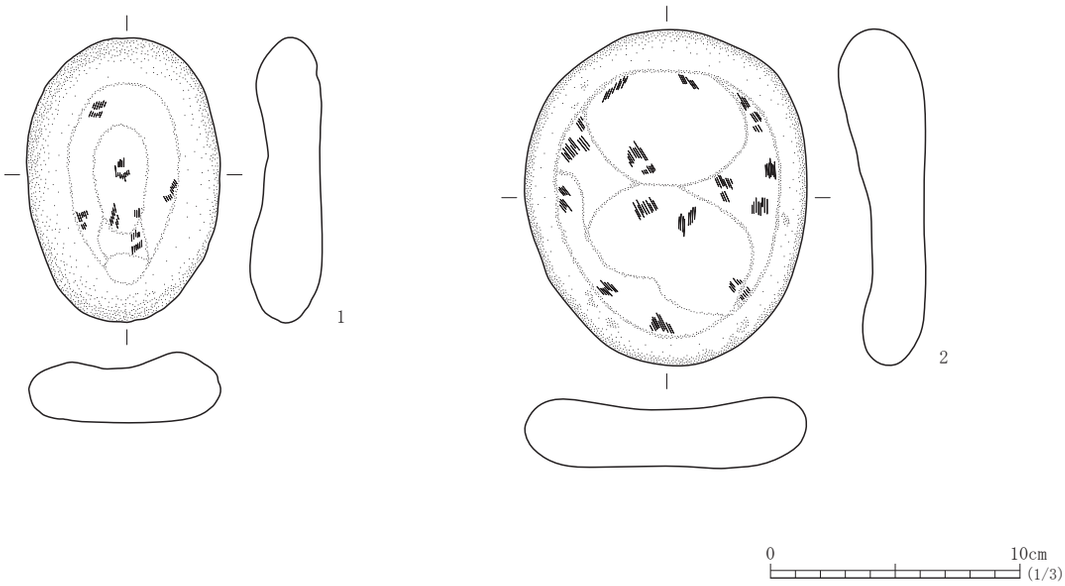


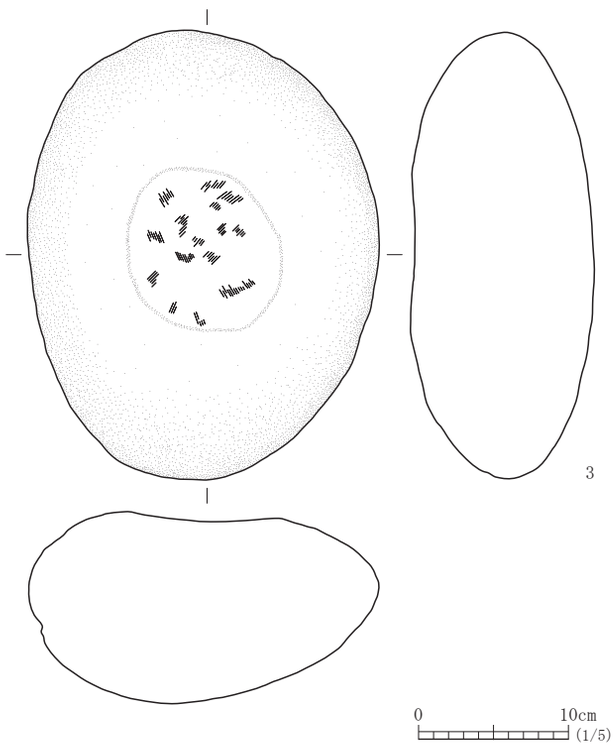


0　10cm
(1/3)

No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-002	424配石	磨石	安山岩	Kc-a	13.1	9.1	5.0	980.0		-
2	Kc-046	424配石	凹石	凝灰岩	Kc-b	(13.5)	(14.3)	3.3	(830.0)	板状の石材。	-
3	Kc-038	424配石	凹石	安山岩	Kc-b	21.6	20.0	8.7	5,550.0		56-1

第46図　Ⅶ層Ⅳ区 配石出土遺物（3）

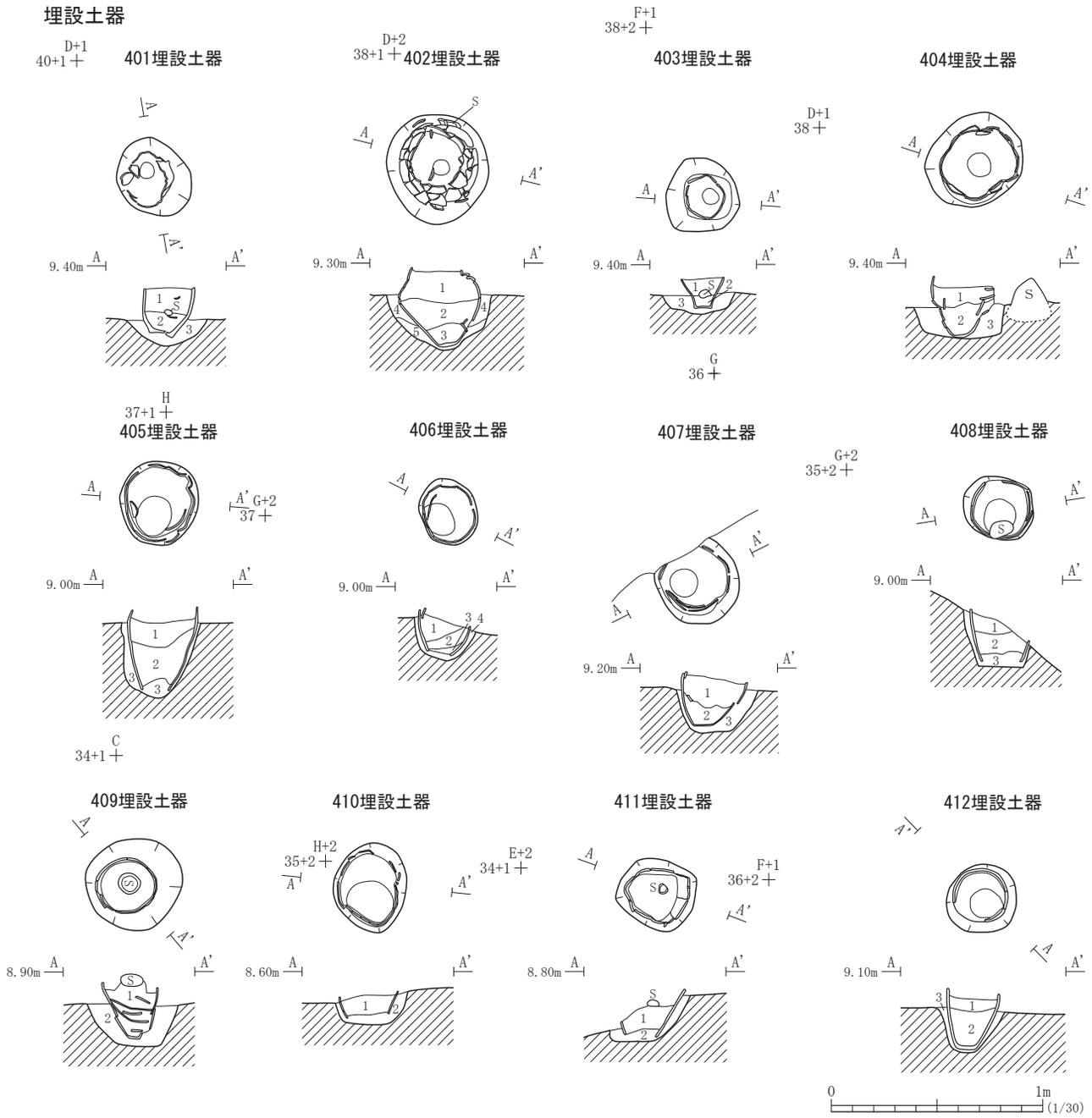




No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備　考	写真図版
1	Kc-093	424 配石	石皿	安山岩	Kc-f	11.4	7.7	2.9	310.0		56-2
2	Kc-088	424 配石	石皿	安山岩	Kc-f	13.5	11.3	3.3	700.0		56-3
3	Kc-133	424 配石	台石	安山岩	Kc-g	29.8	23.5	12.7	10,000.0		56-4

第 47 図　Ⅶ層Ⅳ区 配石出土遺物（4）

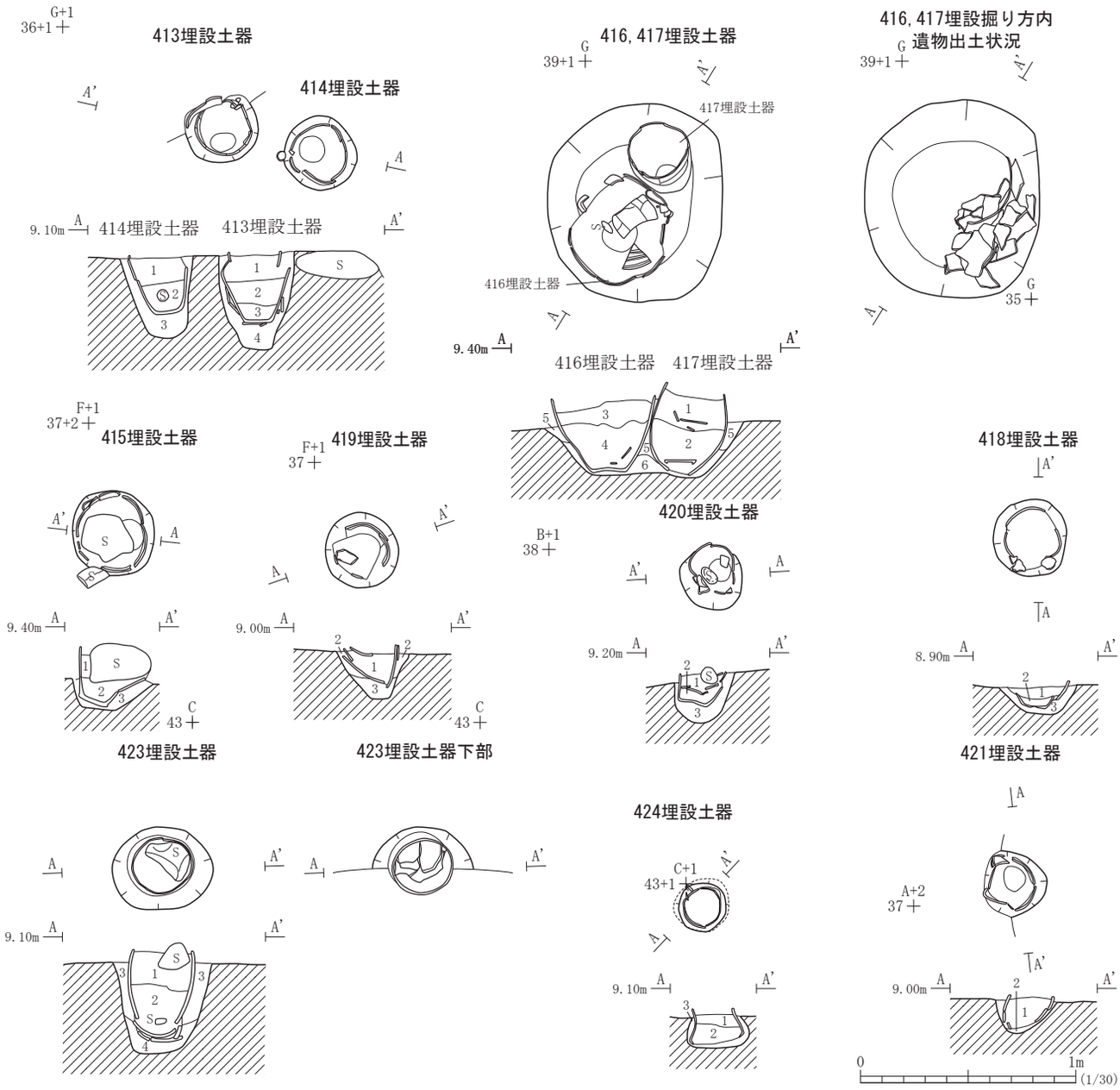
埋設土器



埋設土器	層位	土　色	土　性	備　考
401	1	10YR4/3 にぶい黄褐	シルト	
	2	10YR3/3 暗褐	シルト	にぶい黄褐色シルト多量、骨片を含む。
	3	10YR4/4 褐	シルト	黒褐色シルト小ブロックを多量に含む。
402	1	10YR4/3 にぶい黄褐	シルト	炭化物・骨粉を少量含む。礫 1 個。
	2	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物・骨粉を多量に含む。
	3	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物・骨粉を少量含む。
	4	10YR2/3 黒褐	シルト	黄褐色シルト質砂主体、褐色砂質シルトを少量含む。
	5	10YR3/4 暗褐	シルト	褐色砂質シルト主体、黄褐色シルト質砂を少量含む。
403	1	10YR2/3 黒褐	シルト	骨粉を少量含む。
	2	10YR2/2 黒褐	シルト	骨粉を多量に含む。
	3	10YR2/2 黒褐	シルト	
404	1	10YR4/3 にぶい黄褐	シルト	炭化物・骨粉を少量含む。礫 2 個。
	2	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物・骨粉を多量に含む。礫 1 個。
	3	—	—	暗褐色シルトブロックに褐色シルトブロック、焼土粒、炭化物粒を多量に含む。
405	1	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒を少量含む。
	2	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物粒、焼土粒を少量含む。
	3	10YR3/2 黒褐	シルト	褐色小ブロックを多量に含む。

埋設土器	層位	土　色	土　性	備　考
406	1	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒、焼土粒を多量に含む。
	2	10YR3/2 黒褐	シルト	炭化物粒、焼土粒を多量に含む。
	3	10YR3/3 暗褐	シルト	
	4	10YR3/3 暗褐	—	褐色小ブロックを多量に含む。
407	1	10YR4/3 にぶい黄褐	シルト	黒褐色シルトブロック、焼土粒、炭化物粒、骨粉を含む。
	2	10YR2/2 黒褐	シルト	木炭小片多量、骨粉を微量に含む。
	3	10YR2/3 黒褐	シルト	焼土粒、炭化物粒を含む。
408	1	10YR3/3 暗褐	砂質シルト	炭化物粒を少量含む。
	2	10YR3/2 黒褐	砂質シルト	炭化物粒を少量含む。
	3	10YR4/3 にぶい黄褐	シルト	褐色小ブロックを多量に含む。
409	1	10YR3/3 暗褐	砂質シルト	炭化物粒を少量含む。
	2	—	—	黒色シルト・褐色砂質シルトブロック。
410	1	10YR3/3 暗褐	シルト	褐色小ブロック多量、炭化物粒を少量含む。
	2	10YR4/6 褐	シルト	地山ブロック（黄褐色・褐色砂質シルト）。
411	1	10YR3/3 暗褐	砂質シルト	炭化物粒を少量含む。
	2	10YR4/4 褐	砂質シルト	地山ブロック（褐色砂質シルト）。
412	1	10YR3/3 暗褐	砂質シルト	炭化物粒、焼土粒、骨粉を多量に含む。
	2	10YR2/2 黒褐	砂質シルト	炭化物粒、焼土粒、骨粉を少量含む。
	3	10YR2/3 黒褐	砂質シルト	炭化物粒、焼土粒、骨粉を多量に含む。

第 48 図　Ⅶ層Ⅳ区 埋設土器（1）

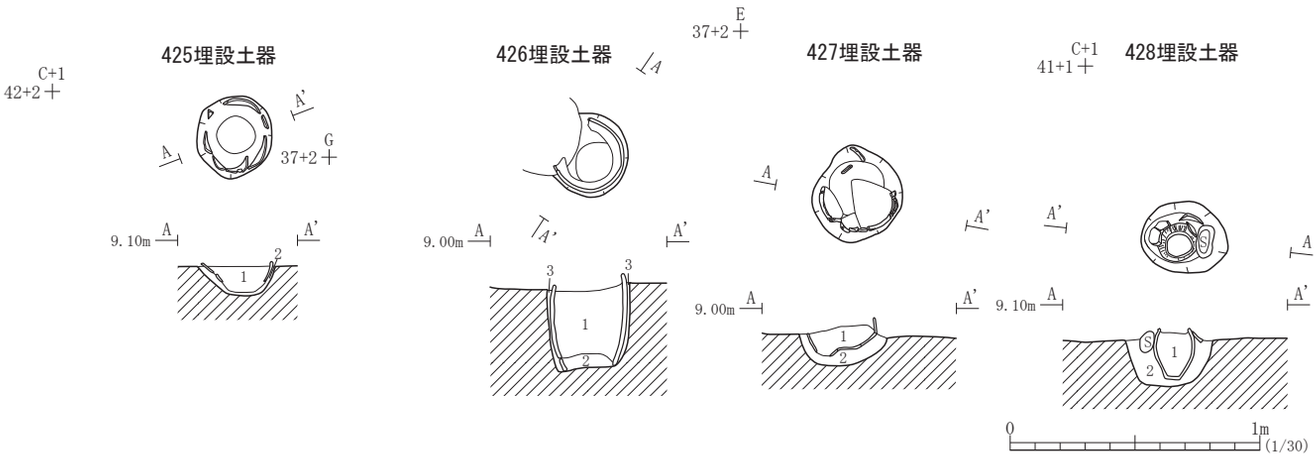


埋設土器	層位	土　色	土　性	備　考
413	1	10YR2/2 黒褐	砂質シルト	炭化物粒、骨粉を少量含む。
	2	10YR5/3 にぶい黄褐	砂質シルト	炭化物粒少量、骨粉を多量に含む。
	3	10YR3/1 黒褐	砂質シルト	炭化物粒を多量に含む。
	4	10YR3/4 暗褐	砂質シルト	炭化物粒、骨粉を少量含む。
414	1	10YR4/3 にぶい黄褐	砂質シルト	炭化物粒、骨粉を少量含む。
	2	10YR3/2 黒褐	砂質シルト	炭化物粒、焼土粒、骨粉を少量含む。
	3	10YR3/4 暗褐	砂質シルト	炭化物粒、骨粉を少量含む。
415	1	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒を少量含む。
	2	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物粒、骨粉を少量含む。
	3	10YR3/2 黒褐	シルト	炭化物粒・焼土粒を少量含む。
416	3	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物粒、骨粉少量、褐色砂質シルト小ブロックを含む。
	4	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒、骨粉少量、褐色砂質シルト小ブロックをℓ1層より多量に含む。
	5	10YR4/4 褐	砂質シルト	褐色シルトブロック。
	6	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒を微量含む。
417	1	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物粒、骨粉少量、褐色砂質シルト小ブロックを含む。
	2	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒、骨粉少量、褐色砂質シルト小ブロックをℓ1層より多量に含む。
	5	10YR4/4 褐	砂質シルト	褐色シルトブロック。
	6	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒を微量含む。

埋設土器	層位	土　色	土　性	備　考
418	1	10YR3/3 暗褐	砂質シルト	炭化物粒を少量含む。
	2	10YR2/2 黒褐	砂質シルト	炭化物粒を少量含む。
	3	10YR3/2 黒褐	砂質シルト	炭化物粒を少量含む。
419	1	10YR3/2 黒褐	シルト	炭化物粒、褐色砂質シルト粒を多量に含む。
	2	10YR3/2 黒褐	シルト	炭化物粒、褐色砂質シルト小ブロックを多量に含む。
	3	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物粒、褐色砂質シルトブロックを多量に含む。
420	1	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物粒、焼土粒を含む。
	2	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒、焼土粒を含む。
	3	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物粒、焼土粒を含む。
421	1	—	—	黒褐色・暗褐色シルトブロック、炭化物粒、焼土粒、骨粉を微量含む。
	2	—	—	暗褐色・褐色シルトブロック、黒褐色シルトを含む。
423	1	10YR5/3 にぶい黄褐	シルト	炭化物多量、暗褐色シルト（炭化物を含む）小ブロックを含む。
	2	10YR4/4 褐	シルト	炭化物を含む。
	3	10YR4/4 褐	シルト	暗褐色シルト（炭化物少量含む）小ブロックを含む。
	4	10YR5/4 にぶい黄褐	シルト	
424	1	10YR3/3 暗褐	—	炭化物片あり。
	2	10YR4/4 褐	シルト	
	3	10YR3/4 暗褐	シルト質粘土	

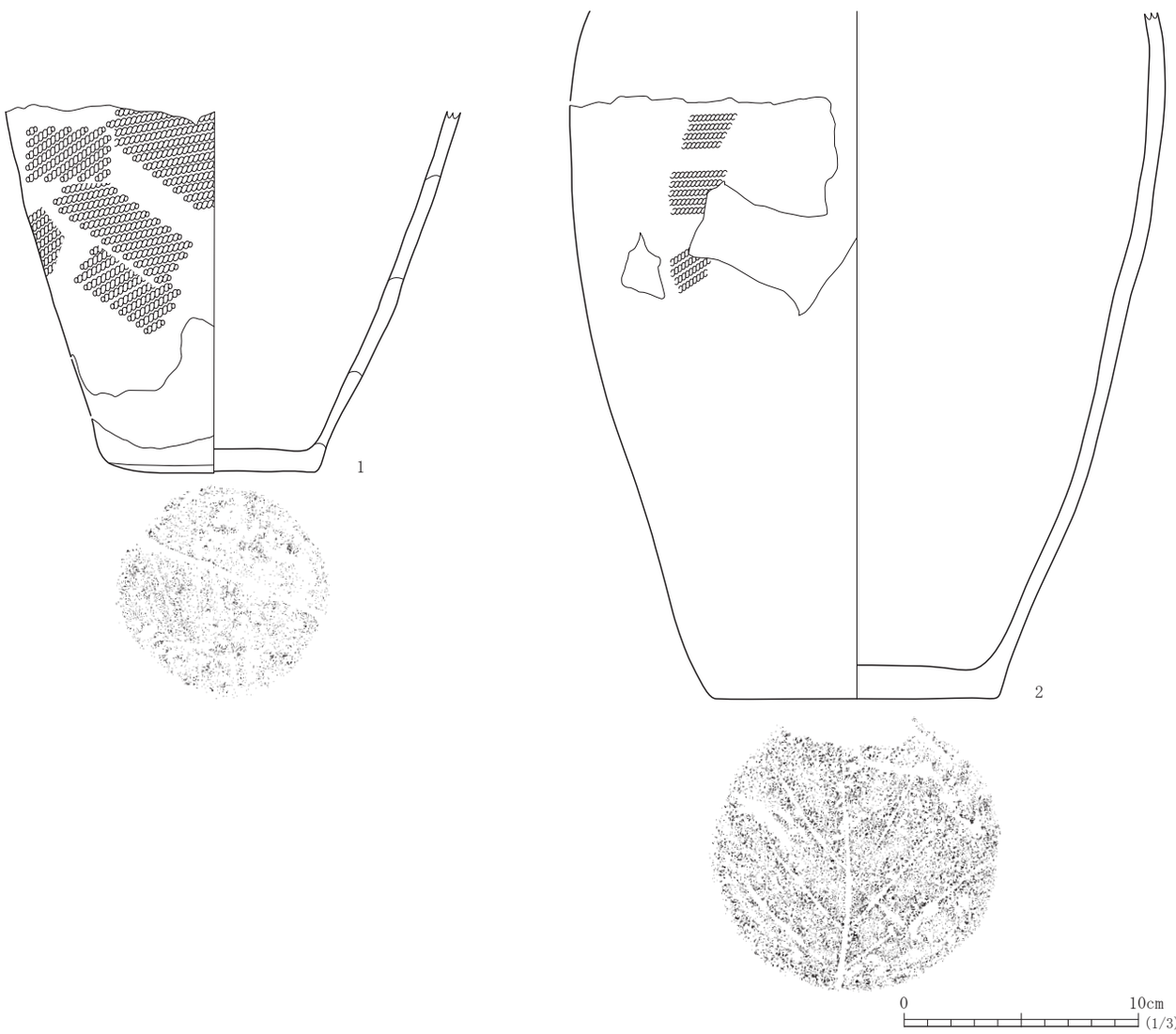
第 49 図　Ⅶ層Ⅳ区 埋設土器（2）

1. Ⅶ　層



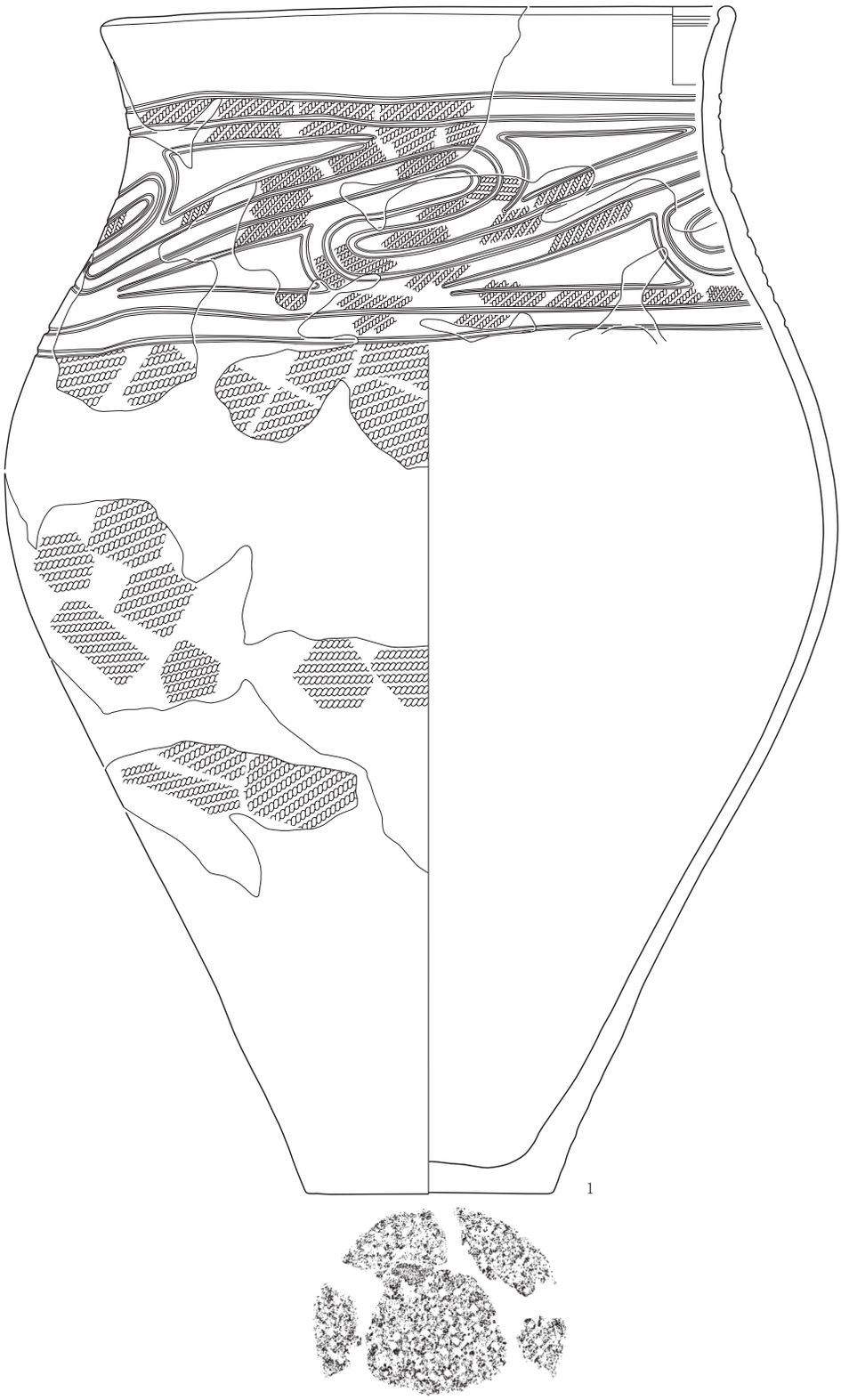
埋設土器	層位	土　色	土　性	備　考
425	1	10YR3/3 暗褐	シルト質粘土	炭化物を少量含む。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト質粘土	
426	1	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	暗褐色シルト小ブロックを多量に含む。
	2	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	
	3	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。

埋設土器	層位	土　色	土　性	備　考
427	1	10YR2/2 黒褐 10YR3/2 黒褐	シルト	混在。
	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	黒褐色シルトを少量含む。
428	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物を少量含む。
	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	褐色シルト質砂ブロックを含む。



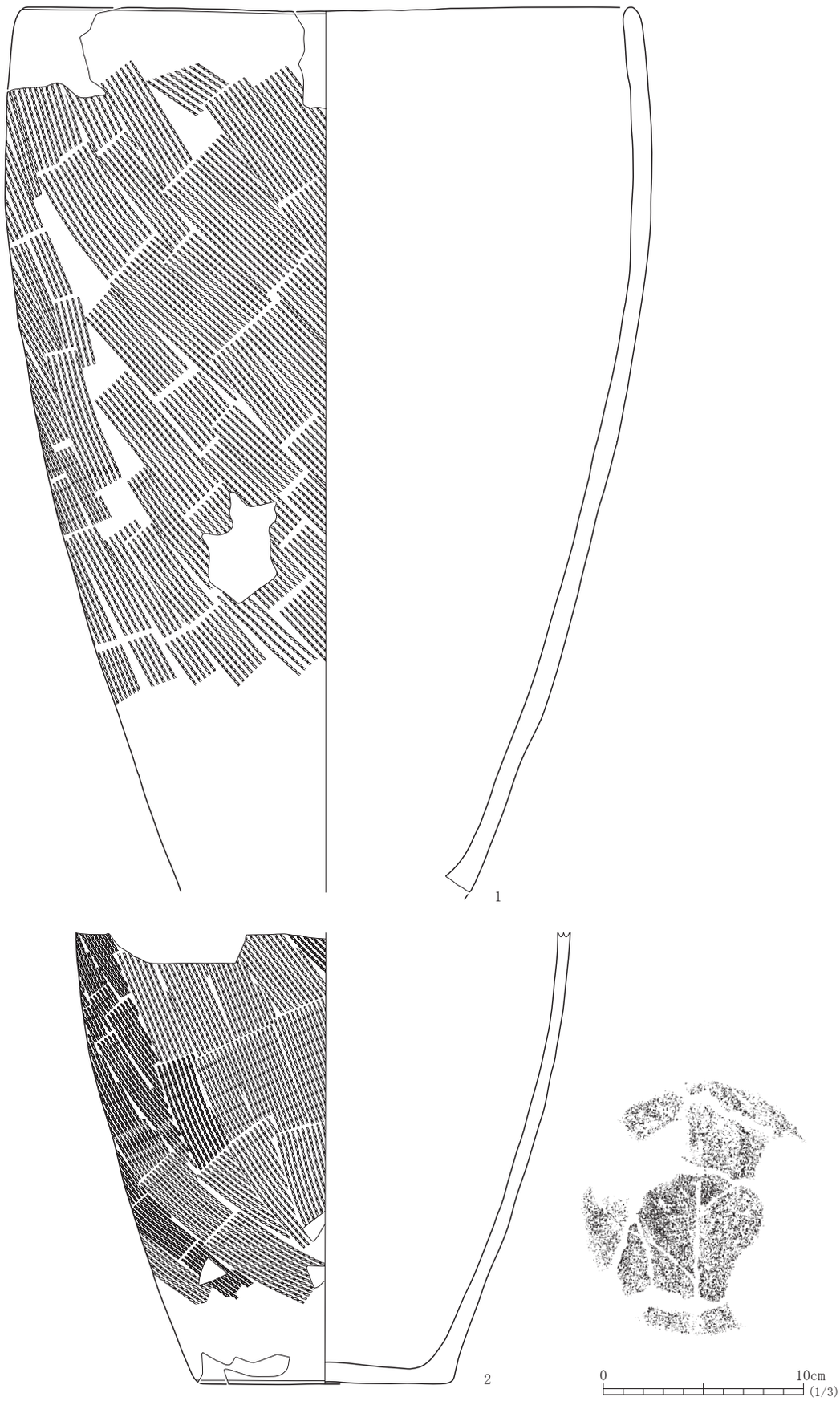
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-263	403 埋設土器	縄文土器	深鉢	縄文 LR 横・斜位施文。	底部木葉痕。	-
2	A-890	404 埋設土器	縄文土器	深鉢	縄文 LR 横・斜位施文。	底部木葉痕。	-

第 50 図　Ⅶ層Ⅳ区 埋設土器（3）・埋設土器出土遺物（1）



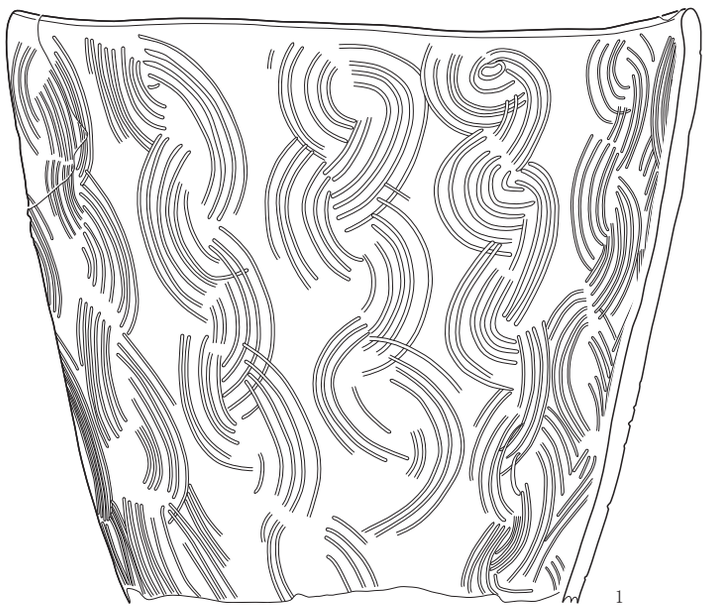
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-422	402 埋設土器	縄文土器	壺	外面　沈線文、縄文 LR 横・斜位施文。内面　口縁部：沈線文。	底部網代痕。	56-5

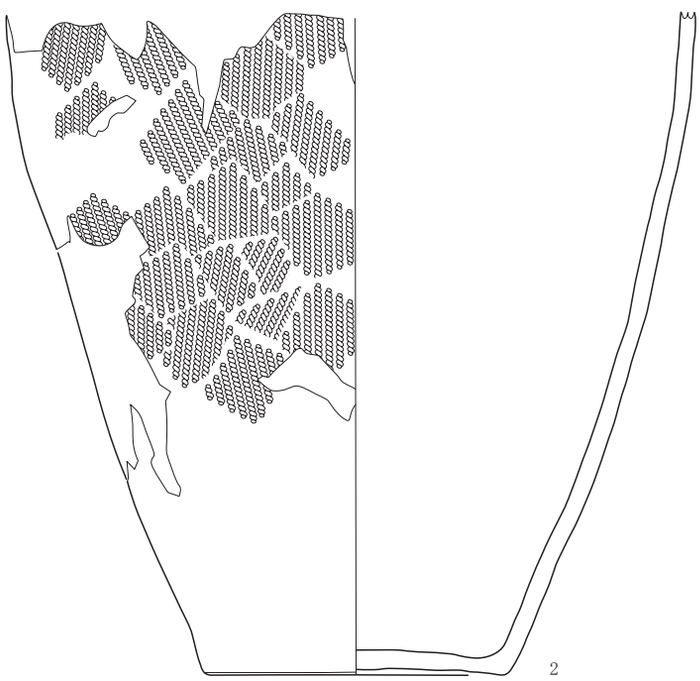
第 51 図　Ⅶ層Ⅳ区 埋設土器出土遺物（2）



No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-425	405 埋設土器	縄文土器	深鉢	撚糸文Ｒ縦・斜位施文。		56-6
2	A-402	406 埋設土器	縄文土器	深鉢	撚糸文Ｒ縦・斜位施文。	底部木葉痕。	－

第 52 図　Ⅶ層Ⅳ区 埋設土器出土遺物（3）

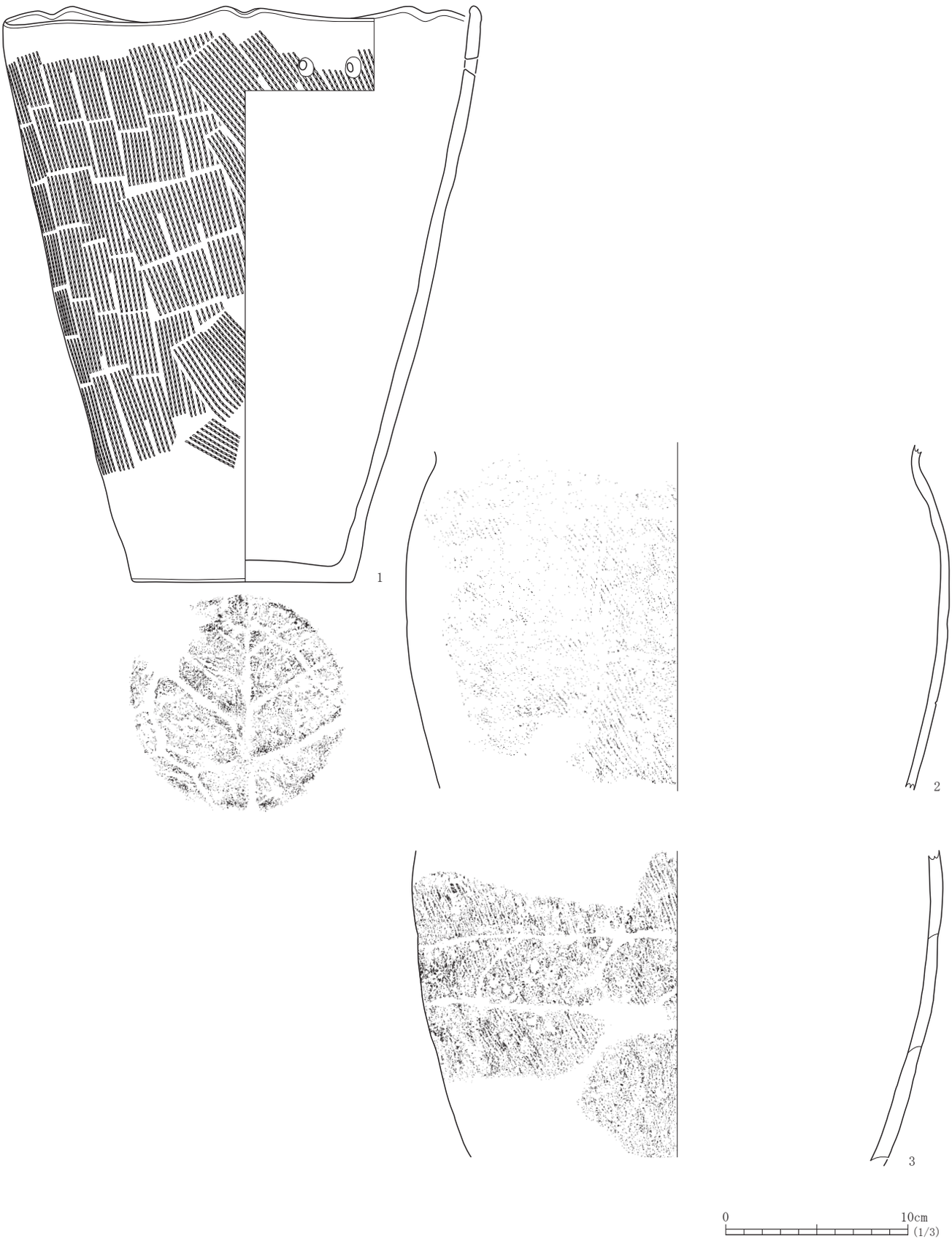




0　10cm
(1/3)

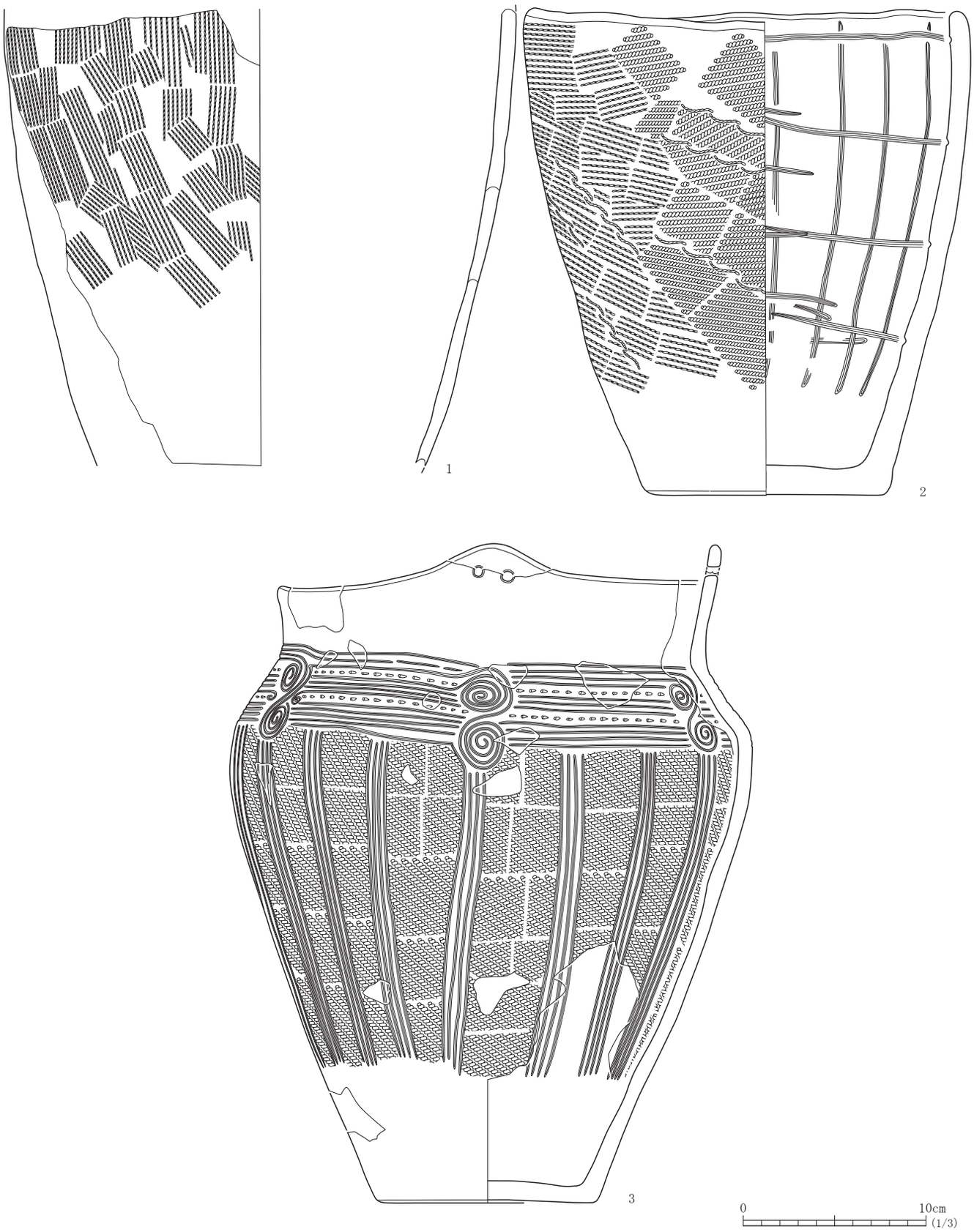
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-420	408 埋設土器	縄文土器	深鉢	櫛歯状沈線文。		57-1
2	A-365	407 埋設土器	縄文土器	深鉢	縄文 LR 縦・横・斜位施文。	底部木葉痕。	57-2

第 53 図　Ⅶ層Ⅳ区 埋設土器出土遺物（4）



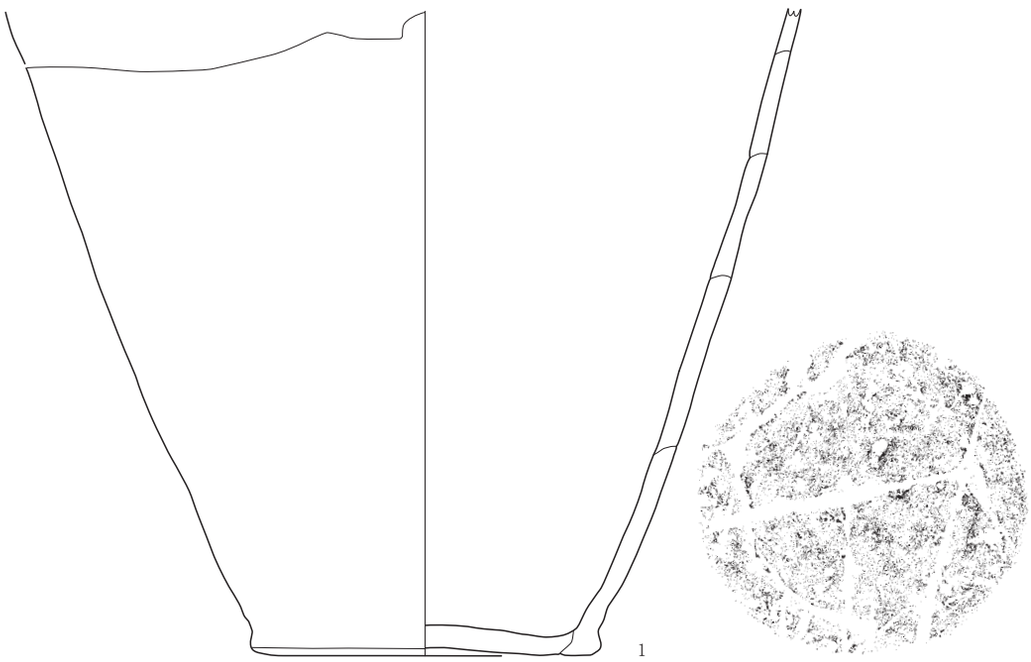
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-395	409 埋設土器	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 縦・斜位施文。	波状口縁。3 単位。補修孔。底部木葉痕。	57-3
2	A-394	409 埋設土器	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 縦・斜位施文。		-
3	A-379	410 埋設土器	縄文土器	深鉢	撚糸文 L 縦位施文。		57-4

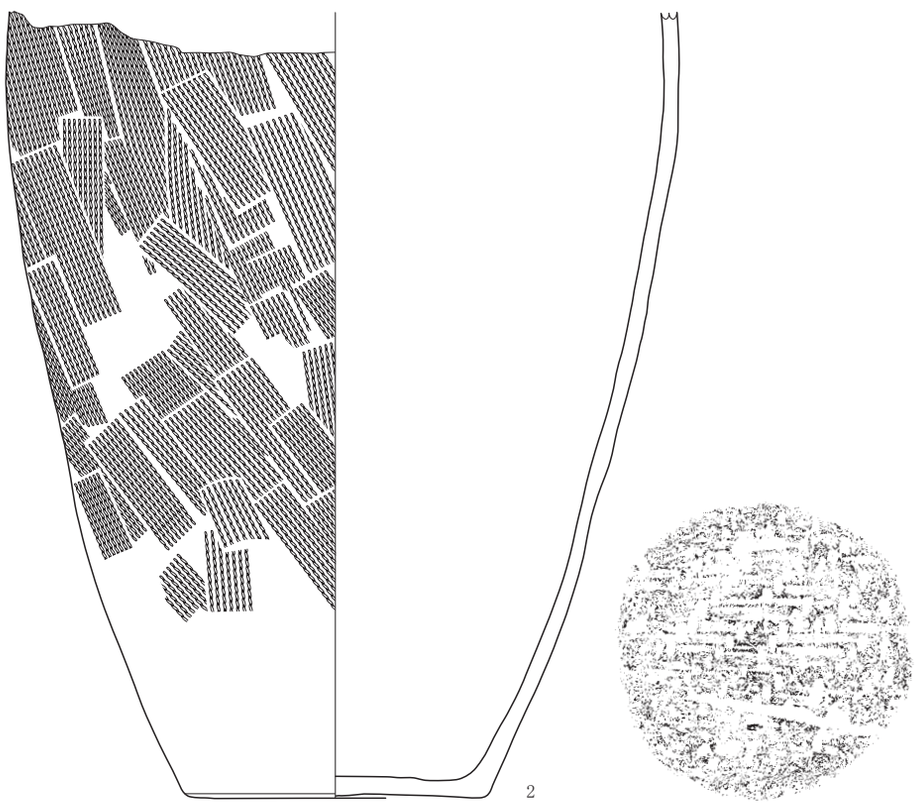
第 54 図　Ⅶ層Ⅳ区 埋設土器出土遺物（5）



No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-391	411 埋設土器	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 縦・斜位施文。		–
2	A-803	412 埋設土器	縄文土器	深鉢	外面　縄文 LR 横・斜位施文、結節、撚糸文 R 横・斜位施文。内面　格子目状沈線文。		58-1
3	A-764	413 埋設土器	縄文土器	深鉢	多条沈線文、刺突文、縄文 LR 縦位施文。	波状口縁。1 単位。貫通孔。	57-5

第 55 図　Ⅶ層Ⅳ区 埋設土器出土遺物（6）





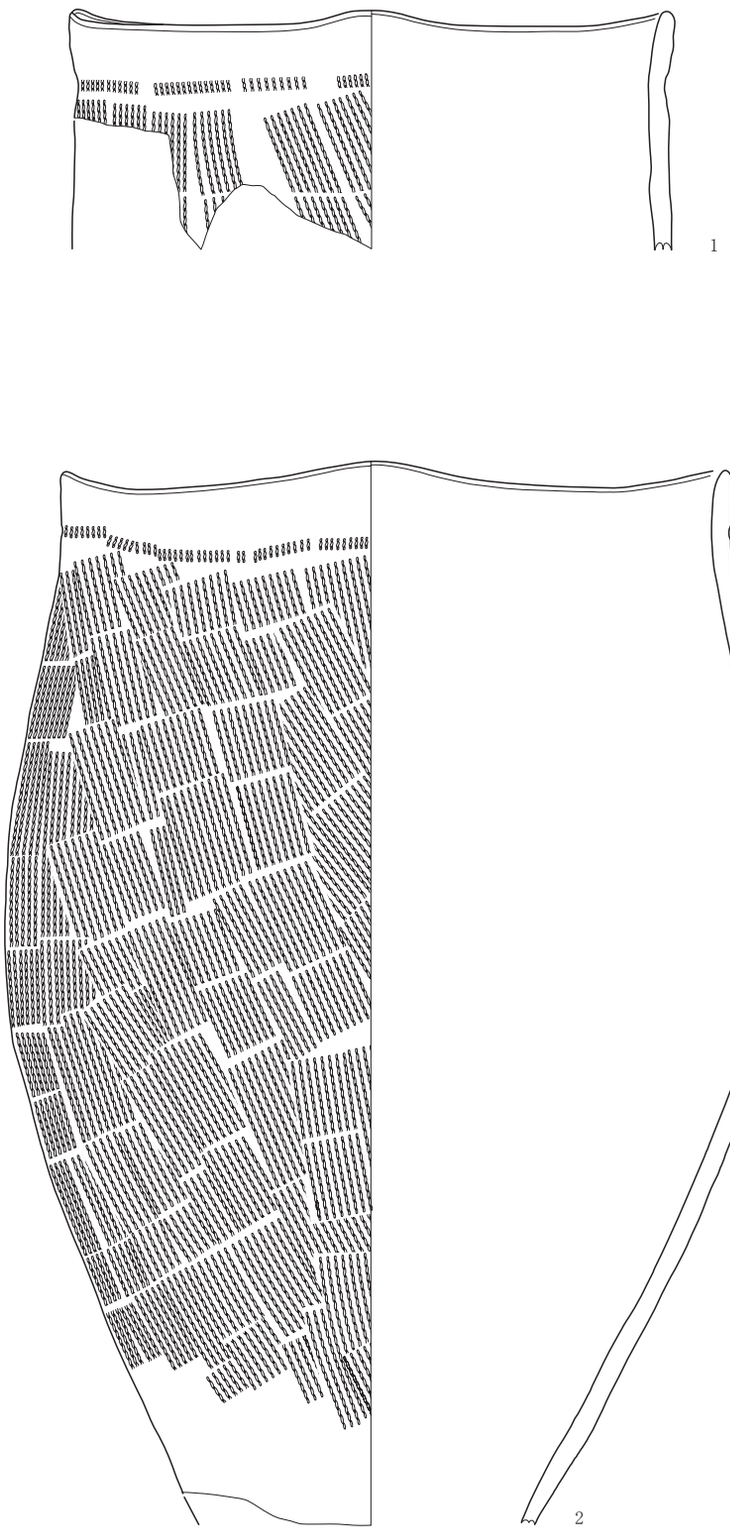
0　10cm
(1/3)

No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-690	415 埋設土器	縄文土器	深鉢		底部木葉痕。	-
2	A-498	414 埋設土器	縄文土器	深鉢	胴部：撚糸文 R 縦・斜位施文。	底部網代痕。	57-6

第 56 図　Ⅶ層Ⅳ区 埋設土器出土遺物（7）

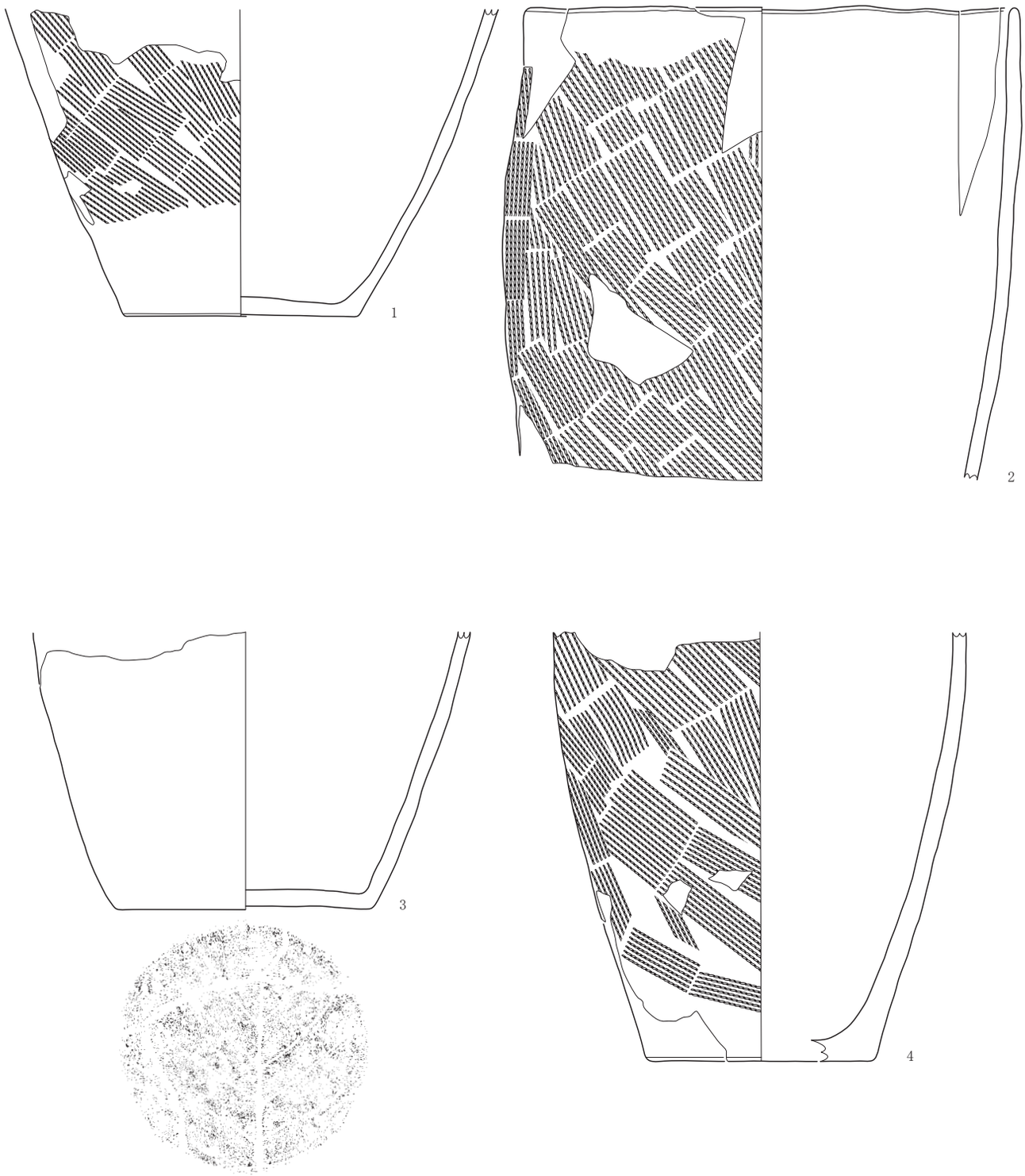
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-400	416 埋設土器	縄文土器	深鉢	口縁部・頸部：絡状体圧痕文。胴部：撚糸文R縦・斜位施文。	波状口縁。6 単位。底部網代痕。	59-1

第 57 図　Ⅶ層Ⅳ区 埋設土器出土遺物（8）



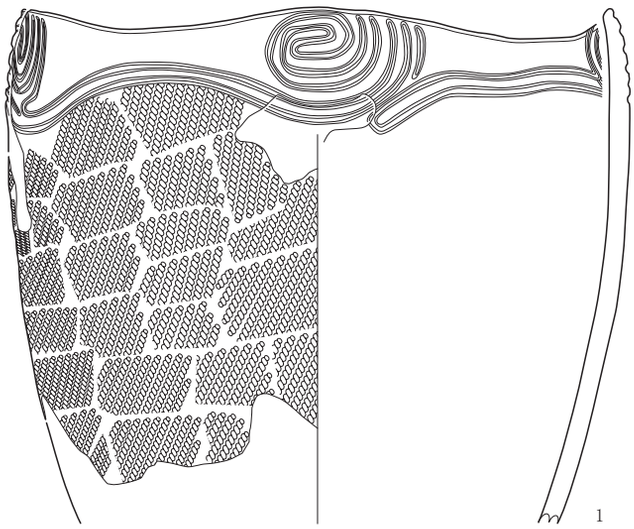
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-401	417 埋設土器	縄文土器	深鉢	頸部：絡状体圧痕文。胴部：撚糸文 L 縦位施文。	波状口縁。4 単位。	58-2
2	A-802	417 埋設土器	縄文土器	深鉢	頸部：絡状体圧痕文。胴部：撚糸文 L 縦位施文。	波状口縁。4 単位か。	58-3

第 58 図　Ⅶ層Ⅳ区 埋設土器出土遺物（9）



No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-374	418 埋設土器	縄文土器	深鉢	撚糸文Ｒ斜位施文。		－
2	A-383	419 埋設土器	縄文土器	深鉢	撚糸文Ｌ縦・斜位施文。		59-2
3	A-880	420 埋設土器	縄文土器	深鉢		底部木葉痕。	－
4	A-381	421 埋設土器	縄文土器	深鉢	撚糸文Ｒ斜位施文。		－

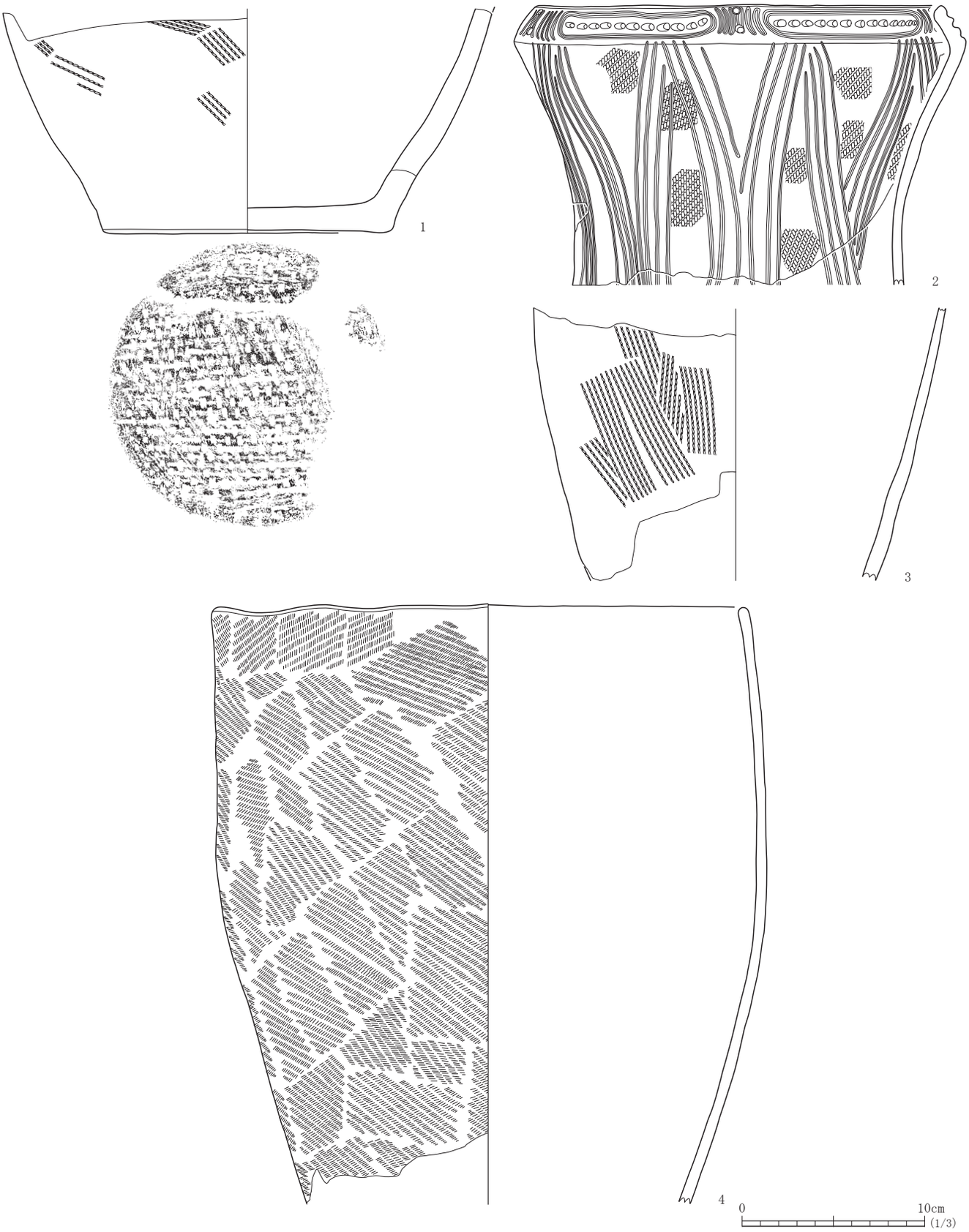
第 59 図　Ⅶ層Ⅳ区 埋設土器出土遺物（10）



0　10cm
(1/3)

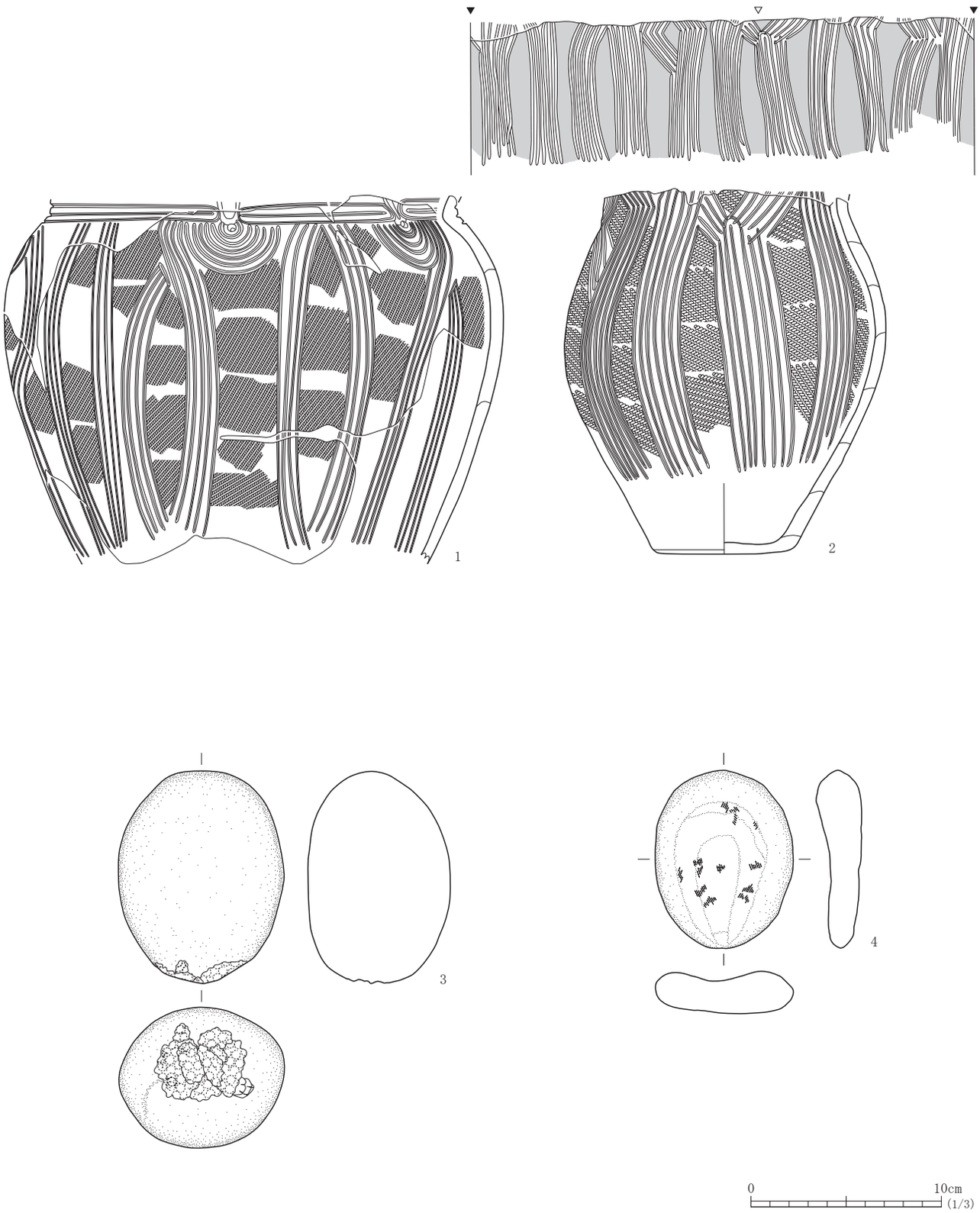
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-287	423 埋設土器	縄文土器	深鉢	沈線文、縄文 LR 横位施文。	波状口縁。4 単位。	58-4
2	A-393	423 埋設土器	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 斜位施文。		59-3

第 60 図　Ⅶ層Ⅳ区 埋設土器出土遺物（11）



No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-262	423 埋設土器	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 斜位施文。	底部網代痕。	－
2	A-369	424 埋設土器	縄文土器	深鉢	多条沈線文、刺突文。縄文 LR 横位施文。		59-4
3	A-392	425 埋設土器	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 縦位施文。		－
4	A-260	426 埋設土器	縄文土器	深鉢	縄文 L 横・斜位施文。		－

第 61 図　Ⅶ層Ⅳ区 埋設土器出土遺物（12）

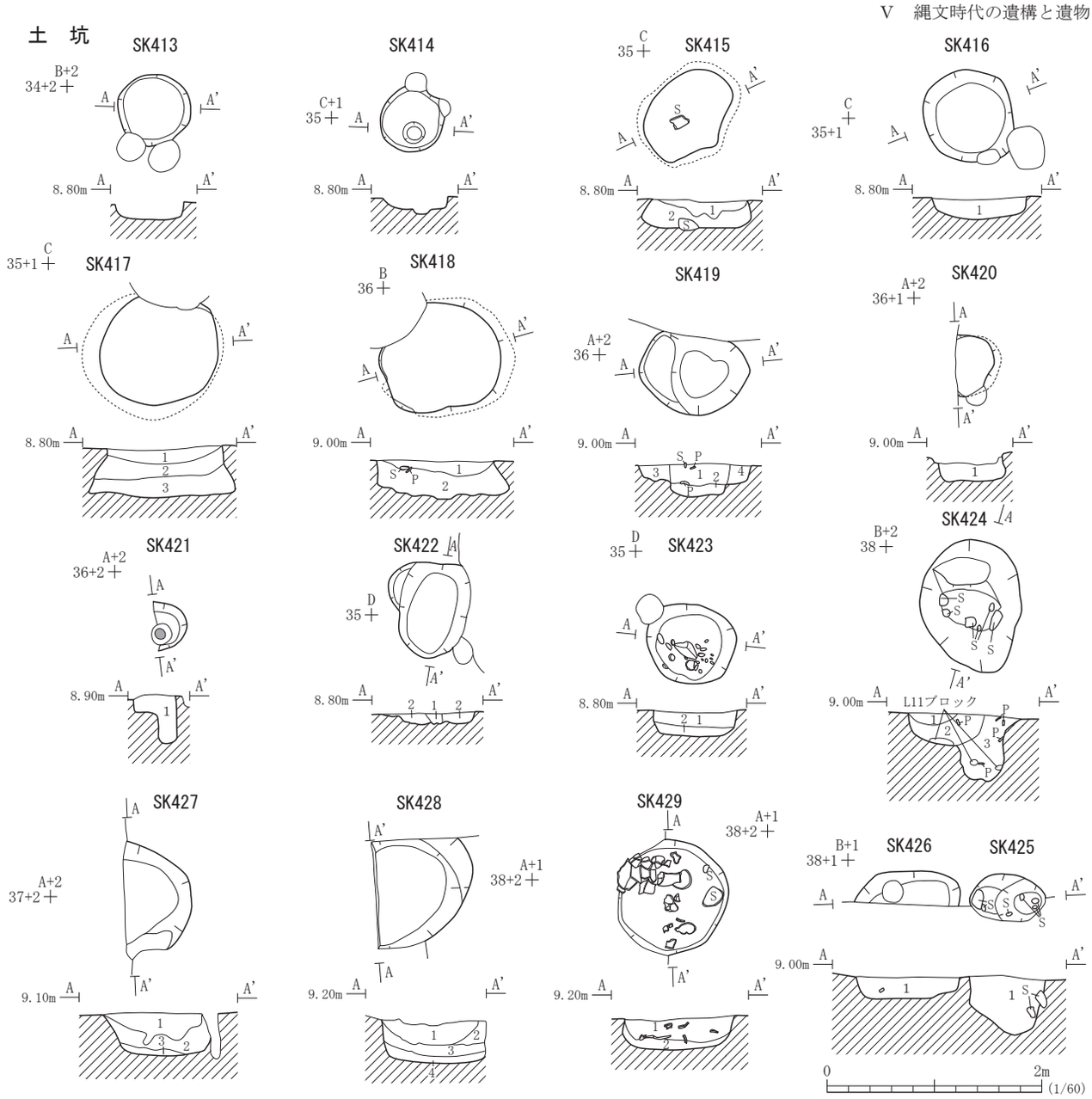


No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-879	427 埋設土器	縄文土器	深鉢	多条沈線文、円形刺突文、縄文 LR 横位施文。		60-1
2	A-547	428 埋設土器	縄文土器	深鉢	多条沈線文、縄文 LR 縦位施文。		60-2

No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備　考	写真図版
3	Kc-050	402 埋設土器	敲石	デイサイト	Kc-c	11.1	8.7	7.4	953.5		60-3
4	Kc-090	404 埋設土器	石皿	安山岩	Kc-f	9.3	7.3	2.4	191.0		60-4

第 62 図　Ⅶ層Ⅳ区 埋設土器出土遺物 (13)

土　坑

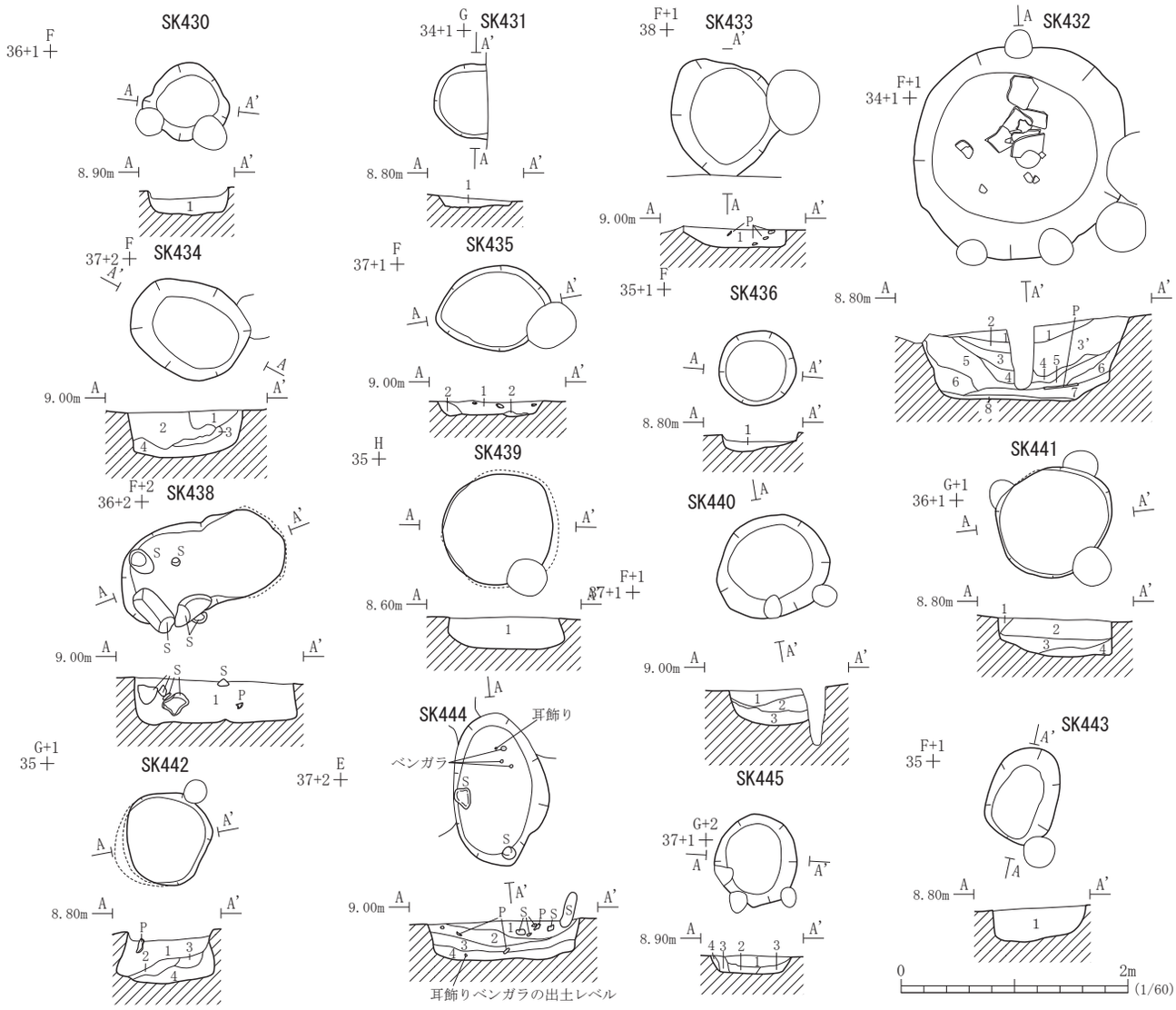


SK	層位	土　色	土　性	備　考
415	1	10YR2/2 黒褐	シルト	
	2	10YR3/3 暗褐	シルト	黒褐色シルトに暗褐色シルトブロックを含む。
416	1	10YR2/2 黒褐	シルト	暗褐色シルト小ブロックを含む。
417	1	10YR2/2 黒褐	シルト	暗褐色シルト小ブロックを含む。
	2	10YR4/4 褐	シルト	暗褐色シルトブロック主体に黒褐色シルト粒を多量に含む。
	3	10YR4/6 褐	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂ブロック主体に黒褐色シルト粒を少量含む。
418	1	10YR2/3 黒褐	シルト質粘土	層全体に炭化物・焼土を含み骨粉を帯状に含む所あり。所々に暗褐色粘土をブロック状に含む。（人為堆積）
	2	10YR3/2 黒褐	粘土質シルト	炭化物帯状、所々に骨粉・焼土、土器片を含む。（人為堆積）
419	1	10YR3/4 暗褐	シルト質粘土	層の所々に炭化物・焼土帯状、層の全体に土器片・骨粉を含む。（人為堆積）
	2	10YR3/2 黒褐	シルト質粘土	炭化物・焼土はみられるが骨粉は微かになる。（人為堆積）
	3	10YR2/3 黒褐	シルト質粘土	炭化物を帯状に含み骨粉がまばらになる。（人為堆積）
	4	10YR4/4 褐	シルト質粘土	骨粉を微量含む。（人為堆積）
420	1	10YR3/3 暗褐	シルト	帯状あるいはブロックで炭化物、層全体に骨粉、暗褐色シルトブロックを含む。
421	1	10YR3/2 黒褐	シルト	炭化物ブロックを含む。柱穴。

SK	層位	土　色	土　性	備　考
422	1	10YR2/1 黒色	シルト	（人為堆積）
	2	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物片・骨片多量、小礫（φ２～３㎜）を微量含む。（人為堆積）
423	1	10YR2/1 黒	シルト質粘土	下部に炭化物帯状、骨粉・焼土ブロック・炭化物片を所々に含む。（人為堆積）
	2	10YR3/4 暗褐	シルト質粘土	炭化物片を微量含む。（人為堆積）
424	1	10YR3/4 暗褐	粘土質シルト	炭化物片・骨粉がまばらにみられる。
	2	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物片の集中する所あり。所々に暗褐色シルトブロックを含む。
	3	10YR3/2 黒褐	粘土質シルト	土器片、暗褐色シルトブロック、炭化物を微量含む。
425	1	7.5YR3/2 黒褐	シルト質粘土	層上部炭化物片を含む
426	1	10YR4/3 にぶい黄褐	シルト	炭化物片を含む。
427	1	10YR2/2 黒褐	シルト	土器片・骨粉・暗褐色シルトブロックを含む。（人為堆積）
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物片を微量に含む。（人為堆積）
	3	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物片を斑状に含む。（人為堆積）
428	1	10YR2/1 黒	シルト	炭化物、小礫、骨粉を少量含む。（人為堆積）
	2	10YR2/2 黒褐	粘土	炭化物を帯状に含む。（人為堆積）
	3	10YR2/3 黒褐	粘土	炭化物帯状、炭化物片を多量に含む。（人為堆積）
	4	10YR3/4 暗褐	粘土	特に粘性が強い。（人為堆積）
429	1	10YR2/2 黒褐	シルト	土器、炭化物片（φ２㎜～１㎝）、処々に暗褐色シルトブロックで含む。
	2	10YR2/3 黒褐	シルト	ℓ１層よりやや焼土粒が多い。

第 63 図　Ⅶ層Ⅳ区 土坑（1）

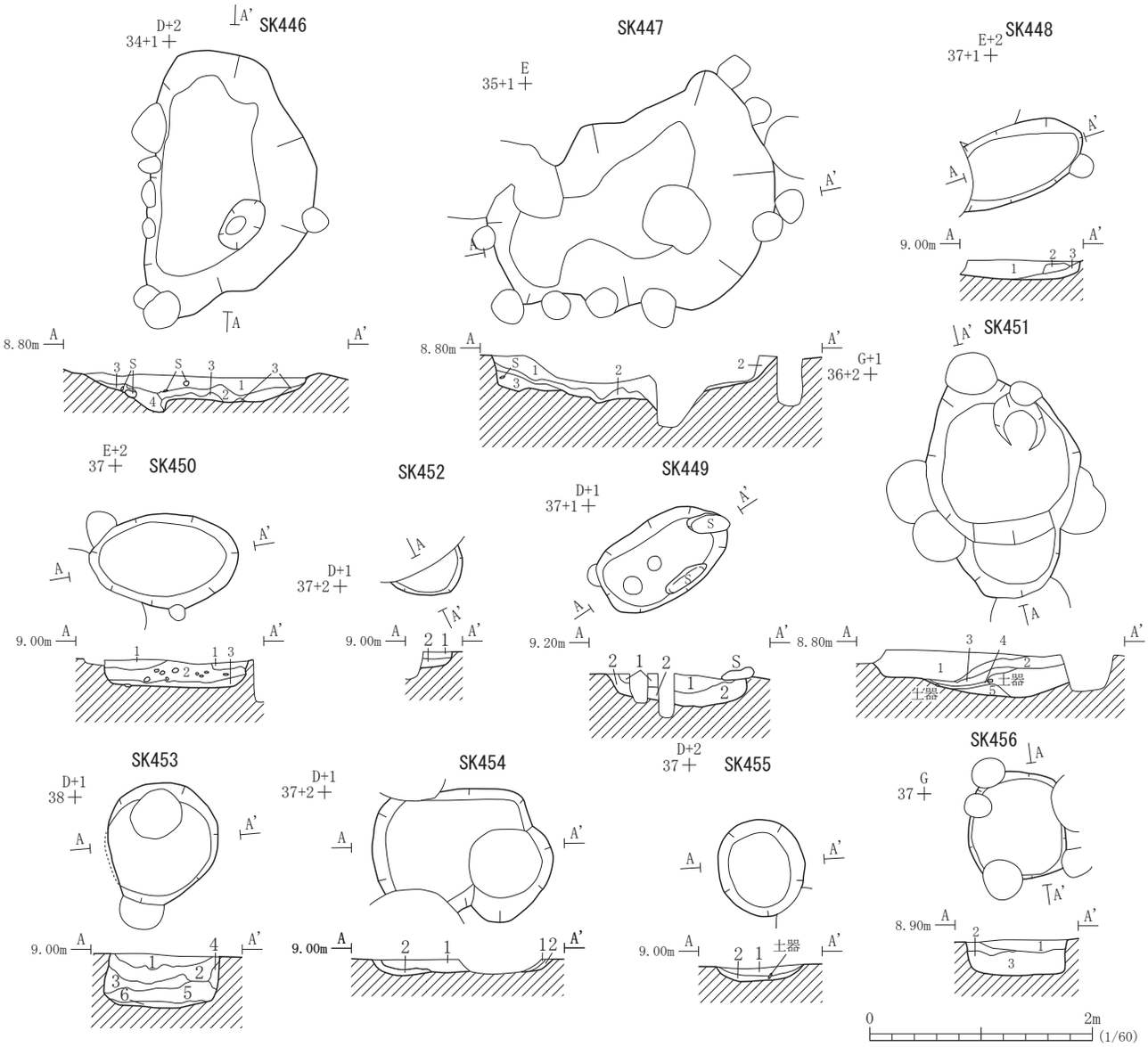
1. Ⅶ　層



SK	層位	土　色	土　性	備　考
430	1	10YR3/2 黒褐	シルト	焼土塊ブロック（φ５㎜～１㎝）、炭化物を層全体にまばらに含む。
431	1	10YR3/4 暗褐	シルト	焼土ブロック、炭化物を帯状に含む。
432	1	10YR3/3 暗褐	シルト	層中に骨粉微量、炭化物片多量、焼土ブロックを含む。
	2	10YR4/4 褐	シルト	
	3	10YR3/4 暗褐	シルト	焼土・炭化物小ブロックを多量に含む。
	3’	10YR3/4 暗褐	シルト	ℓ３層より焼土が多い。
	4	10YR3/3 暗褐	シルト	上部に帯状に炭化物がある。
	5	10YR3/4 暗褐	シルト	
	6	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	
	7	10YR3/4 暗褐	シルト	
	8	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物・灰の層・暗褐シルトを含む。
433	1	10YR3/3 暗褐	粘土質シルト	土器、全体に炭化物片、暗褐色シルト小ブロックを含む。
434	1	10YR4/4 褐	シルト	（人為堆積）
	2	10YR2/3 黒褐	粘土質シルト	炭化物片・土器片・骨粉を含む。（人為堆積）
	3	10YR1.7/1 黒	粘土質シルト	ℓ２層の下部の可能性有るが炭化物が集中するところである。（人為堆積）
	4	10YR4/4 褐	シルト	（人為堆積）
435	1	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物片を含む。
	2	10YR3/3 暗褐	シルト	
436	1	10YR2/3 黒褐	シルト	土器、焼土ブロックを含む。
438	1	10YR2/3 黒褐	粘土質シルト	暗褐色シルト土ブロックを多量に含む。上層で炭化物・焼土の見られるところに骨粉あり。
439	1	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。焼土粒・炭化物粒を微量含む。（人為堆積）
440	1	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物・焼土を少量含む。
	2	10YR4/4 褐	砂質シルト	炭化物粒を少量含む。
	3	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物・焼土を少量含む。

SK	層位	土　色	土　性	備　考
441	1	10YR3/4 暗褐	シルト	壁際崩落土。
	2	10YR2/3 黒褐	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂小ブロック・炭化物粒を多量に含む。
	3	10YR3/3 暗褐	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂小ブロック・炭化物粒を多量に含む。
	4	10YR4/4 褐	シルト	褐色シルト質砂主体ブロックに暗褐色シルト小ブロックと炭化物粒混入。
442	1	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物、焼土小ブロック、土器片・骨片を多量に含む。
	2	10YR4/4 褐	砂質シルト	褐色シルト質砂土ブロック。
	3	10YR2/2 黒褐 10YR4/4 褐	シルト 砂質シルト	混在。
	4	10YR3/3 暗褐	シルト	焼土小ブロック・褐色シルト質砂ブロック・炭化物粒を多量に含む。
443	1	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物少量、焼土粒・暗褐色シルト粒を多量に含む。
444	1	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	黒褐色シルト・炭化物粒・焼土粒を多量に含む。（人為堆積）
	2	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	黒褐色シルトを多量に含む。混合物ℓ１層より少ない。（人為堆積）
	3	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	暗褐色シルトブロックを含む。混合物ℓ１層より少ない。（人為堆積）
	4	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	黒褐色シルトを多量に含む。混合物ℓ１層より少ない。底面が灰白色に変色している。（人為堆積）
445	1	10YR2/3 黒褐	シルト	焼土粒・炭化物粒多量、骨片を微量含む。
	2	10YR4/6 褐	砂質シルト	褐色シルト質砂ブロック。
	3	10YR4/2 灰黄褐	シルト	焼土粒・炭化物粒少量、骨片含む。
	4	10YR3/4 暗褐	シルト	暗褐色シルトブロック。

第 64 図　Ⅶ層Ⅳ区 土坑（2）

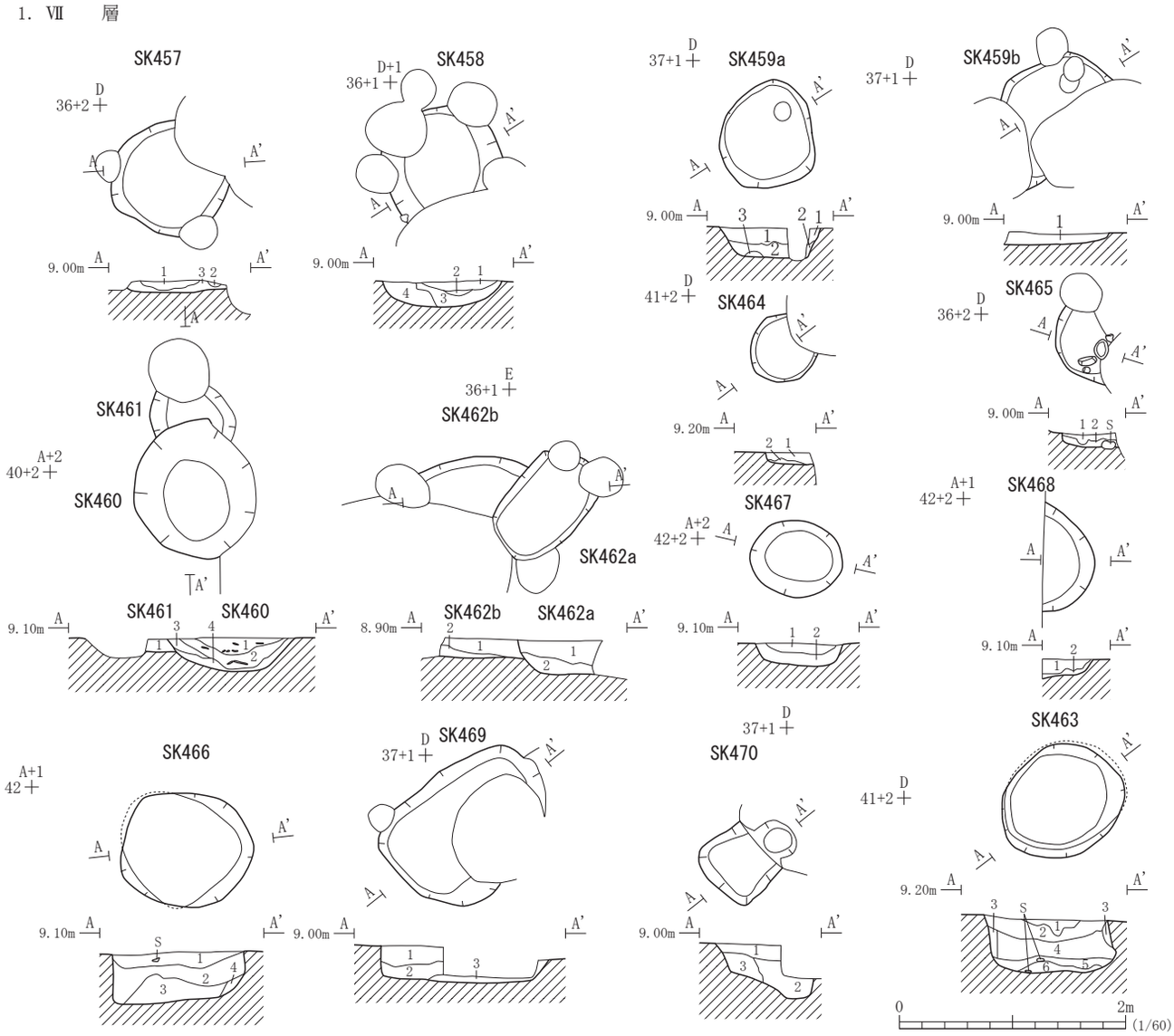


SK	層位	土　色	土　性	備　考
446	1	10YR2/2 黒褐	シルト	
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	
	3	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	
	4	10YR3/3 暗褐	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂粒を多量に含む。
447	1	10YR2/3 黒褐	シルト	
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	
	3	10YR2/2 黒褐	シルト	
448	1	10YR2/3 黒褐	シルト	
	2	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	
	3	10YR3/4 暗褐	シルト	
449	1	10YR2/2 黒褐	シルト	焼土粒・暗褐色シルト・褐色シルト質砂粒少量、西半部にベンガラ粒を含む。
	2	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。
450	1	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。黒褐色シルトを多量に含む。。
	2	10YR3/3 暗褐	シルト	礫（φ２～５cm）を多量に含む。
	3	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	ℓ１層よりも炭化物粒が多い。
451	1	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物粒・焼土粒・骨片・暗褐色シルト・褐色シルト質砂粒を多量に含む。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物粒微量混入。
	3	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	炭化物粒微量混入。
	4	—	—	炭化物層。黒色土・焼土粒を微量含む。
	5	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物粒・焼土粒・骨片・暗褐色シルト・褐色シルト質砂粒を多量に含む。

SK	層位	土　色	土　性	備　考
452	1	10YR2/1 黒	シルト	
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	黒色シルト粒を含む。
453	1	10YR2/3 黒褐	シルト	暗褐色シルト粒・褐色シルト質砂粒・炭化物粒・焼土粒を多量に含む。
	2	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。黒褐色シルト粒を多量に含む。
	3	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	
	4	10YR3/4 暗褐	シルト	
	5	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。暗褐色シルト粒を含む。
	6	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	砂を含む。
454	1	10YR2/3 黒褐	シルト	暗褐色シルト粒・褐色砂質シルト粒・炭化物粒・焼土粒を多量に含む。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物粒を多量に含む。
455	1	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒を少量含む。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	焼土粒を微量含む。
456	1	10YR3/4 暗褐	シルト	焼土粒・骨片・骨粉を多量に含む。
	2	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	
	3	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。炭化物粒を微量に含む。

第 65 図　Ⅶ層Ⅳ区 土坑（3）

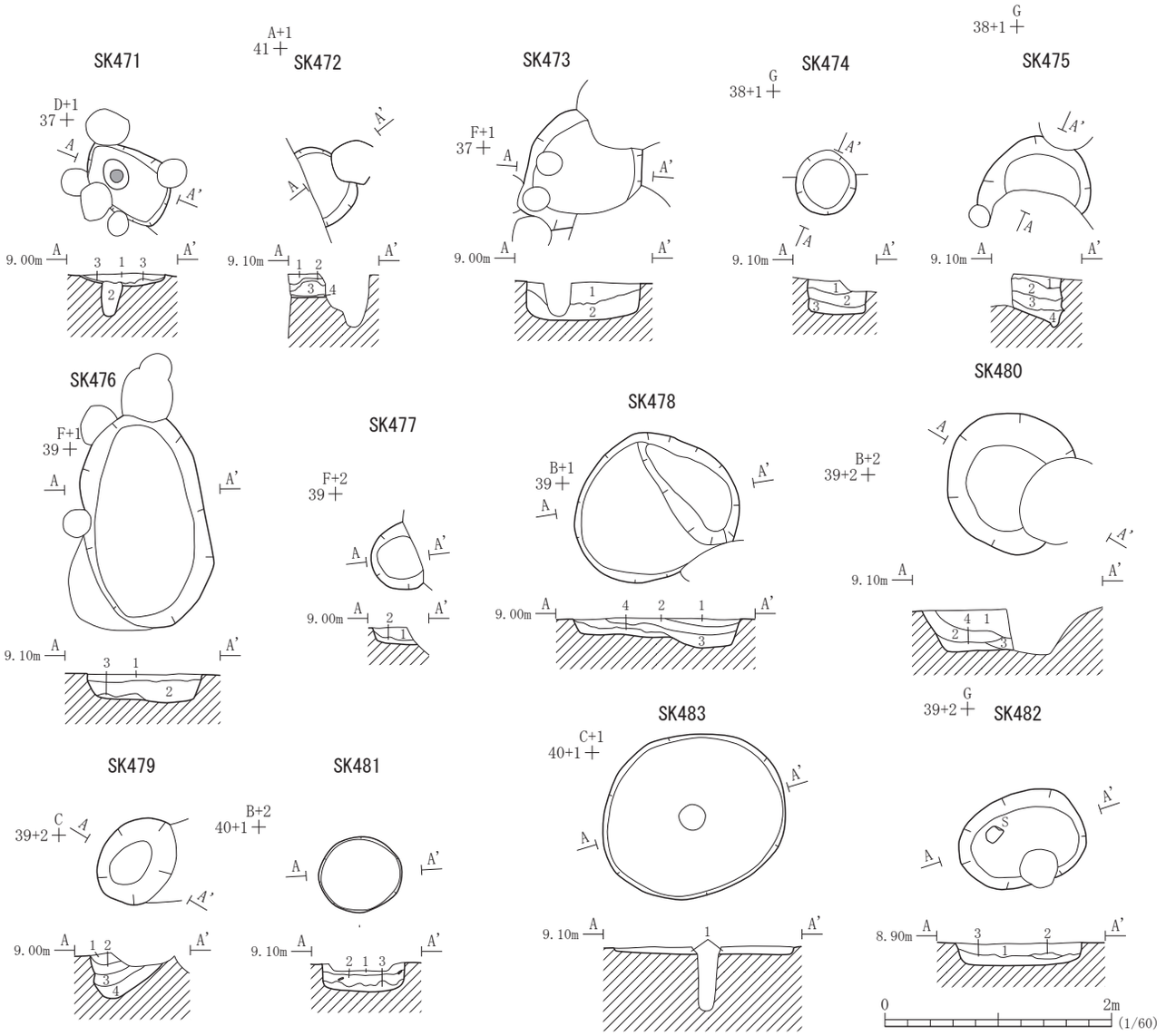
1. Ⅶ　層



SK	層位	土　色	土　性	備　考
457	1	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物粒・焼土粒・暗褐色シルト・褐色シルト質砂粒を多量に含む。
	2	—	—	焼土ブロック・灰まじり。
	3	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物粒を微量含む。
458	1	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物粒・焼土粒を含む。
	2	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	
	3	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒・焼土粒を含む。
	4	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物粒を含む。
459a	1	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物粒・焼土粒を少量含む。
	2	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒・焼土粒を少量含む。
	3	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	
459b	1	10YR3/3 暗褐	シルト	焼土粒・炭化物粒を少量含む。
460	1	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物粒・焼土粒・土器片・暗褐色シルト小ブロックを含む。
	2	10YR3/3 暗褐	シルト	ℓ1 層より暗褐色シルトと褐色シルト質砂のブロックを多量に含む。
	3	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物粒を含む。
	4	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物粒を少量含む。
461	1	10YR3/4 暗褐	シルト	黒褐色シルト、炭化物粒を微量含む。
462a	1	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒を含む。（人為埋土）
	2	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。（人為埋土）
462b	1	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。黒褐色シルトを少量含む。
	2	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	

SK	層位	土　色	土　性	備　考
463	1	10YR5/6 黄褐	シルト	（上層からの落ち込み）
	2	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒・焼土粒・暗褐色シルト粒を含む。
	3	10YR3/4 暗褐	シルト	
	4	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物粒多量、焼土粒少量、暗褐色シルト・褐色シルト質砂ブロックを多量に含む。
	5	10YR2/1 黒	シルト	炭化物・灰・焼土粒層。
	6	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	砂・炭化物粒を微量含む。
464	1	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物を含む。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	
465	1	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	炭化物粒を含む。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物粒を含む。
466	1	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物粒・焼土粒を多量に含む。
	2	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒・焼土粒・暗褐色シルト・褐色シルト質砂ブロックを多量に含む。
	3	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。炭化物粒を微量含む。
	4	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	（壁崩落土）
467	1	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒多量、焼土粒を少量含む。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物を微量含む。
468	1	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒多量、焼土粒を少量含む。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物を微量含む。
469	1	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物粒・焼土粒・暗褐色シルト・褐色シルト質砂小ブロックを多量に含む。
	2	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒・焼土粒・暗褐色シルト・褐色シルト質砂小ブロックを多量に含む。
	3	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	炭化物粒を含む。
470	1	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	2	10YR3/3 暗褐	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂ブロックを多量に含む。
	3	10YR3/4 暗褐	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂ブロックを多量に含む。

第 66 図　Ⅶ層Ⅳ区 土坑（4）

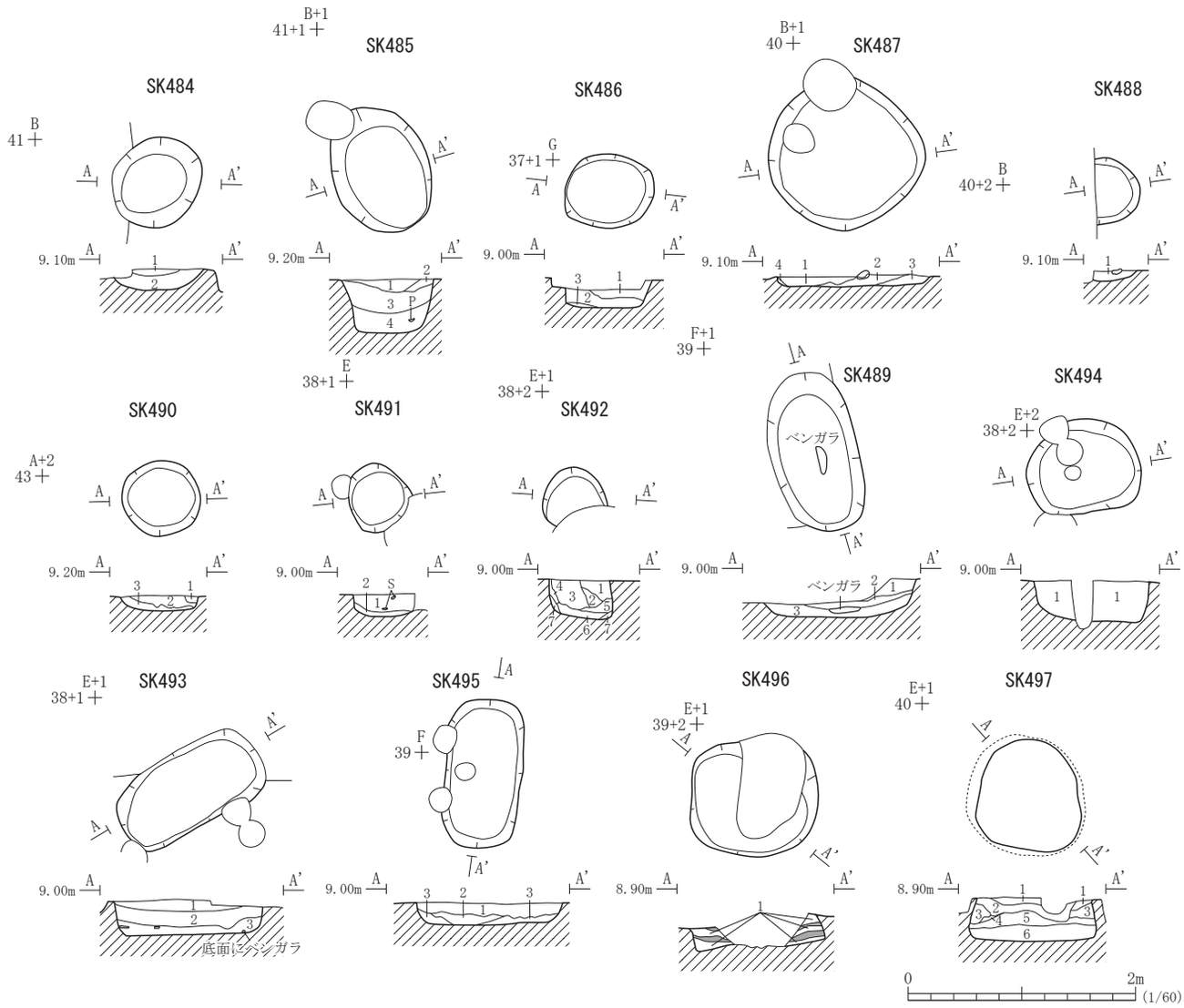


SK	層位	土　色	土　性	備　考
471	1	10YR4/3 にぶい黄褐	シルト	
	2	10YR3/2 黒褐	シルト	炭・風化礫を含む。
	3	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物を少量含む。
472	1	10YR2/2 黒褐	シルト	
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	
	3	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒・焼土粒を多量に含む。
	4	10YR3/4 暗褐	シルト	
473	1	10YR4/3 にぶい黄褐	シルト	焼土ブロック・炭化物粒・褐色シルト質砂ブロックを多量に含む。
	2	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。炭化物粒を微量含む。
474	1	10YR3/4 暗褐	シルト	
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	褐色シルト質砂粒を多量に含む。
	3	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	炭化物を微量含む。
475	1	10YR3/4 暗褐	シルト	
	2	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。
	3	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	
	4	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。
476	1	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物粒を少量含む。
	2	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒を少量含む。
	3	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	
477	1	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒・焼土粒・骨粉を含む。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	

SK	層位	土　色	土　性	備　考
478	1	10YR2/3 黒褐	シルト	暗褐色シルト小ブロック・炭化物粒を含む。
	2	10YR3/3 暗褐	シルト	暗褐色シルト小ブロック・炭化物粒を含む。
	3	10YR2/3 黒褐	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂小ブロックを多量に含む。
	4	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。
479	1	10YR3/3 暗褐	シルト	暗褐色シルト小ブロックを多量に含む。
	2	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	3	10YR3/2 黒褐	シルト	炭化物粒少量、暗褐色シルト・褐色シルト質砂小ブロックを多量に含む。
	4	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。炭化物粒を含む。
480	1	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	2	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	
	3	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物粒・暗褐色シルト・褐色シルト質砂粒を多量に含む。
	4	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	
481	1	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物粒・焼土粒を多量に含む。
	2	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物粒・焼土粒を多量に含む。
	3	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	黒褐色シルトを少量含む。
482	1	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	2	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	3	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。炭化物粒を微量含む。
483	1	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。黒褐色シルトを少量含む。

第 67 図　Ⅶ層Ⅳ区 土坑（5）

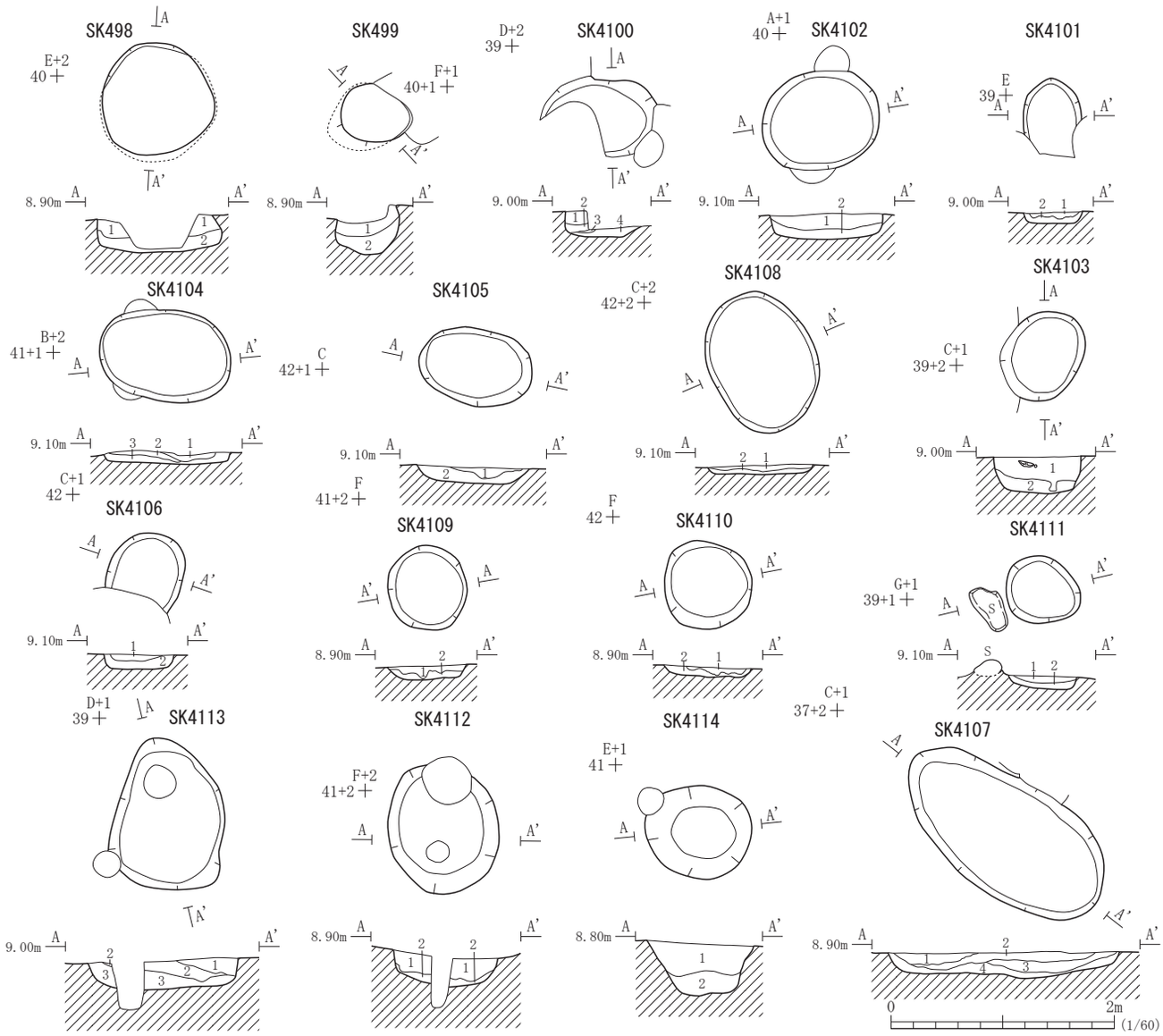
1. Ⅶ　層



SK	層位	土　色	土　性	備　考
484	1	10YR3/3 暗褐	シルト	焼土ブロック多量、炭化物粒を少量を含む。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	焼土ブロックを少量含む。
485	1	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物粒・焼土粒を多量に含む。
	2	10YR3/3 暗褐	シルト	暗褐色シルト小ブロックを多量に含む。
	3	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。（暗褐色シルトの方が多い）
	4	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。（褐色シルト質砂の方が多い）
486	1	10YR3/4 暗褐	シルト	
	2	10YR2/3 黒褐	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂小ブロック多量、炭化物粒を少量含む。
	3	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	
487	1	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒を少量含む。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	
	3	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。
	4	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	
488	1	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。
489	1	10YR3/3 暗褐	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂小ブロックを多量に含む。
	2	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。
	3	10YR3/3 暗褐	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂小ブロックを多量に含む。やや炭化物粒が多い。上面中にベンガラが点在している。
490	1	10YR3/4 暗褐	シルト	
	2	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒を微量含む。
	3	10YR3/4 暗褐	シルト	

SK	層位	土　色	土　性	備　考
491	1	10YR3/2 黒褐	シルト	炭化物粒を少量含む。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物を微量含む。
492	1	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	
	3	10YR3/2 黒褐	シルト	
	4	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	
	5	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	
	6	10YR3/4 暗褐	シルト	
	7	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	
493	1	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。炭化物粒を多量に含む。
	2	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。炭化物粒を少量含む。
	3	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。。（ℓ1 層より炭化物粒多量）
494	1	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。炭化物粒・焼土粒を少量含む。（人為堆積）
495	1	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物粒少量、骨粉を多量に含む。
	2	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。炭化物粒少量、骨粉を多量に含む。
	3	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	
496	1	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	
497	1	10YR3/2 黒褐	シルト	
	2	10YR2/2 黒褐	シルト	
	3	10YR3/4 暗褐	シルト	
	4	10YR4/4 褐	砂質シルト	
	5	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。炭化物粒を含む。
	6	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。

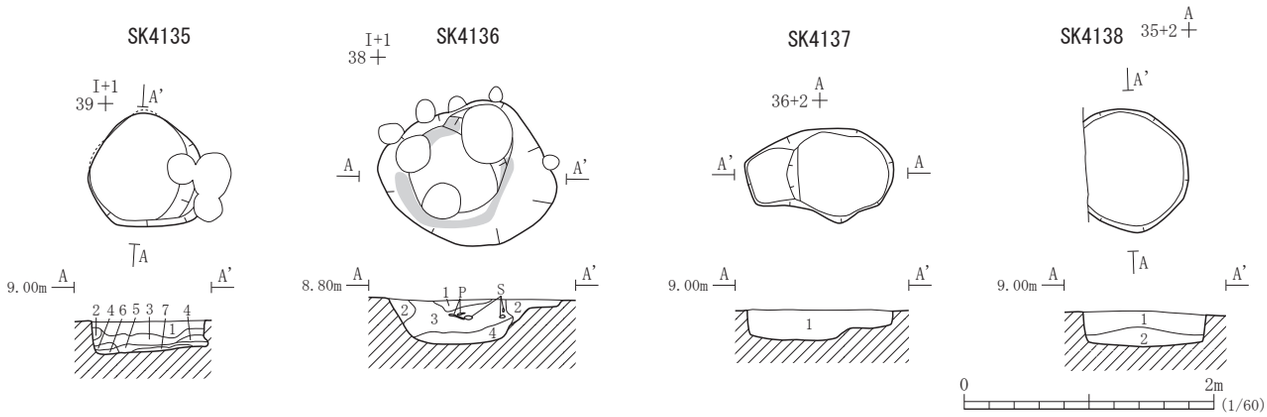
第 68 図　Ⅶ層Ⅳ区 土坑（6）



SK	層位	土　色	土　性	備　考
498	1	10YR2/3 黒褐	シルト	暗褐色シルト、褐色シルト質砂小ブロック多量、炭化物粒を少量含む。
	2	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。
499	1	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒を少量含む。
	2	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。炭化物粒を少量含む。
4100	1	10YR3/4 暗褐	シルト	
	2	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	
	3	10YR3/2 黒褐	シルト	
	4	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。
4101	1	10YR3/2 黒褐	シルト	
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	
4102	1	10YR3/4 暗褐	シルト	焼土小ブロックを多量に含む。
	2	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。
4103	1	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物粒・暗褐色シルト・褐色シルト質砂粒を多量に含む。
	2	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。
4104	1	10YR3/4 暗褐	シルト	焼土ブロック多量。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	焼土ブロック少量。
	3	10YR3/4 暗褐	シルト	
4105	1	10YR2/2 黒褐	シルト	
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	
4106	1	10YR2/2 黒褐	シルト	
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	

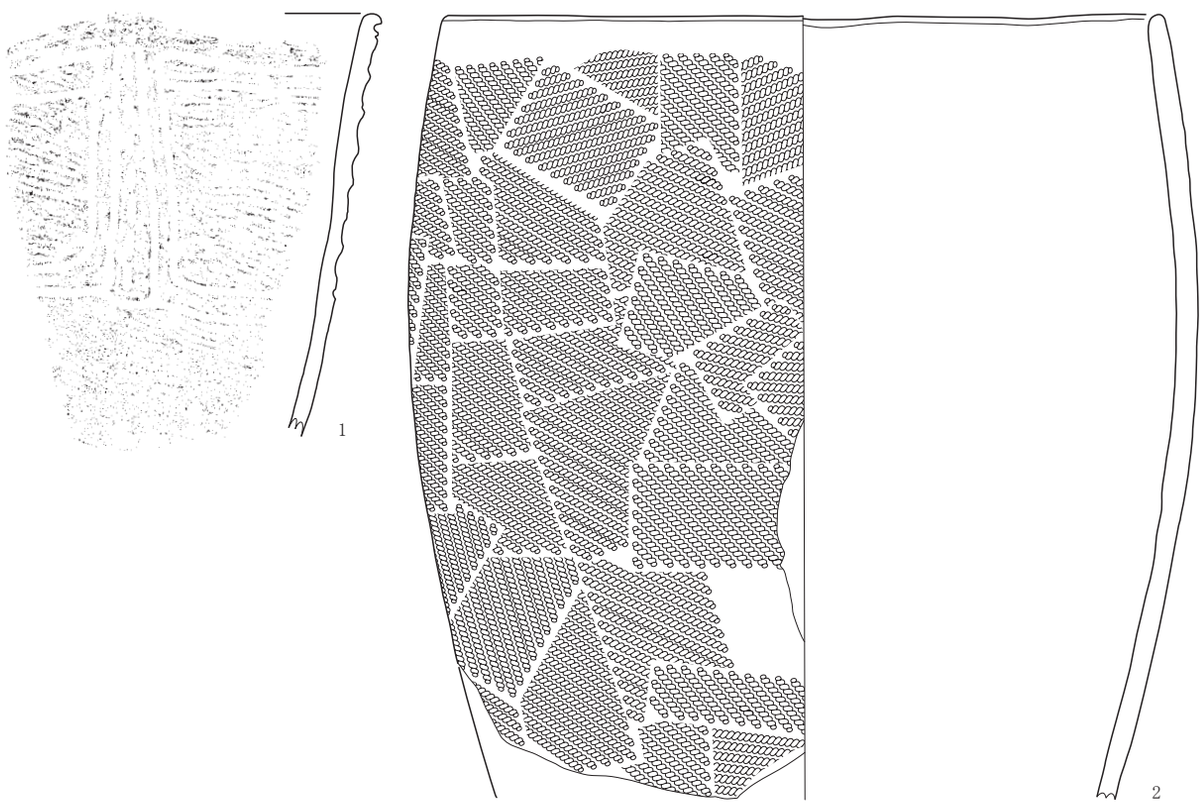
SK	層位	土　色	土　性	備　考
4107	1	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物粒・暗褐色シルト小ブロックを多量に含む。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物粒を少量含む。
	3	10YR3/4 暗褐	シルト	褐色シルト質砂ブロックを少量含む。
	4	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。
4108	1	10YR3/4 暗褐	シルト	焼土ブロックを含む。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	
4109	1	10YR2/2 黒褐	シルト	
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	
4110	1	10YR2/2 黒褐	シルト	
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	
4111	1	10YR2/2 黒褐	シルト	
	2	10YR2/2 黒褐 10YR3/4 暗褐	シルト シルト	混在。
4112	1	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	黒褐色シルトを少量含む。
	2	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	暗褐色シルトを少量含む。
4113	1	10YR2/2 黒褐 10YR3/4 暗褐	シルト シルト	混在。
	2	10YR2/2 黒褐	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂を少量含む。
	3	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	
4114	1	10YR4/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
	2	10YR6/4 にぶい黄橙	粘土質シルト	上層のブロックを含む。

第 69 図　Ⅶ層Ⅳ区 土坑（7）



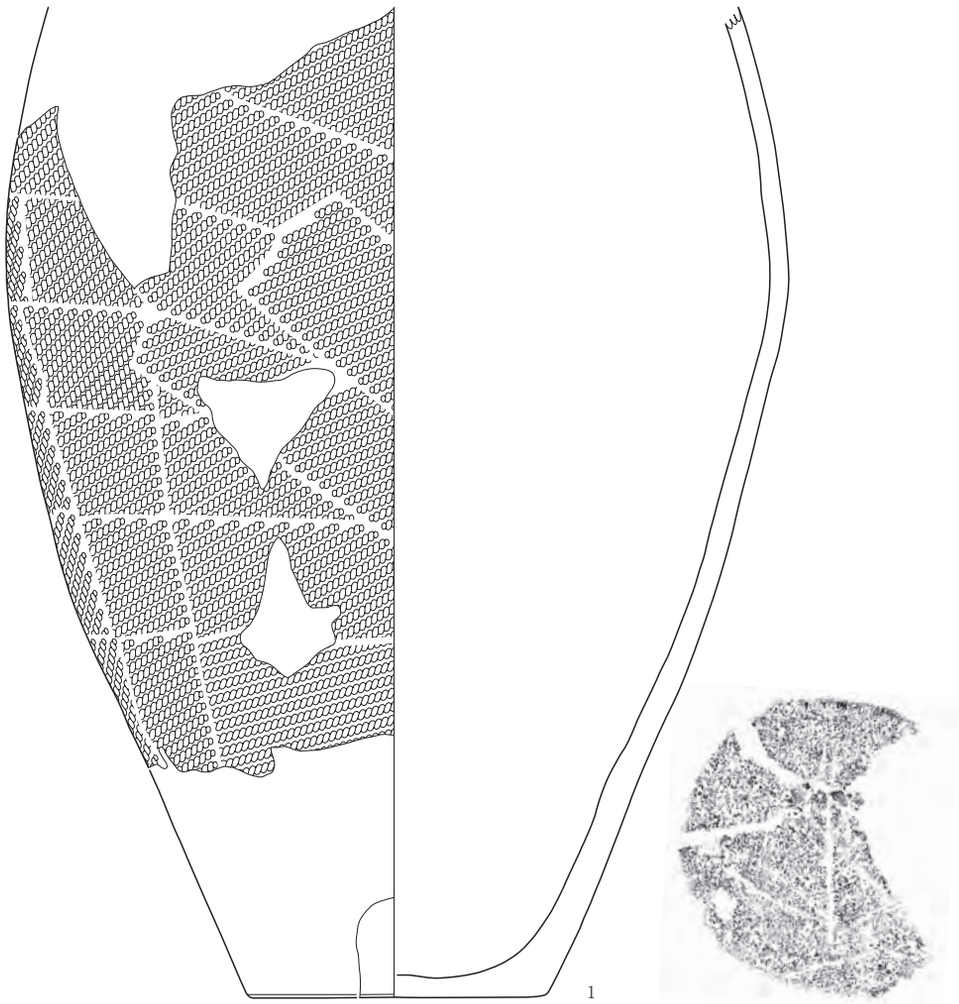
SK	層位	土　色	土　性	備　考
4135	1	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒・焼土粒を多量に含む。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	
	3	10YR2/1 黒	シルト	灰・炭化物を多量に含む。
	4	10YR3/4 暗褐	シルト	
	5	10YR2/1 黒	シルト	
	6	10YR3/3 暗褐	シルト	
	7	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	混在。

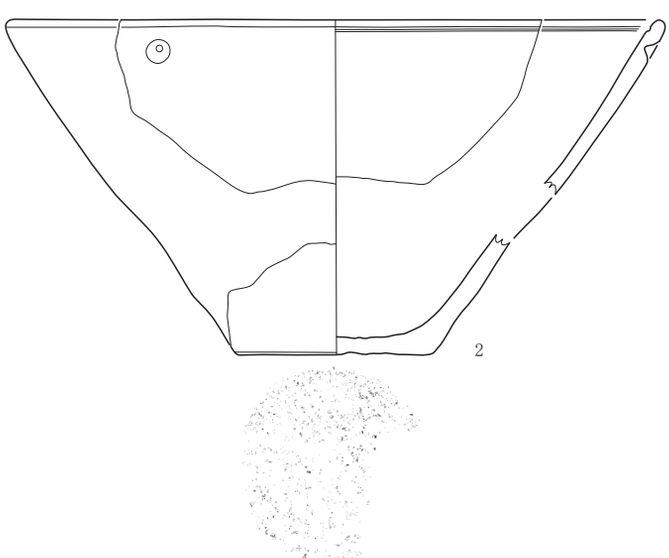
SK	層位	土　色	土　性	備　考
4136	1	10YR5/6 黄褐	シルト	焼土ブロック・炭化物粒を含む。
	2	10YR3/2 黒褐	砂質シルト	壁の崩落土
	3	10YR4/4 褐	シルト	焼土・炭化物ブロックを多量に含む。
	4	10YR3/4 暗褐	シルト	焼土極多量、炭化物ブロックを含む。
4137	1	10YR2/2 黒褐	砂質シルト	炭化物粒・骨粉・暗褐色シルト小ブロックを含む。
4138	1	10YR2/2 黒褐	砂質シルト	炭化物粒・暗褐色シルト小ブロックを含む。
	2	10YR3/4 暗褐	砂質シルト	暗褐色シルトブロック主体、ℓ1 層土を含む。



No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-933	SK432	縄文土器	深鉢	沈線文、刺突文、縄文 RL 横・斜位施文。	波状口縁。	60-5
2	A-360	SK432	縄文土器	深鉢	縄文 LR 縦・横・斜位施文。		-

第 70 図　Ⅶ層Ⅳ区 土坑（8）・土坑出土遺物（1）



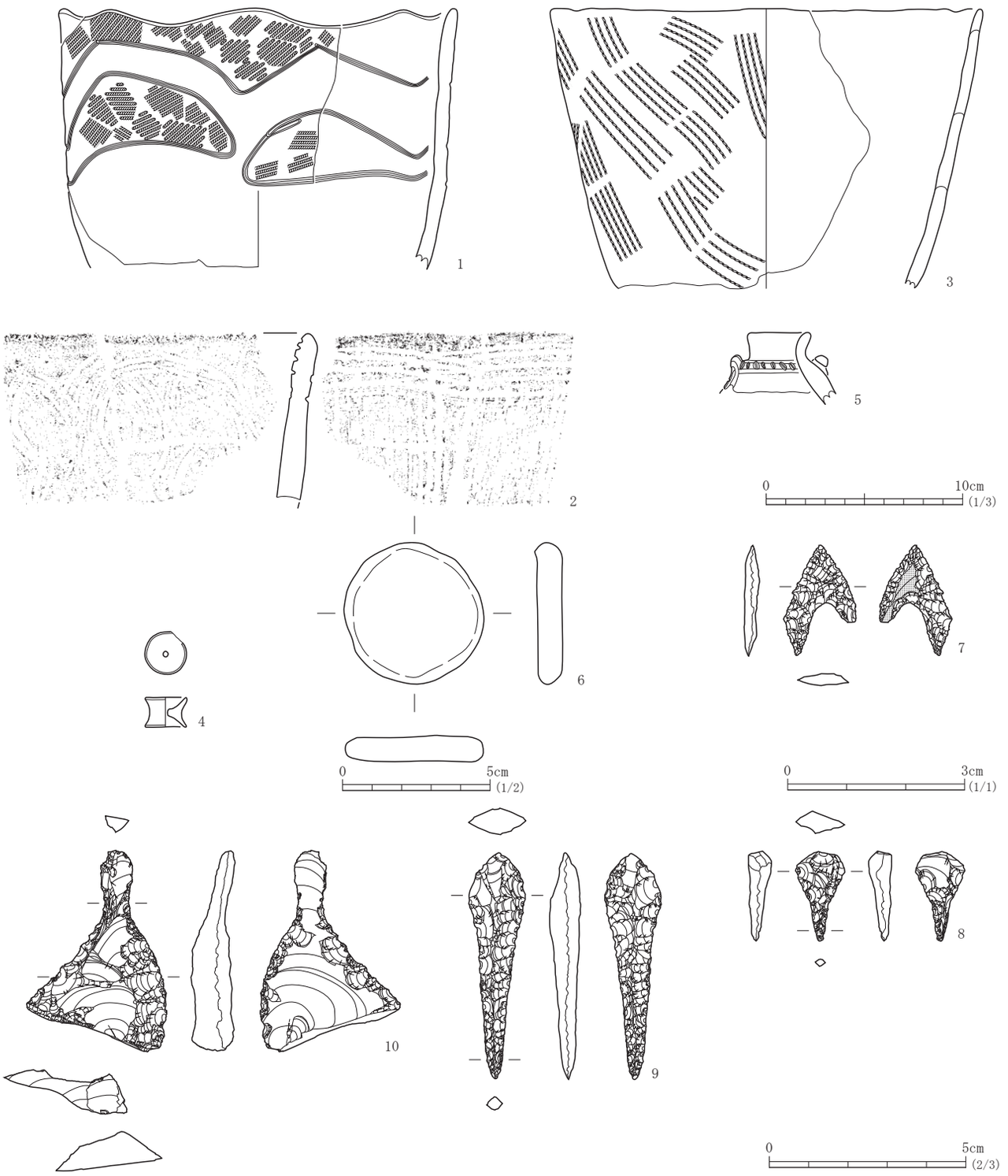


0　10cm
(1/3)

No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-419	SK429	縄文土器	深鉢	縄文 LR 横位施文。	底部木葉痕。	60-6
2	A-476	SK429	縄文土器	浅鉢	内面　口縁部：沈線文。	外面焼成後の盲孔。底部網代痕。	-

第 71 図　Ⅶ層Ⅳ区 土坑出土遺物（2）

1. Ⅶ　層



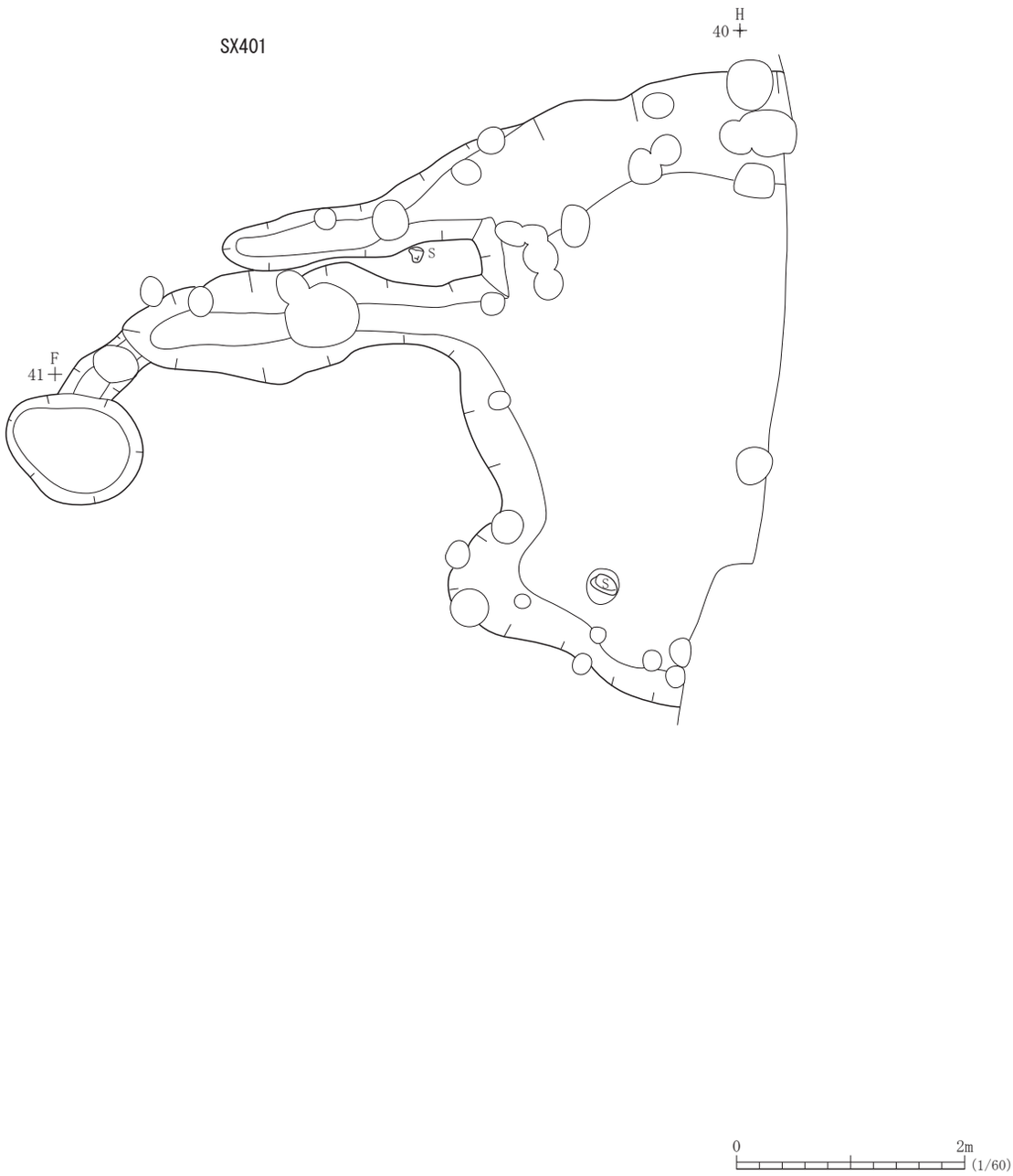
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-667	SK442	縄文土器	深鉢	沈線文、縄文 LR 横・斜位施文。	波状口縁。8 単位。	-
2	A-652	SK450	縄文土器	深鉢	外面　櫛歯状沈線文。内面　格子目状沈線文。		60-7
3	A-292	SK460	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 縦・斜位施文。		-

No.	登録番号	出土遺構	器　種	文様等	備　考	写真図版
4	Pb-051	SK444	耳飾り	長さ 1.4 ×幅 1.4 ×厚さ 1.0cm。	赤彩。	60-8
5	Pc-335	SK490	ミニチュア	隆線上に刻み目。	壺。頸部に一対の橋状把手。	60-9
6	Pf-011	SK481	土　版	長さ 4.8 ×幅 4.8 ×厚さ 0.9cm。		60-10

No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備　考	写真図版
7	K-0292	SK419	石鏃	鉄石英	Ka-a3-2-1	1.9	1.3	0.3	0.3	裏面に加熱処理された素材剥離面が残存する。	60-11
8	K-3860	SK4107	石錐	珪質頁岩	Ka-c2-3	2.3	1.3	0.6	2.0		60-12
9	K-3884	SK494	石錐	珪質頁岩	Ka-c2-3	5.8	1.5	0.8	4.3		60-13
10	K-3947	SK460	石匙	珪質頁岩	Ka-d1-8	5.1	3.6	1.0	10.0		60-14

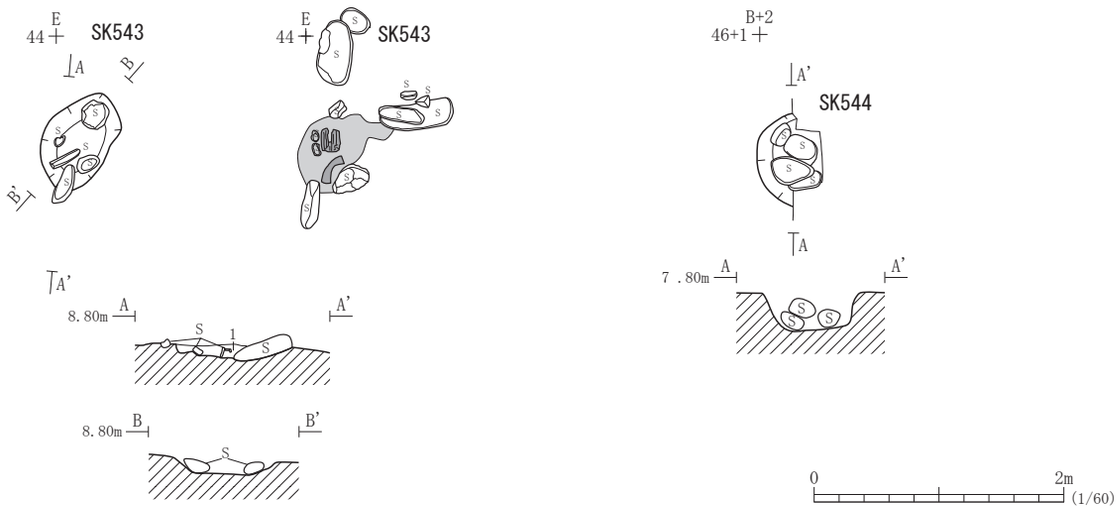
第 72 図　Ⅶ層Ⅳ区 土坑出土遺物 (3)

性格不明遺構

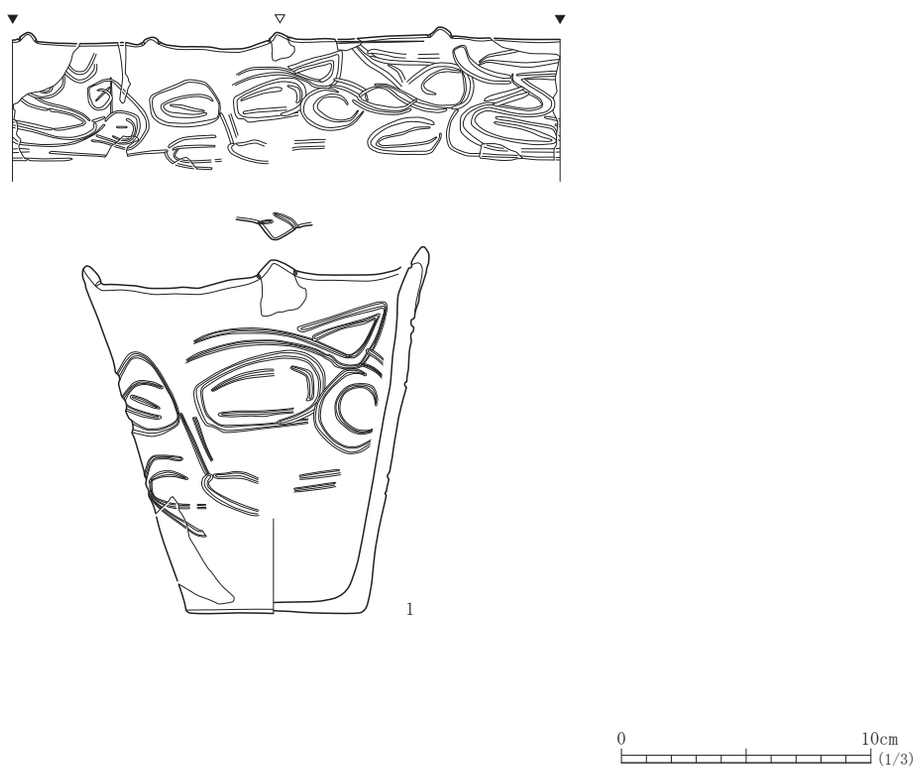


第 73 図　Ⅶ層Ⅳ区 性格不明遺構

4) Ⅴ　区
土　坑



SK	層位	土　色	土　性	備　考
543	1	10YR4/2 灰黄褐	シルト	にぶい黄褐色シルトブロック・焼土・炭・土器・石・骨片を含む。



No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-656	SK543	縄文土器	深鉢	沈線文。	4 単位小突起。	60-15

第 74 図　Ⅶ層Ⅴ区 土坑・土坑出土遺物

第２表　Ⅶ層遺構一覧表（1）

Ⅶ層Ⅱ区

配　石

遺構番号	層	地区	グリッド	配石 規模（m）			下部土坑 規模（m）					備　考	挿図	写真図版
				長軸	短軸	主軸方位	平面形	長軸	短軸	深さ	主軸方位			
201 配石	Ⅶ	Ⅱ	G25,H24･25	2.84	2.33	－						短く列状に石が並び、全体で「コ」の字状を形づくる。溝状の掘り方をもつ。	11	2
202 配石	Ⅶ	Ⅱ	G23	0.54	0.52		円形	6.60	6.00	0.14	－	円形に石が並ぶ。	11	2
203 配石	Ⅶ	Ⅱ	F26	0.94	0.80		円形	0.90	0.88	0.32	－	大小の石が密集する。	11	2
204 配石	Ⅶ	Ⅱ	F24	0.74	0.42		楕円形	0.90	0.52	0.14	N-30°-E	楕円形に石が密集する。	11	2
205 配石	Ⅶ	Ⅱ	F24	0.44	0.26		楕円形	(0.60)	0.36	0.20	N-43°-E	石が密集する。	11	3
206 配石	Ⅶ	Ⅱ	F26,G26	2.20	1.80							石を疎らに配し、内側に小石を敷く。	12	3
207 配石	Ⅶ	Ⅱ	E25･26	2.06	1.80		楕円形	2.20	1.86	0.40	N-65°-W	楕円形に石を並べ、内側に大中の石を充填する。	12	3･4
208 配石	Ⅶ	Ⅱ	D26,E26	3.30	2.40		楕円形	2.46	1.50	0.22	N- 5°-E	4 個の立石を配し、内側に小石を敷く。	13	4･5
209 配石	Ⅶ	Ⅱ	C23	1.54	1.25		楕円形	1.52	0.94	0.30	N-52°-E	楕円形に石を並べ、内側に小石を敷く。	13	5
210 配石	Ⅶ	Ⅱ	G22,H22	1.70	1.00	N-18°-E						大小の石が密集する。	14	5
211 配石	Ⅶ	Ⅱ	H22	2.30	0.70	N- 2°-W						大小の石が列状に密集する。	14	5
212 配石	Ⅶ	Ⅱ	H21 ～ 23,I21･22	6.10	2.85	－						大小の石が疎らに集まる。	15	－
213 配石	Ⅶ	Ⅱ	H23	1.00	0.90	N-72°-E						大小の石が密集する。	14	－
214 配石	Ⅶ	Ⅱ	I21	0.60	0.55	－						大小の石が密集する。	15	5
215 配石	Ⅶ	Ⅱ	H22	0.92	0.35	N-34°-W						大小の石が列状に密集する。	16	5
216 配石	Ⅶ	Ⅱ	I22	0.78	0.72	－						大小の石が密集する。	16	5
Pit15	Ⅶ	Ⅱ	F27	0.18	0.10	－						立石１個。	11	6

埋設土器

遺構番号	層	地区	グリッド	平面形	規　模（m）			埋設状況	備　考	挿図	写真図版
					長軸	短軸	深さ				
201 埋設土器	Ⅶ	Ⅱ	F24,G24	円形	0.42	0.37	0.20	正位		19	6
202 埋設土器	Ⅶ	Ⅱ	D26,E26	円形	0.61	0.59	0.17	正位		19	6
203 埋設土器	Ⅶ	Ⅱ	F21	楕円形	0.47	0.35	0.24	正位		19	6
204 埋設土器	Ⅶ	Ⅱ	G24	円形	0.47	0.47	0.37	正位		19	6
205 埋設土器	Ⅶ	Ⅱ	J22	円形	0.34	0.32	0.14	正位		19	6
206 埋設土器	Ⅶ	Ⅱ	I25	円形	0.34	0.30	0.13	逆位		19	6

土　坑

遺構番号	層	地区	グリッド	平面形	規　模（m）			主軸方位	断面形	備　考	挿図	写真図版
					長軸	短軸	深さ					
SK217	Ⅶ	Ⅱ	E22	楕円形	0.62	0.38	0.12	N-78°-W	逆台形		23	－
SK218	Ⅶ	Ⅱ	A21	楕円形	1.12	0.69	0.12	N-80°-W	皿形		23	7
SK219	Ⅶ	Ⅱ	B20	楕円形	0.99	0.52	0.12	N-47°-W	逆台形		23	7
SK220	Ⅶ	Ⅱ	B21,C21	不整形	3.02	1.56	0.38	N-68°-W	不整形		23	－
SK221	Ⅶ	Ⅱ	C22	円形	0.98	0.83	0.11	－	箱形		23	－
SK222	Ⅶ	Ⅱ	D25･26	不明	2.15	1.40	0.20	－	逆台形		23	7
SK223	Ⅶ	Ⅱ	A22,B22	楕円形	1.30	0.77	0.25	N-82°-E	皿形		23	7
SK224	Ⅶ	Ⅱ	B22,C22	楕円形	1.50	0.85	0.19	N-86°-E	皿形		23	7
SK226	Ⅶ	Ⅱ	A22,B22	楕円形	0.89	0.71	0.11	N-13°-E	逆台形		23	7
SK227	Ⅶ	Ⅱ	B23	楕円形	1.31	0.82	0.16	N-84°-W	皿形		23	7
SK228	Ⅶ	Ⅱ	C23	楕円形	0.84	(0.47)	0.09	N-32°-W	逆台形		23	7
SK229	Ⅶ	Ⅱ	C21,D21	不整形	0.82	0.69	0.12	N-9°-W	逆台形		23	－
SK230	Ⅶ	Ⅱ	B23･24	楕円形	2.61	1.40	0.24	N-63°-E	不整形		24	－
SK231	Ⅶ	Ⅱ	D26･27	楕円形	1.02	0.85	0.10	N-31°-W	皿形		24	8
SK234	Ⅶ	Ⅱ	E27･28	円形	0.64	0.61	0.14	－	逆台形		24	－
SK237	Ⅶ	Ⅱ	C21	楕円形	(0.96)	0.76	0.15	N-44°-W	逆台形		24	－
SK238	Ⅶ	Ⅱ	D22･23	楕円形	1.61	0.89	0.07	N-26°-E	皿形		24	－
SK239	Ⅶ	Ⅱ	D21	楕円形	0.92	0.62	0.05	N-68°-E	皿形		24	－
SK240	Ⅶ	Ⅱ	D21	楕円形	1.26	0.69	0.13	N-10°-W	皿形		24	－
SK243	Ⅶ	Ⅱ	G24	楕円形	1.27	0.99	0.57	N-68°-E	ロート形		24	8
SK246	Ⅶ	Ⅱ	B23	不明	0.79	－	0.20	－	皿形		24	－
SK247	Ⅶ	Ⅱ	E23	不明	－	1.31	0.08	－	皿形		24	－
SK248	Ⅶ	Ⅱ	B24･25,C24･25	不整形	4.09	1.35	0.40	N-27°-W	不整形		24	－
SK249	Ⅶ	Ⅱ	E27,F27	不整形	1.46	(1.11)	0.26	N-68°-W	逆台形		24	－
SK251	Ⅶ	Ⅱ	B24	不明	0.84	－	0.25	－	箱形		24	8
SK252	Ⅶ	Ⅱ	F27	円形	0.95	0.90	0.21	－	箱形		25	8
SK253	Ⅶ	Ⅱ	F26,G26	楕円形	1.21	0.60	0.43	N-28°-W	不整形		25	－
SK255	Ⅶ	Ⅱ	F23	円形	0.72	0.66	0.07	－	逆台形		25	8
SK256	Ⅶ	Ⅱ	G27	不明	(1.20)	0.98	0.13	－	逆台形		25	－
SK257	Ⅶ	Ⅱ	C21･22	不整形	1.89	1.06	0.10	N-5°-E	皿形		25	－
SK258	Ⅶ	Ⅱ	E20	不整形	0.88	0.70	0.22	N-4°-W	半円形		25	－
SK259	Ⅶ	Ⅱ	C26,D26	楕円形	1.07	0.78	0.12	N-26°-W	逆台形		25	8
SK260	Ⅶ	Ⅱ	C26	不整形	1.28	1.05	0.10	N-75°-E	皿形		25	－
SK263	Ⅶ	Ⅱ	G23	楕円形	1.28	(0.71)	0.18	N-56°-E	逆台形		25	8
SK264	Ⅶ	Ⅱ	A26	不明	1.54	(1.40)	0.15	－	皿形		25	－
SK266	Ⅶ	Ⅱ	A23,B23	円形	1.12	0.98	0.29	－	逆台形		25	8
SK267	Ⅶ	Ⅱ	A23	楕円形	2.50	1.71	0.27	N-90°-E	逆台形		25	－
SK270	Ⅶ	Ⅱ	D27,E27	不明	(0.56)	0.55	0.22	－	逆台形		25	－
SK271	Ⅶ	Ⅱ	H24,I24	円形	0.36	0.34	0.42	－	逆台形		25	9

第３表　Ⅶ層遺構一覧表（2）

Ⅶ層Ⅱ区

土　坑

遺構番号	層	地区	グリッド	平面形	規　模（m）			主軸方位	断面形	備　考	挿図	写真図版
					長軸	短軸	深さ					
SK272	Ⅶ	Ⅱ	G24	楕円形	0.68	(0.43)	0.21	N-29°-W	階段形		26	－
SK273	Ⅶ	Ⅱ	I20･21	円形	0.87	0.79	0.22	－	箱形		26	－
SK274	Ⅶ	Ⅱ	I22･23	楕円形	0.72	0.45	0.16	N-4°-E	不整形		26	－
SK275	Ⅶ	Ⅱ	J21･22	楕円形	1.10	0.82	0.15	N-23°-W	皿形		26	－
SK276	Ⅶ	Ⅱ	K21	不明	0.90	(0.44)	0.07	－	皿形		26	－
SK278	Ⅶ	Ⅱ	K23	円形	0.77	0.74	0.27	－	袋形		26	9
SK279	Ⅶ	Ⅱ	H24	楕円形	0.87	0.64	0.07	N-61°-E	皿形		26	－
SK280	Ⅶ	Ⅱ	J23	円形	1.04	0.99	0.30	－	箱形		26	9
SK281	Ⅶ	Ⅱ	I22･23	円形	(1.19)	1.17	0.16	－	逆台形		26	－
SK282	Ⅶ	Ⅱ	I22,J22	円形	1.42	1.23	0.54	－	逆台形		26	9
SK283	Ⅶ	Ⅱ	K21･22	不明	1.09	(0.82)	0.29	－	逆台形		26	－
SK284	Ⅶ	Ⅱ	I23･24	円形	1.02	0.89	0.19	－	逆台形		26	－
SK285	Ⅶ	Ⅱ	J24	円形	(0.88)	0.82	0.06	－	逆台形		26	－
SK286	Ⅶ	Ⅱ	H23	円形	0.92	0.86	0.24	－	箱形		26	9
SK287	Ⅶ	Ⅱ	G21･22,H21･22	円形	0.82	0.78	0.18	－	箱形		26	9
SK288	Ⅶ	Ⅱ	I21,J21	不明	1.02	(1.00)	0.20	－	逆台形		26	－
SK289	Ⅶ	Ⅱ	H22･23	円形	0.69	0.64	0.10	－	逆台形		26	－
SK290	Ⅶ	Ⅱ	H22	楕円形	0.86	0.65	0.17	N-74°-E	箱形		27	9
SK291	Ⅶ	Ⅱ	H21	楕円形	0.72	0.59	0.11	N-41°-W	皿形		27	－
SK292	Ⅶ	Ⅱ	I24･25	円形	0.93	0.83	0.25	－	逆台形		27	10
SK293	Ⅶ	Ⅱ	I25	円形	1.11	1.01	0.22	－	逆台形		27	10
SK294	Ⅶ	Ⅱ	H23	円形	0.97	0.90	0.15	－	逆台形		27	－
SK295	Ⅶ	Ⅱ	I25	楕円形	(1.05)	0.53	0.25	N-20°-E	不整形		27	－
SK296	Ⅶ	Ⅱ	I26	楕円形	0.76	0.56	0.26	N-78°-W	箱形		27	10
SK297	Ⅶ	Ⅱ	J21･22	不明	1.17	(1.14)	0.55	－	袋形		27	10
SK298	Ⅶ	Ⅱ	I25	不明	(0.79)	0.60	0.12	－	逆台形		27	－
SK299	Ⅶ	Ⅱ	K25	楕円形	0.71	0.56	0.05	N-9°-W	皿形		27	－
SK2100	Ⅶ	Ⅱ	J23,K23	円形	0.76	0.66	0.24	－	箱形		27	10
SK2101	Ⅶ	Ⅱ	H23	不明	－	0.86	0.17	－	逆台形		27	－
SK2102	Ⅶ	Ⅱ	K27	不明	0.54	(0.49)	0.10	－	半円形		27	－
SK2103	Ⅶ	Ⅱ	J27	楕円形	1.12	0.66	0.19	N-81°-E	逆台形		27	－
H25-P1	Ⅶ	Ⅱ	H25	円形	1.02	0.96	0.66	－	箱形		27	－
Pit15	Ⅶ	Ⅱ	F27	円形	0.24	0.20	0.32	－	逆台形		－	6

Ⅶ層Ⅲ区

埋設土器

遺構番号	層	地区	グリッド	平面形	規　模（m）			埋設状況	備　考	挿図	写真図版
					長軸	短軸	深さ				
303 埋設土器	Ⅶ	Ⅲ	G27	円形	0.45	0.40	0.27	正位		33	10･11
304 埋設土器	Ⅶ	Ⅲ	G27	楕円形	0.26	0.20	0.05	正位		33	10
305 埋設土器	Ⅶ	Ⅲ	E28,F28	円形	0.30	0.28	0.11	正位		33	－
306 埋設土器	Ⅶ	Ⅲ	F29	円形	0.33	0.32	0.18	正位		33	11

土　坑

遺構番号	層	地区	グリッド	平面形	規　模（m）			主軸方位	断面形	備　考	挿図	写真図版
					長軸	短軸	深さ					
SK265	Ⅶ	Ⅲ	G29	不明	1.20	(0.75)	0.29	－	逆台形		34	－
SK268	Ⅶ	Ⅲ	D28	円形	0.91	0.81	0.26	－	逆台形		34	－
SK269	Ⅶ	Ⅲ	G28	不明	(0.64)	－	0.31	－	袋形		34	－
SK303	Ⅶ	Ⅲ	G27･28	不整形	(1.91)	1.17	0.30	N-72°-E	皿形		34	－
SK303-1	Ⅶ	Ⅲ	A29,B29	不明	(1.12)	1.02	0.21	－	逆台形		34	－
SK309	Ⅶ	Ⅲ	D29,E29	楕円形	1.29	1.02	0.14	N-37°-W	皿形		34	－
SK310	Ⅶ	Ⅲ	D30	円形	1.05	0.92	0.19	－	皿形		34	－
SK311	Ⅶ	Ⅲ	D30	不明	(1.25)	0.89	0.22	－	逆台形		34	－
SK313	Ⅶ	Ⅲ	C29･30,D29･30	不整形	(0.79)	0.69	0.14	N-58°-W	皿形		34	－
SK315	Ⅶ	Ⅲ	E28･29	楕円形	(1.06)	0.93	0.20	N-48°-W	皿形		34	－
SK316	Ⅶ	Ⅲ	E29	不明	1.35	－	0.11	－	逆台形		35	－
SK317	Ⅶ	Ⅲ	E29	楕円形	0.89	0.64	0.21	N-55°-W	逆台形		35	11
SK318	Ⅶ	Ⅲ	F28･29	楕円形	0.94	0.60	0.24	N-77°-E	逆台形		35	11
SK320	Ⅶ	Ⅲ	D29,E29	楕円形	1.01	0.82	0.30	N-10°-W	袋形		35	11
SK321	Ⅶ	Ⅲ	C28･29	長方形	1.19	0.52	0.12	N-50°-E	逆台形		35	－
SK322	Ⅶ	Ⅲ	G28	円形	1.01	1.09	0.26	－	箱形		35	11

第４表　Ⅶ層遺構一覧表（3）

Ⅶ層Ⅳ区

配　石

遺構番号	層	地区	グリッド	配石 規模（m）			下部土坑 規模（m）					備　考	挿図	写真図版
				長軸	短軸	主軸方位	平面形	長軸	短軸	深さ	主軸方位			
411 配石	Ⅶ	Ⅳ	I41	2.40	0.34	N-18°-E						列状に石が疎らに並ぶ。	36	－
412 配石	Ⅶ	Ⅳ	F38･39,G38･39	1.88	1.40		楕円形	1.60	1.28	0.42	N-19°-W	楕円形に石が並ぶ。	36	12
413 配石	Ⅶ	Ⅳ	B37	1.00	0.45		楕円形	1.20	0.52	0.16	N-19°-W	楕円形に石が並ぶ。	36	12
414 配石	Ⅶ	Ⅳ	D36･37	1.86	1.25		楕円形	1.98	1.15	0.30	N-85°-W	楕円形に石を並べ、内側に大中の石を充填する。	37	12･13
415 配石	Ⅶ	Ⅳ	E37,D37	1.70	1.35		楕円形	1.70	1.35	0.12	N-35°-E	楕円形に石を並べ、内側に小石を敷く。	37	13
416 配石	Ⅶ	Ⅳ	E37	1.24	0.90		楕円形	1.24	0.90	0.06	N-51°-W	石を並べ、内側に小石を敷く。	37	13
417 配石	Ⅶ	Ⅳ	E37･38,F37･38	1.30	0.94		楕円形	1.22	0.78	0.38	N-71°-E	楕円形に石が並ぶ。内側にベンガラの痕跡あり。	38	13
418 配石	Ⅶ	Ⅳ	F37,G37	1.30	1.20	－						石を並べ、内側に小石を敷く。南側に隣接する 419 配石と一連の遺構である可能性あり。	38	13
419 配石	Ⅶ	Ⅳ	F37･38,G38	1.45	0.70	－						石を並べ、内側に小石を敷く。	38	13
420 配石	Ⅶ	Ⅳ	G37･38	1.50	1.10	－						石を並べ、内側に小石を敷く。	38	－
421 配石	Ⅶ	Ⅳ	H37･38,I37･38	4.10	2.90	－						大小の石が疎密に集まる。	39	13
422 配石	Ⅶ	Ⅳ	H38･39	1.90	1.10	－						大小の石が疎密に集まる。	39	14
423 配石	Ⅶ	Ⅳ	H39･40	2.30	1.20	－						大小の石が疎密に集まる。	39	14
424 配石	Ⅶ	Ⅳ	F41･43,G42･43,H41･42	6.20	4.80	－						「L」字状に石が並ぶ。内側の地面に大きな被熱痕あり（3.14 × 1.50 m）。掘り方不整形。	40 ～ 42	14
425 配石	Ⅶ	Ⅳ	G39,H39	1.60	1.25	－						大小の石が疎密に集まる。	39	14
426 配石	Ⅶ	Ⅳ	A39･40,B39･40	1.20	0.60		楕円形	1.25	0.96	0.20	N-22°-W	大小の石が集まる。	43	14
427 配石	Ⅶ	Ⅳ	I39･40	2.40	0.32	N-35°-E						列状に石が並ぶ。	43	15
428 配石	Ⅶ	Ⅳ	I41	0.84	0.32	N-49°-E						短く列状に石が並ぶ。	43	－
429 配石	Ⅶ	Ⅳ	C40	0.70	0.50	－						石が密集する。	43	15
430 配石	Ⅶ	Ⅳ	D40	0.64	0.56	－						石が密集する。	43	－

埋設土器

遺構番号	層	地区	グリッド	平面形	規　模（m）			埋設状況	備　考	挿図	写真図版
					長軸	短軸	深さ				
401 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	D40	楕円形	0.39	0.31	0.13	正位		48	16
402 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	D38	円形	0.52	0.49	0.27	正位		48	16
403 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	F38	円形	0.36	0.34	0.11	正位		48	16
404 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	D37･38	楕円形	0.48	0.40	0.15	正位		48	16
405 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	G37,H37	円形	0.40	0.36	0.36	正位		48	16
406 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	G36･37	楕円形	0.32	0.25	0.20	正位		48	16
407 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	F36,G36	不明	0.39	(0.34)	0.22	正位		48	16
408 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	G35	円形	0.34	0.30	0.28	正位		48	16
409 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	B34,C34	円形	0.45	0.43	0.31	正位		48	17
410 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	H35	楕円形	0.42	0.35	0.17	正位		48	17
411 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	E34	円形	0.36	0.32	0.22	正位		48	17
412 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	F36	円形	0.35	0.33	0.22	正位		48	17
413 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	G36	不明	0.34	(0.30)	0.44	正位		49	17
414 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	G36	不明	(0.34)	(0.32)	0.37	正位		49	17
415 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	F37	円形	0.42	0.38	0.15	正位		49	17
416 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	F39,G39	円形	0.91	0.91	0.26	正位	417 埋設土器と併設。	49	17
417 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	F39,G39	円形	0.91	0.91	0.26	正位		49	17
418 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	F35,G35	円形	0.36	0.34	0.14	正位		49	18
419 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	F37	円形	0.35	0.34	0.22	正位		49	－
420 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	B38	円形	0.30	0.29	0.25	正位		49	18
421 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	A36･37	不明	0.31	(0.30)	0.16	正位		49	－
423 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	B43,C43	楕円形	0.46	0.38	0.42	正位		49	18
424 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	C43	円形	0.23	0.22	0.15	正位		49	18
425 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	C42	円形	0.34	0.30	0.12	正位		50	18
426 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	G37	不明	0.33	(0.28)	0.36	正位		50	18
427 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	E37	円形	0.38	0.36	0.13	正位		50	－
428 埋設土器	Ⅶ	Ⅳ	C41	楕円形	0.35	0.29	0.19	正位		50	18

土　坑

遺構番号	層	地区	グリッド	平面形	規　模（m）			主軸方位	断面形	備　考	挿図	写真図版
					長軸	短軸	深さ					
SK413	Ⅶ	Ⅳ	B34,C34	円形	0.69	0.68	0.15	－	箱形		63	19
SK414	Ⅶ	Ⅳ	C34･35	円形	0.60	0.59	0.15	－	逆台形		63	－
SK415	Ⅶ	Ⅳ	C35	楕円形	0.91	0.71	0.27	N-53°-E	袋形		63	－
SK416	Ⅶ	Ⅳ	C35	円形	0.93	0.85	0.20	－	逆台形		63	19
SK417	Ⅶ	Ⅳ	C35	円形	1.16	1.04	0.45	－	袋形		63	19
SK418	Ⅶ	Ⅳ	B36	不明	1.14	0.79	0.34	－	袋形		63	19
SK419	Ⅶ	Ⅳ	A35･36,B35･36	不明	1.02	(0.71)	0.30	－	階段形		63	19
SK420	Ⅶ	Ⅳ	A36	不明	0.56	(0.35)	0.26	－	袋形		63	－
SK421	Ⅶ	Ⅳ	A36	不明	0.44	(0.28)	0.44	－	階段形		63	－
SK422	Ⅶ	Ⅳ	D34･35	不整形	0.89	(0.76)	0.11	N-11°-E	逆台形		63	－
SK423	Ⅶ	Ⅳ	D35	円形	0.82	0.74	0.22	－	逆台形		63	19
SK424	Ⅶ	Ⅳ	B38,C38	楕円形	1.24	0.94	0.60	N-14°-W	階段形		63	－
SK425	Ⅶ	Ⅳ	B38	楕円形	0.71	(0.44)	0.56	N-87°-E	不整形		63	－
SK426	Ⅶ	Ⅳ	B38	不明	0.96	(0.32)	0.24	－	逆台形		63	－

第５表　Ⅶ層遺構一覧表（4）

Ⅶ層Ⅳ区

土　坑

遺構番号	層	地区	グリッド	平面形	規　模（m）			主軸方位	断面形	備　考	挿図	写真図版
					長軸	短軸	深さ					
SK427	Ⅶ	Ⅳ	A37,B37	不明	1.10	0.62	0.40	－	逆台形		63	－
SK428	Ⅶ	Ⅳ	A38	不明	(1.00)	(0.92)	0.42	－	箱形		63	－
SK429	Ⅶ	Ⅳ	A38･39	円形	1.07	(1.02)	0.32	－	逆台形		63	－
SK430	Ⅶ	Ⅳ	F36	円形	0.74	0.69	0.25	－	逆台形		64	－
SK431	Ⅶ	Ⅳ	F34,G34	不明	0.65	(0.46)	0.12	－	逆台形		64	－
SK432	Ⅶ	Ⅳ	F34	円形	2.00	1.86	0.75	－	逆台形		64	19
SK433	Ⅶ	Ⅳ	F38	不整形	1.05	0.94	0.16	N-39°-W	箱形		64	－
SK434	Ⅶ	Ⅳ	F37	楕円形	1.02	0.84	0.41	N-63°-W	箱形		64	19
SK435	Ⅶ	Ⅳ	F37	楕円形	1.02	0.74	0.14	N-80°-E	逆台形		64	－
SK436	Ⅶ	Ⅳ	F35	円形	0.69	0.67	0.15	－	逆台形		64	－
SK438	Ⅶ	Ⅳ	F36	楕円形	1.50	0.79	0.42	N-67°-E	箱形		64	20
SK439	Ⅶ	Ⅳ	H35	円形	1.03	0.96	0.48	－	袋形		64	－
SK440	Ⅶ	Ⅳ	F37	円形	1.02	0.89	0.35	－	半円形		64	20
SK441	Ⅶ	Ⅳ	G36	円形	1.06	0.91	0.34	－	箱形		64	－
SK442	Ⅶ	Ⅳ	G35	円形	0.82	0.75	0.48	－	袋形		64	20
SK443	Ⅶ	Ⅳ	F34･35	楕円形	0.84	0.61	0.32	N-23°-E	逆台形		64	－
SK444	Ⅶ	Ⅳ	E37	楕円形	(1.34)	(0.84)	0.34	N-9°-W	逆台形		64	20
SK445	Ⅶ	Ⅳ	G37	円形	0.80	0.73	0.15	－	逆台形		64	－
SK446	Ⅶ	Ⅳ	D34･35,E34	不整形	2.41	1.49	0.40	N-9°-E	不整形		65	－
SK447	Ⅶ	Ⅳ	E35	不整形	2.60	1.82	0.45	N-73°-E	不整形		65	－
SK448	Ⅶ	Ⅳ	E37	不明	(1.05)	0.64	0.17	－	逆台形		65	20
SK449	Ⅶ	Ⅳ	D37	楕円形	1.25	0.72	0.30	N-55°-E	逆台形		65	－
SK450	Ⅶ	Ⅳ	E37	楕円形	1.32	0.85	0.24	N-88°-W	逆台形		65	20
SK451	Ⅶ	Ⅳ	G36･37	不整形	(1.95)	(1.39)	0.39	N-12°-W	不整形		65	20
SK452	Ⅶ	Ⅳ	D37	不明	0.64	(0.29)	0.13	－	逆台形		65	－
SK453	Ⅶ	Ⅳ	D37･38	円形	(1.10)	1.00	0.47	－	箱形		65	21
SK454	Ⅶ	Ⅳ	D37	不整形	1.63	1.20	0.15	N-66°-W	逆台形		65	－
SK455	Ⅶ	Ⅳ	D37	円形	0.87	0.76	0.17	－	皿形		65	21
SK456	Ⅶ	Ⅳ	G36･37	円形	0.97	0.87	0.34	－	箱形		65	－
SK457	Ⅶ	Ⅳ	D36･37	不明	(1.04)	1.03	0.05	－	皿形		66	－
SK458	Ⅶ	Ⅳ	D36	不明	1.04	(0.83)	0.32	－	皿形		66	－
SK459a	Ⅶ	Ⅳ	D37	円形	0.98	0.86	0.27	－	逆台形		66	21
SK459b	Ⅶ	Ⅳ	D37	不明	1.05	－	0.12	－	皿形		66	－
SK460	Ⅶ	Ⅳ	A40,B40	円形	1.22	1.09	0.30	－	逆台形		66	21
SK461	Ⅶ	Ⅳ	A40,B40	不明	(0.71)	(0.54)	0.12	－	不明		66	－
SK462a	Ⅶ	Ⅳ	D36,E36	楕円形	(1.04)	0.66	0.29	N-45°-E	逆台形		66	－
SK462b	Ⅶ	Ⅳ	D36,E36	不明	－	－	－	－	不明		66	－
SK463	Ⅶ	Ⅳ	D41	楕円形	1.12	0.92	0.52	N-53°-E	箱形		66	21
SK464	Ⅶ	Ⅳ	D41	円形	0.61	(0.56)	0.10	－	逆台形		66	－
SK465	Ⅶ	Ⅳ	D36	不明	－	－	－	－	逆台形		66	21
SK466	Ⅶ	Ⅳ	A42	円形	1.16	1.02	0.43	－	箱形		66	21
SK467	Ⅶ	Ⅳ	A42,B42	円形	0.69	0.82	0.22	－	逆台形		66	21
SK468	Ⅶ	Ⅳ	A42	不明	0.95	(0.45)	0.16	－	逆台形		66	－
SK469	Ⅶ	Ⅳ	C37,D37	不明	(1.54)	1.11	0.32	N-52°-E	箱形		66	－
SK470	Ⅶ	Ⅳ	C37	不明	(0.87)	0.64	0.50	－	不整形		66	－
SK471	Ⅶ	Ⅳ	D37	長方形	0.79	0.56	0.10	N-68°-W	逆台形		67	－
SK472	Ⅶ	Ⅳ	A41	不明	0.71	(0.39)	0.20	－	不明		67	－
SK473	Ⅶ	Ⅳ	F36･37	不明	0.82	―	0.33	－	箱形		67	－
SK474	Ⅶ	Ⅳ	G38	円形	(0.56)	0.52	0.35	－	箱形		67	22
SK475	Ⅶ	Ⅳ	F38,G38	不明	(0.90)	0.86	0.45	－	箱形		67	－
SK476	Ⅶ	Ⅳ	F38･39	楕円形	1.88	(1.08)	0.24	N-14°-W	逆台形		67	－
SK477	Ⅶ	Ⅳ	F39	不明	0.59	(0.41)	0.15	－	逆台形		67	－
SK478	Ⅶ	Ⅳ	B38･39	円形	1.46	1.30	0.25	－	逆台形		67	－
SK479	Ⅶ	Ⅳ	C39	楕円形	0.84	0.64	0.39	N-44°-E	不整形		67	22
SK480	Ⅶ	Ⅳ	B39,C39	円形	1.22	1.19	0.36	－	逆台形		67	22
SK481	Ⅶ	Ⅳ	B40,C40	円形	0.74	0.66	0.28	－	箱形		67	22
SK482	Ⅶ	Ⅳ	G39,F40,G40	楕円形	1.12	0.80	0.20	－	逆台形		67	22
SK483	Ⅶ	Ⅳ	C40	円形	1.69	1.45	0.06	－	皿形		67	－
Sk484	Ⅶ	Ⅳ	B41	円形	(0.85)	0.73	0.19	－	半円形		68	－
SK485	Ⅶ	Ⅳ	B41	楕円形	1.13	0.85	0.48	N-27°-W	箱形		68	22
SK486	Ⅶ	Ⅳ	G37	楕円形	0.83	0.67	0.26	－	逆台形		68	－
SK487	Ⅶ	Ⅳ	B40	円形	1.36	(1.30)	0.09	－	逆台形		68	－
SK488	Ⅶ	Ⅳ	B40	不明	0.60	(0.40)	0.09	－	逆台形		68	－
SK489	Ⅶ	Ⅳ	F39	楕円形	(1.42)	(0.76)	0.35	N-16°-W	逆台形		68	22
SK490	Ⅶ	Ⅳ	A42･43,B42	円形	0.67	0.66	0.14	－	逆台形		68	22
SK491	Ⅶ	Ⅳ	E38	円形	0.60	0.56	0.20	－	逆台形		68	23
SK492	Ⅶ	Ⅳ	E38,E39	不明	0.54	(0.52)	0.35	－	箱形		68	－
SK493	Ⅶ	Ⅳ	E38	長方形	(1.37)	(0.67)	0.30	N-59°-E	箱形		68	23
SK494	Ⅶ	Ⅳ	E38	楕円形	1.00	0.82	0.36	N-81°-E	逆台形		68	－
SK495	Ⅶ	Ⅳ	F38･39	長方形	1.32	0.66	0.20	N-10°-E	逆台形		68	23
SK496	Ⅶ	Ⅳ	E39･40	円形	1.12	1.16	0.38	－	箱形		68	－
SK497	Ⅶ	Ⅳ	E40	円形	1.04	0.95	0.39	－	袋形		68	23
SK498	Ⅶ	Ⅳ	E39･40,F39･40	円形	1.01	1.00	0.35	－	袋形		69	23
SK499	Ⅶ	Ⅳ	F40	円形	0.59	0.50	0.45	－	袋形		69	－
SK4100	Ⅶ	Ⅳ	D39,E39	不明	―	―	0.23	－	箱形		69	23

第６表　Ⅶ層遺構一覧表（5）

Ⅶ層Ⅳ区

土　坑

遺構番号	層	地区	グリッド	平面形	規　模（m）			主軸方位	断面形	備　考	挿図	写真図版
					長軸	短軸	深さ					
SK4101	Ⅶ	Ⅳ	E38･39	不明	(0.69)	0.53	0.20	－	逆台形		69	－
SK4102	Ⅶ	Ⅳ	A40	楕円形	1.09	0.89	0.23	N-68°-E	逆台形		69	23
Sk4103	Ⅶ	Ⅳ	C39	楕円形	(0.85)	(0.69)	0.32	N-40°-E	箱形		69	23
SK4104	Ⅶ	Ⅳ	B41,C41	楕円形	1.19	0.83	0.12	N-71°-W	逆台形		69	－
SK4105	Ⅶ	Ⅳ	C42	楕円形	1.02	0.69	0.14	N-87°-W	逆台形		69	－
SK4106	Ⅶ	Ⅳ	C42	不明	0.66	(0.57)	0.12	－	逆台形		69	－
SK4107	Ⅶ	Ⅳ	C37･38,D37･38	楕円形	2.07	1.04	0.24	N-50°-W	逆台形		69	－
SK4108	Ⅶ	Ⅳ	C42･43,D42･43	楕円形	1.23	0.95	0.07	N-37°-W	逆台形		69	－
SK4109	Ⅶ	Ⅳ	F41･42	円形	0.76	0.69	0.15	－	逆台形		69	24
SK4110	Ⅶ	Ⅳ	F42	円形	0.84	0.80	0.09	－	逆台形		69	24
Sk4111	Ⅶ	Ⅳ	G39	円形	0.70	0.60	0.11	－	逆台形		69	－
SK4112	Ⅶ	Ⅳ	F41,G41	円形	1.16	1.02	0.36	－	逆台形		69	－
SK4113	Ⅶ	Ⅳ	D39	不整形	1.36	1.06	0.25	N-10°-W	逆台形		69	－
SK4114	Ⅶ	Ⅳ	E41	円形	0.95	0.82	0.49	－	逆台形		69	24
SK4135	Ⅶ	Ⅳ	I39	円形	0.96	0.91	0.25	－	箱形		70	24
SK4136	Ⅶ	Ⅳ	I38	不整形	1.44	1.15	0.35	N-82°-W	階段形		70	24
SK4137	Ⅶ	Ⅳ	A36	楕円形	1.19	0.75	0.25	N-90°-E	階段形		70	24
SK4138	Ⅶ	Ⅳ	A35･36	不明	0.98	(0.79)	0.24	－	箱形		70	24

性格不明遺構

遺構番号	層	地区	グリッド	平面形	規　模（m）			主軸方位	断面形	備　考	挿図	写真図版
					長軸	短軸	深さ					
SX401	Ⅶ	Ⅳ	E41,F～H40･41	－	(5.80)	(5.52)	－	－	－		73	－

Ⅶ層Ⅴ区

土　坑

遺構番号	層	地区	グリッド	平面形	規　模（m）			主軸方位	断面形	備　考	挿図	写真図版
					長軸	短軸	深さ					
SK543	Ⅶ	Ⅴ	D44,E44	楕円形	0.84	0.53	0.15	N-26°-E	逆台形		74	24
SK544	Ⅶ	Ⅴ	B46	不明	－	－	0.34	－	逆台形		74	24

2. V　層

遺構はⅣ区を中心に竪穴遺構 1 基、環状集石 1 基、配石 11 基、埋設土器 5 基、土坑 32 基、溝跡 1 条、河川跡 3 条、性格不明遺構 1 基を検出した。

他の調査区より若干標高の高いⅣ区のほぼ中央に、拳大から数 10cm の長さの礫を直径およそ 12 m円形にややまばらに敷き詰めた円形の環状集石 1 基と、配石 11 基があり、その周囲に埋設土器や土坑、竪穴遺構が取り囲むように位置している。

Ⅲ区の SI301 竪穴遺構は一辺約 5.7 mの正方形の竪穴であるが、炉が検出されないことや、周囲に竪穴住居跡が検出されず、祭祀関係の遺構が多いことから一般の竪穴住居跡ではなく、祭祀に関係する竪穴遺構であると考えられる。

Ⅳ区検出の配石の中には 401 集石の範囲内に配置されているものがあり、401 配石は立石を伴い、402、403 配石は下部に土坑を伴っており、402 配石下部の土坑からイノシシ形の土製品や磨製石斧が出土した。その他配石下部に土坑が検出されたものと配石のみのものがある。また、404 配石は 1 辺が 3 ～ 3.3 mの方形に石列が巡るものである。これらのⅤ層検出配石には花崗岩が用いられているものが多く、他の石材は僅かである。

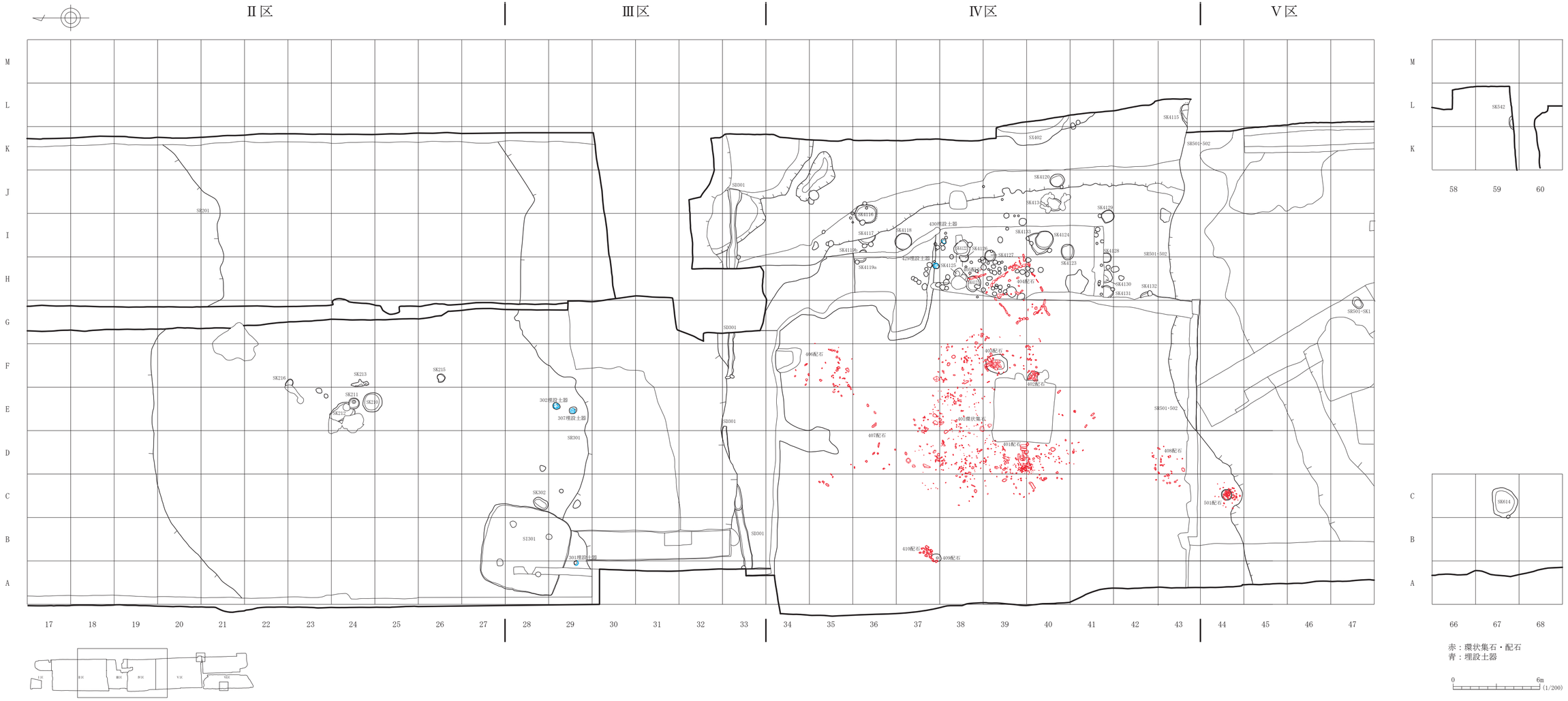
Ⅱ区検出の SK210 土坑から焼土、炭化物と共に焼けた骨片や骨角器が出土した。骨片の中には獣骨、鳥骨、魚骨、貝殻等がある。獣骨にはイノシシ、シカ、ウサギ等があり、イノシシの永久歯が生える前の、幼獣の下顎骨が認められる。鳥類にはガン・カモ類等の骨が認められる。魚骨には海産のタイ、カワハギ、サメ、エイ、スズキ、ボラ、サケ、淡水産のコイ、フナ、アユ、ウナギ、ギバチ等の種類が認められる。骨角器は鹿角製で離頭銛、銛、ヤス、釣針等の漁具である。これらはすべて火を受けており、そのために残存していたものと考えられる。その他にも土坑堆積土中や、遺物包含層から骨片や骨角器が出土している。

遺構下層のⅤ層はⅡ区～Ⅳ区にかけて、遺物包含層となっており、後期前葉を中心とした時期の土器、土製品、石器、石製品、骨片等が多量に出土している。特にⅡ区では厚さ 30cm 以上の部分があり、多量の土器、石器のほか、土偶、特殊な土器、土製品等祭祀にかかわる遺物が多くみられる。また、Ⅳ区のⅤ層は多くの層に細分される部分があり、焼土、炭化物、砂礫が部分的に含まれ、出土する遺物に磨滅した細片が多いことから、人為的な盛土を施し、整地していたものと考えられる。Ⅳ区のⅤ層包含層は南側の SR501・502 河川跡によって削平され、河川の壁際に多量の遺物と共に堆積していた。河川に流れ込んでいた遺物はⅣ区出土の遺物に比して残存伏況が良好なものが多い。この河川は砂礫層と植物遺体が残存する土層が確認されることから、水流が強い時期と極めて弱いほとんど流れがない状態の時期があったものと思われる。また、この中には漆製品の櫛の痕跡も認められた。SR502 の植物遺体を含む層で検出されたものには、トチ、クルミ、ドングリのほか、ウリ科やバラ科などの種子が確認されたが、栽培種と考えられるものは見られなかった。そのほかに広葉樹の葉が多数見られた。

Ⅲ区検出の溝跡は上層から掘り込まれた遺構の残存であると考えられる。東西の調査区外に延び、やや湾曲しているがほぼ東西方向の溝である。

河川跡は、調査区を東西に横断するかたちで、西から東へ向かって流れていたものと考えられる。いずれも重複する後期前葉の遺構より新しく、当該期より新しい時期のものであると考えられる。調査区北側（Ⅰ区～Ⅱ区中央）と中央の一部（Ⅲ区南側～Ⅳ区北側）、南側（Ⅴ区～Ⅵ区）は、これらの河川によって大きく抉り取られており、遺構配置の全容は不明である。

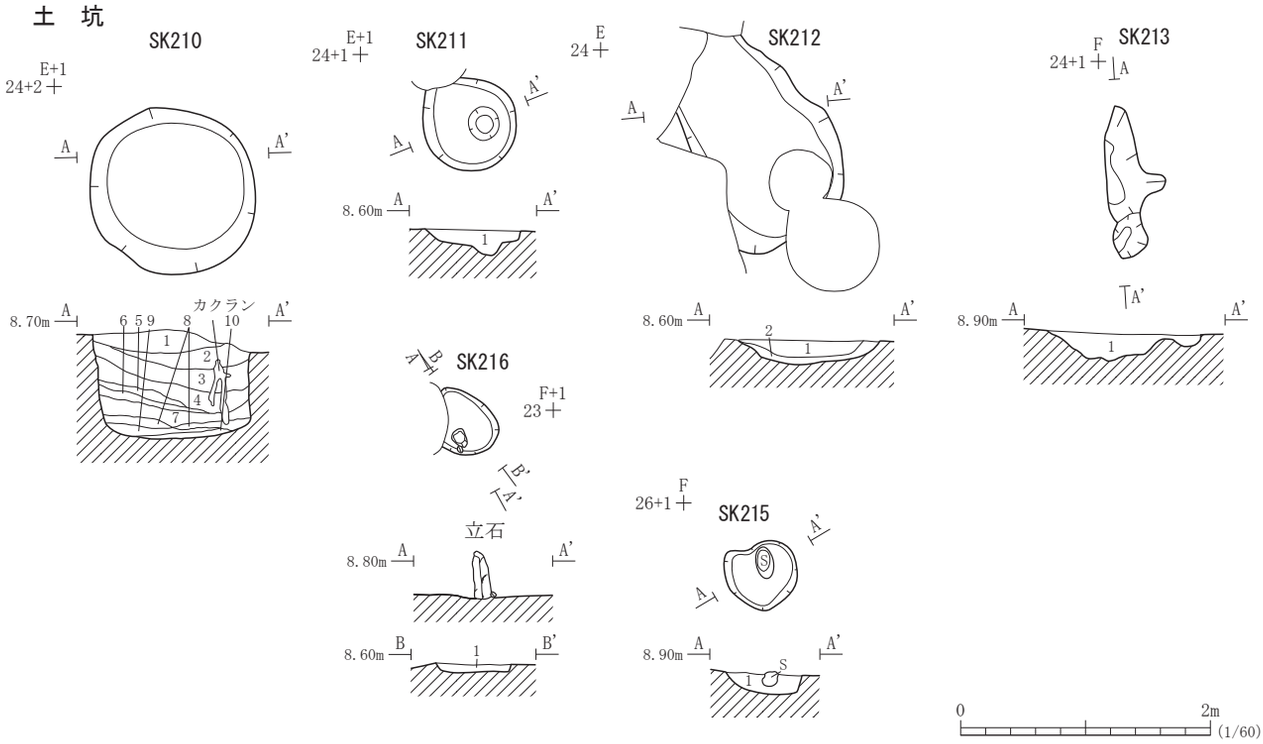
後期前葉の遺構群から離れた調査区南端Ⅵ区検出の SK614 土坑は SR501 河川跡の上面で検出された土坑である。底面に晩期中葉大洞 C_2 式の浅鉢が 1 個体つぶれた状態で出土した。当該期の遺構は 1 基のみで他には検出されていない。このことから調査区南側の SR501 河川跡は晩期中葉の時期には埋没していたものと考えられる。



第 75 図　Ⅴ層遺構配置図

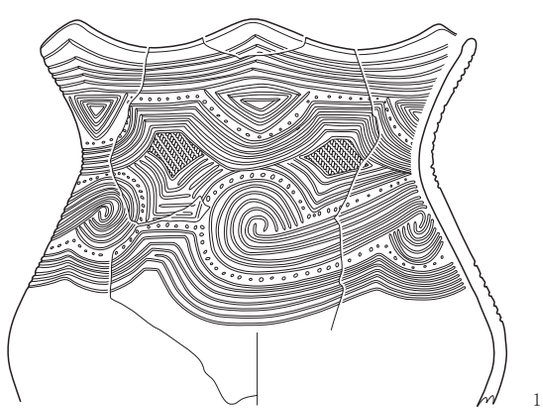
1）Ⅱ　区

土　坑



SK	層位	土　色	土　性	備　考
210	1	5YR1.7/1 黒	シルト	褐色シルトブロック、炭化物、粗砂、骨片を含む。
	2	7.5YR2/2 黒褐	シルト	炭化物、粗砂、骨片を含む。
	3	10YR1.7/1 黒	粘土質シルト	炭化物、粗砂、小礫（φ１～２cm）、骨片を含む。
	4	10YR2/2 黒褐	砂質シルト	褐色シルトブロック、炭化物、粗砂、小礫（φ１～２cm）、骨片を含む。
	5	5YR2/1 黒褐	砂質シルト	炭化物、粗砂、小礫（φ１～２cm）、骨片を含む。
	6	10YR3/1 黒褐	シルト質砂	小礫（φ２～３cm）を含む。
	7	10YR1.7/1 黒	シルト質砂	焼土粒、炭化物、粗砂、小礫（φ１～２cm）、骨片を含む。
	8	5YR3/3 暗赤褐	砂質シルト	焼土粒、炭化物、骨片を含む。
	9	7.5YR4/3 褐	細砂	焼土粒、炭化物、骨片を含む。
	10	7.5YR3/4 暗褐	シルト質砂	焼土粒、炭化物（ℓ９層より多量）、骨片を含む。

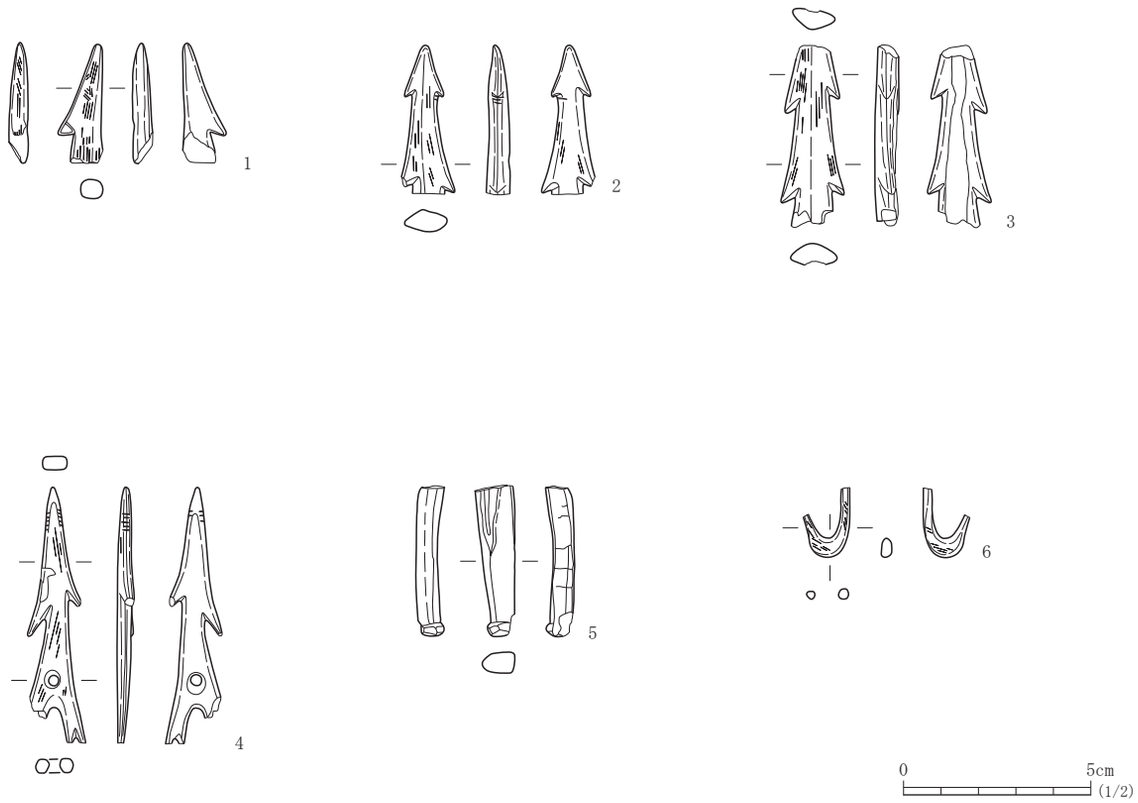
SK	層位	土　色	土　性	備　考
211	1	10YR2/2 黒褐 10YR4/6 褐	粘土質シルト シルト質粘土	混在。焼土、炭化物、有機物を含む。
212	1	10YR2/2 黒褐	シルト	褐色粘土質シルト、焼土粒、炭化物を含む。
	2	10YR4/4 褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
213	1	2.5Y6/4 にぶい黄	砂質シルト	炭化物を微量含む。
215	1	10YR3/1 黒褐	粘土	黄褐色粘土ブロックを多量に含む。
216	1	10YR2/1 黒	粘土	にぶい黄褐色粘土ブロック、炭化物を含む。

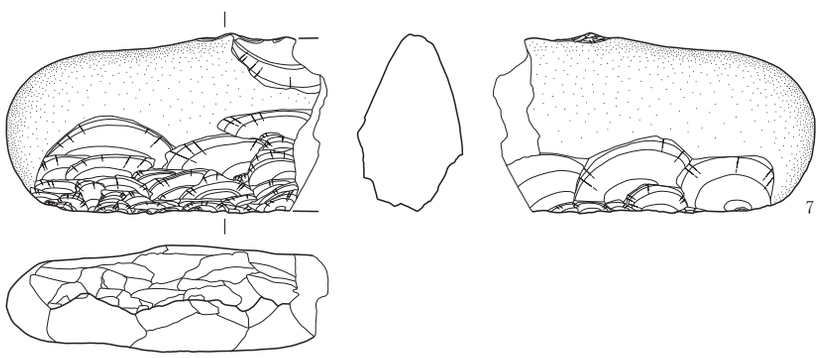


0　10cm (1/3)

No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-837	SK 215	縄文土器	深鉢	多条沈線文、刺突文、縄文 RL 横位施文。	波状口縁。	61-1

第 76 図　Ⅴ層Ⅱ区 土坑・土坑出土遺物（1）





No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	Q-002	SK210	骨角器	銛	長さ(3.2)×幅(1.2)×厚さ(0.5)cm。	鹿角製。	61-2
2	Q-005	SK210	骨角器	銛	長さ(4.0)×幅(1.4)×厚さ(0.6)cm。	鹿角製。	61-3
3	Q-001	SK210	骨角器	銛	長さ(4.9)×幅(1.7)×厚さ(0.8)cm。	鹿角製。	61-4
4	Q-004	SK210	骨角器	離頭銛	長さ(6.8)×幅(1.5)×厚さ(0.5)cm。	鹿角製。	61-5
5	Q-003	SK210	骨角器	ヤス	長さ(4.0)×幅(1.0)×厚さ(0.7)cm。	鹿角製。	61-6
6	Q-006	SK210	骨角器	釣針	長さ(1.9)×幅(1.2)×厚さ(0.3)cm。	鹿角製。	61-7

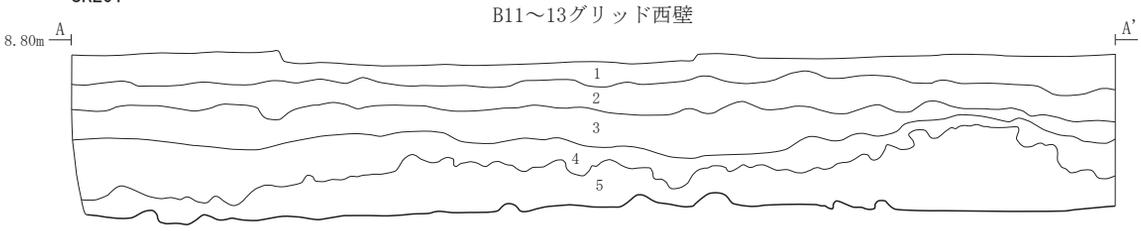
No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備　考	写真図版
7	Ka-036	SK210	打製石斧	流紋岩	Ka-g	(7.2)	(12.8)	(4.1)	(466.4)		61-8

第77図　V層Ⅱ区 土坑出土遺物(2)

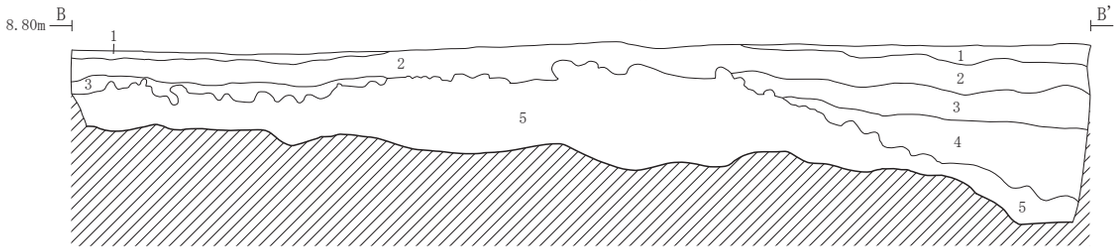
河川跡

SR201

B11～13グリッド西壁



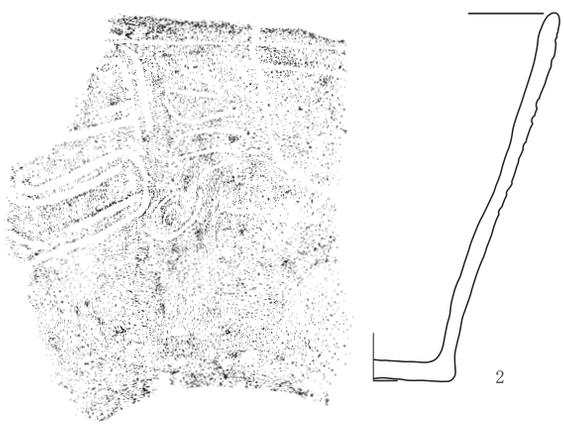
B14～16グリッド南西壁



0　2m (1/60)

SR	層位	土　色	土　性	備　考
201	1	10YR3/1 黒褐	粘土質シルト	包含層の流れこみ。
	2	10YR8/4 浅黄橙	粘土	炭化物を少量含む。
	3	7.5YR6/4 にぶい橙	粘土	

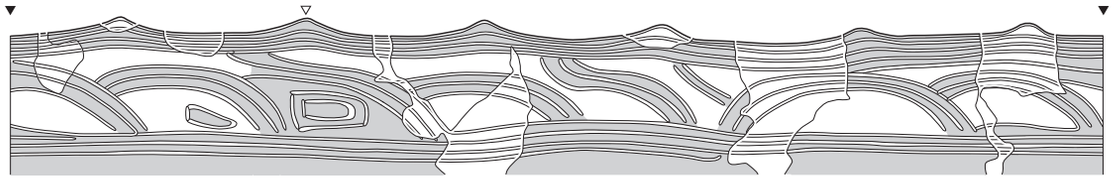
SR	層位	土　色	土　性	備　考
201	4	10YR5/4 にぶい黄褐	粘土	
	5	10YR6/6 明黄褐	細砂	

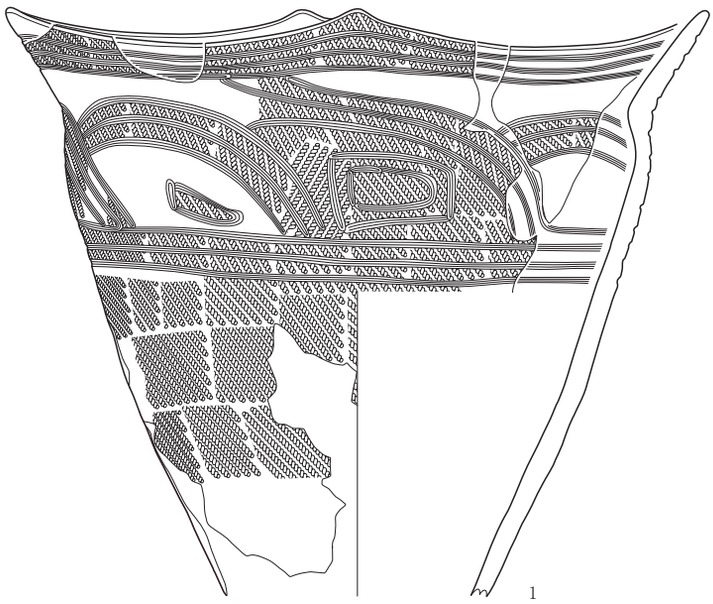


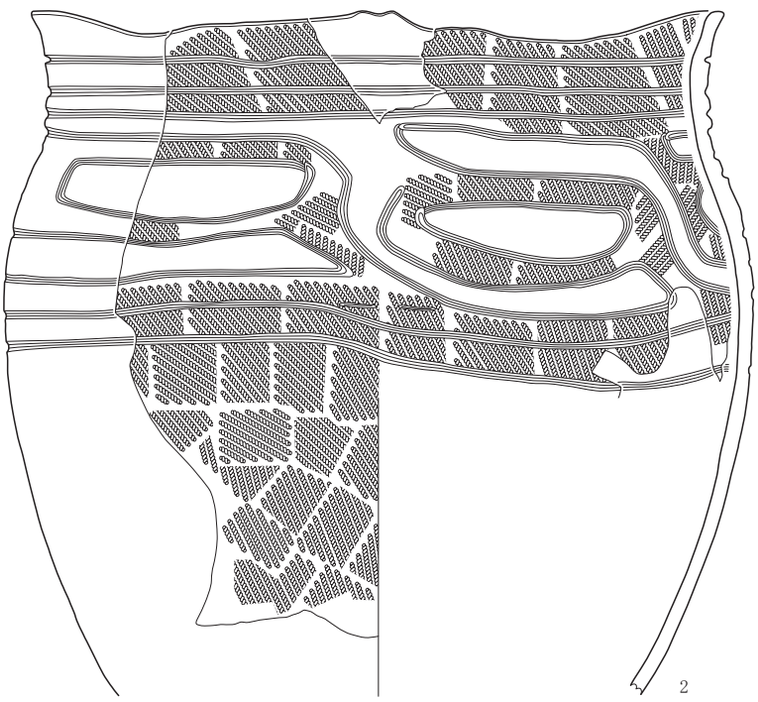
0　10cm (1/3)

No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-936	SR201	縄文土器	深鉢	隆線文、沈線文。		-
2	A-057	SR201	縄文土器	深鉢	沈線文。	波状口縁。	61-9

第 78 図　Ⅴ層Ⅱ区 SR201 河川跡・SR201 河川跡出土遺物（1）



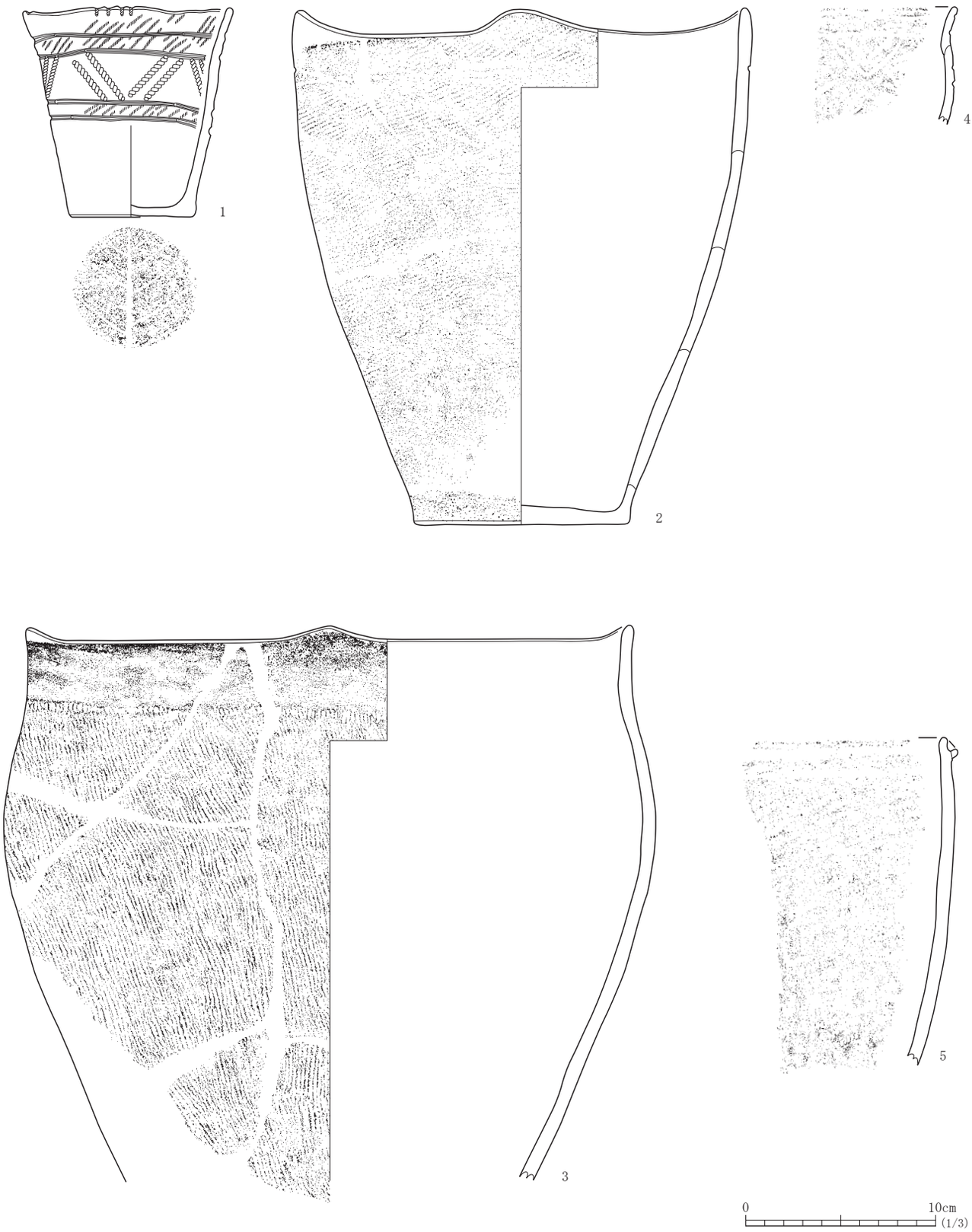




0　10cm (1/3)

No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-071	SR201	縄文土器	深鉢	沈線文、縄文 RL 横位施文、磨り消し。	波状口縁。6 単位。	61-10
2	A-815	SR201	縄文土器	深鉢	沈線文、縄文 RL 縦・横・斜位施文、磨り消し。	波状口縁。4 単位。	-

第 79 図　V 層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物 (2)

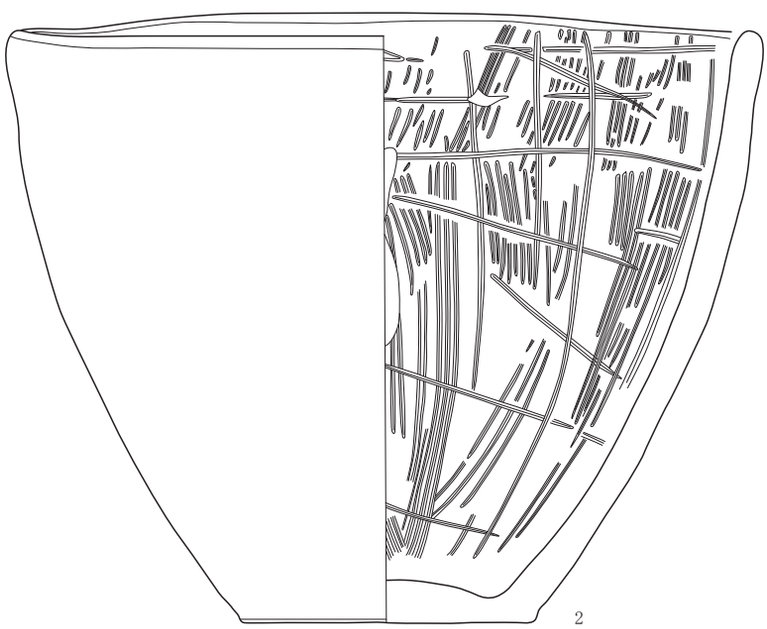


No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-572	SR201	縄文土器	深鉢	口唇部：縄文L原体側面圧痕。胴部：沈線文、矢羽状の縄文L原体側面圧痕、縄文L横位施文。	波状口縁。4単位。底部木葉痕。	61-13
2	A-091	SR201	縄文土器	深鉢	口縁部直下に縄文LR原体側面圧痕。胴部：縄文LR横・斜位施文。	波状口縁。4単位。底部板状圧痕。	-
3	A-257	SR201	縄文土器	深鉢	頸部：絡状体圧痕文。胴部：撚糸文R縦位施文。	波状口縁。4単位。	61-11
4	A-941	SR201	縄文土器	深鉢	沈線文。		61-12
5	A-940	SR201	縄文土器	深鉢	隆線文、沈線文、盲孔、縄文LR縦位施文。		-

第80図　Ⅴ層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物（3）

No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-226	SR201	縄文土器	深鉢	沈線文、刺突文、縄文 LR 横位施文。		61-14
2	A-050	SR201	縄文土器	深鉢	外面　沈線文、円形刺突文、縄文 LR 横位施文。内面　口縁部：沈線文。	小突起。貫通孔。	61-15
3	A-555	SR201	縄文土器	深鉢	内面　口縁部：沈線文。	小突起。	61-16
4	A-841	SR201	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 縦・斜位施文。	波状口縁。3 単位。	－
5	A-060	SR201	縄文土器	深鉢	沈線文、縄文 LR 縦・横位施文、磨り消し。		62-1
6	A-097	SR201	縄文土器	深鉢	外面　撚糸文 L 縦・斜位施文。内面　格子目状沈線文。（縦位は櫛歯状）		－
7	A-265	SR201	縄文土器	深鉢	外面　撚糸文 R 縦・斜位施文。内面　格子目状沈線文。（櫛歯状）		62-2

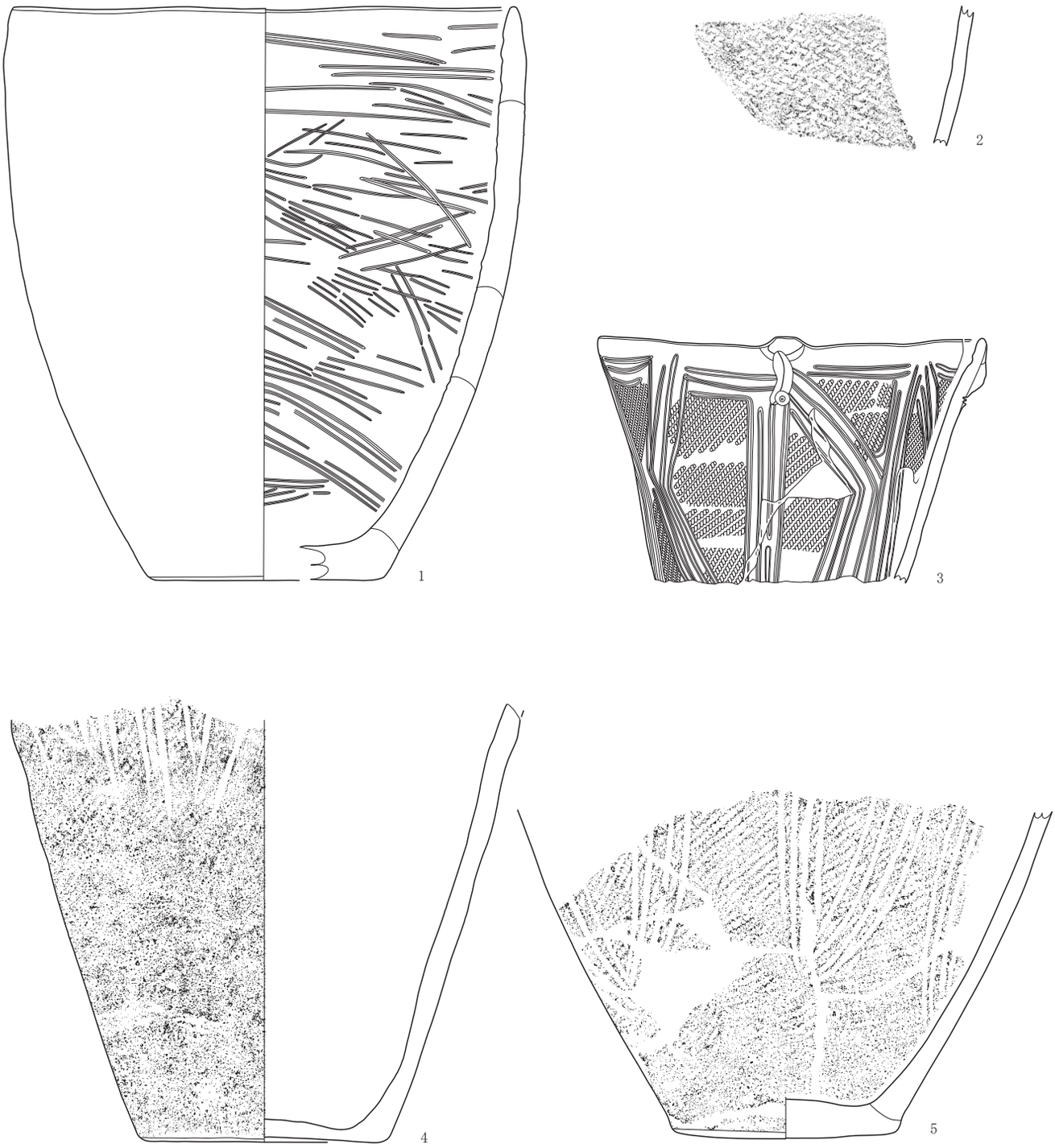
第 81 図　V 層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物（4）



0　10cm (1/3)

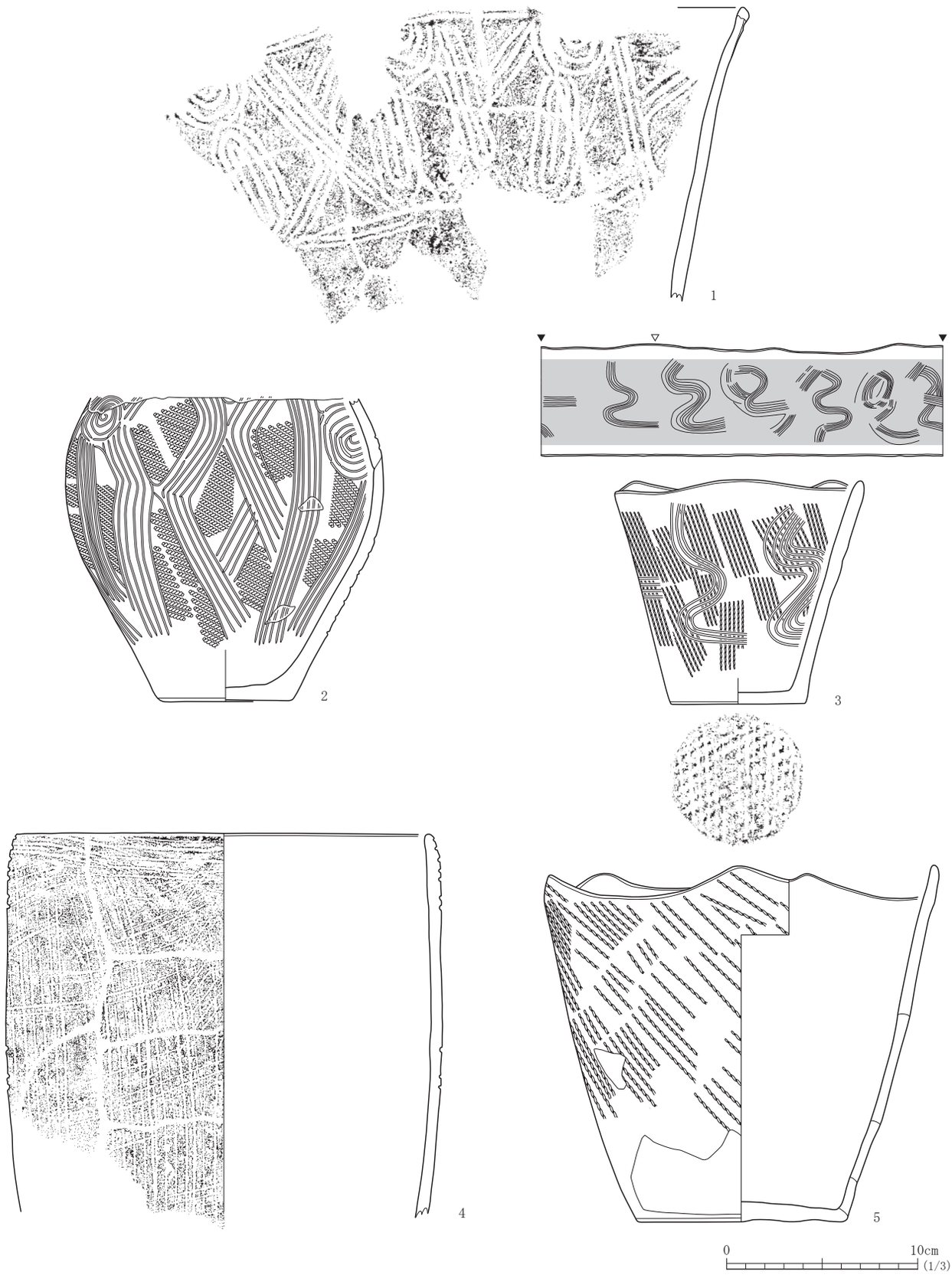
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-277	SR201	縄文土器	深鉢	外面　撚糸文Ｒ縦・斜位施文。内面　格子目状沈線文。(櫛歯状)		-
2	A-266	SR201	縄文土器	深鉢	内面　格子目状沈線文、櫛歯状沈線文。		-

第 82 図　Ⅴ層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物 (5)



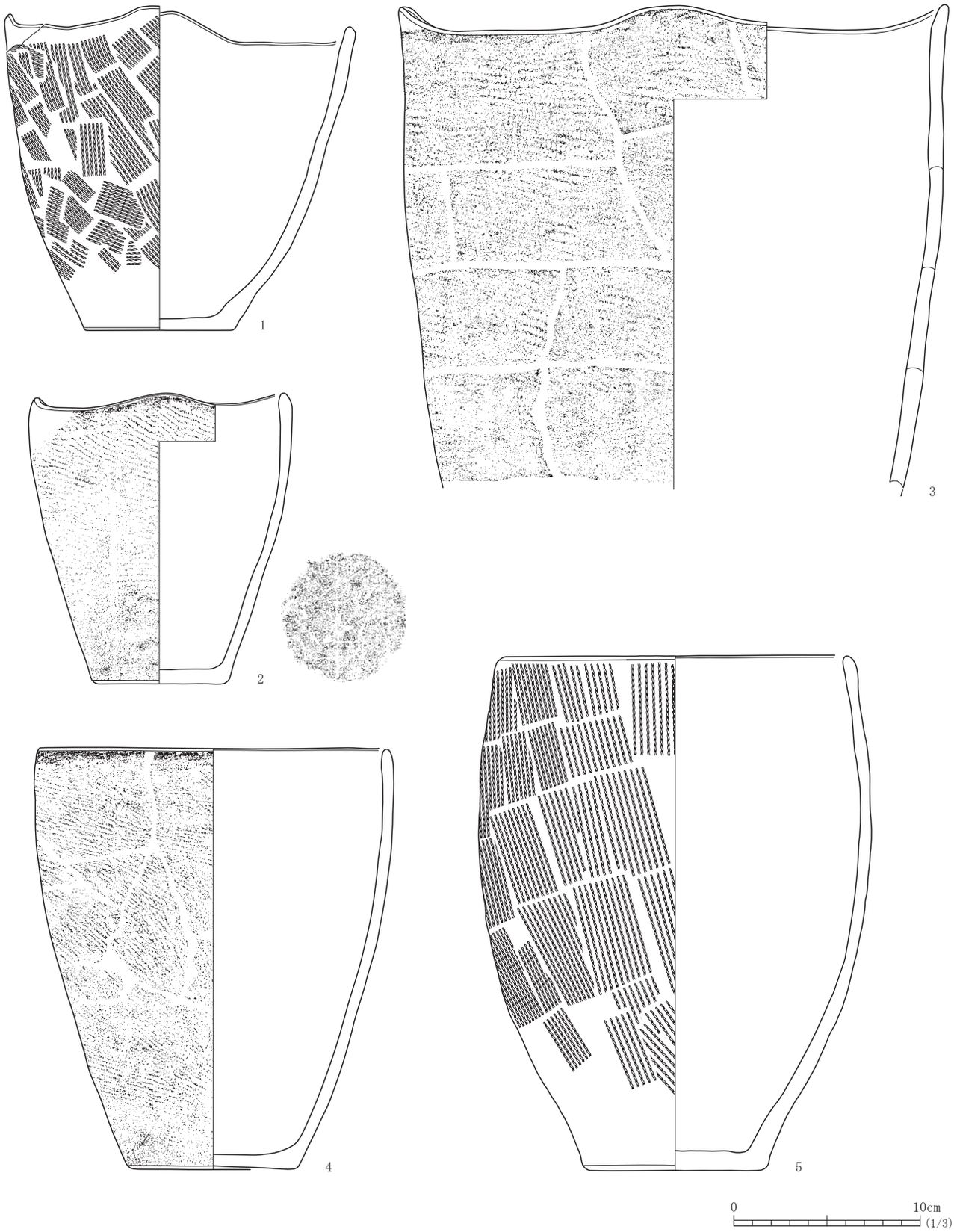
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-829	SR201	縄文土器	深鉢	内面　櫛歯状沈線文。		-
2	A-939	SR201	縄文土器	深鉢	籠目文（網代圧痕文）。		62-3
3	A-026	SR201	縄文土器	深鉢	多条沈線文、隆線文、円形刺突文、縄文 LR 横位施文。	小突起。	62-4
4	A-259	SR201	縄文土器	深鉢	多条沈線文、縄文 LR 横位施文。		62-5
5	A-822	SR201	縄文土器	深鉢	多条沈線文、縄文 RL 縦位施文。		62-6

第 83 図　V 層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物（6）



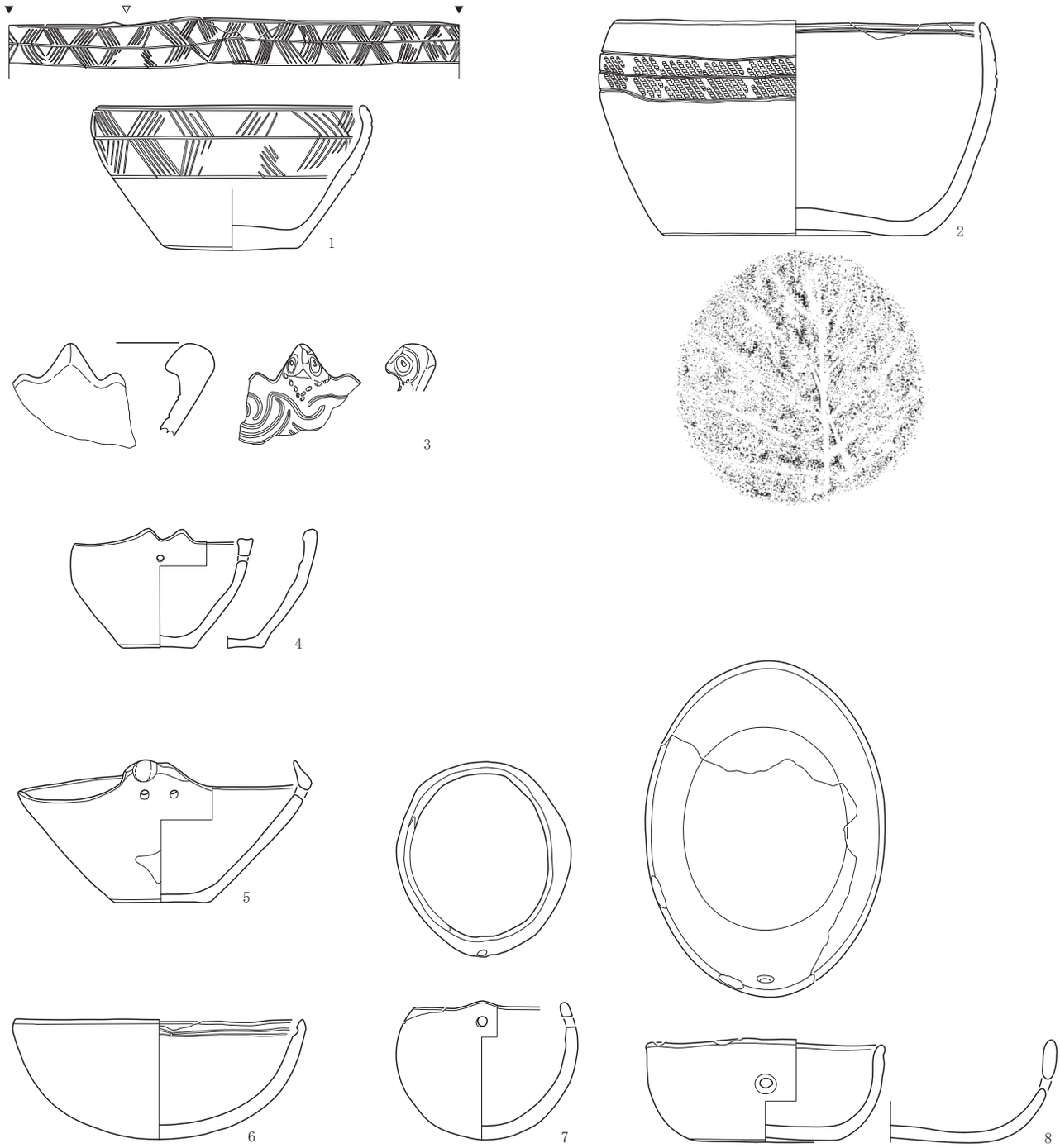
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-147	SR201	縄文土器	深鉢	多条沈線文、縄文 RL 縦位施文。	小突起。	62-7
2	A-772	SR201	縄文土器	深鉢	多条沈線文、縄文 LR 縦位施文。		62-8
3	A-522	SR201	縄文土器	深鉢	櫛歯状沈線文、撚糸文 R 縦位施文。	波状口縁。3 単位。底部網代痕。	62-9
4	A-751	SR201	縄文土器	深鉢	格子目状沈線文。		63-1
5	A-198	SR201	縄文土器	深鉢	撚糸文 L 斜位施文。	波状口縁。5 単位。被熱により一部器面剥離。底部木葉痕。	63-2

第 84 図　Ⅴ層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物（7）



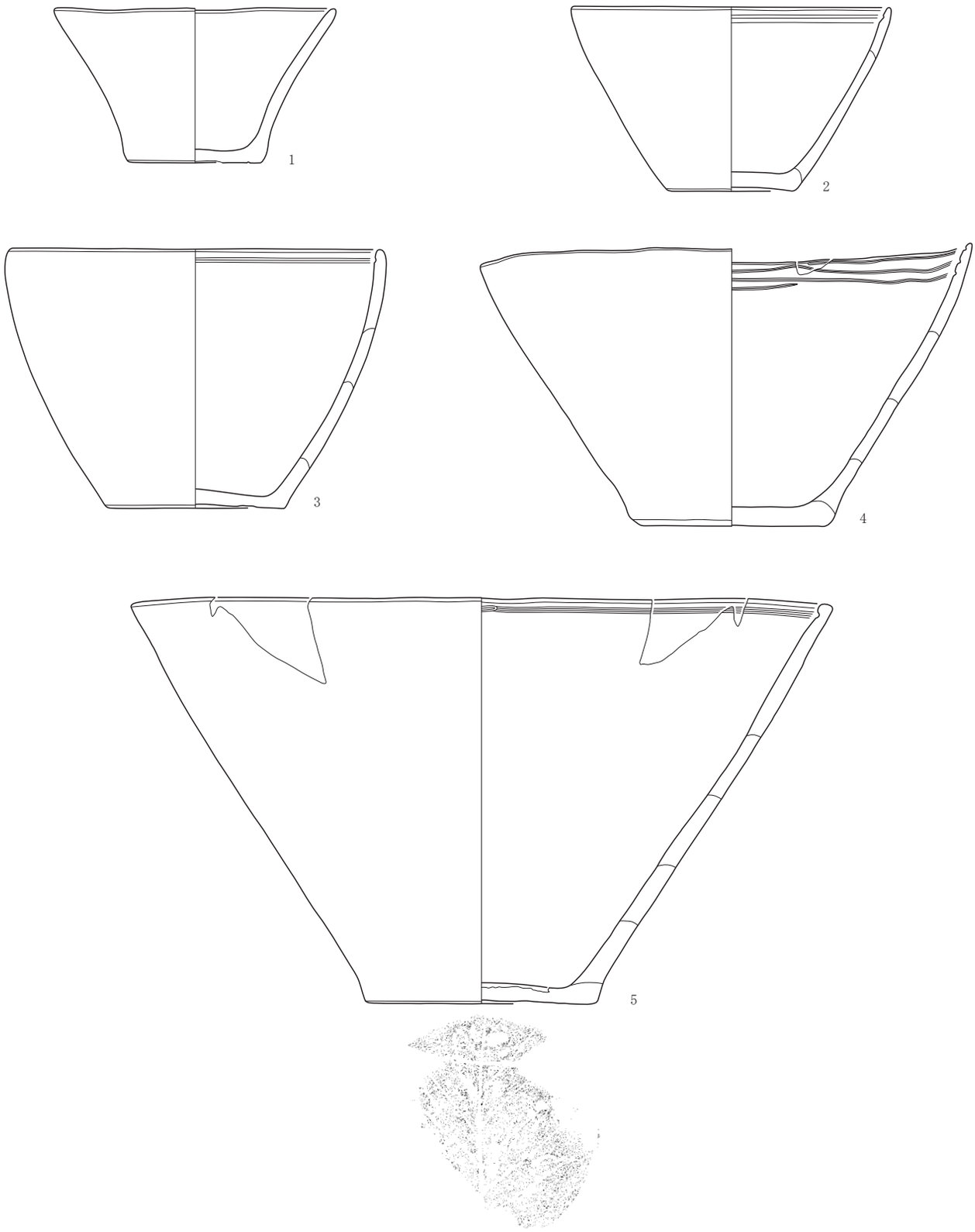
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-546	SR201	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 縦・斜位施文。	波状口縁。4 単位。	63-3
2	A-074	SR201	縄文土器	深鉢	縄文 LR 縦・斜位施文。	波状口縁。4 単位。底部木葉痕。	63-4
3	A-769	SR201	縄文土器	深鉢	縄文 LR 縦・横・斜位施文。	波状口縁。4 単位。	63-5
4	A-061	SR201	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 横・斜位施文。		63-6
5	A-154	SR201	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 縦位施文。		63-7

第 85 図　V 層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物（8）



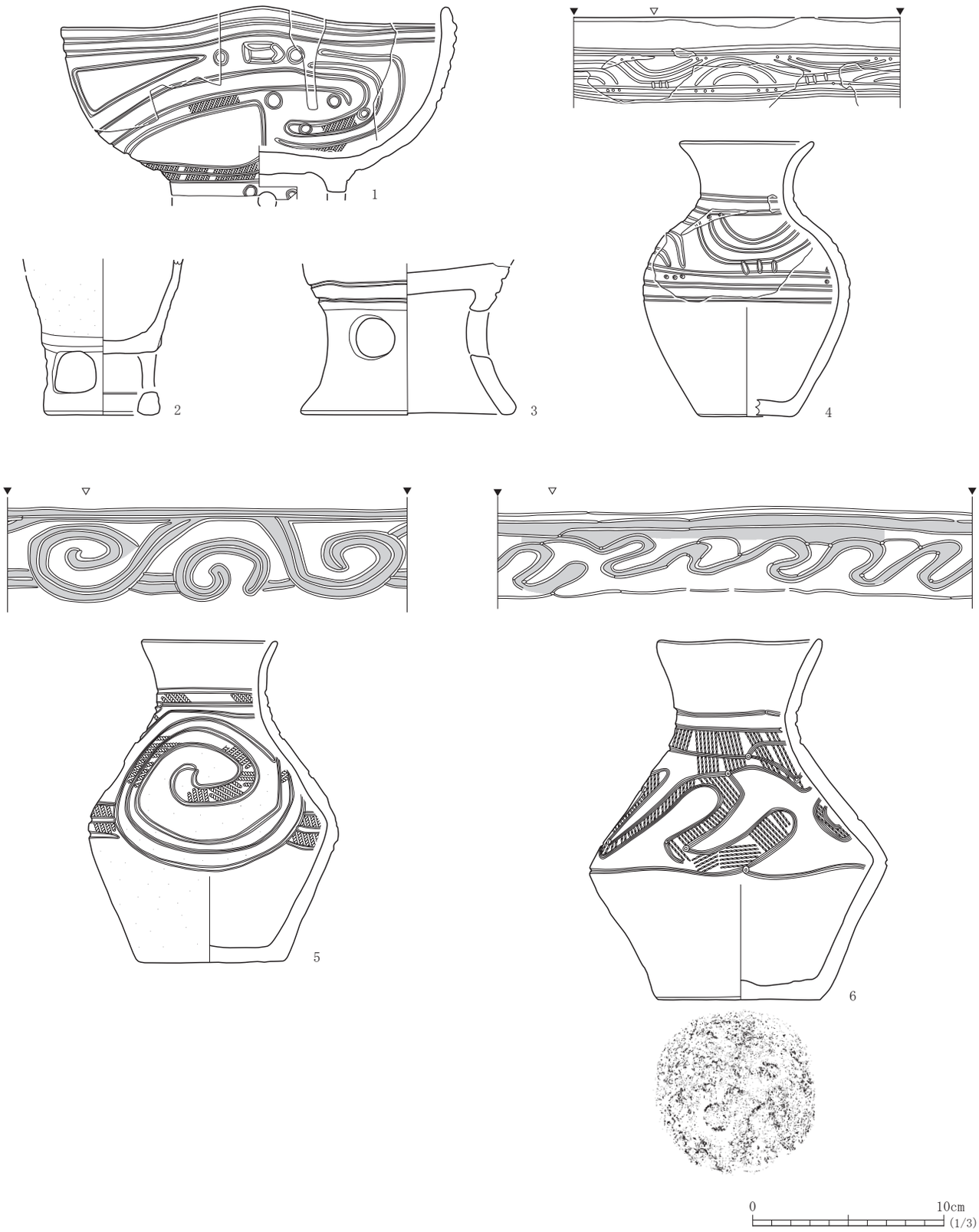
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-510	SR201	縄文土器	鉢	沈線文。	内・外面黒色付着物。	64-1
2	A-556	SR201	縄文土器	鉢	外面　沈線文、縄文 LR 縦位充填施文。内面　口縁部：沈線文。	底部木葉痕。	64-2
3	A-927	SR201	縄文土器	浅鉢	内面　沈線文、刺突文。	鳥頭形突起。A-926（第 29 図 7）と同一個体か。	64-3
4	A-811	SR201	縄文土器	浅鉢		波状口縁。貫通孔。	64-4
5	A-178	SR201	縄文土器	浅鉢		突起。貫通孔 2 ヶ所。	64-5
6	A-033	SR201	縄文土器	浅鉢	内面　口縁部：沈線文。		64-6
7	A-559	SR201	縄文土器	浅鉢		貫通孔。	64-7
8	A-110	SR201	縄文土器	浅鉢		焼成後の穿孔。	64-8

第 86 図　Ⅴ層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物（9）



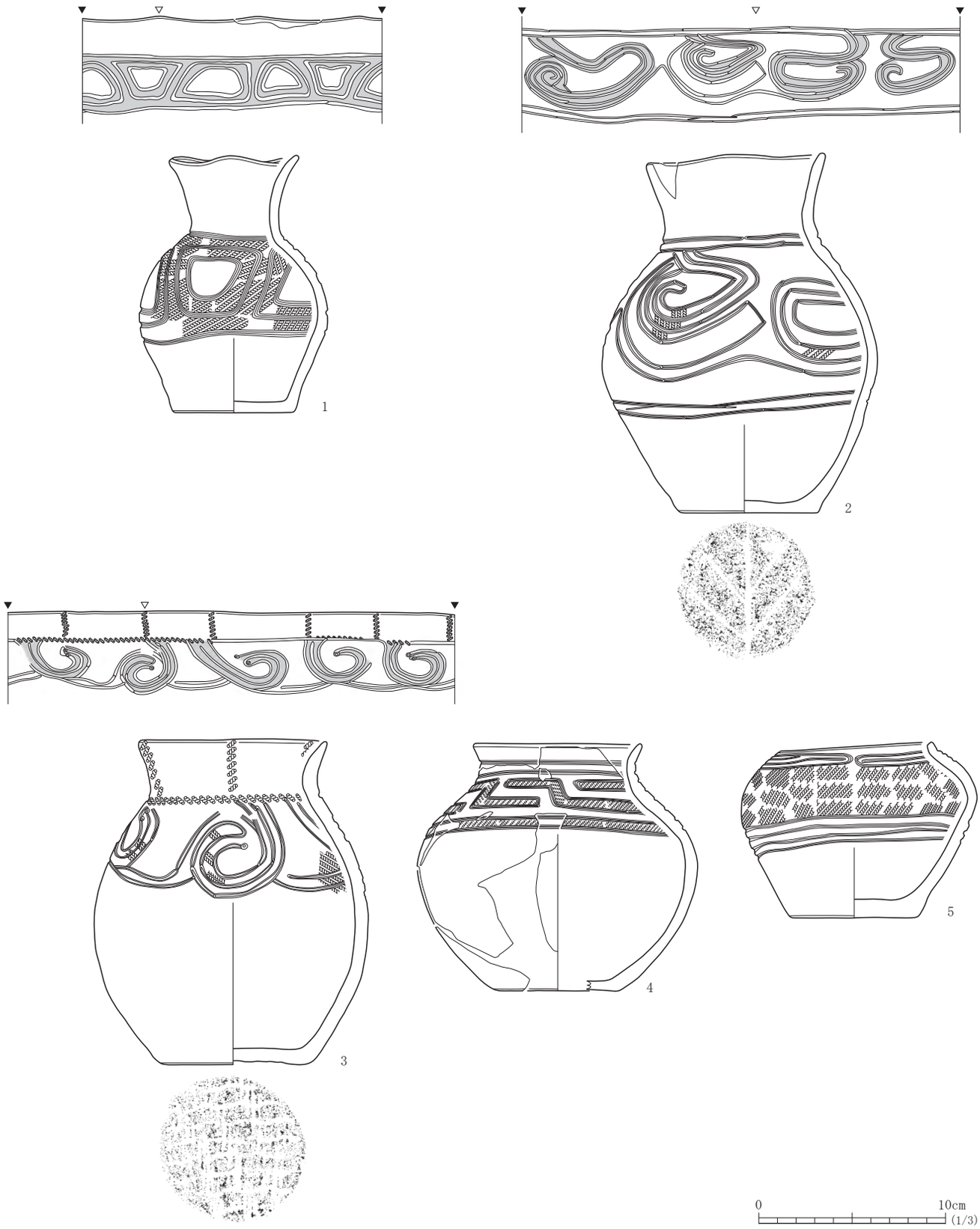
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-839	SR201	縄文土器	浅鉢		底部木葉痕。	-
2	A-560	SR201	縄文土器	浅鉢	内面　口縁部：沈線文。		64-9
3	A-449	SR201	縄文土器	浅鉢	内面　口縁部：沈線文。	底部木葉痕。	-
4	A-350	SR201	縄文土器	浅鉢	内面　口縁部：沈線文。		64-10
5	A-258	SR201	縄文土器	浅鉢	内面　口縁部：沈線文。	底部木葉痕。	-

第87図　V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物（10）



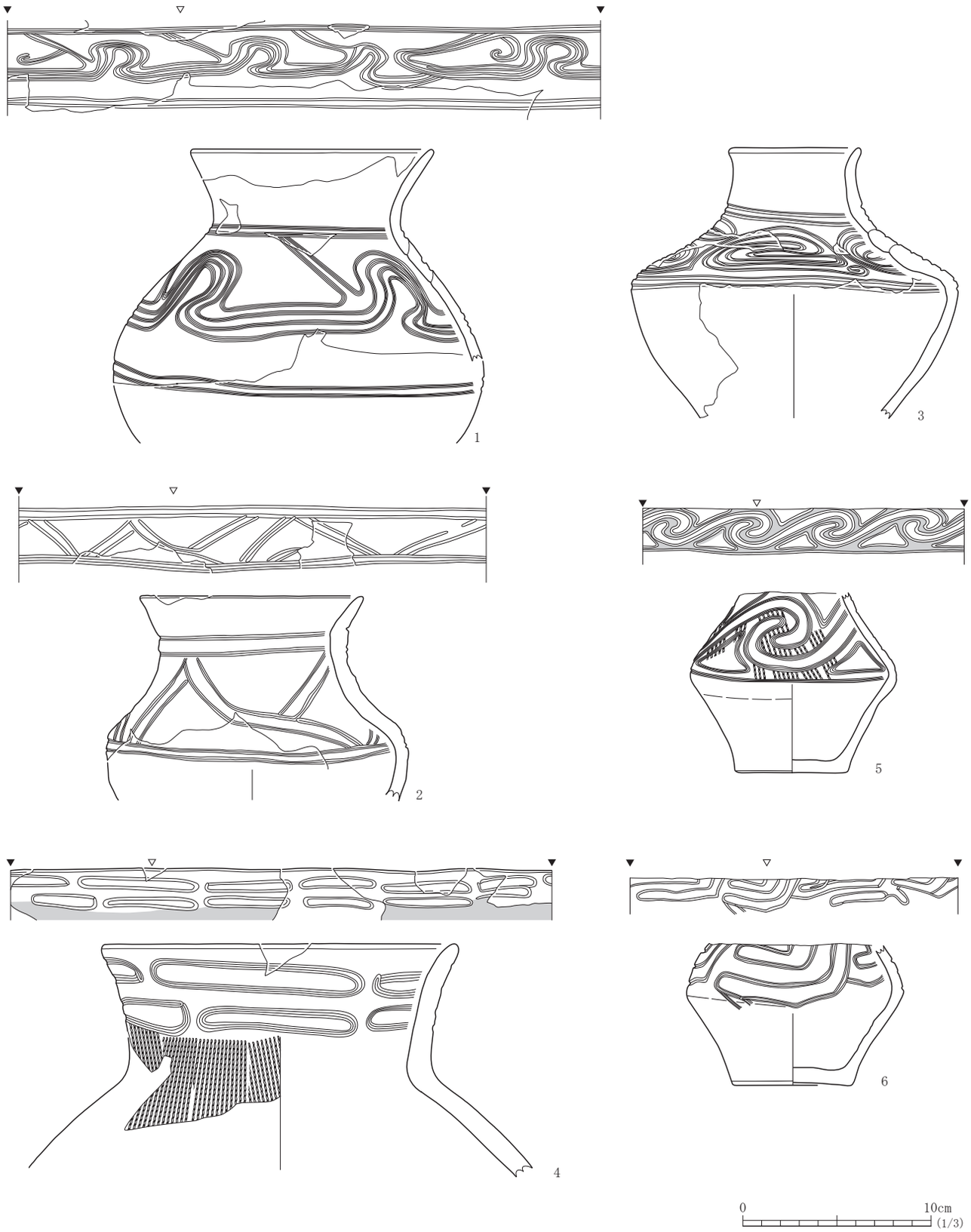
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-832	SR201	縄文土器	台付鉢	沈線文、円形刺突文、縄文 LR 横位施文。	波状口縁。脚部透穴 3 ヶ所。受部内面底部煤付着。	64-11
2	A-271	SR201	縄文土器	台付鉢	隆線文。	脚部透穴 3 ヶ所。	64-12
3	A-534	SR201	縄文土器	台付鉢	脚部：沈線文。	脚部透穴 3 ヶ所。	-
4	A-174	SR201	縄文土器	壺	沈線文。円形刺突文。		64-13
5	A-561	SR201	縄文土器	壺	沈線文、縄文 RL 縦・横・斜位施文、磨り消し。		64-14
6	A-521	SR201	縄文土器	壺	沈線文、円形刺突文、撚糸文 R 縦・横・斜位施文、磨り消し。	底部網代痕。	65-1

第 88 図　Ⅴ層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物（11）



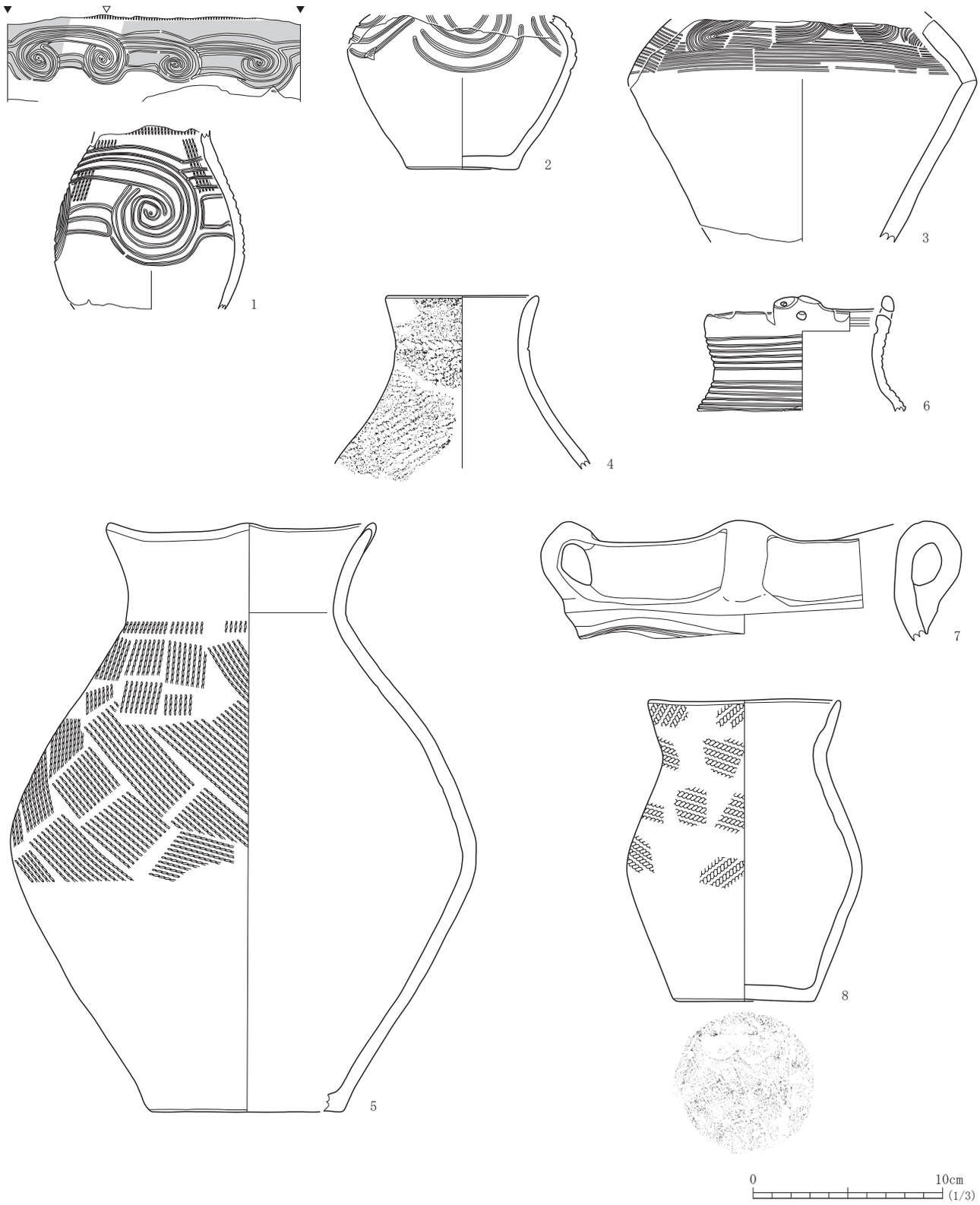
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-950	SR201	縄文土器	壺	沈線文、縄文 RL 縦・横・斜位施文、磨り消し。	波状口縁。3 単位。底部網代痕。	65-2
2	A-562	SR201	縄文土器	壺	沈線文、縄文 LR 横・斜位施文、磨り消し。	底部木葉痕。	65-3
3	A-516	SR201	縄文土器	壺	口縁部・頸部：縄文 LR 原体側面圧痕。体部：沈線文、円形刺突文、縄文 LR 縦位施文。頸部の側面圧痕は一部横位沈線文で消される。	底部網代痕。	65-4
4	A-850	SR201	縄文土器	壺	沈線文、縄文 LR 横・縦位充填施文。		-
5	A-571	SR201	縄文土器	壺	沈線文、縄文 LR 横位施文、磨り消し。		65-5

第 89 図　Ⅴ層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物（12）



No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-070	SR201	縄文土器	壺	沈線文。		65-6
2	A-777	SR201	縄文土器	壺	沈線文。		65-7
3	A-845	SR201	縄文土器	壺	沈線文。	内面　輪積痕。	65-8
4	A-743	SR201	縄文土器	壺	沈線文、撚糸文R縦位施文。		65-9
5	A-558	SR201	縄文土器	壺	沈線文、撚糸文R縦位施文、磨り消し。		65-10
6	A-541	SR201	縄文土器	壺	沈線文。		65-11

第90図　Ⅴ層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物（13）



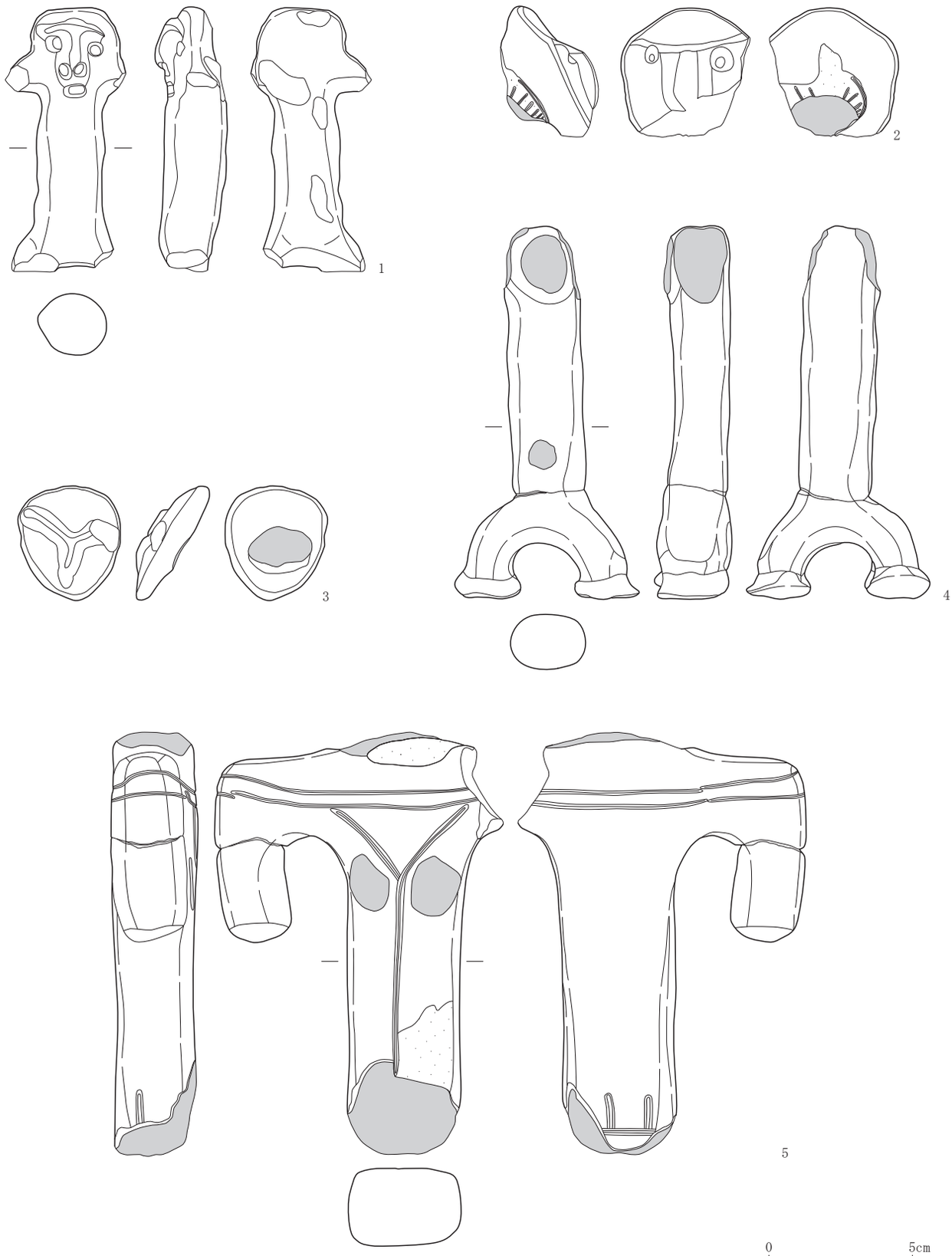
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-530	SR201	縄文土器	壺	沈線文。撚糸文R縦位施文。		65-12
2	A-129	SR201	縄文土器	壺	沈線文。	底部板状圧痕。	－
3	A-112	SR201	縄文土器	壺	櫛歯状沈線文。		－
4	A-833	SR201	縄文土器	壺	頸部：縄文LR原体側面圧痕。体部：縄文LR横・斜位施文。		66-1
5	A-240	SR201	縄文土器	壺	頸部：絡状体圧痕文。体部：撚糸文R縦・斜位施文。	波状口縁。4単位。	66-2
6	A-187	SR201	縄文土器	壺	外面　多条沈線文。盲孔。内面　口縁部：沈線文。	小突起。貫通孔。	66-3
7	A-917	SR201	縄文土器	壺	沈線文。	4単位の橋状把手。	－
8	A-544	SR201	縄文土器	壺	縄文LR縦・横位施文。	底部木葉痕。	66-4

第91図　Ⅴ層Ⅱ区 SR201河川跡出土遺物（14）

0　10cm
(1/3)

No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-831	SR201	縄文土器	壺	縄文 LR 横・斜位施文。		66-5
2	A-058	SR201	縄文土器	壺	縄文 RL 縦・横・斜位施文。		-
3	A-552	SR201	縄文土器	壺	縄文 LR 縦・斜位施文。	底部木葉痕。	66-6
4	A-135	SR201	縄文土器	壺			66-7
5	A-953	SR201	縄文土器	注口土器	隆線上に刻み目、円形刺突文、縄文 RL 横・斜位施文。	把手 2 単位。	66-9
6	A-134	SR201	縄文土器	特殊土器	撚糸文 R 斜位施文。	内面体部に突起。底部網代痕。	66-8

第 92 図　Ⅴ層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物（15）



No.	登録番号	出土遺構	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	Pa-401	SR201	土偶		頭・腕・胴部片。	67-1
2	Pa-262	SR201	土偶	沈線文。	頭部片。接合痕。	67-2
3	Pa-286	SR201	土偶		頭部片。接合痕。	67-3
4	Pa-174	SR201	土偶		胴・脚部片。接合痕。	67-4
5	Pa-160	SR201	土偶	沈線文。	腕・胴部片。接合痕。	67-5

第 93 図　V 層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物（16）

No.	登録番号	出土遺構	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	Pa-206	SR201	土偶	沈線文。	腕・胴部片。接合痕。	-
2	Pa-389	SR201	土偶	沈線文。	腕・胴部片。接合痕。	-
3	Pa-167	SR201	土偶	沈線文。	胴部片。接合痕。	67-6
4	Pa-189	SR201	土偶	沈線文。	胴部片。接合痕。	67-7
5	Pa-298	SR201	土偶	多条沈線文。	胴部片。	67-8

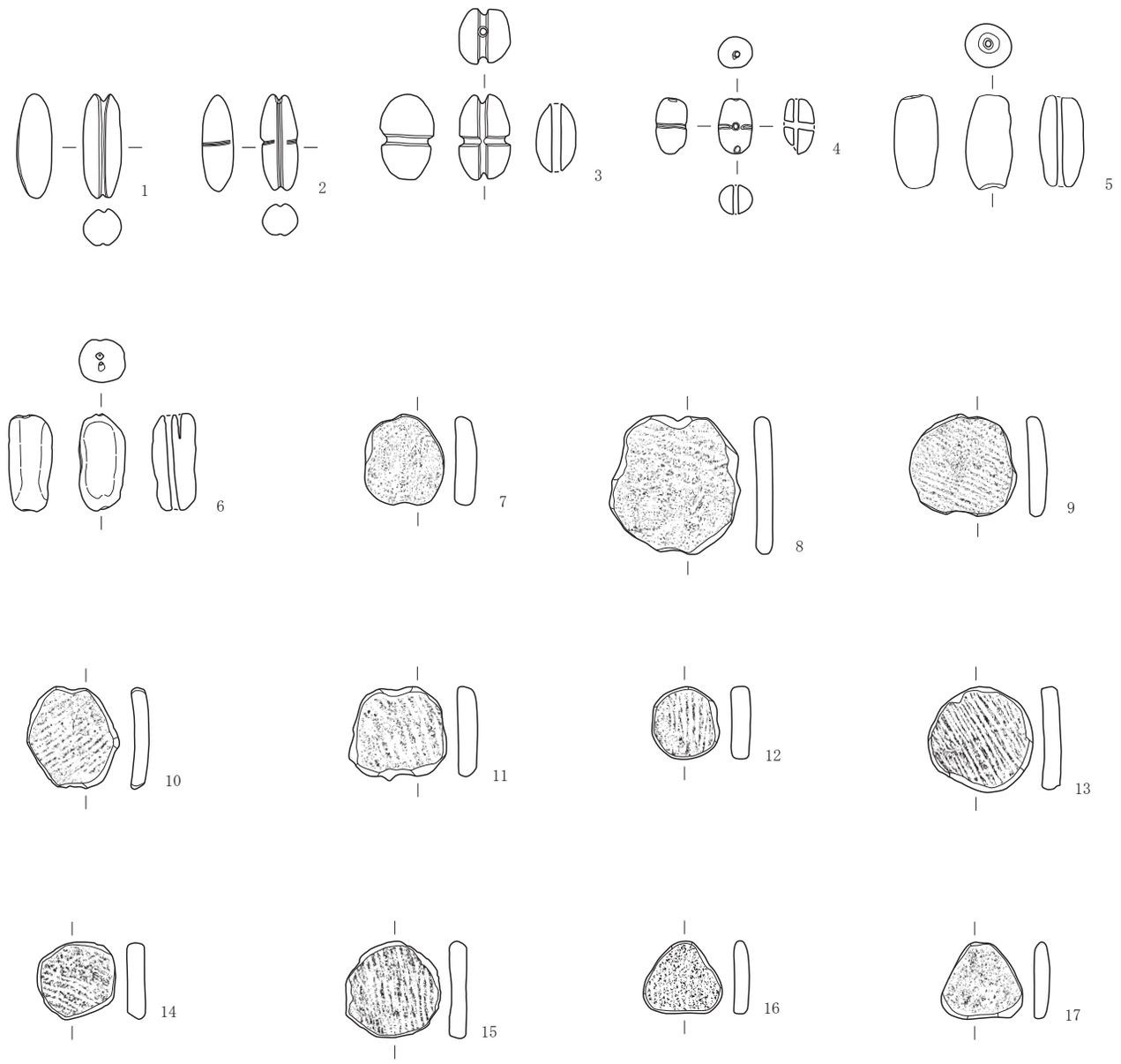
第 94 図　Ⅴ層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物（17）

No.	登録番号	出土遺構	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	Pa-168	SR201	土偶	櫛歯状沈線文、正中線。	胴部片。接合痕。	67-9
2	Pa-207	SR201	土偶	正中線。	胴部片。	-
3	Pa-172	SR201	土偶	櫛歯状沈線文、正中線。	胴部片。接合痕。	67-10
4	Pa-188	SR201	土偶	沈線文。	胴・脚部片。接合痕。	-
5	Pa-039	SR201	土偶	多条沈線文。	脚部片。	-
6	Pb-025	SR201	垂飾	沈線文、刻み目。長さ 4.0 ×幅 3.9 ×厚さ 1.1cm。	左右に貫通孔。	68-1
7	Pb-033	SR201	腕輪形土製品	沈線文 5 条。円形刺突文。幅 7.7cm。		68-2

第 95 図　V 層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物（18）

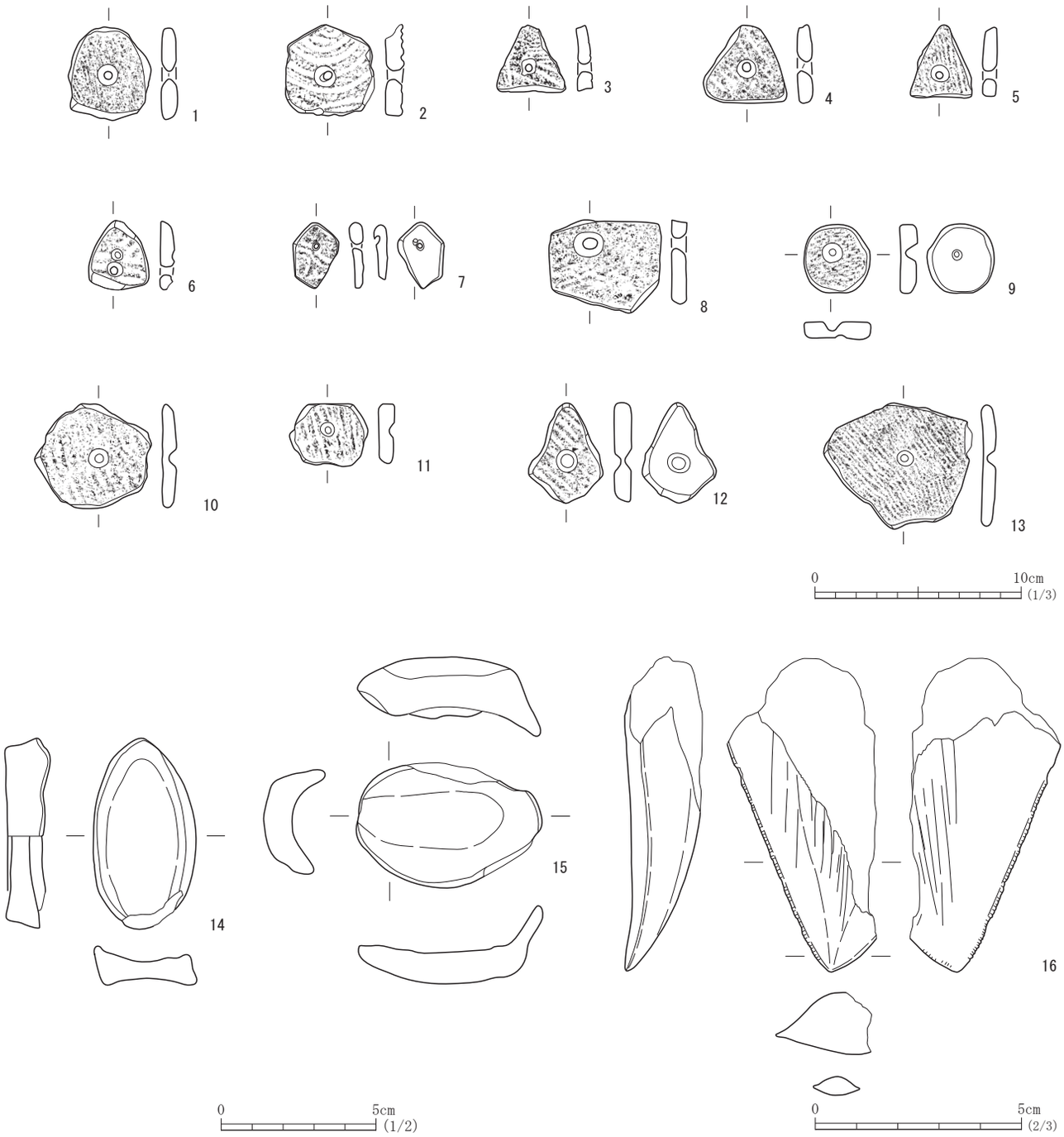
No.	登録番号	出土遺構	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	Pc-356	SR201	ミニチュア	沈線文。	深鉢。	68-3
2	Pc-324	SR201	ミニチュア	外面　隆線上に刻み目、沈線文、刺突文。内面　口縁部：沈線文。	深鉢。波状口縁。3 単位突起。	68-4
3	Pc-171	SR201	ミニチュア	多条沈線文。	深鉢。	-
4	Pc-266	SR201	ミニチュア	沈線文。	深鉢。底部一部残存、台付の可能性有り。	-
5	Pc-155	SR201	ミニチュア	指頭圧痕。	深鉢。	68-5
6	Pc-347	SR201	ミニチュア	櫛歯状沈線文。	深鉢。	68-6
7	Pc-361	SR201	ミニチュア	指頭圧痕。	深鉢。波状口縁。3 単位。底部木葉痕。	-
8	Pc-068	SR201	ミニチュア	沈線文。	鉢。口縁部　突起状につまみ出す。	68-7
9	Pc-072	SR201	ミニチュア		鉢。内面黒色付着物。	-
10	Pc-312	SR201	ミニチュア		浅鉢。	68-8
11	Pc-355	SR201	ミニチュア	内外面　指頭圧痕。	浅鉢。	68-9
12	Pc-357	SR201	ミニチュア	口唇部：縄文 LR 原体側面圧痕。	浅鉢。	68-10
13	Pc-256	SR201	ミニチュア		台付深鉢。底部剥離痕。	-
14	Pc-267	SR201	ミニチュア	沈線文。	台付鉢。	-

第 96 図　Ⅴ層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物（19）



No.	登録番号	出土遺構	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	Pd-044	SR201	有溝土錘	長さ 4.7 ×幅 1.7 ×厚さ 1.6cm、重さ 14.7g。	A 類。	-
2	Pd-009	SR201	有溝土錘	長さ 4.4 ×幅 1.7 ×厚さ 1.4cm、重さ 9.4g。	D 類。	68-11
3	Pd-065	SR201	有溝土錘	長さ 3.9 ×幅 2.3 ×厚さ 2.4cm、重さ 20.9g。	K 類。	68-12
4	Pd-013	SR201	有溝土錘	長さ 2.5 ×幅 1.6 ×厚さ 1.4cm、重さ 5.3g。	O 類。	-
5	Pd-016	SR201	管状土錘	長さ 4.2 ×幅 2.1 ×厚さ 2.0cm、重さ 17.0g。	T 類。	68-13
6	Pd-010	SR201	管状土錘	長さ 4.4 ×幅 2.1 ×厚さ 2.0cm、重さ 19.6g。	T 類。	68-14
7	Pd-094	SR201	土器片錘	沈線文。長さ 4.1 ×幅 3.7 ×厚さ 0.9cm、重さ 18.2g。	A1a 類。	-
8	Pd-095	SR201	土器片錘	撚糸 L。長さ 6.3 ×幅 5.9 ×厚さ 0.8cm、重さ 39.9g。	A1a 類。	-
9	Pd-092	SR201	土器片錘	縄文 RL。長さ 4.7 ×幅 4.9 ×厚さ 0.9cm、重さ 22.1g。	A2a 類。	-
10	Pd-105	SR201	土器片錘	縄文 RL。長さ 4.2 ×幅 4.6 ×厚さ 0.8cm、重さ 17.4g。	B1a 類。	-
11	Pd-099	SR201	土器片錘	撚糸 R。長さ 4.3 ×幅 4.4 ×厚さ 0.9cm、重さ 20.7g。	C2b 類。	-
12	Pe-a002	SR201	土製円盤	撚糸 R。長径 3.3 ×短径 3.1cm。	a-A 類。	68-15
13	Pe-a003	SR201	土製円盤	撚糸 R。長径 4.8 ×短径 4.8cm。	a-A 類。	68-16
14	Pe-a023	SR201	土製円盤	撚糸 R。長径 3.6 ×短径 3.5cm。	a-E 類。	-
15	Pe-a028	SR201	土製円盤	撚糸 R。長径 4.4 ×短径 4.3cm。	a-E 類。	-
16	Pe-a060	SR201	土製円盤	撚糸 L。長径 3.6 ×短径 3.3cm。	a-F 類。	68-17
17	Pe-a062	SR201	土製円盤	長径 3.7 ×短径 3.5cm。	a-F 類。	68-18

第 97 図　V 層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物（20）



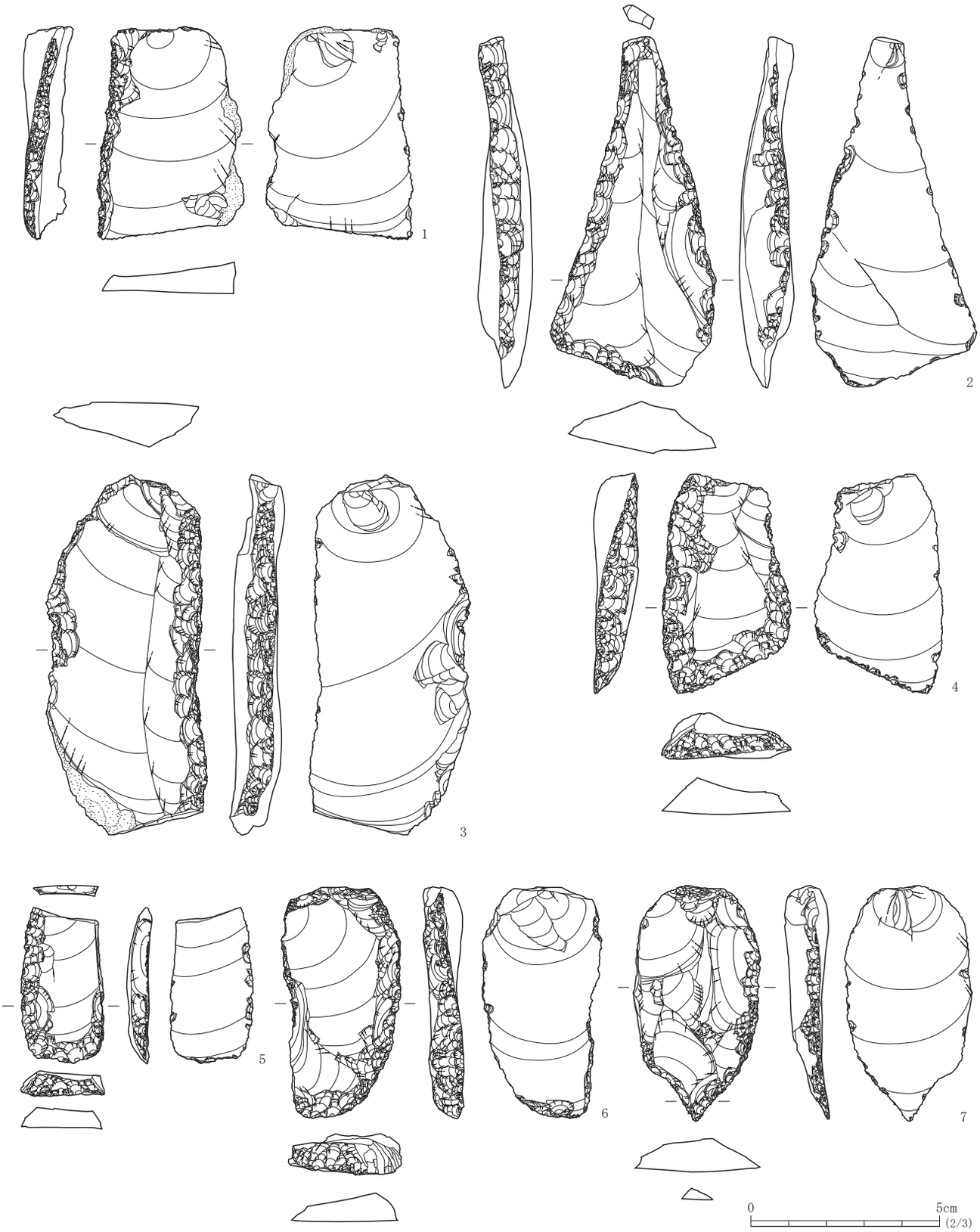
No.	登録番号	出土遺構	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	Pe-b073	SR201	土製円盤	撚糸 R。長径 4.5 ×短径 4.0cm。	貫通孔。b-E1 類。	68-19
2	Pe-b082	SR201	土製円盤	沈線文、縄文 LR。長径 4.5 ×短径 4.4cm。	貫通孔。b-E1 類。	68-20
3	Pe-b044	SR201	土製円盤	沈線文。長径 3.4 ×短径 3.3cm。	貫通孔。b-F1 類。	68-21
4	Pe-b047	SR201	土製円盤	撚糸 R。長径 4.0 ×短径 3.8cm。	貫通孔。b-F1 類。	68-22
5	Pe-b101	SR201	土製円盤	撚糸 R。長径 3.5 ×短径 3.0cm。	貫通孔。b-F2 類。	68-23
6	Pe-b103	SR201	土製円盤	沈線文。長径 3.4 ×短径 2.9cm。	貫通孔。b-F2・F1f 類。	68-24
7	Pe-b127	SR201	土製円盤	沈線文。長径 3.2 ×短径 2.2cm。	貫通孔。b-G2・G2b 類。	68-25
8	Pe-b126	SR201	土製円盤	縄文 LR。長径 5.5 ×短径 4.6cm。	貫通孔。b-G3 類。	68-26
9	Pe-c020	SR201	土製円盤	撚糸 R。長径 3.4 ×短径 3.2cm。	非貫通孔。c-A2bf 類。	68-27
10	Pe-c022	SR201	土製円盤	縄文 RL。長径 5.6 ×短径 5.1cm。	非貫通孔。c-E1f 類。	68-28
11	Pe-c025	SR201	土製円盤	撚糸 R。長径 3.8 ×短径 3.0cm。	非貫通孔。c-E2f 類。	68-29
12	Pe-c030	SR201	土製円盤	撚糸 R。長径 4.9 ×短径 3.6cm。	非貫通孔。c-G1bf 類。	68-30
13	Pe-c034	SR201	土製円盤	撚糸 R。長径 7.2 ×短径 6.1cm。	非貫通孔。c-G1f 類。	68-31
14	Pf-004	SR201	不明土製品	長さ (6.1) ×幅 3.3 ×厚さ 1.4cm。	舟形か。	68-32
15	Pf-015	SR201	ｽﾌﾟｰﾝ形土製品	長さ 6.0 ×幅 (4.0) ×厚さ 2.5cm。		68-33

No.	登録番号	出土遺構	器　種	文様等	備　考	写真図版
16	0-001	SR201	サメの歯	化石（カルカロドン・メガロドン）。長さ (10.1) ×幅 (4.8) ×厚さ (2.5)cm。		68-34

第 98 図　Ⅴ層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物（21）

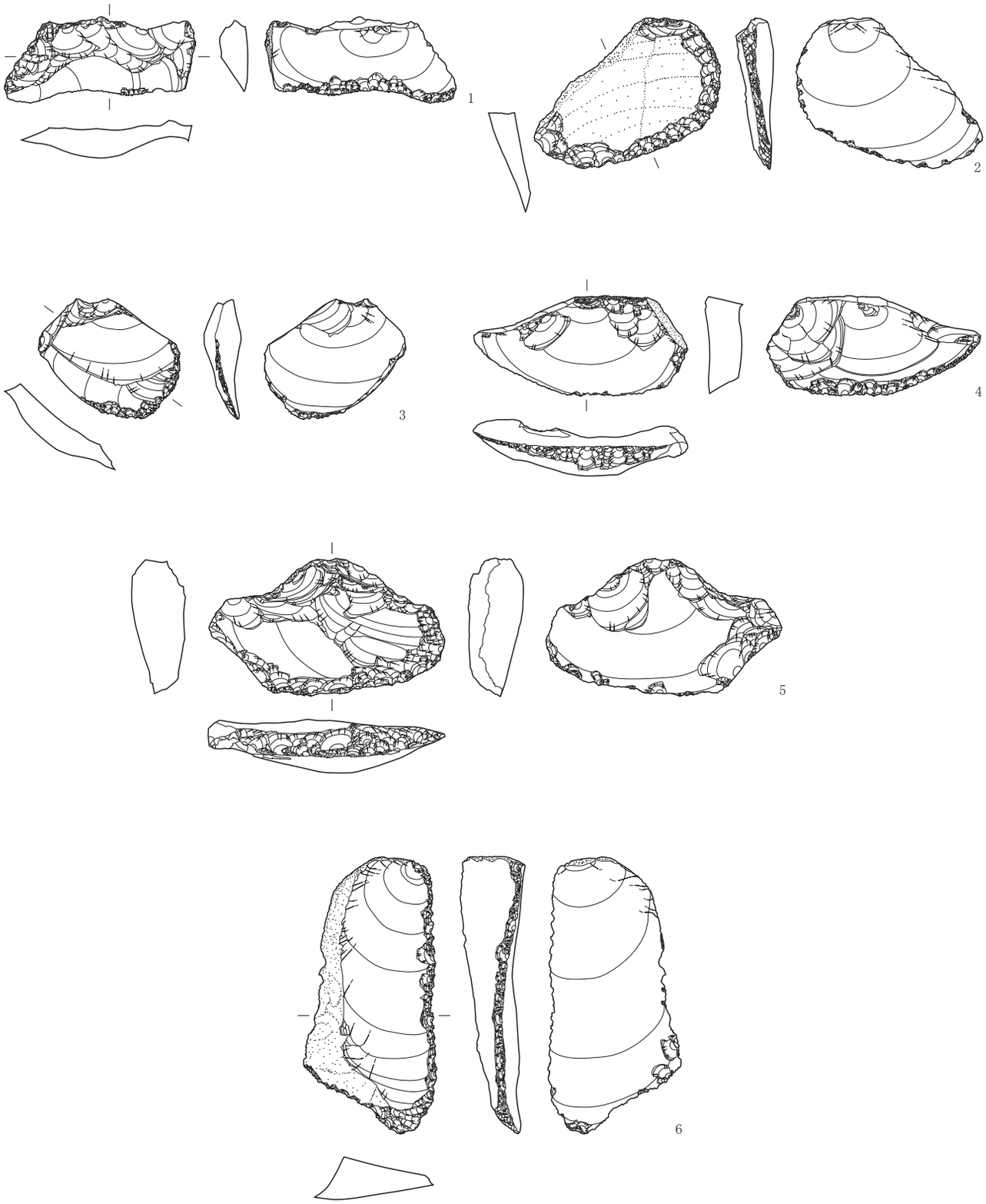
No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備　考	写真図版
1	K-2218	SR201	石鏃	鉄石英	Ka-a1-5	3.3	2.3	0.7	3.4	加熱処理された剥片を素材とする。	69-1
2	K-0044	SR201	石鏃	玉髄	Ka-a1-8	2.0	0.8	0.3	0.3	両側縁の抉りが新しく石鏃転用品の可能性あり。	69-2
3	K-1437	SR201	石鏃	珪質頁岩	Ka-a3-1	1.7	1.3	0.4	0.5		69-3
4	K-2490	SR201	石鏃	玉髄	Ka-a4	2.5	1.7	0.5	2.2	節理面。	69-4
5	Ka-028	SR201	尖頭器	珪質頁岩	Ka-b2	13.5	3.4	1.5	69.9		69-5
6	K-3922	SR201	石錐	珪質頁岩	Ka-c1	3.8	1.4	0.6	2.4	二重パティナ。	69-6
7	Ka-030	SR201	石錐	珪質頁岩	Ka-c2-2	4.4	2.4	0.8	3.5		69-7
8	Ka-032	SR201	石錐	珪質頁岩	Ka-c2-3	6.4	2.1	1.4	13.9		69-8
9	K-3882	SR201	石錐	珪質頁岩	Ka-c2-4	2.7	2.0	0.6	2.4		69-9
10	K-0523	SR201	石匙	珪質頁岩	Ka-d2-1	4.1	5.0	0.8	12.6		69-10

第 99 図　V 層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物 (22)



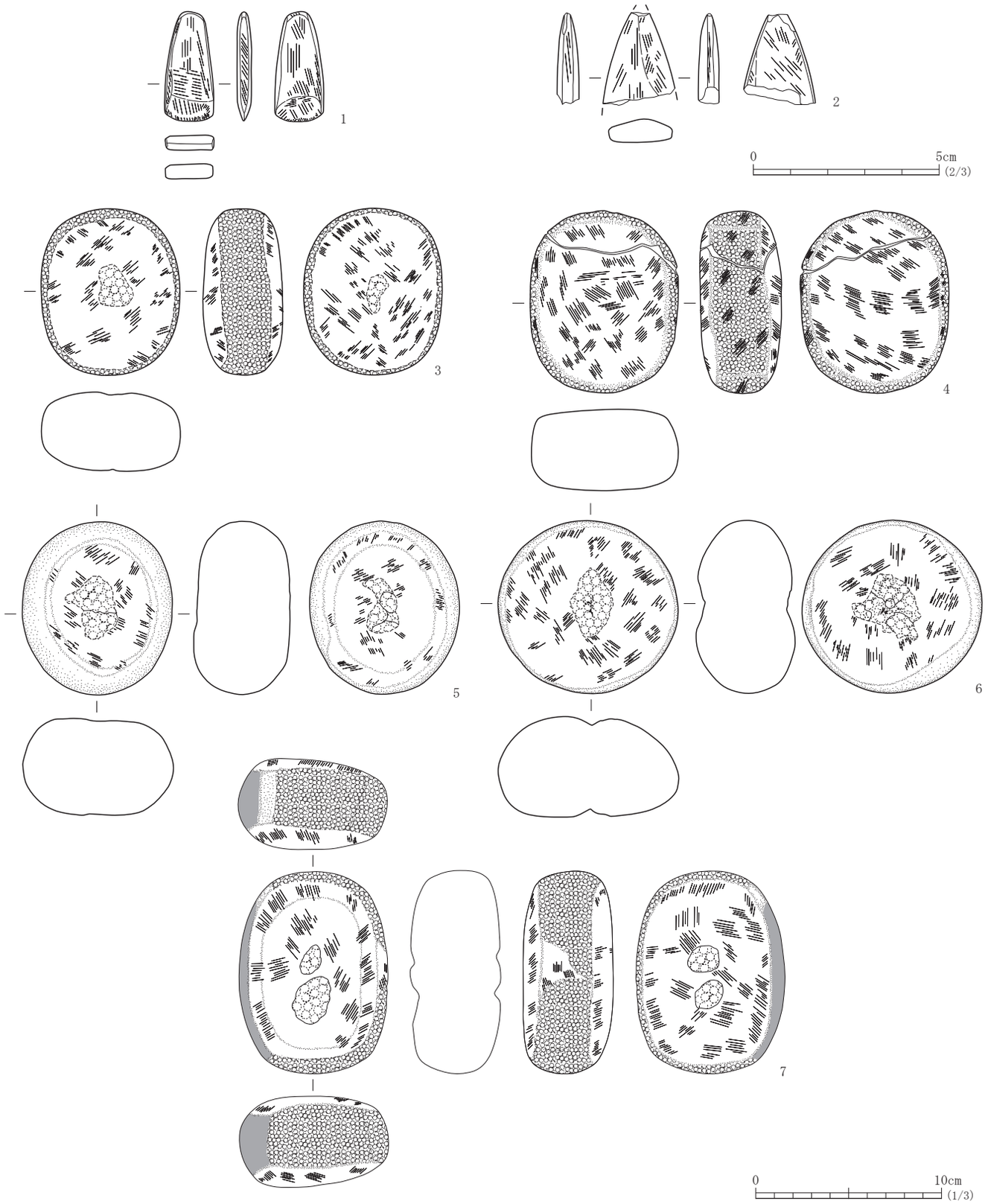
No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備　考	写真図版
1	K-2395	SR201	不定形石器	珪質頁岩	Ka-e1-1	5.7	3.9	1.3	25.7		69-11
2	K-0547	SR201	不定形石器	珪質頁岩	Ka-e1-2	9.3	4.4	1.4	42.1		69-12
3	K-2350	SR201	不定形石器	珪質頁岩	Ka-e1-2	9.6	4.3	1.5	59.2		69-13
4	K-1617	SR201	不定形石器	珪質頁岩	Ka-e1-3	5.9	3.4	1.2	22.2		69-14
5	K-1241	SR201	不定形石器	珪質頁岩	Ka-e1-4	(4.2)	2.2	0.7	(8.0)		69-15
6	K-4410	SR201	不定形石器	珪質頁岩	Ka-e1-7	6.1	3.1	1.1	21.2		69-16
7	K-1335	SR201	不定形石器	珪質頁岩	Ka-e1-8-2	6.3	3.4	1.2	20		69-17

第 100 図　Ⅴ層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物（23）



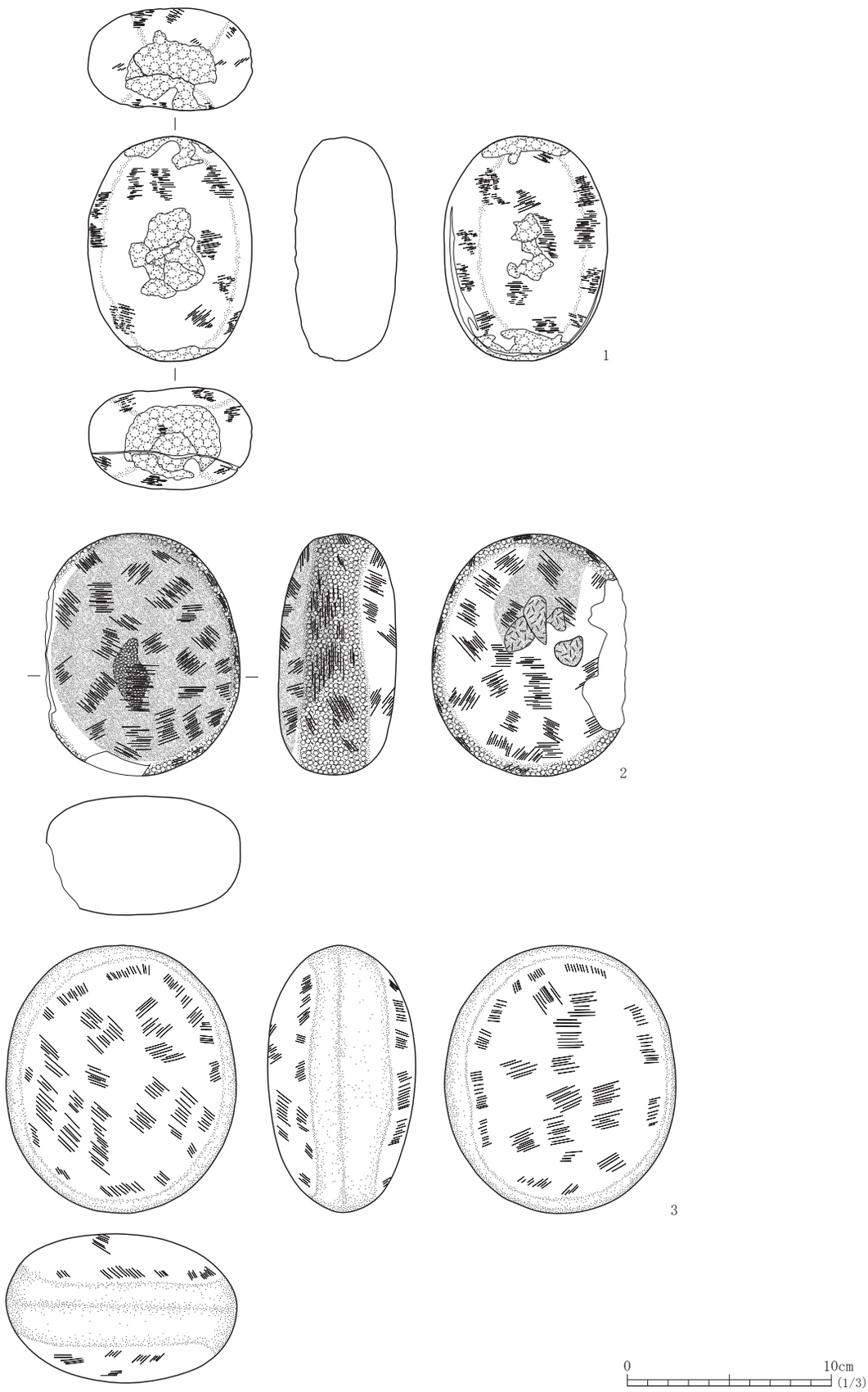
No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	K-0815	SR201	不定形石器	珪質頁岩	Ka-e2-2	2.3	5.0	1.0	8.1		69-18
2	K-2540	SR201	不定形石器	珪質頁岩	Ka-e2-2	3.9	4.8	1.0	12.7		69-19
3	K-2142	SR201	不定形石器	珪質頁岩	Ka-e2-3	3.1	3.7	1.0	8.4		69-20
4	K-2468	SR201	不定形石器	珪質頁岩	Ka-e2-3	2.6	5.6	1.5	16.8		69-21
5	K-1554	SR201	不定形石器	珪質頁岩	Ka-e2-3	3.6	6.2	1.5	27.7		69-22
6	K-1860	SR201	不定形石器	珪質頁岩	Ka-e3-1	7.2	3.5	1.7	31.4		69-23

第101図　V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物（24）



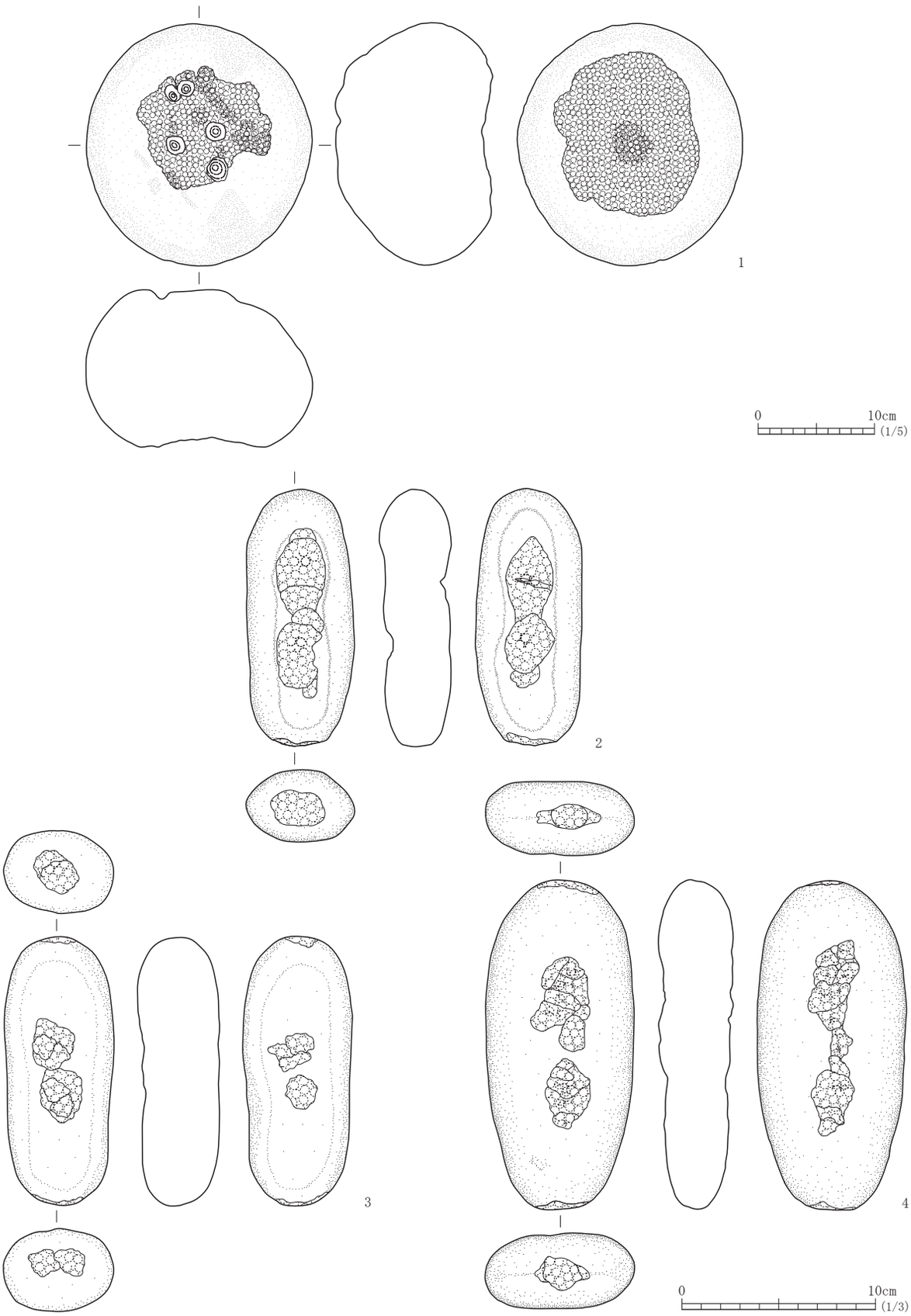
No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備　考	写真図版
1	Kb-118	SR201	小型磨製石斧	蛇紋岩	Kb-a	3.0	1.3	4.0	3.2		70-1
2	Kb-005	SR201	小型磨製石斧	蛇紋岩	Kb-a	(2.5)	(1.9)	(0.6)	(3.9)		70-2
3	Kc-029	SR201	磨石	安山岩	Kc-a	9.0	7.5	4.2	469.5		-
4	Kc-014	SR201	磨石	安山岩	Kc-a	9.8	7.95	4.4	571.0		70-3
5	Kc-027	SR201	磨石	安山岩	Kc-a	9.3	8.1	5.2	597.0		-
6	Kc-024	SR201	磨石	安山岩	Kc-a	9.3	9.7	5.4	662.0		-
7	Kc-025	SR201	磨石	安山岩	Kc-a	10.8	8.0	4.8	580.0		70-4

第 102 図　Ⅴ層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物（25）



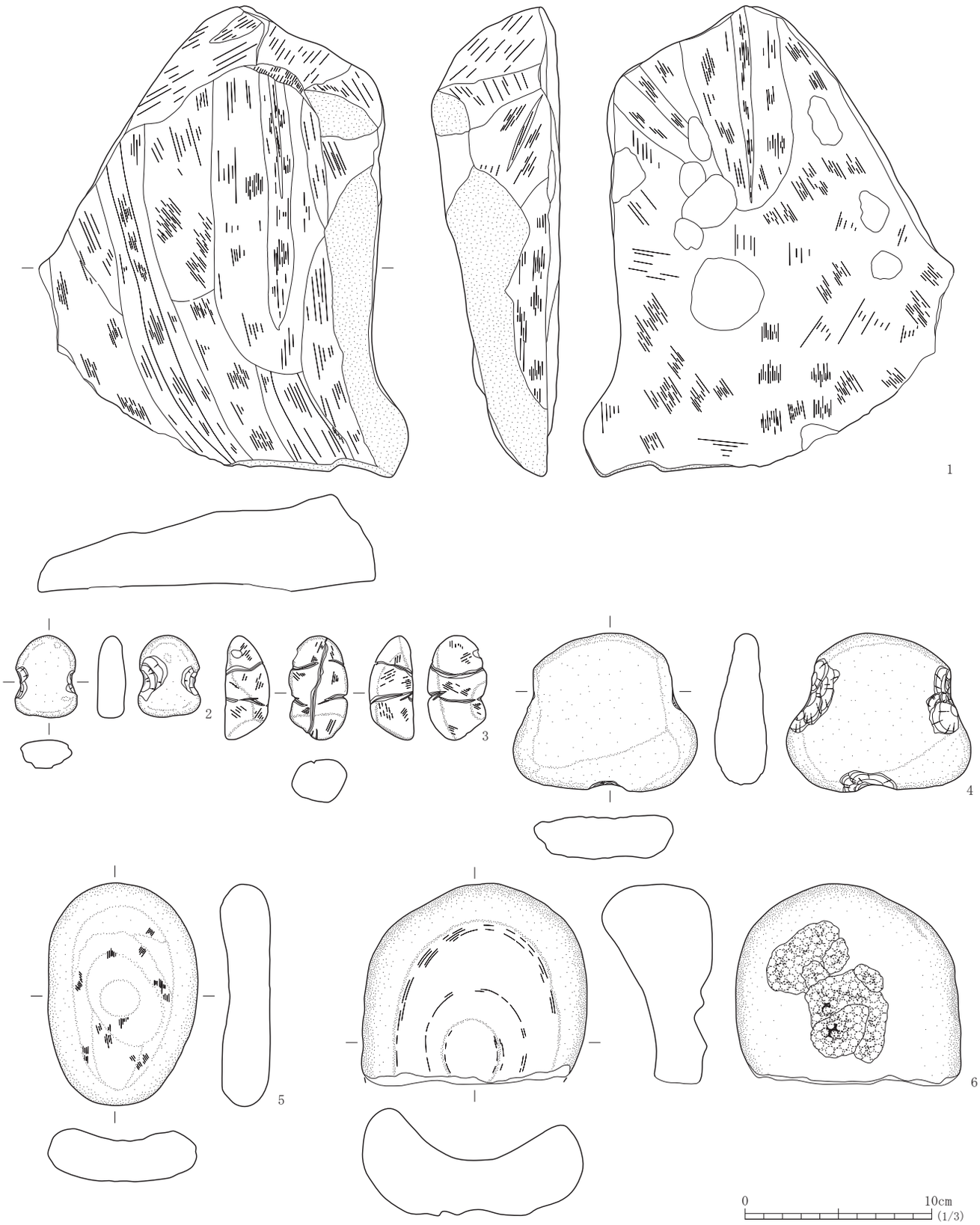
No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備　考	写真図版
1	Kc-020	SR201	磨石	安山岩	Kc-a	11.0	8.0	5.0	694.1		-
2	Kc-011	SR201	磨石	安山岩	Kc-a	11.8	(9.5)	5.8	(1,017.6)	被熱痕。	70-5
3	Kc-006	SR201	磨石	デイサイト	Kc-a	13.05	11.3	7.25	1,500.0		-

第 103 図　V 層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物 (26)



No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備　考	写真図版
1	Kc-049	SR201	凹石	安山岩	Kc-b	20.8	19.4	13.5	4,600.0		-
2	Kc-056	SR201	敲石	凝灰岩	Kc-c	13.3	5.6	3.7	304.0		70-6
3	Kc-058	SR201	敲石	流紋岩	Kc-c	13.85	5.7	4.25	524.0		70-7
4	Kc-060	SR201	敲石	安山岩	Kc-c	16.9	7.7	3.85	687.8		70-8

第 104 図　Ⅴ層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物 (27)



No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備　考	写真図版
1	Kc-156	SR201	砥石	安山岩	Kc-d	25.2	19.7	6.8	3,100.0		70-9
2	Kc-082	SR201	石錘	安山岩	Kc-e	3.3	4.4	1.5	31.7	切目石錘。	70-10
3	Kc-168	SR201	石錘	凝灰岩	Kc-e	5.5	3.1	2.3	19.6	有溝石錘。	70-11
4	Kc-167	SR201	石錘	ひん岩	Kc-e	8.5	9.8	2.9	337.2		70-12
5	Kc-091	SR201	石皿	安山岩	Kc-f	11.9	8.0	2.8	360.0		70-13
6	Kc-117	SR201	石皿	安山岩	Kc-f	(10.7)	(12.0)	(6.0)	(600.0)	裏面凹痕。	70-14

第 105 図　V 層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物 (28)

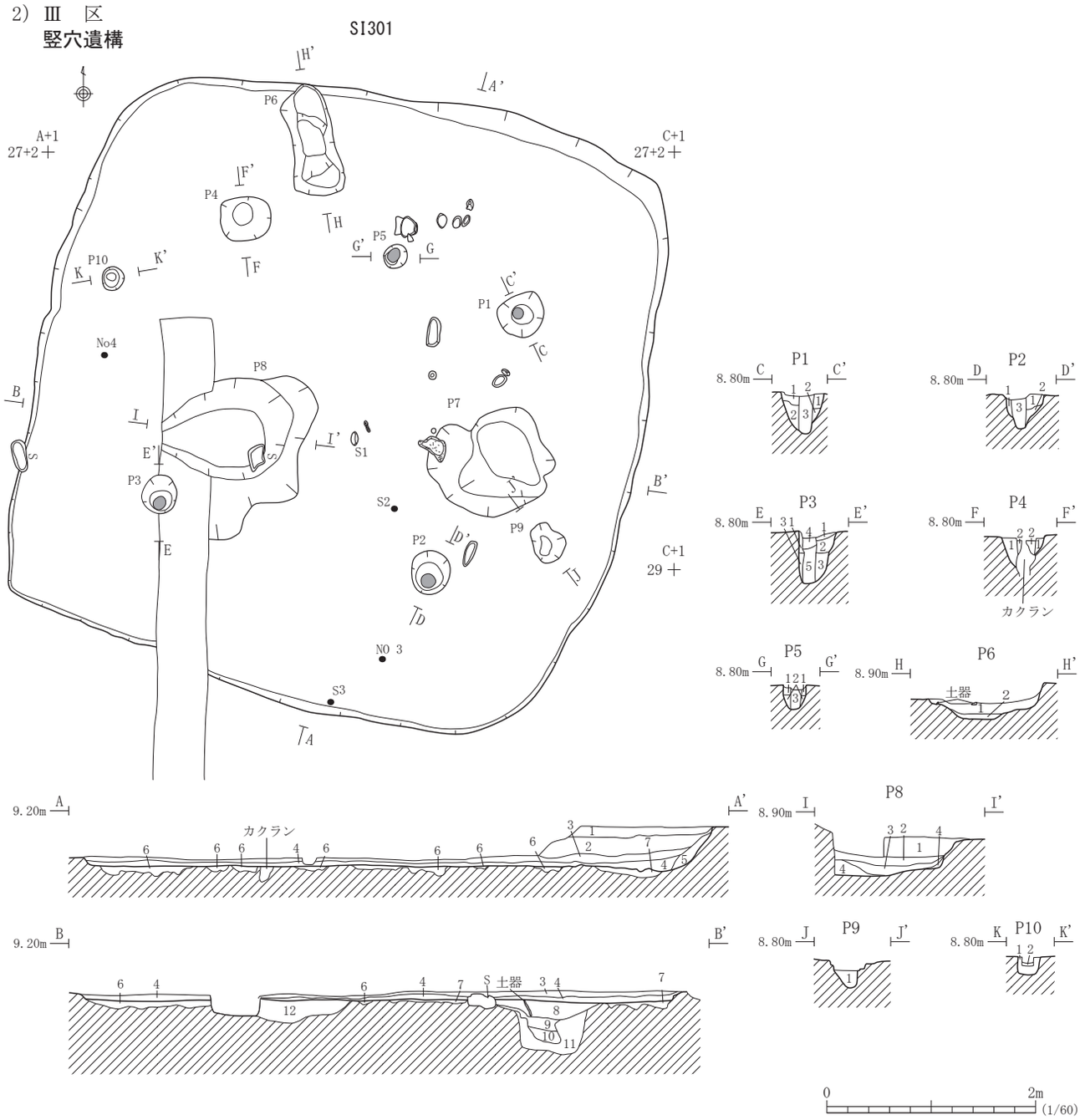
No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-121	SR201	石皿	安山岩	Kc-f	15.9	12.8	5.0	(1,360.0)		70-15
2	Kc-152	SR201	石皿	安山岩	Kc-f	(12.1)	12.7	5.9	(668.5)		70-16
3	Kc-085	SR201	石皿	安山岩	Kc-f	28.9	21.8	5.4	4,100.0		70-17

第106図　Ⅴ層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物（29）

No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備　考	写真図版
1	Kd-066	SR201	石刀	凝灰岩	Kd-h	(5.8)	(2.4)	(1.8)	28.2	刃部背側に溝。	70-18
2	Kd-025	SR201	石刀	珪化木	Kd-h	(18.8)	2.7	1.7	(101.2)		70-19
3	Kd-047	SR201	石碗	凝灰岩	Kd-h	3.1	2.4	1.2	3.8		-
4	Kd-035	SR201	石碗	凝灰岩	Kd-h	5.5	3.7	1.4	17.5		70-20
5	Kd-083	SR201	石碗	凝灰岩	Kd-h	9.5	4.9	1.6	62.4		70-21
6	Kd-082	SR201	石碗	凝灰岩	Kd-h	10.8	7.9	3.4	228.5		70-22
7	Kd-021	SR201	石製円盤	流紋岩	Kd-h	4.8	5.3	0.9	31.3		70-23
8	Kd-012	SR201	石製円盤	凝灰岩	Kd-h	4.9	5.0	1.2	18.1		70-24
9	Kd-020	SR201	石製円盤	流紋岩	Kd-h	6.9	7.2	1.4	99.9		-

第 107 図　V 層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物 (30)

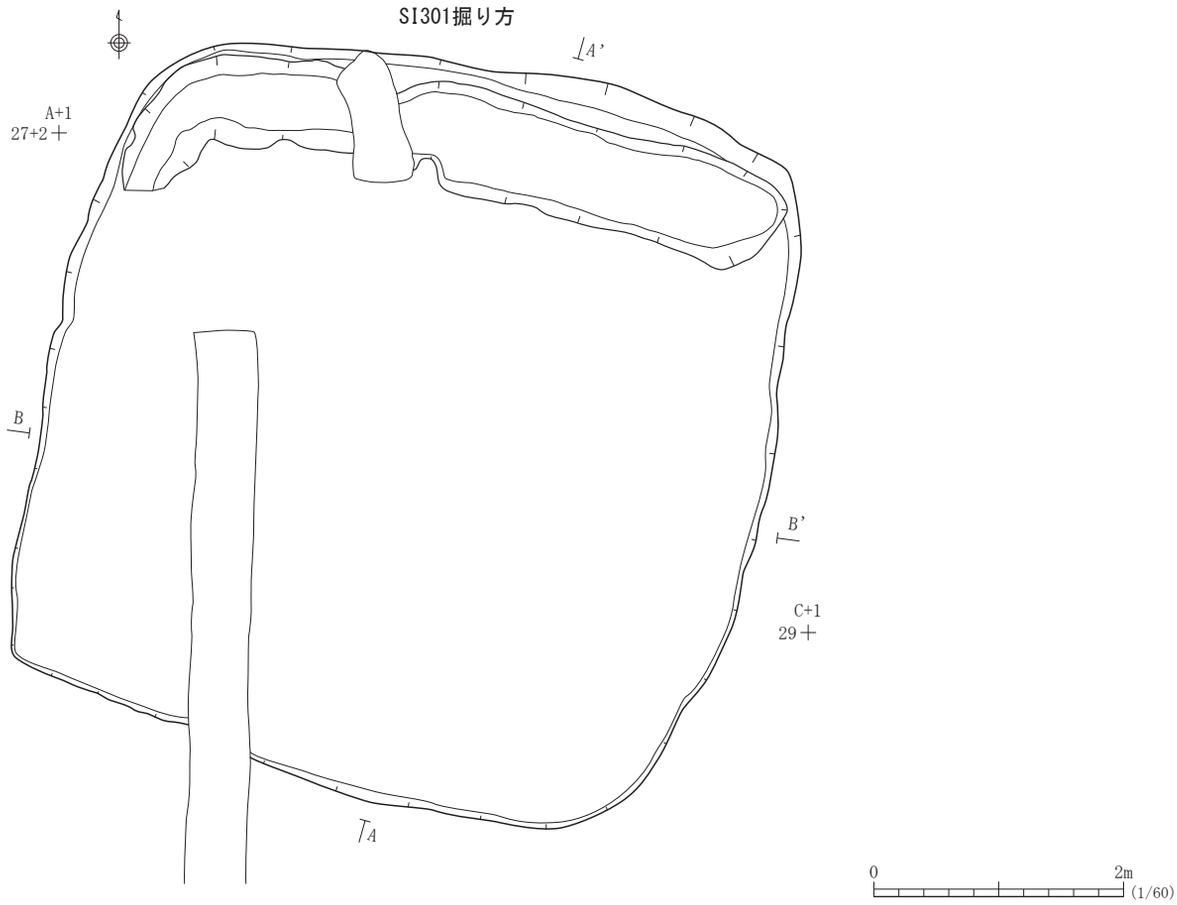
2）Ⅲ　区
竪穴遺構

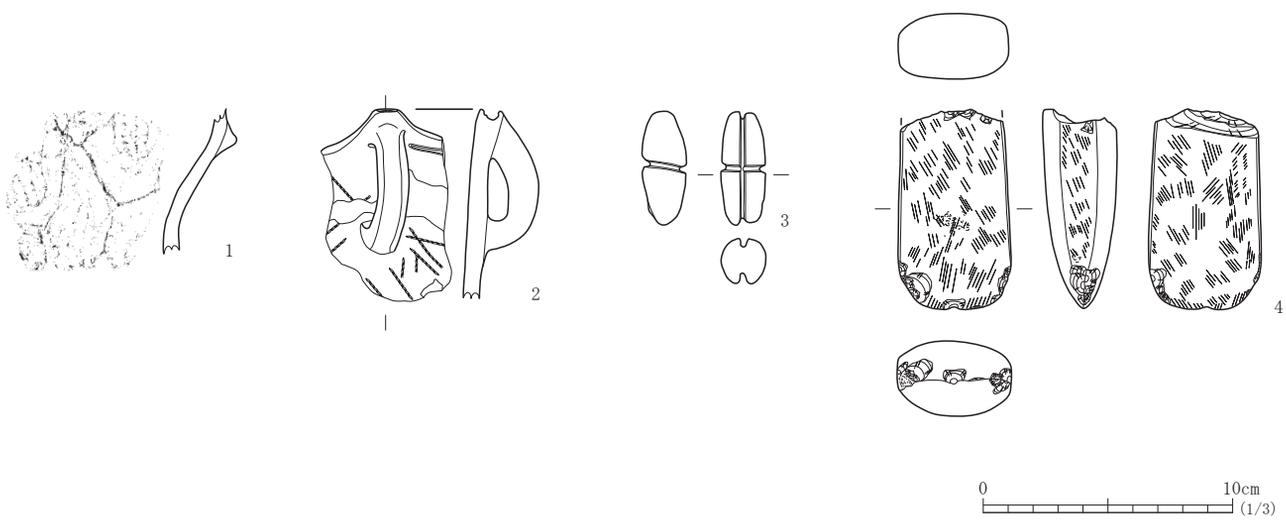


遺構	層位	土　色	土　性	備　考
住居堆積土	1	10YR4/2 灰黄褐	シルト質粘土	小礫・炭化物を含む。
	2	10YR3/2 黒褐	シルト質粘土	小礫・炭化物を含む。
	3	10YR2/2 黒褐	シルト質粘土	小礫・炭化物を含む。
	4	10YR3/1 黒褐	シルト質粘土	小礫・炭化物、黄褐色粘土ブロックを含む。
	5	10YR3/2 黒褐	砂質シルト	小礫・炭化物を含む。
	6	10YR3/2 黒褐	砂質シルト	小礫・炭化物を含む。（掘り方埋土）
	7	7.5YR4/2 灰褐	砂質シルト	小礫・炭化物を含む。（掘り方埋土）
	8	7.5YR4/2 灰褐	砂質シルト	小礫・炭化物を含む。（P7-1）
	9	10YR4/2 灰黄褐	砂質シルト	小礫・炭化物を含む。（P7-2）
	10	10YR3/2 黒褐	砂質シルト	小礫・炭化物を含む。（P7-3）
	11	7.5YR7/4 にぶい橙	シルト	黒色土がカクラン状に入る。（P7-4）
P1	1	2.5Y6/6 明黄褐	シルト	黒褐色ブロックを多量に含む。（掘り方）
	2	2.5Y6/6 明黄褐	シルト	（掘り方）
	3	2.5Y5/3 黄褐	粘土	炭化物を微量含む。（柱痕）
P2	1	10YR4/3 にぶい黄褐	砂質シルト	（掘り方）
	2	2.5Y6/6 明黄褐	シルト	黒褐色ブロックを含む。（掘り方）
	3	10YR5/2 灰黄褐	粘土	炭化物・焼土斑を含む。（柱痕）

遺構	層位	土　色	土　性	備　考
P3	1	10YR4/3 にぶい黄褐	砂質シルト	（掘り方）
	2	2.5Y6/6 明黄褐	シルト	黒褐色ブロックを多量に含む。（掘り方）
	3	2.5Y6/6 明黄褐	シルト	（掘り方）
	4	7.5YR4/2 灰褐	砂質シルト	炭化物・焼土斑を含む。（柱痕）
	5	10YR5/2 灰黄褐	粘土	炭化物・焼土斑を含む。（柱痕）
P4	1	10YR2/1 黒	シルト質粘土	遺物・炭化物・礫を含む。（掘り方）
	2	10YR2/2 黒褐	シルト質粘土	小礫を含む。（柱痕跡）
P5	1	2.5Y5/1 黄灰	粘土質シルト	（掘り方）
	2	2.5Y5/2 暗灰黄	粘土質シルト	（掘り方）
	3	2.5Y7/1 灰白	粘土	（柱痕）
P6	1	10YR3/1 黒褐	粘土	
	2	10YR2/1 黒	粘土	炭化物を多量に含む。
P8	1	2.5Y6/4 にぶい黄	シルト質粘土	炭化物を含む。
	2	2.5Y5/3 黄褐	シルト	炭化物を含む。
	3	10YR5/4 にぶい黄	シルト	炭化物を微量含む。
	4	10YR5/2 灰黄褐	シルト	炭化物を微量含む。
P9	1	2.5Y6/6 明黄褐	シルト	
P10	1	2.5Y5/1 黄灰	粘土質シルト	
	2	2.5Y7/1 灰白	粘土	

第 108 図　Ⅴ層Ⅲ区 SI301 竪穴遺構（1）





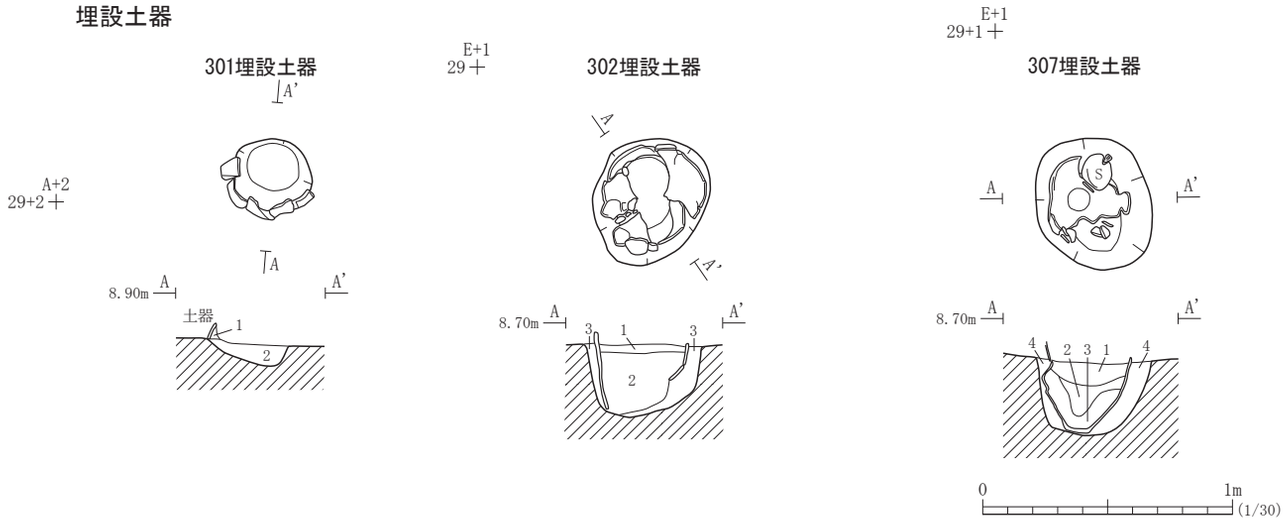
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-937	SI301	縄文土器	深鉢	隆線文、縄文 RL 横・斜位施文。		71-1
2	A-366	SI301	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 縦・横・斜位施文。	波状口縁。橋状把手。	-

No.	登録番号	出土遺構	器　種	文様等	備　考	写真図版
3	Pd-072	SI301	有溝土錘	長さ 4.6 ×幅 1.9 ×厚さ 1.8cm、重さ 14.6g。	C 類。	71-2

No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備　考	写真図版
4	Kb-094	SI301	磨製石斧	緑色岩 (輝緑岩)	Kb-a	(8.0)	4.5	2.9	(162.2)		71-3

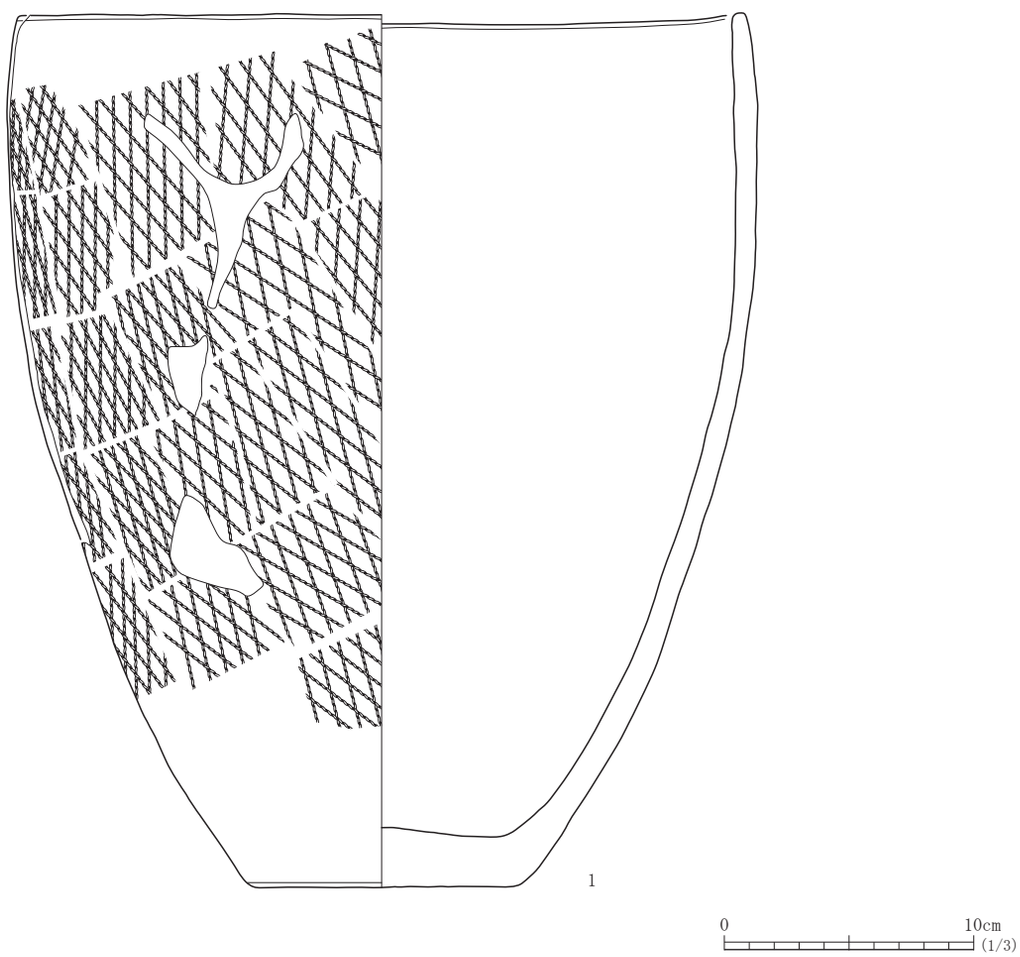
第 109 図　V 層Ⅲ区 SI301 竪穴遺構 (2)・SI301 竪穴遺構出土遺物

埋設土器



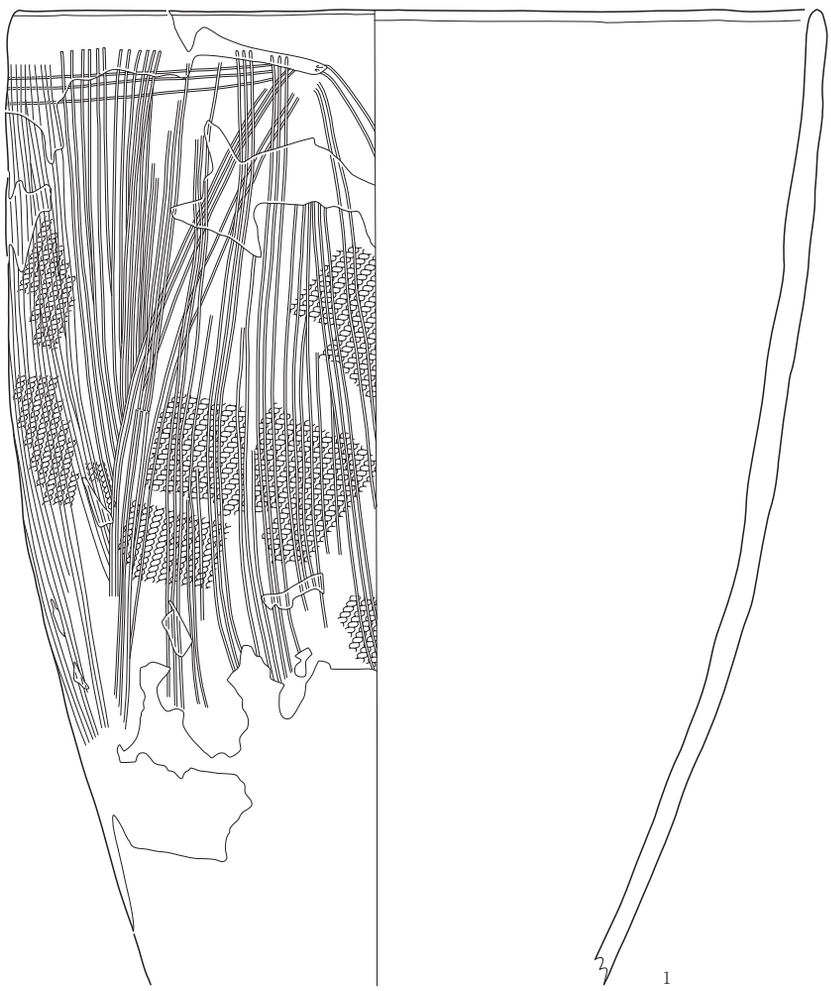
埋設土器	層位	土　色	土　性	備　考
301	1	10YR3/2 黒褐	粘土	炭化物を含む。
	2	10YR6/4 にぶい黄橙	粘土質シルト	炭化物・焼土を含む。
302	1	5Y7/2 灰白	シルト	
	2	10YR4/2 灰黄褐	粘土質シルト	炭化物を含む。
	3	10YR5/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物を含む。

埋設土器	層位	土　色	土　性	備　考
307	1	10YR3/3 暗褐	砂質シルト	砂粒・炭化物粒を多量に含む。
	2	10YR4/6 褐	シルト	炭化物粒・焼土粒を含む。
	3	10YR4/4 褐	シルト	炭化物を微量含む。
	4	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物を微量含む。



No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-760	307 埋設土器	縄文土器	深鉢	網目状撚糸文。		71-4

第 110 図　Ⅴ層Ⅲ区 埋設土器・埋設土器出土遺物（1）

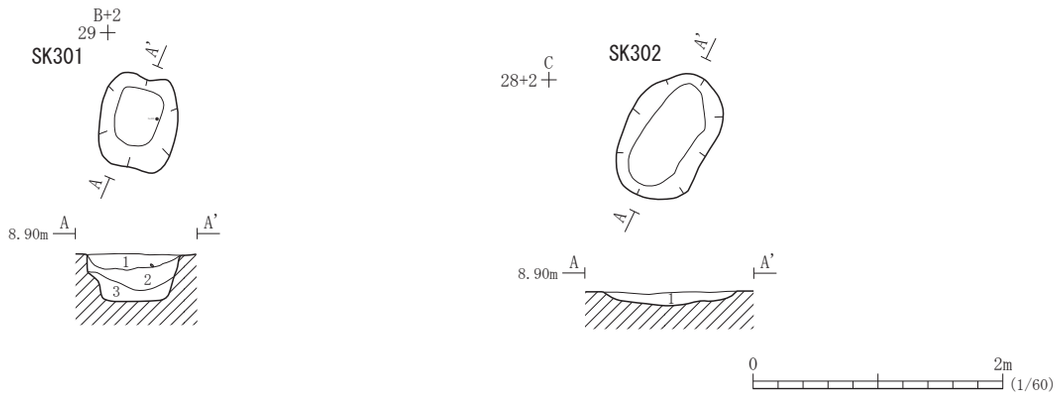


0　10cm
(1/3)

No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-372	302 埋設土器	縄文土器	深鉢	櫛歯状沈線文、縄文 RL 縦位施文。		71-5

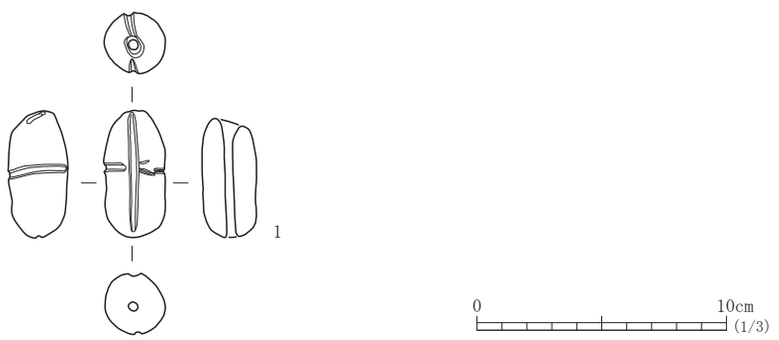
第 111 図　V 層Ⅲ区 埋設土器出土遺物（2）

土　坑



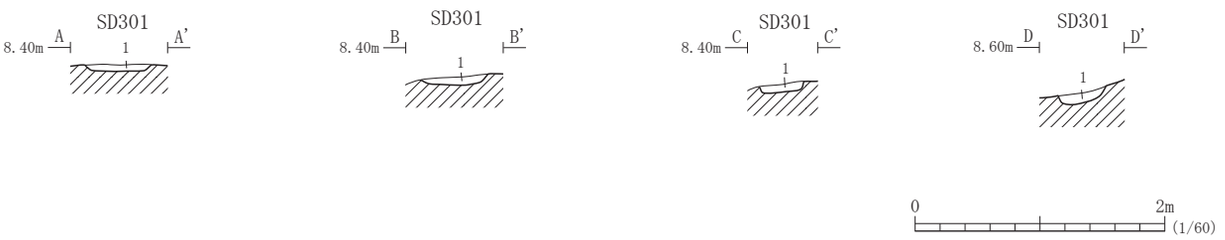
SK	層位	土　色	土　性	備　考
301	1	2.5Y5/3 黄褐	粘土	焼土・炭化物・小礫を含む。
	2	10YR5/2 灰黄褐	粘土	灰色粘土ブロック、小礫を含む。
	3	10YR4/2 灰黄褐	粘土	

SK	層位	土　色	土　性	備　考
302	1	2.5Y5/3 黄褐	粘土	焼土・炭化物・小礫を含む。



No.	登録番号	出土遺構	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	Pd-082	SK301	有溝土錘	長さ 5.1 ×幅 2.4 ×厚さ 2.3cm、重さ 31.8g。	K 類。	71-6

溝　跡

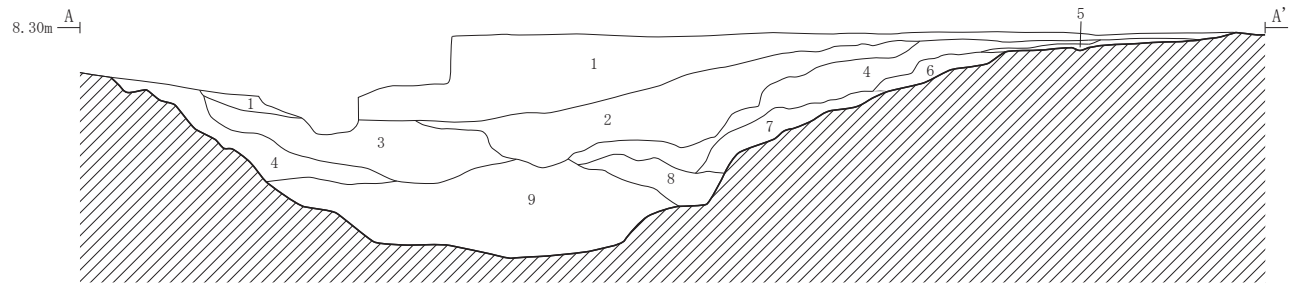


SD	層位	土　色	土　性	備　考
301	1	10YR2/3 黒褐	シルト	黄褐色シルト・黄褐色シルト質砂・暗褐色シルト・褐色シルト質砂をブロックで含む。

第 112 図　Ⅴ層Ⅲ区 土坑・土坑出土遺物・溝跡

河川跡

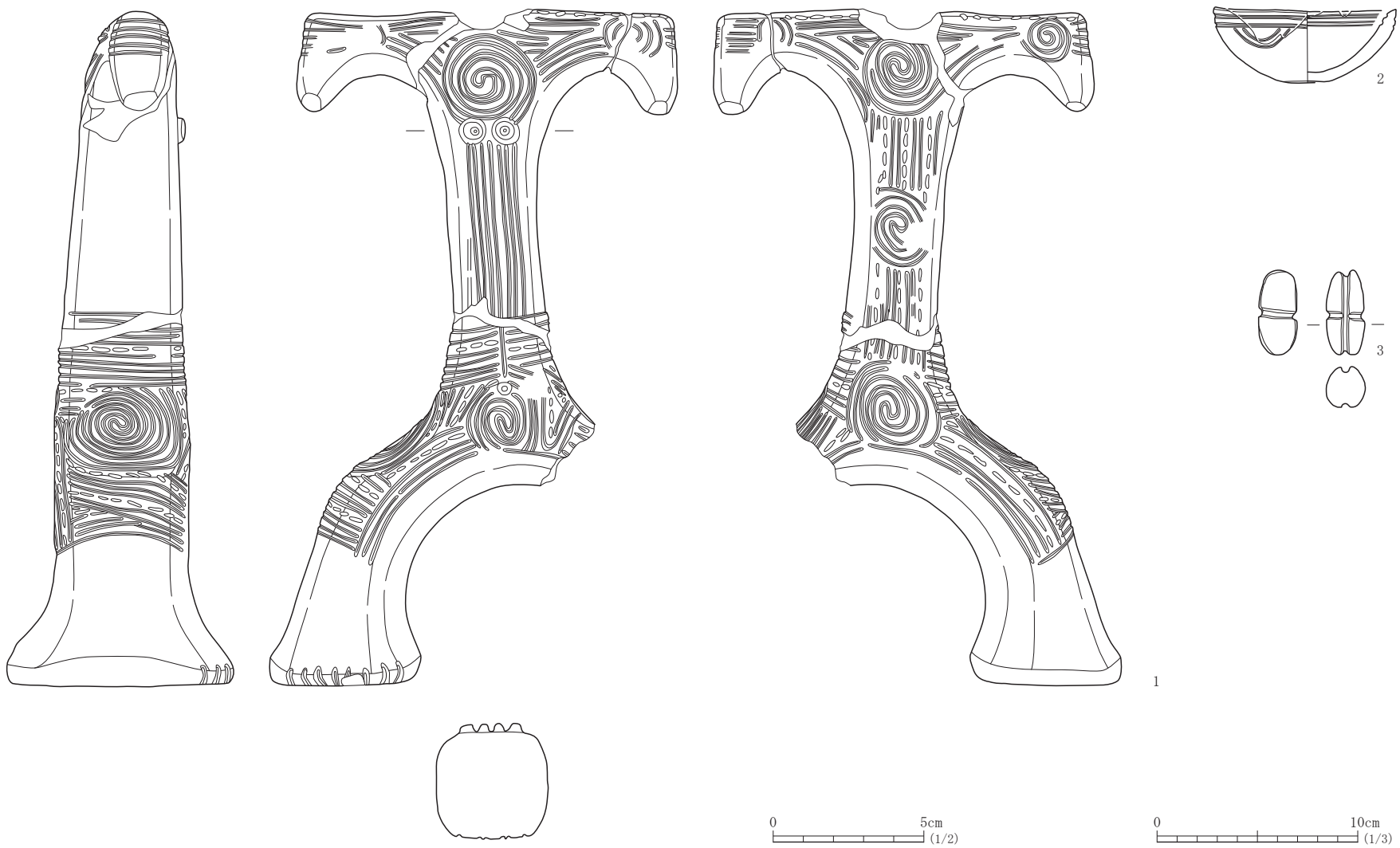
SR301　　B30～33グリッド西壁



0　2m (1/60)

SR	層位	土　色	土　性	備　考
301	1	2.5Y4/4 オリーブ褐	粘土質シルト	酸化鉄を斑状に多量に含む。
	2	10YR3/3 暗褐	シルト	酸化鉄を斑状・マンガン粒を全体的に多量に含む。
	3	10YR4/4 褐	シルト	砂粒を層状に多量に含む。
	4	10YR4/2 灰黄褐	粘土質シルト	酸化鉄を斑状に多量に含む。

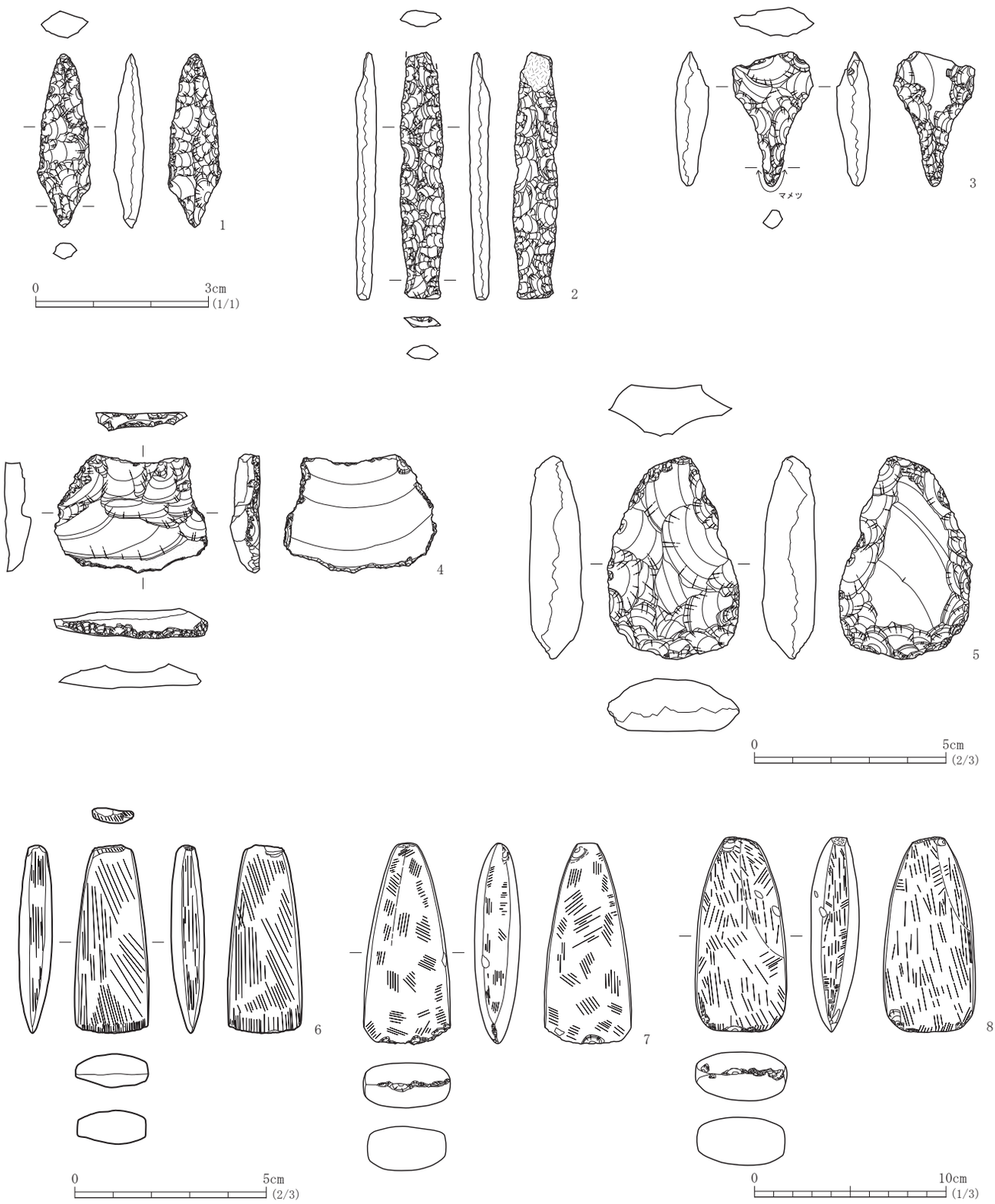
SR	層位	土　色	土　性	備　考
301	5	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	6	10YR4/2 灰黄褐	シルト	炭化物粒を少量含む。
	7	10YR4/6 褐	砂質シルト	全体的に砂粒を多量に含む。
	8	10YR5/2 灰黄褐	シルト	
	9	—	—	礫層



0　5cm (1/2)　　0　10cm (1/3)

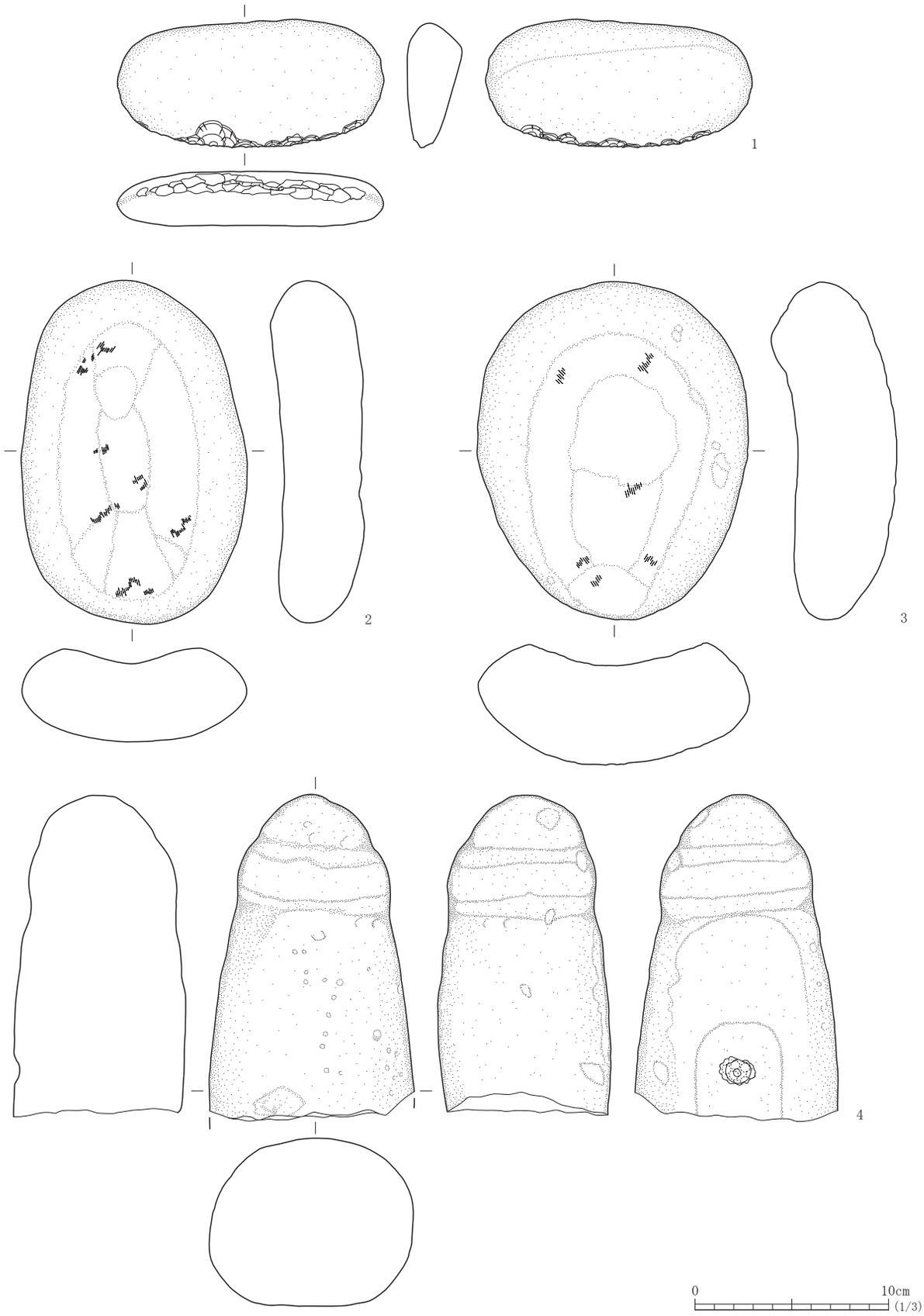
No.	登録番号	出土遺構	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	Pa-393	SR301・SR501	土偶	多条沈線文、刺突文。	腕・胴・脚部片。	71-7
2	Pc-358	SR301	ミニチュア	内・外面　沈線文。	浅鉢。	−
3	Pd-049	SR301	有溝土錘	長さ 4.2 ×幅 1.9 ×厚さ 1.8cm、重さ 17.0g。	C 類。	71-8

第 113 図　V 層Ⅲ区 SR301 河川跡・SR301 河川跡出土遺物（1）



No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備　考	写真図版
1	K-0373	SR301	石鏃	珪質頁岩	Ka-a1-6	3.0	0.9	0.5	1.2		72-1
2	K-0391	SR301	尖頭器	珪質頁岩	Ka-b2	(6.5)	1.2	0.6	(4.6)	火ハネ。	72-2
3	K-3907	SR301	石錐	珪質頁岩	Ka-c2-3	3.5	2.1	0.9	4.1		72-3
4	K-3391	SR301	不定形石器	珪質頁岩	Ka-e2-1	3.1	4.0	0.8	10.5		72-4
5	Ka-035	SR301	石篦	珪質頁岩	Ka-f	5.3	3.4	1.3	27.1		72-5
6	Kb-112	SR301	小型磨製石斧	蛇紋岩	Kb-a	4.9	2.0	0.9	14.1		72-6
7	Kb-039	SR301	磨製石斧	砂岩	Kb-a	10.4	4.5	2.4	162.6		72-7
8	Kb-036	SR301	磨製石斧	凝灰岩	Kb-a	10.2	4.8	2.5	184.5		72-8

第 114 図　Ⅴ層Ⅲ区 SR301 河川跡出土遺物 (2)



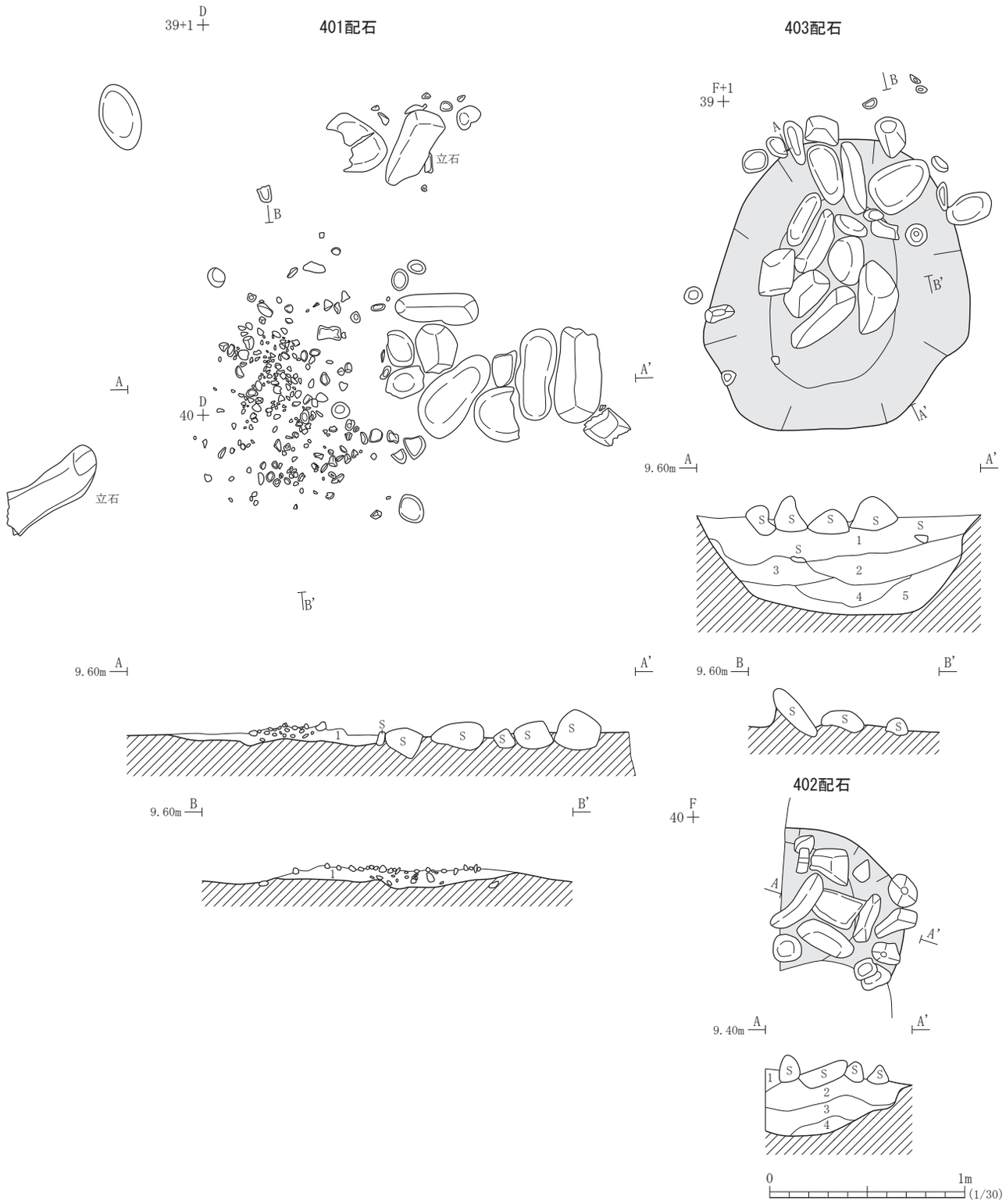
No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備　考	写真図版
1	Kc-143	SR301	敲石	流紋岩	Kc-c	6.6	13.7	2.8	297.6		72-9
2	Kc-124	SR301	石皿	安山岩	Kc-f	17.6	11.6	4.7	1,400.0		72-10
3	Kc-113	SR301	石皿	安山岩	Kc-f	17.4	14.2	6.4	1,860.0		72-11
4	Kd-005	SR301	石棒	砂岩	Kd-b	(16.5)	10.6	8.7	(1,718.0)		72-12

第 115 図　V 層Ⅲ区 SR301 河川跡出土遺物 (3)

3）Ⅳ　区
環状集石

第 116 図　Ⅴ層Ⅳ区 401 環状集石

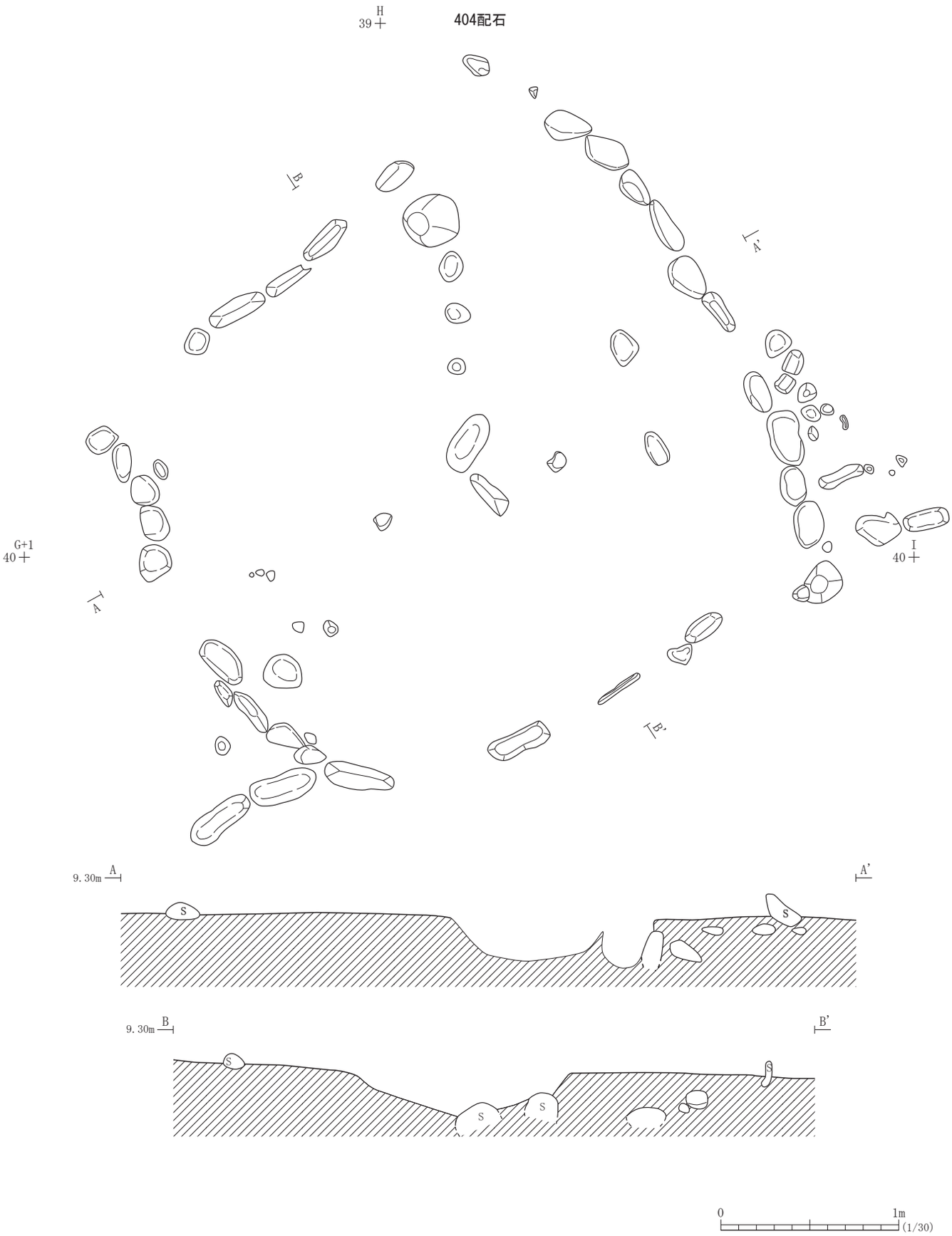
配　石



配石	層位	土　色	土　性	備　考
401	1	10YR4/4 褐	シルト	炭化物粒を含む。
402	1	2.5Y4/6 オリーブ褐	シルト	
	2	2.5Y3/1 黒褐	シルト	砂粒多量、骨粉微量、炭化物粒を多量に含む。
	3	2.5Y4/2 暗灰黄	シルト	砂粒多量、骨粉微量、炭化物粒を多量に含む。
	4	2.5Y4/6 オリーブ褐	シルト	砂粒多量、骨粉微量、炭化物粒を多量に含む。

配石	層位	土　色	土　性	備　考
403	1	2.5Y3/1 黒褐	シルト	砂粒・炭化物粒多量、骨粉微量、褐色シルト小ブロックを含む。
	2	2.5Y4/2 暗灰黄	シルト	砂粒・炭化物粒を多量に含む。
	3	2.5Y4/6 オリーブ褐	粘土質シルト	暗灰黄色シルトブロックを含む。
	4	2.5Y3/2 黒褐	シルト	炭化物粒を多量に含む。
	5	10YR4/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	黒褐色シルトブロック・炭化物粒を含む。

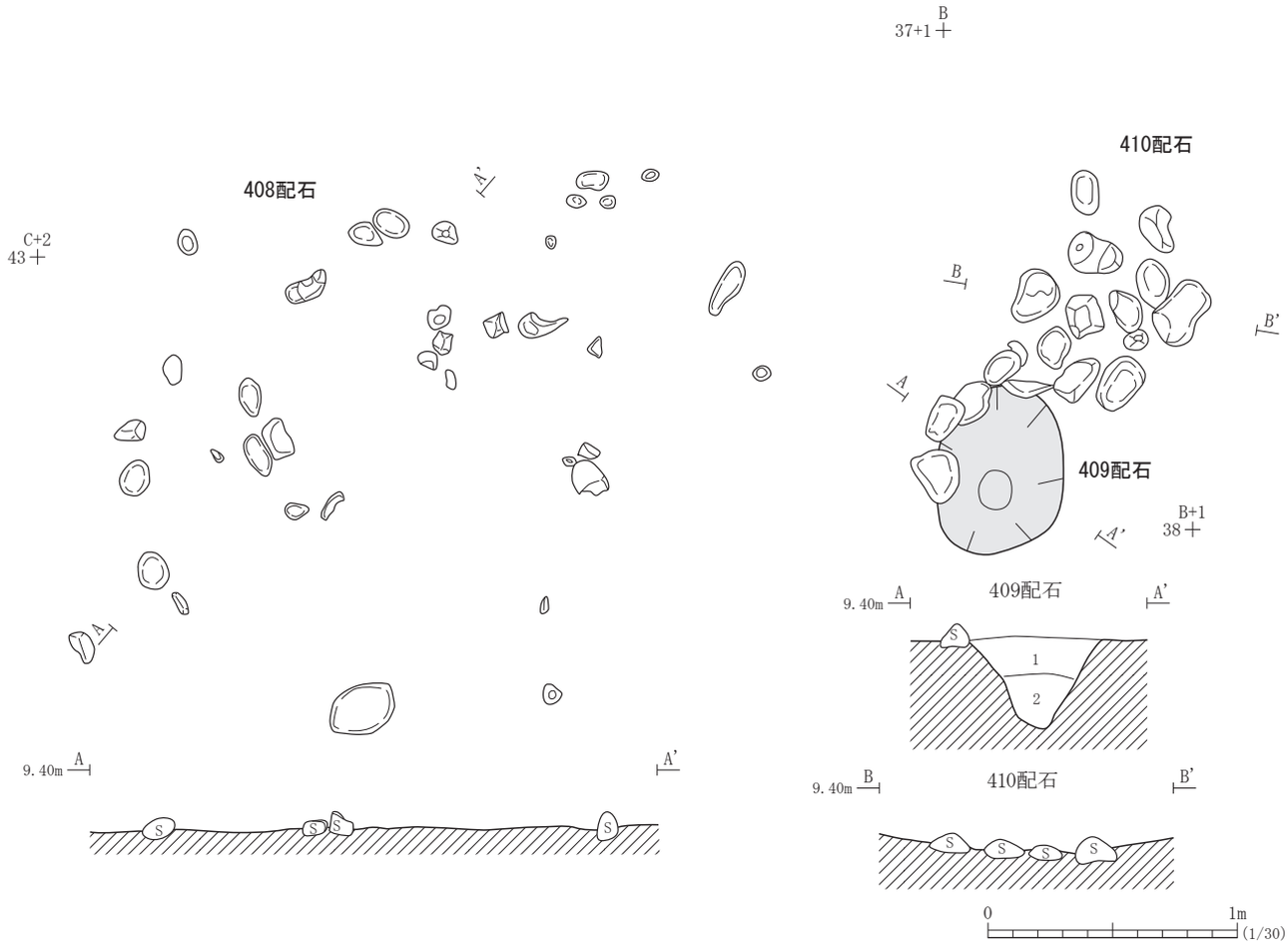
第 117 図　V 層Ⅳ区 配石（1）



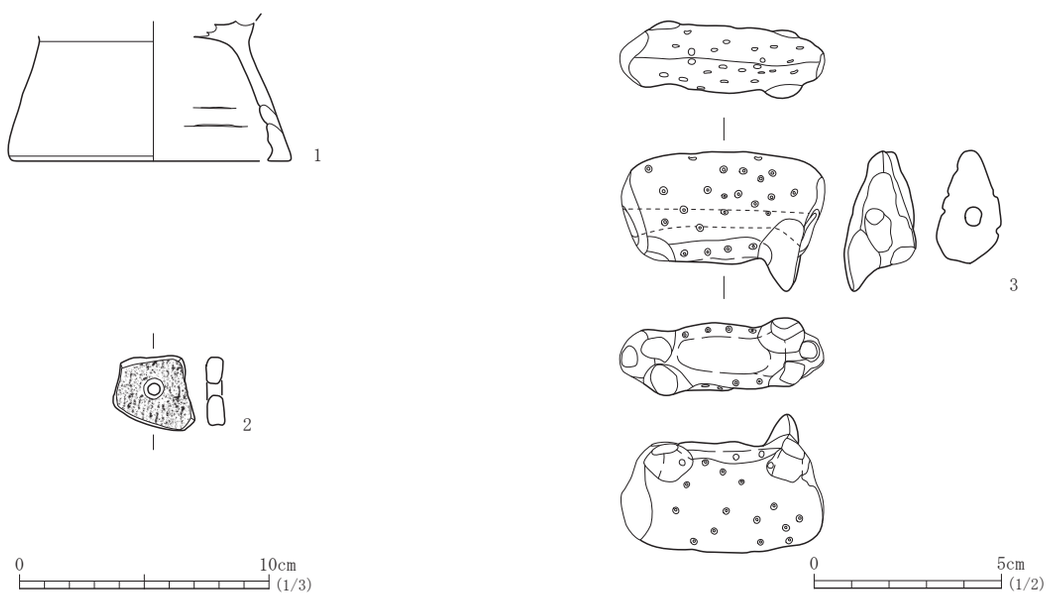
第 118 図　Ⅴ層Ⅳ区 配石（2）

第 119 図　V 層Ⅳ区 配石 (3)

第 120 図　Ⅴ層Ⅳ区 配石（4）



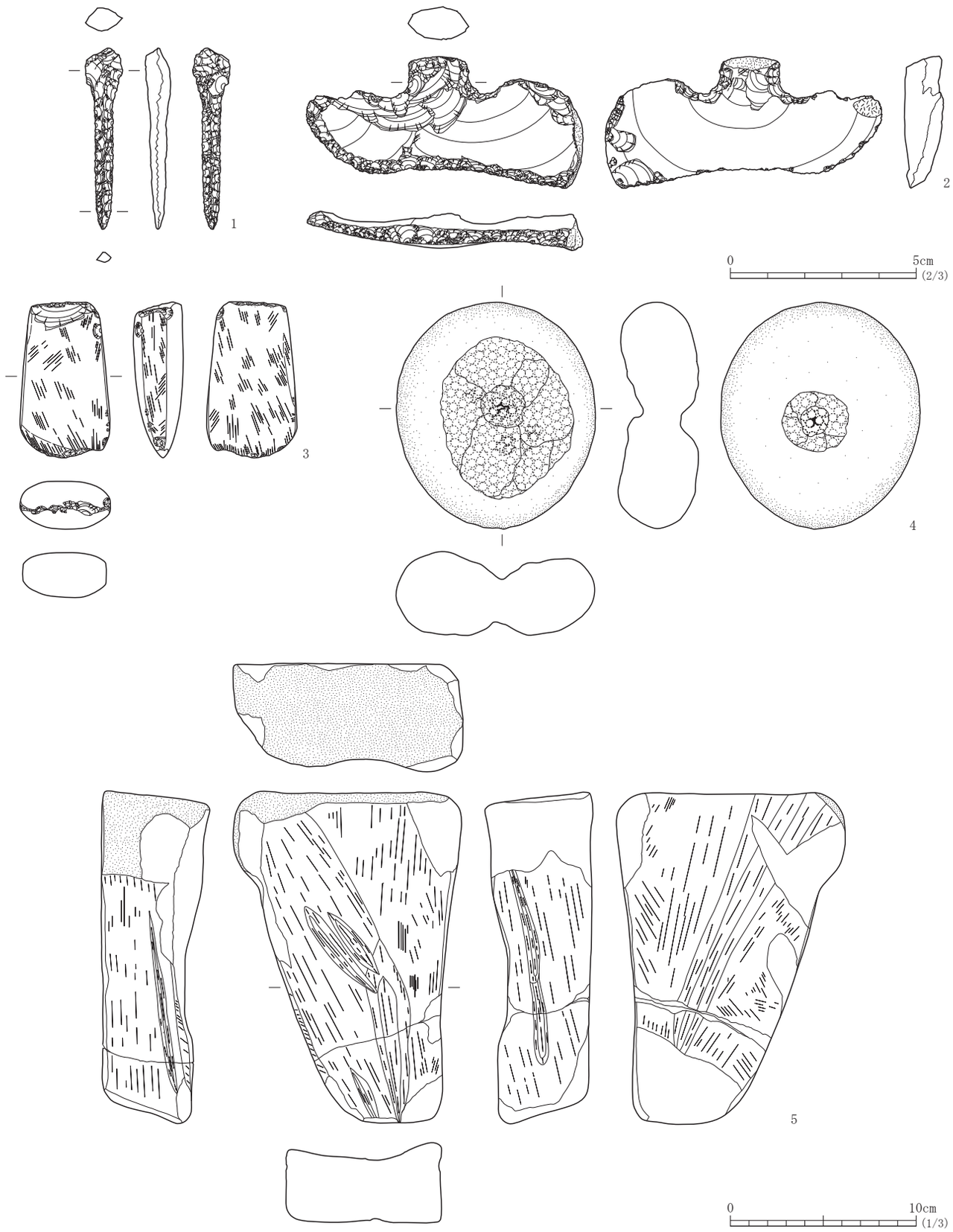
配石	層位	土　色	土　性	備　考
409	1	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物粒・焼土粒を含む。
	2	10YR4/4 褐	シルト	骨粉を微量含む。



No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-282	401 配石	縄文土器	台付鉢		脚部内面輪積痕。	-

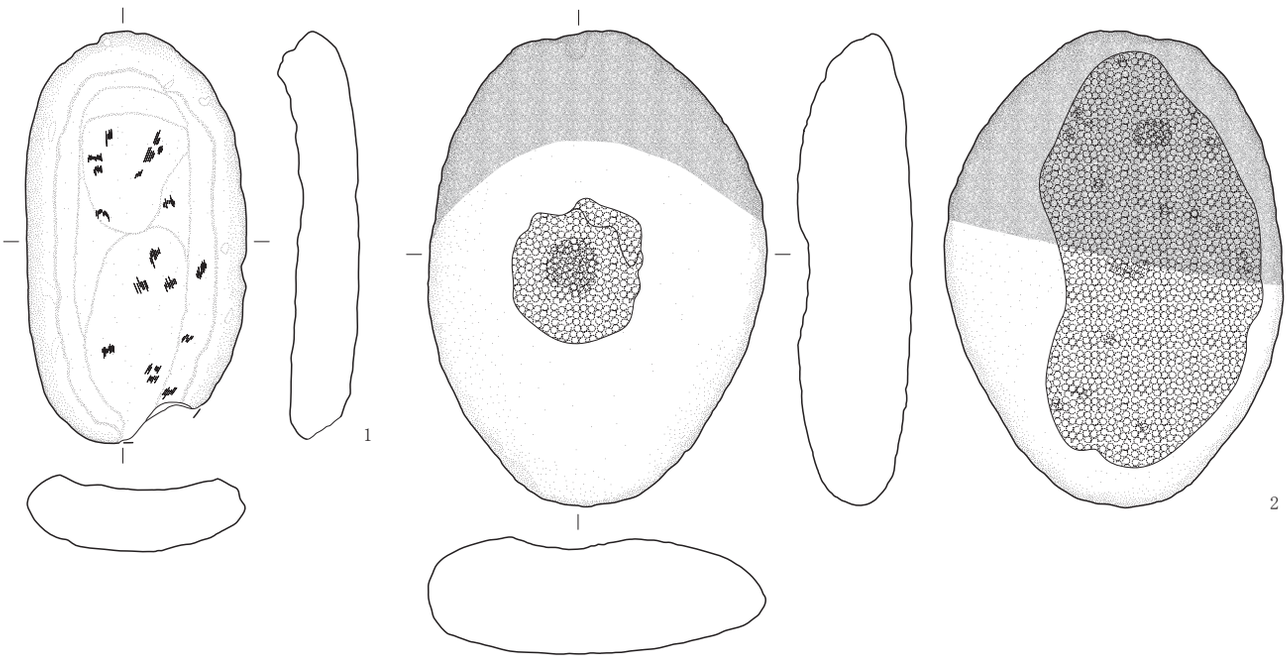
No.	登録番号	出土遺構	器　種	文様等	備　考	写真図版
2	Pe-b051	409 配石	土製円盤	撚糸 R。長径 3.1 ×短径 3.0cm。	貫通孔。b-G1 類。	-
3	Pf-200	402 配石	動物形土製品	刺突文。長さ (5.5) ×幅 (2.1) ×厚さ (3.7)cm。	イノシシ形。	72-13

第 121 図　V 層Ⅳ区 配石 (5)・配石出土遺物 (1)



No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備　考	写真図版
1	K-3872	404 配石	石錐	珪質頁岩	Ka-c2-1	4.9	1.0	0.7	1.9		72-14
2	K-3957	401 配石	石匙	珪質頁岩	Ka-d2-2	3.6	7.5	1.1	18.8	火ハネ。	72-15
3	Kb-078	402 配石	磨製石斧	砂岩	Kb-a	8.3	4.8	2.5	172.8		72-16
4	Kc-035	403 配石	凹石	安山岩	Kc-b	12.2	10.7	4.5	437.0		-
5	Kc-155	402 配石	砥石	砂岩	Kc-d	17.8	12.3	5.8	1,460.0		72-17

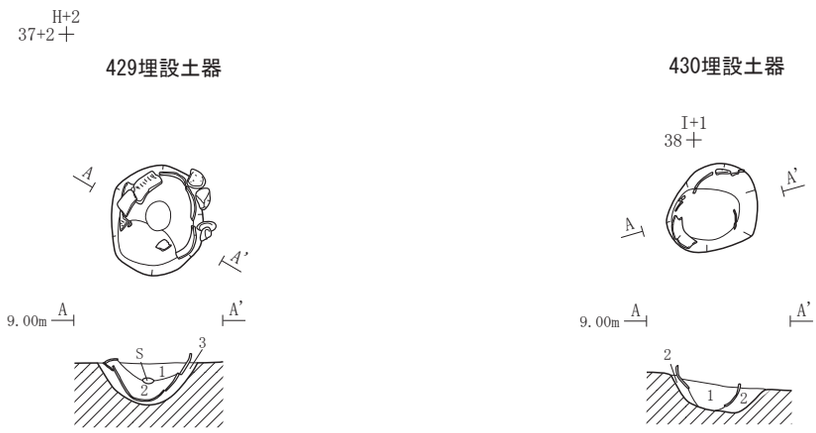
第 122 図　Ⅴ層Ⅳ区 配石出土遺物 (2)



0　10cm (1/5)

No.	登録番号	出土遺構	器　種	石　材	分　類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	備　考	写真図版
1	Kc-115	404 配石	石皿	安山岩	Kc-f	(27.4)	14.7	5.5	(2,425.0)		72-18
2	Kc-134	404 配石	台石	安山岩	Kc-g	31.6	22.4	7.6	6,600.0	被熱痕。	72-19

埋設土器

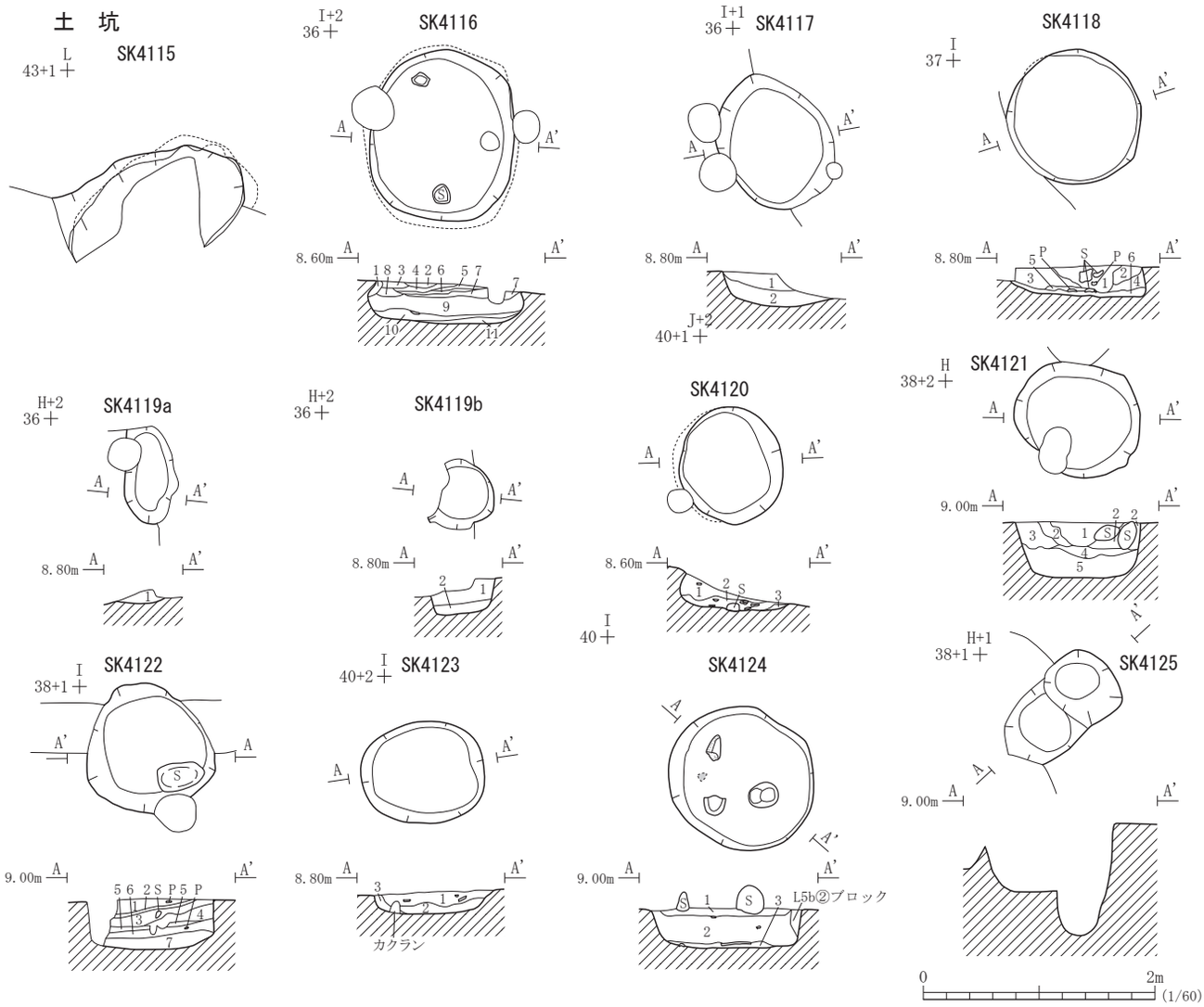


0　1m (1/30)

埋設土器	層位	土　色	土　性	備　考
429	1	10YR4/4 褐	砂質シルト	
	2	10YR3/4 暗褐 7.5YR4/4 褐	シルト シルト質砂	ℓ1 層との層間にうすい炭化物層
	3	10YR3/4 暗褐	シルト	褐色シルト質砂小ブロックを含む。

埋設土器	層位	土　色	土　性	備　考
430	1	10YR3/2 黒褐	シルト	
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	褐色シルト質砂小ブロックを含む。

第 123 図　V 層Ⅳ区 配石出土遺物 (3)・埋設土器

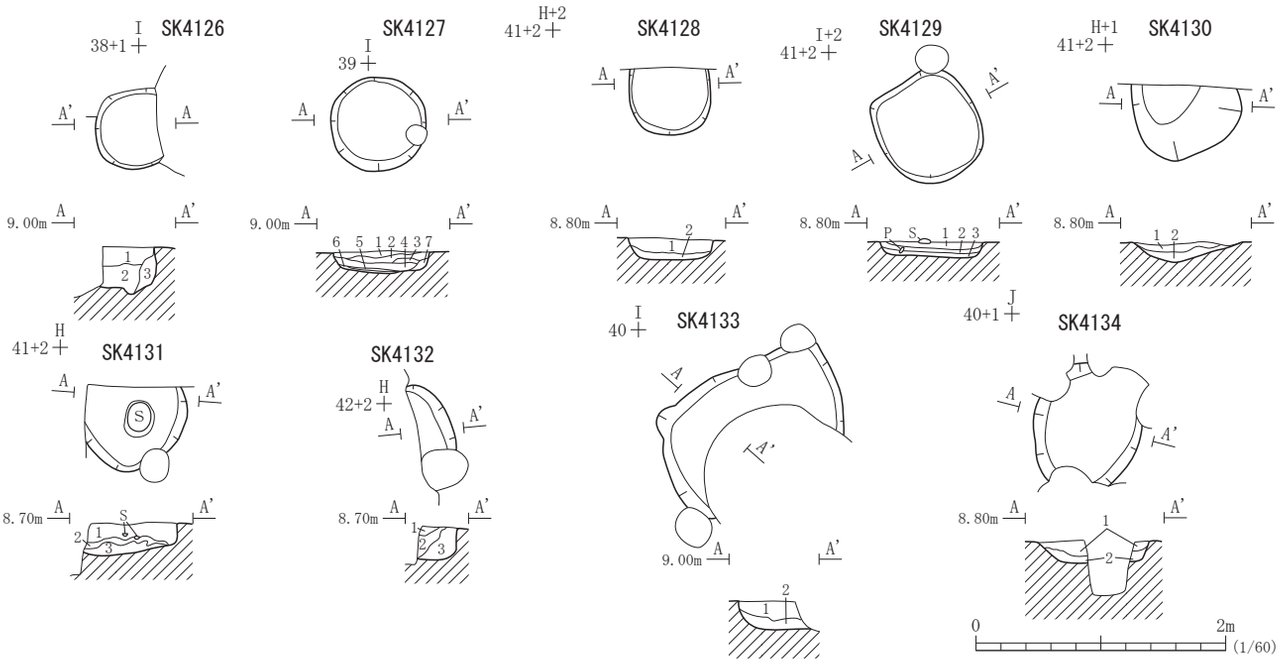


SK	層位	土　色	土　性	備　考
4116	1	10YR5/6 黄褐	シルト	マンガン粒を含む。壁の崩落土。
	2	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物多量、もろい礫（φ３cm大位）を含む。
	3	10YR4/4 褐	砂質シルト	炭化物・マンガン粒を含む。
	4	10YR4/4 褐	シルト	
	5	10YR4/3 にぶい黄褐	シルト	炭化物を斑状に含む。
	6	10YR2/1 黒	シルト	炭化物層。
	7	10YR4/3 にぶい黄褐	砂質シルト	炭化物粒・マンガン粒を含む。
	8	10YR4/4 褐	シルト	炭化物・マンガン粒を含む。
	9	10YR4/6 褐	シルト	マンガン粒、炭化物粒を微量含む。暗褐色シルトと褐色シルト質砂混合。
	10	10YR4/3 にぶい黄褐	シルト	マンガン粒を含む。東側で炭化物を帯状に含む。
	11	10YR4/6 褐	シルト	マンガン粒を含む。
4117	1	10YR4/6 褐	シルト	暗褐色シルトブロックを多量に含む、マンガン粒・炭化物を含む。
	2	10YR4/4 褐	シルト	黄褐色シルトブロックを多量に含む、マンガン粒・炭化物を含む。
4118	1	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物ブロック多量、全面にマンガン粒を含む。
	2	10YR4/4 褐	シルト	にぶい黄褐色シルト小ブロック、前面にマンガン粒・炭化物粒を含む。
	3	10YR4/4 褐	砂質シルト	にぶい黄褐色シルト小ブロック、前面にマンガン粒・炭化物粒、骨片を含む。
	4	10YR4/6 褐	シルト	全面にマンガン粒、炭化物ブロックを含む。
	5	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物多量、黄褐色シルト小ブロックを含む。
	6	10YR4/3 にぶい黄褐	シルト	炭化物を層上面に帯状、褐色シルト質砂小ブロックを含む。
4119a	1	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物粒多量、マンガン粒を含む。

SK	層位	土　色	土　性	備　考
4119b	1	10YR4/4 褐	シルト	炭化物粒・マンガン粒を含む。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物を斑状に含む。
4120	1	7.5YR5/4 にぶい褐	シルト	炭化物・灰・焼土粒・骨片・土器片からなる。（焼土ℓ２層より多い）
	2	7.5YR2/2 黒褐	シルト	炭化物・灰・焼土粒・骨片・土器片からなる。（ℓ１層より炭化物が多い）
	3	7.5YR5/4 にぶい褐	シルト	
4121	1	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物・灰・焼土粒多量、骨片を含む。
	2	10YR5/6 黄褐	シルト	炭化物・灰・焼土粒多量、骨片を含む。
	3	10YR6/6 明黄褐	シルト	炭化物を微量含む。
	4	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物・灰・焼土・骨片を含む。
	5	10YR6/6 明黄褐	シルト	暗褐色シルト小ブロックを含む。
4122	1	10YR2/3 黒褐	シルト	炭化物・土器片・骨片を多量に含む。
	2	5YR5/8 明赤褐	シルト	焼土。
	3	10YR5/6 黄褐	シルト	暗褐色シルトブロック、炭化物粒・マンガン粒を含む。
	4	10YR3/4 暗褐	砂質シルト	炭化物、骨片を微量含む。
	5	5YR5/8 明赤褐	シルト	
	6	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物多量、土器片・骨片を含む。
	7	10YR5/6 黄褐	シルト	炭化物を含む。
4123	1	10YR5/8 黄褐	シルト	褐色シルトブロック、炭化物・骨片・土器片を含む。
	2	10YR3/2　黒褐	シルト	褐色シルトブロック微量、炭化物を極多量含む。
	3	10YR5/8 黄褐	シルト	
4124	1	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物・マンガン粒・土器片を含む。
	2	10YR3/2 黒褐	シルト	黄褐色シルトブロック・炭化物・土器片・骨片を含む。（暗褐色シルトと褐色砂質シルトブロック。黒褐色シルトも含む）
	3	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物を多量に含む。

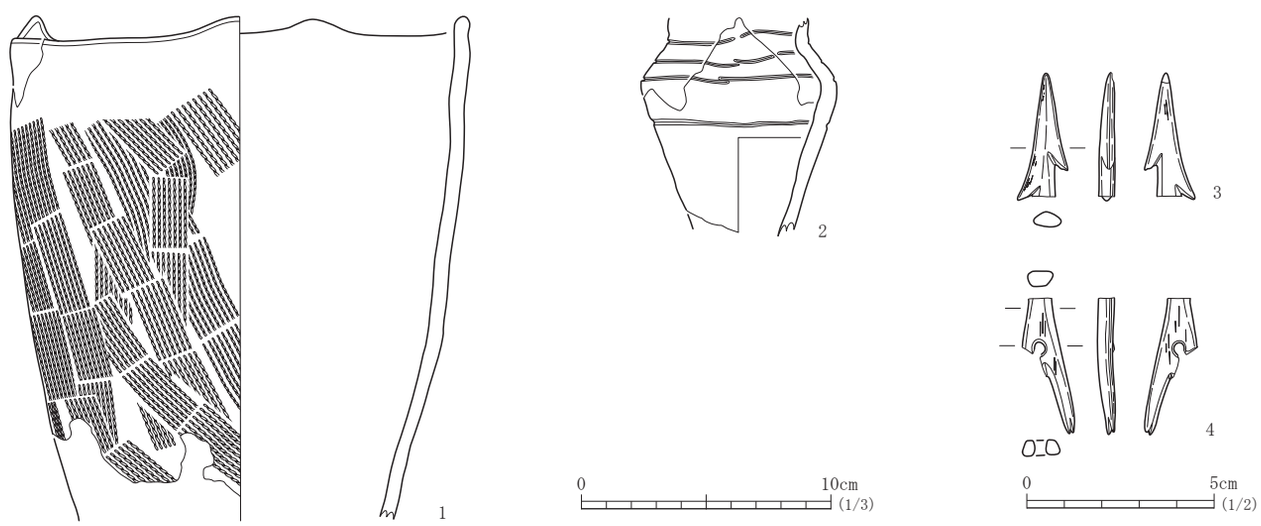
第 124 図　Ⅴ層Ⅳ区 土坑（1）

2. Ⅴ　層



SK	層位	土　色	土　性	備　考
4126	1	10YR4/4 褐	シルト	黄褐色砂質シルトブロック・炭化物・骨片・土器片・焼土粒を含む。
	2	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物を多量に含む。
	3	10YR5/6 黄褐	シルト	黒褐色シルトブロックを含む。壁の崩落土。
4127	1	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物・骨片を含む。
	2	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物多量、骨片・焼土粒を含む。
	3	10YR4/4 褐	シルト	炭化物を微量含む。
	4	10YR3/4 暗褐	シルト	黄褐色シルトブロック・炭化物を含む。
	5	10YR2/1 黒	シルト	炭化物を極多量含む。
	6	10YR5/6 黄褐	シルト	
	7	10YR4/6 褐	シルト	壁の崩落土。
4128	1	10YR3/4 暗褐	シルト	黄褐色シルトブロック・炭化物粒・骨片・土器片・暗褐色シルトを含む。
	2	10YR3/3 暗褐	シルト	炭化物多量、骨片を微量含む。
4129	1	10YR3/3 暗褐	シルト	黄褐色シルトブロック・炭化物多量、骨片・焼土を微量含む。
	2	10YR4/3 にぶい黄褐	粗砂	土器片を含む。
	3	10YR4/4 褐	シルト	

SK	層位	土　色	土　性	備　考
4130	1	10YR3/3 暗褐	砂質シルト	炭化物・土器片を含む。
	2	10YR4/4 褐	シルト	
4131	1	10YR3/3 暗褐	シルト	黄褐色シルトブロック、炭化物を多量に含む。
	2	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物極多量、土器片を含む。
	3	10YR4/6 褐	シルト	炭化物・土器片を含む。
4132	1	10YR4/4 褐	シルト	炭化物粒を微量含む。
	2	10YR5/6 黄褐	シルト	褐色シルトブロック、炭化物を微量含む。
	3	10YR5/8 黄褐	シルト	
4133	1	10YR3/2 黒褐	シルト	暗褐色砂質シルトブロック、暗褐色シルト、褐色シルト質砂粒を多量に含む。。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	褐色シルト質砂ブロックを含む。
4134	1	7.5YR4/4 褐	シルト質砂	暗褐色シルト小粒を含む。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	褐色シルト質砂ブロックを含む。



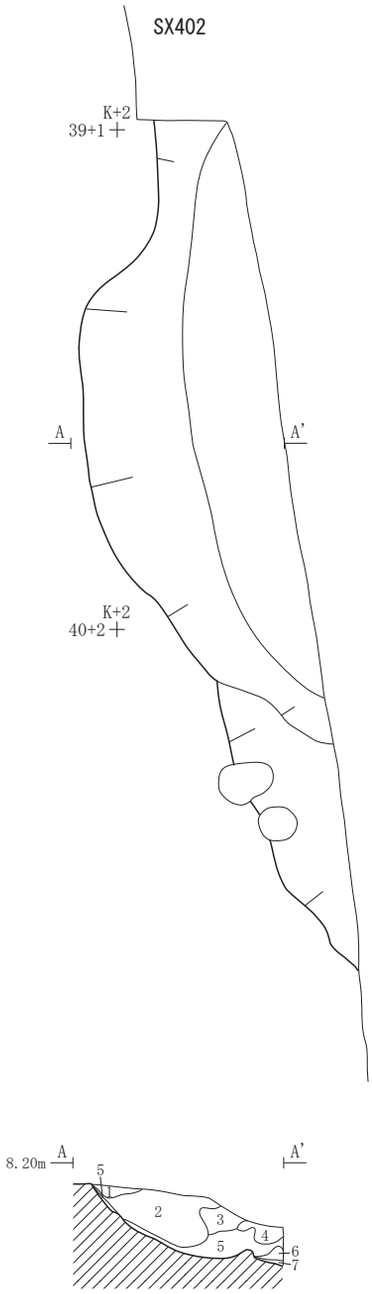
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-286	SK4126	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 縦・斜位施文。	波状口縁。4 単位。	73-1

No.	登録番号	出土遺構	器　種	文様等	備　考	写真図版
2	Pc-336	SK4120	ミニチュア	沈線文。	壺。	-

No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
3	Q-007	SK4120	骨角器	銛	長さ (3.4) ×幅 (1.3) ×厚さ (0.5)cm。	鹿角製。	73-2
4	Q-008	SK4120	骨角器	銛	長さ (3.7) ×幅 (1.4) ×厚さ (0.5)cm。	鹿角製。	73-3

第 125 図　Ⅴ層Ⅳ区 土坑 (2)・土坑出土遺物

性格不明遺構



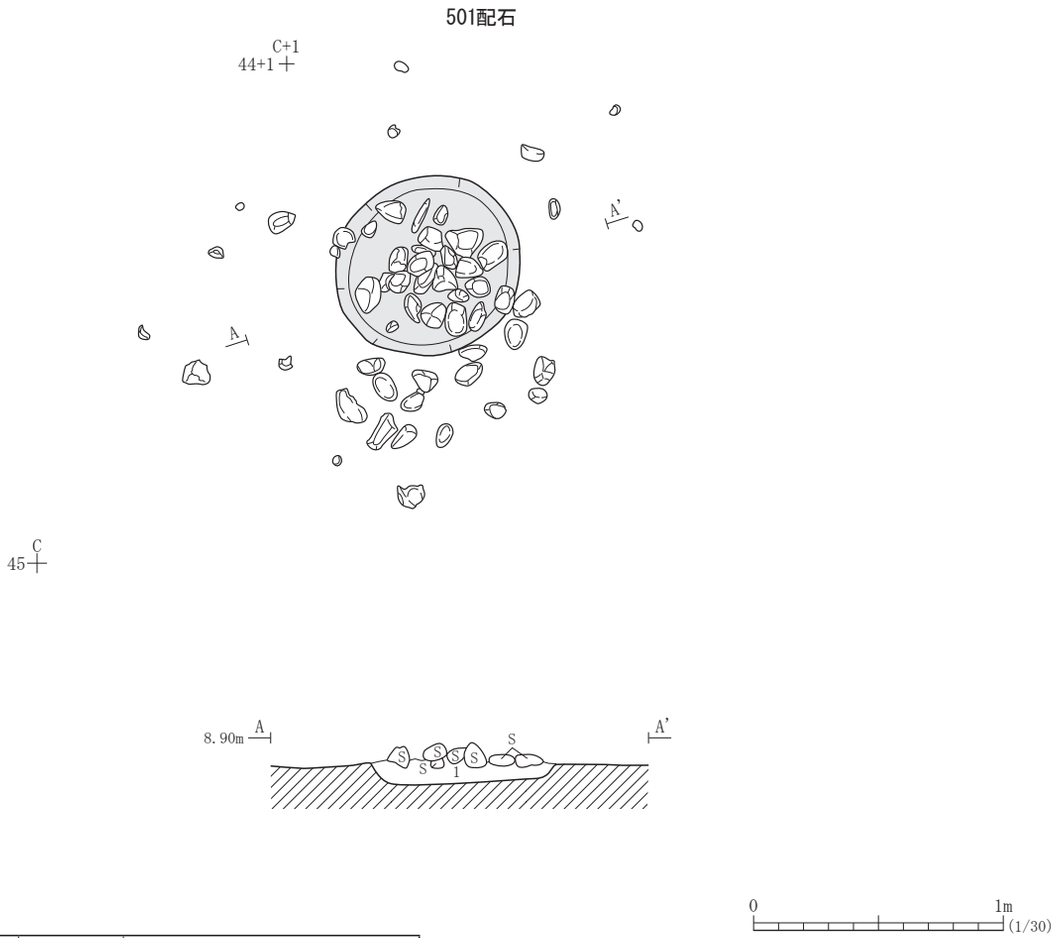
0　2m
(1/60)

SX	層位	土　色	土　性	備　考
402	1	10YR5/8 黄褐	シルト	炭化物粒を微量含む。
	2	10YR3/4 暗褐	シルト	褐色シルトブロック、炭化物多量、焼土を含む。
	3	10YR5/6 黄褐	シルト	

SX	層位	土　色	土　性	備　考
402	4	10YR4/4 褐	シルト	黄褐色シルトブロック・炭化物を含む。
	5	10YR5/8 黄褐	砂質シルト	
	6	10YR3/4 暗褐	シルト	炭化物を含む。
	7	10YR5/8 黄褐	砂質シルト	

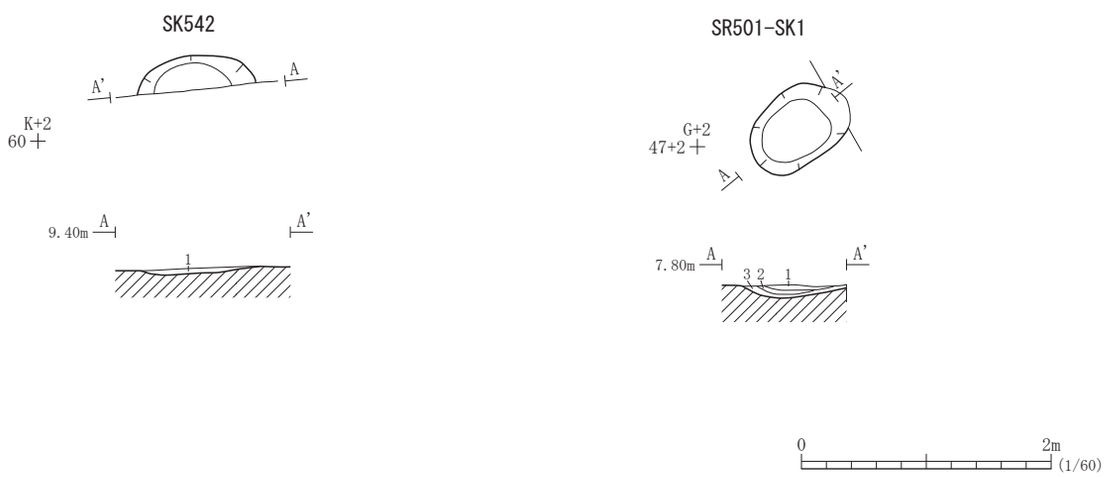
第 126 図　Ⅴ層Ⅳ区 性格不明遺構

4) V　区
配　石



配石	層位	土　色	土　性	備　考
501	1	10YR2/1 黒	シルト	炭化物粒・暗褐色シルトを粒状に多量に含む。

土　坑

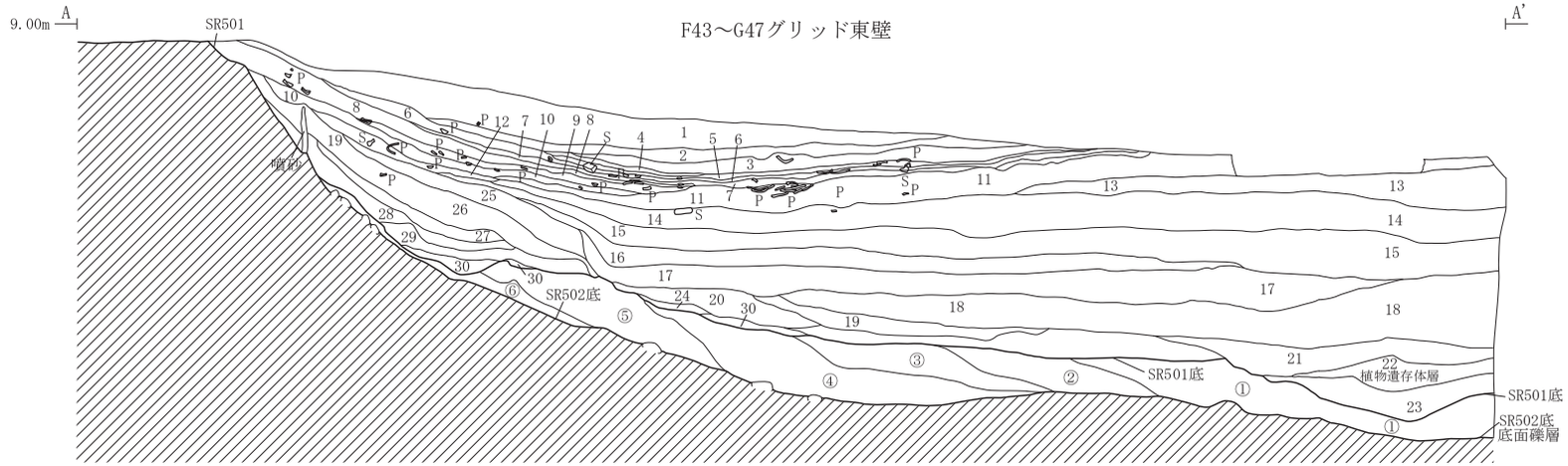


SK	層位	土　色	土　性	備　考
542	1	10YR3/1 黒褐	シルト	

SK	層位	土　色	土　性	備　考
SR501-SK1	1	10YR5/4 にぶい黄褐	シルト	下面に厚さ 1 cm程度の炭化物を含む。
	2	10YR5/4 にぶい黄褐	シルト	
	3	10YR5/4 にぶい黄褐	砂質シルト	

第 127 図　V 層 V 区 配石・土坑

河川跡　　SR501・502

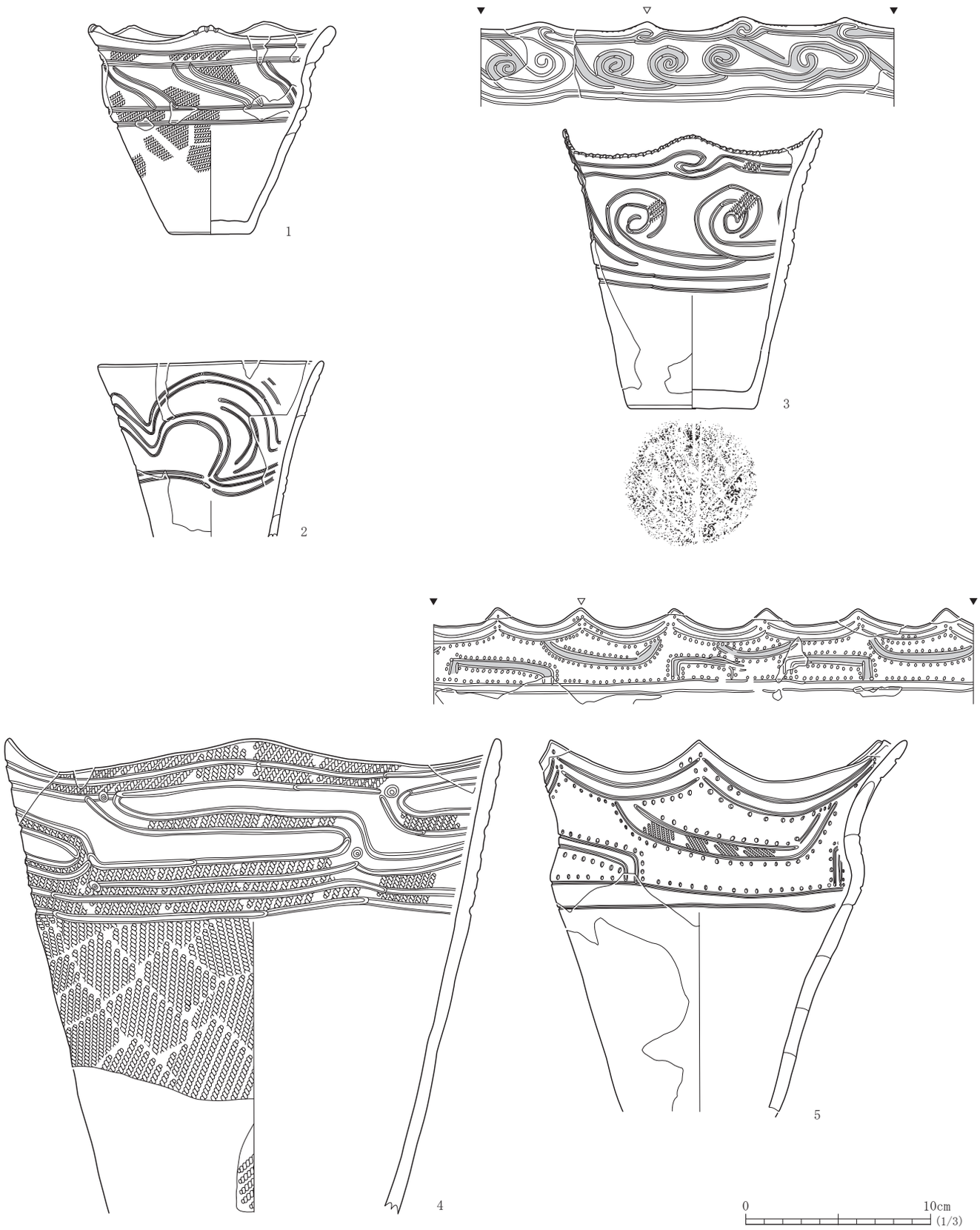


SR	層位	土　色	土　性	備　考
501	1	10YR6/8 明黄褐	砂質シルト	灰黄褐色ブロック（大）・炭化物粒（北半ほど多い）・マンガン粒・灰オリーブ色土・ブロックを含む。南にいくほど砂質強い。
	2	10YR4/4 褐	シルト	灰黄褐色ブロック（中）・炭化物粒・ℓ3 土小ブロックを含む。南にいくにしたがって土色は薄くなる。
	3	10YR5/4 にぶい黄褐	砂質シルト	北半は灰オリーブ色土多量、灰黄褐色ブロック・炭化物・マンガン粒・層中に土器片を含む。
	4	10YR4/1 褐灰	シルト	炭化物と灰を薄い帯状に多量に含む。
	5	10YR5/4 にぶい黄褐	シルト	炭化物を薄く帯状、炭化物粒、マンガン粒、北半は灰オリーブ色土多量、層に平行して層上面に土器片を含む。
	6	10YR2/1 黒	シルト	黒褐色砂質シルト小ブロック、炭化物・灰を極多量（黒色層）、骨片を少量・層に平行して層中及び層下面に土器片を含む。南にいくにしたがって炭化物は少なくなり薄い帯状になり、土色は薄くなる。
	7	10YR5/6 黄褐	粘土質シルト	マンガン粒、炭化物粒、炭化物小ブロック、層に平行して層上面に土器片を含む。南にいくにしたがって土色は薄くなる。
	8	10YR2/1 黒	シルト	炭化物と灰を極多量（黒色層）、骨片多量、黄褐色粘土質シルト小ブロック、層に平行して層中及び層下面に土器片を含む。
	9	10YR4/3 にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化物粒多量、マンガン粒、層に平行して層上面、層中、層下面に土器片を多量に含む。
	10	10YR3/1 黒褐	シルト	炭化物を極多量（南ほど炭化物は層に平行して薄く帯状になる）、骨片を少量含む。

SR	層位	土　色	土　性	備　考
501	11	10YR4/4 褐	粘土質シルト	炭化物粒（北半ほど多量に、南半ほど少ない）、マンガン粒、層に平行して層上面に遺物を多量に含む。
	12	10YR3/2 黒褐	シルト	炭化物粒多量、マンガン粒、層に平行して土器片を含む。
	13	10YR4/4 褐	微砂	南半部は褐色砂質シルト・黄褐色微砂・褐色砂質シルトの層を帯状に含む。
	14	10YR5/4 にぶい黄褐	微砂	マンガン粒、北半では炭化物粒少量、酸化鉄斑状、マンガン粒を含む。南へいくほど砂の粒子が大きくなる。
	15	10YR5/4 にぶい黄褐	細砂	南へいくにしたがって砂の粒子が大きくなる。灰オリーブ色細砂ブロック、酸化鉄斑状、北半では炭化物少量、マンガン粒を含む。
	16	10YR5/3 にぶい黄褐	細砂	灰オリーブ色細砂ブロック、酸化鉄斑状、マンガン粒、炭化物粒を少量含む。
	17	10YR6/4 にぶい黄橙 10YR5/6 黄褐色	中砂 中砂	二つの層が北下りで交互に層状に堆積している。酸化鉄層状、灰黄褐色細砂（マンガン粒含）ブロックを含む。
	18	10YR7/2 にぶい黄橙 10YR6/4 にぶい黄橙	粗砂 礫（φ 2 ～ 5 mm）	二つの層が南下りで交互に堆積している。南にいくにしたがって、褐色粗砂ブロック多量、南半は層下面に礫（5 cm程度が多い、20 cm程度の礫もあり）を含む。
	19	10YR6/2 灰黄褐	粗砂	にぶい黄橙色礫（φ 2 mm程度）を層状に含む。
	20	10YR5/8 黄褐	粗砂	灰黄褐色粗砂ブロック、全体的に酸化鉄、黒色シルトブロックを含む。
	21	10YR6/2 灰黄褐	細砂	酸化鉄斑状、南半では灰色細砂を多量に含む。

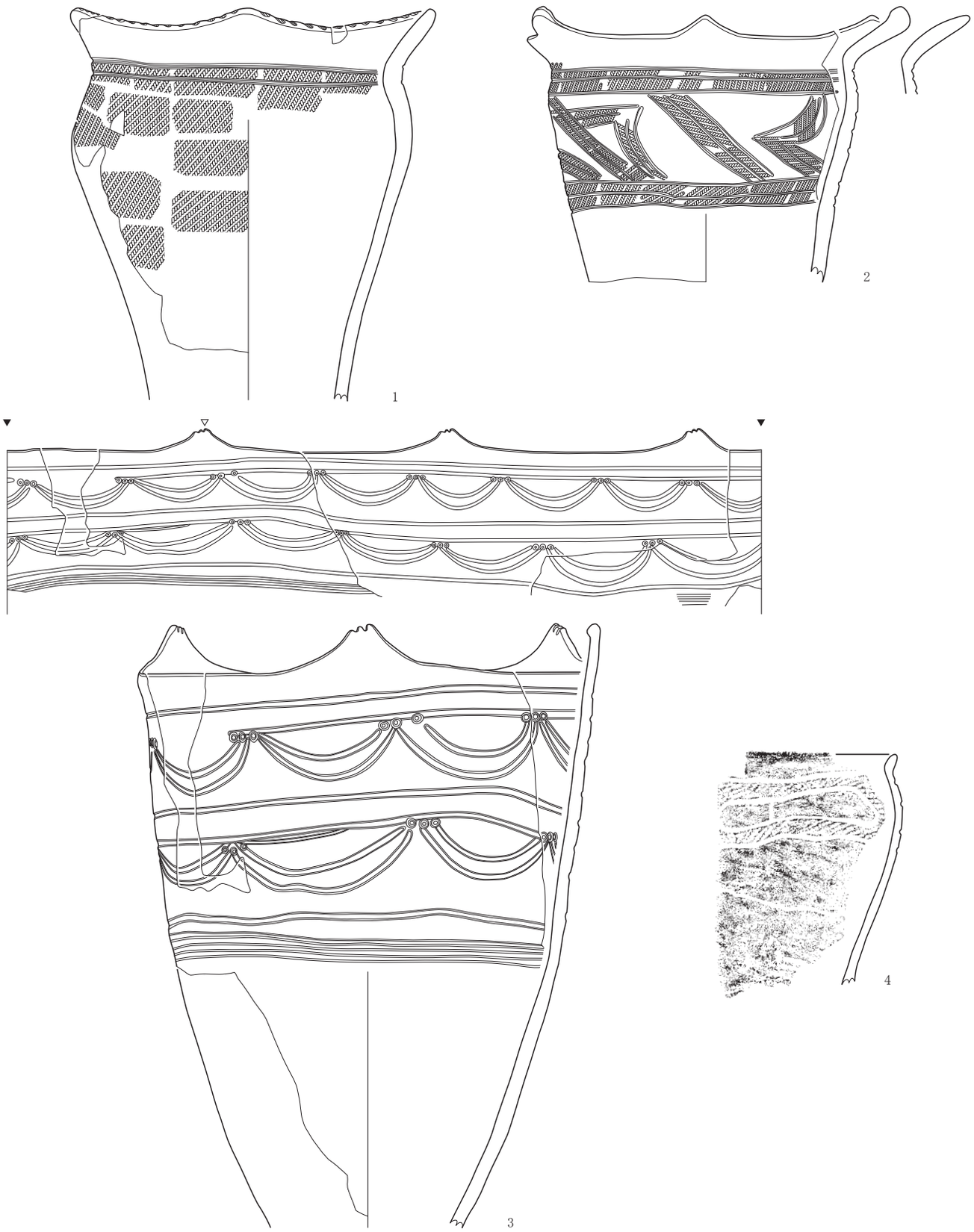
SR	層位	土　色	土　性	備　考
501	22	10YR5/2 灰黄褐	中砂	南半では灰色細砂を多量に含む。
	23	10YR5/2 灰黄褐	粗砂	南半では礫（1 ～ 3 cm程度）を層状に多量に含む。
	24	10YR6/2 灰黄褐	粗砂	黄褐色粗砂ブロック、礫（φ 3 ～ 5 cm）多量、礫（φ 20 cm程）微量、土器片を多量に含む。酸化鉄集積層が発達していて固くなっている。
	25	10YR2/2 黒褐	シルト	炭化物斑状（部分的に薄い帯状）、マンガン粒、酸化鉄を含む。
	26	10YR2/1 黒	シルト	炭化物斑状（層下面では薄い層状）、骨片少量、酸化鉄（南側の層ではブロック状）を含む。
	27	10YR5/4 にぶい黄褐	シルト	全体的にマンガン粒・炭化物粒・酸化鉄斑状、南半は灰オリーブ色砂質シルトを多量に含む。
	28	10YR3/1 黒褐	シルト	炭化物粒・マンガン粒・にぶい黄褐色シルトブロック、層埋面に平行して遺物を含む。
	29	10YR5/2 灰黄褐	シルト	炭化物粒斑状、黄褐色シルト、にぶい黄色砂質シルトブロック、南半は酸化鉄を含む。
	30	10YR3/1 黒褐	シルト	炭化物粒、マンガン粒、礫（10 cm程）微量、南半は酸化鉄を多量に含む。
502	①	10YR6/2 灰黄褐	粗砂	
	②	10YR5/1 褐灰	中砂	
	③	10YR5/2 灰黄褐	細砂	マンガン粒を含む。
	④	10YR5/3 にぶい黄褐	細砂	マンガン粒を含む。
	⑤	10YR5/3 にぶい黄褐	細砂	マンガン粒、にぶい黄褐色（炭化物を含む）を斑状に含む。
	⑥	10YR5/4 にぶい黄褐	細砂	マンガン粒多量、炭化物粒を含む。

第 128 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501・502 河川跡



No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-302	SR501	縄文土器	深鉢	口縁突起部：刻み目。胴部：沈線文、縄文 LR 横・斜位施文。	波状口縁。5 単位。	73-4
2	A-755	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文。		-
3	A-485	SR501	縄文土器	深鉢	口唇部:縄文LR原体側面圧痕。胴部:沈線文、縄文LR横位施文、磨り消し。	波状口縁。4 単位。底部木葉痕。	73-5
4	A-737	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文、円形刺突文、縄文 LR 横位施文、磨り消し。	波状口縁。4 単位。	73-6
5	A-418	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文、円形刺突文、縄文 RL 横・斜位施文。	波状口縁。6 単位。	73-7

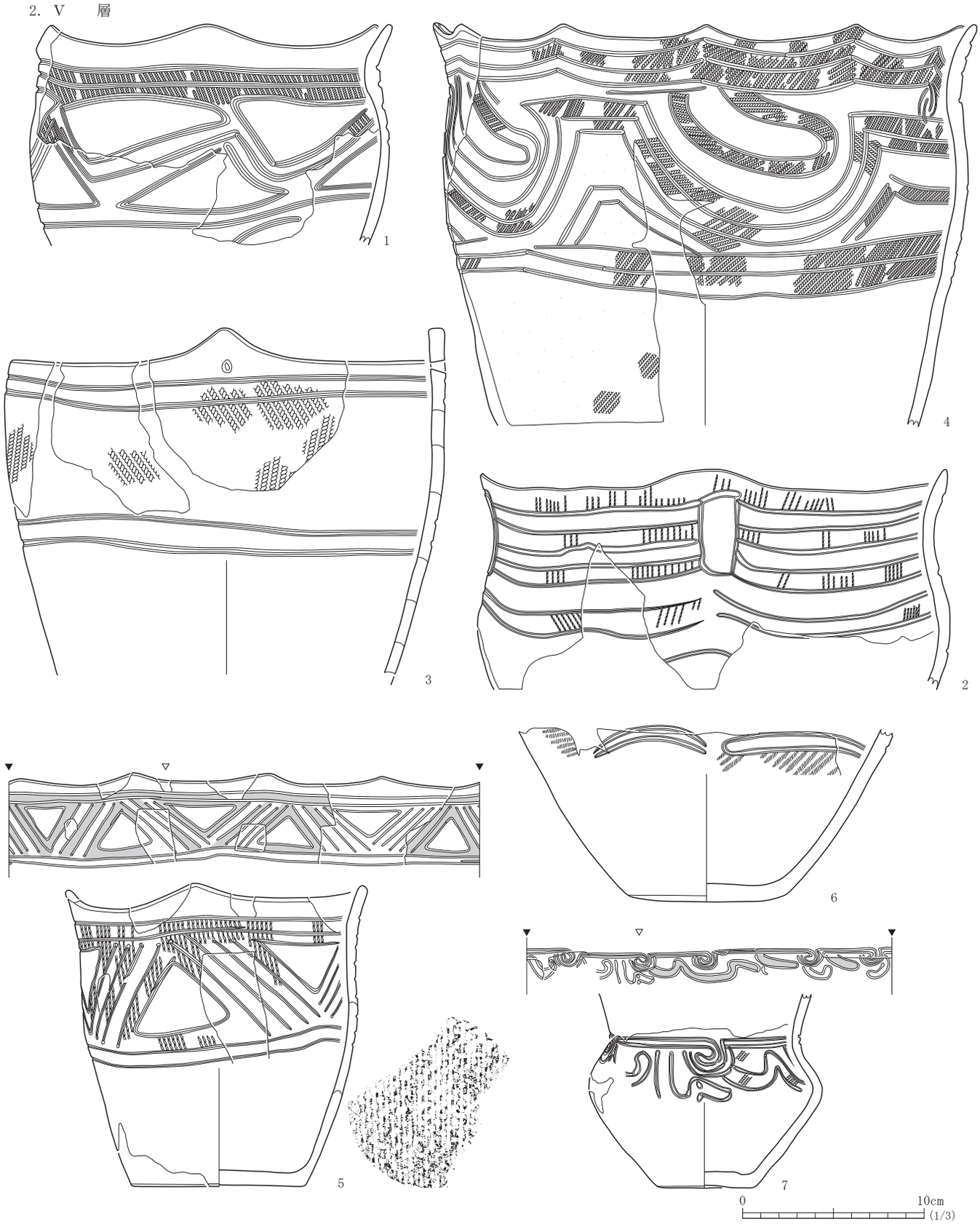
第 129 図　V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物（1）



No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-500	SR501	縄文土器	深鉢	口唇部：刻み目。胴部：沈線文、縄文 LR 横位施文。	波状口縁。6 単位。	73-8
2	A-689	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文、縄文 LR 横・斜位充填施文。	波状口縁。6 単位。	73-9
3	A-497	SR501	縄文土器	深鉢	波頂部：刻み目。沈線文、円形刺突文。	波状口縁。3 単位。	74-1
4	A-907	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文、縄文 LR 横位施文、磨り消し。		74-2

第 130 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物（2）

2. V　層

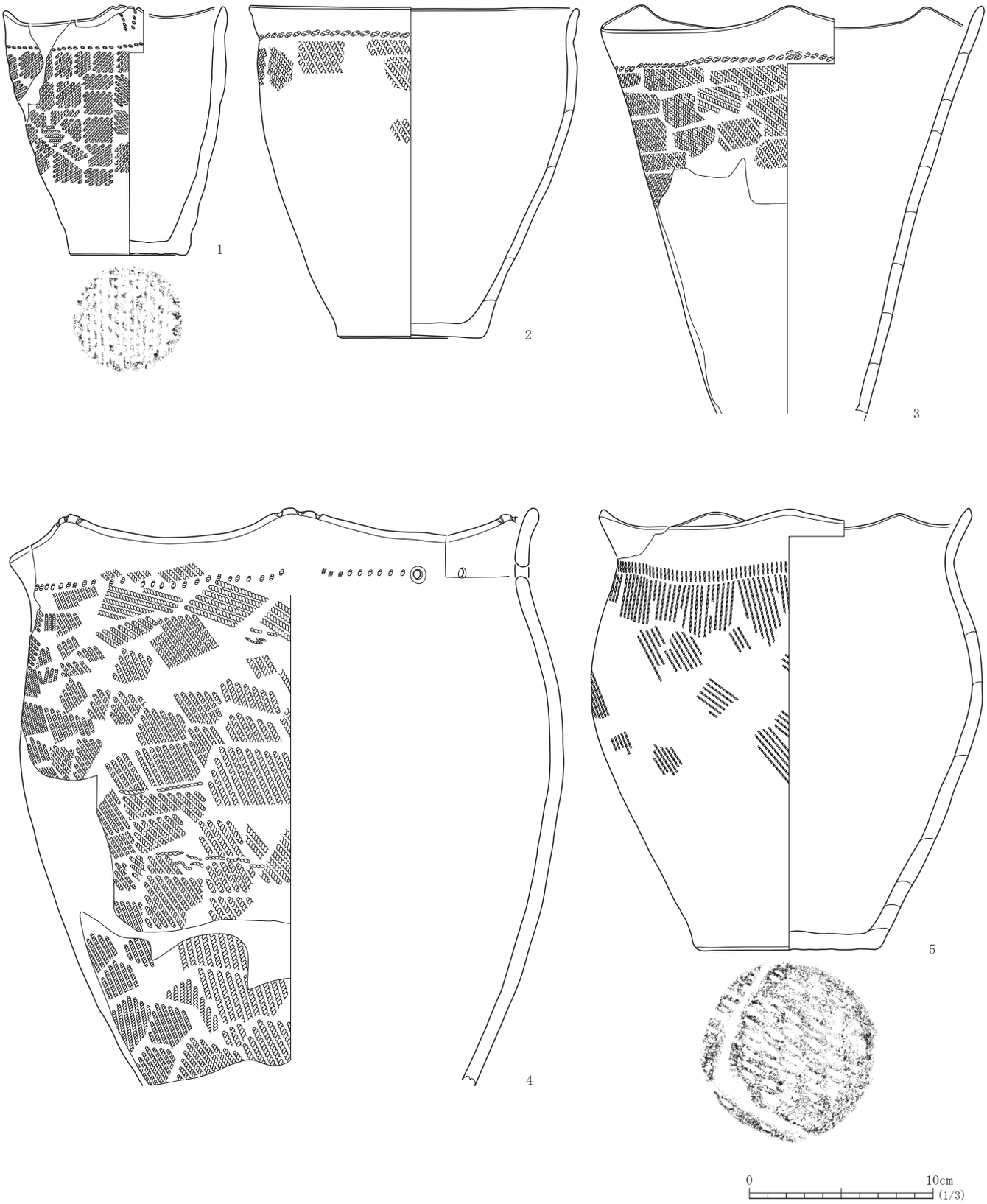


No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-714	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文、縄文 RL 横位充填施文。	波状口縁。6 単位。	74-3
2	A-757	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文。撚糸文 R 縦位施文。磨り消し。	波状口縁。4 単位。	-
3	A-471	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文。縄文 RL 横・斜位施文。	1 単位。突起部に貫通孔。被熱痕顕著。	74-4
4	A-902	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文、縄文 LR 横・斜・縦位充填施文。	波状口縁。12 単位。	74-5
5	A-377	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文、円形刺突文、撚糸文 R 縦位施文。	波状口縁。4 単位。底部網代痕。	74-6
6	A-475	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文、縄文 L 横位施文。		-
7	A-345	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文、縄文 RL 縦位施文。		74-7

第 131 図　V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物（3）

No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-388	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文、縄文 LR 縦・横・斜位充填施文。	波状口縁。5 単位。	74-8
2	A-622	SR501	縄文土器	深鉢	多条沈線文、縄文 LR 横位施文、磨り消し。		75-1
3	A-701	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文、縄文 LR 縦・斜位充填施文。		75-2
4	A-406	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文、縄文 LR 横・斜位施文、磨り消し。	底部木葉痕。	75-3

第 132 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物 (4)



No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-342	SR501	縄文土器	深鉢	口縁部・頸部：縄文 LR 原体側面圧痕。胴部：縄文 LR 縦・横位施文。	波状口縁。4 単位。底部網代痕。	75-4
2	A-358	SR501	縄文土器	深鉢	頸部：縄文 RL 原体側面圧痕。胴部：縄文 RL 横位施文。	外面被熱痕顕著。	75-5
3	A-473	SR501	縄文土器	深鉢	口縁部直下に縄文 RL 原体側面圧痕。胴部：縄文 RL 横位施文。	波状口縁。3 単位。	75-6
4	A-416	SR501	縄文土器	深鉢	波頂部：刻み目。頸部：縄文 RL 原体側面圧痕。胴部：縄文 RL 横位施文。	波状口縁。6 単位。補修孔。	75-7
5	A-354	SR501	縄文土器	深鉢	頸部：絡状体圧痕文。胴部：撚糸文 R 縦・斜位施文。	波状口縁。5 単位。底部網代痕。	76-1

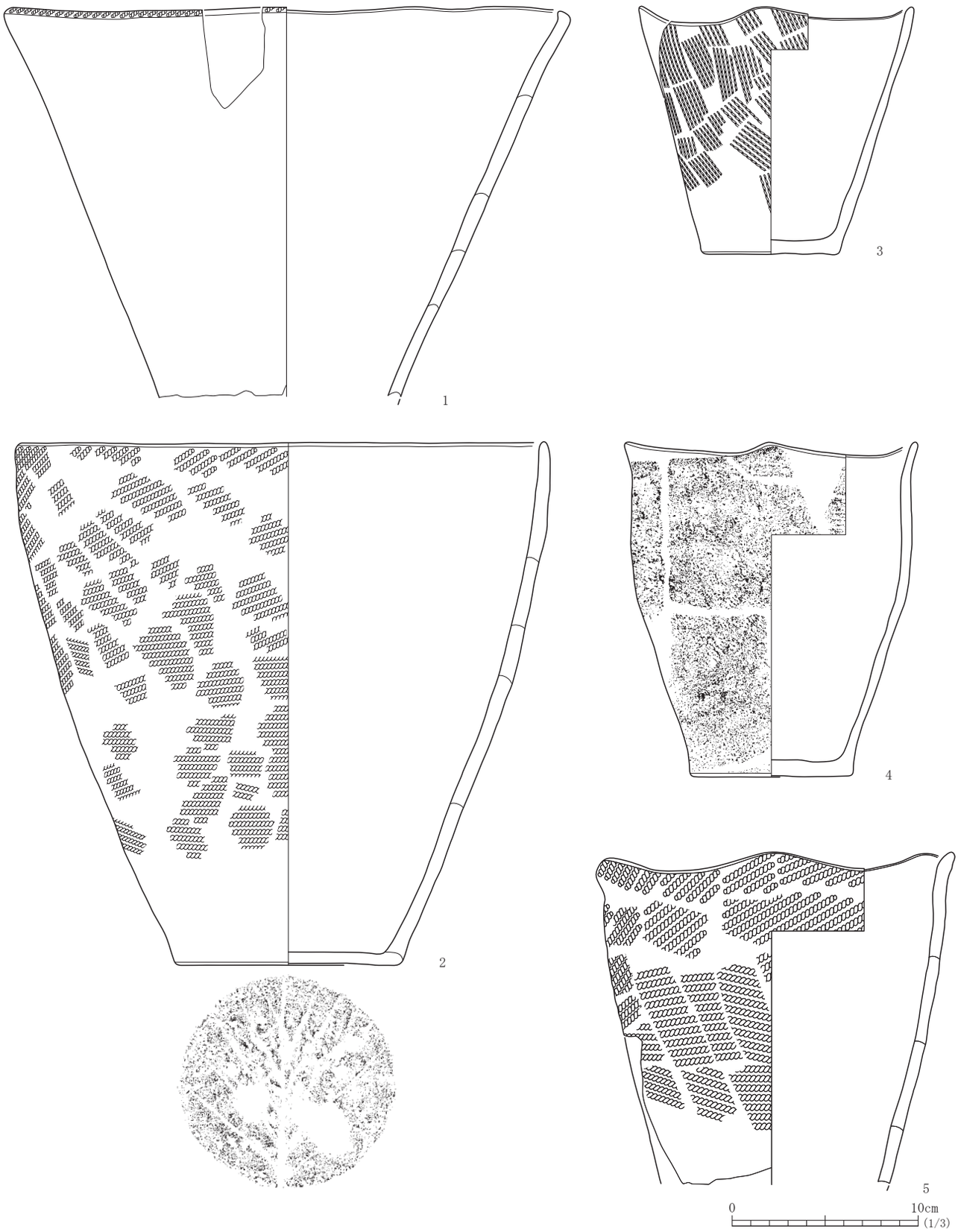
第 133 図　V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物 (5)

No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-697	SR501	縄文土器	深鉢	隆線上に刺突文、縄文 RL 横位施文。		76-2
2	A-696	SR501	縄文土器	深鉢	鎖状隆線文、縄文 RL 横位施文。		76-3
3	A-672	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文、刺突文、撚糸文 R 縦位施文。	波状口縁。	76-4
4	A-931	SR501	縄文土器	深鉢	多条沈線文、縄文 RL 横・斜位充填施文。	突起部貫通孔。	76-5
5	A-657	SR501	縄文土器	深鉢	外面　沈線文、縄文 LR 横位施文、磨り消し。内面　口縁部：沈線文。		76-6
6	A-720	SR501	縄文土器	深鉢	外面　沈線文、縄文 LR 横位施文、磨り消し。内面　口縁部：沈線文、盲孔。	波状口縁。3 単位突起。	76-7
7	A-905	SR501	縄文土器	深鉢	外面　沈線文、縄文 LR 横位充填施文。内面　口縁部：沈線文。	波状口縁。3 単位突起。	76-8
8	A-489	SR501	縄文土器	深鉢	外面　沈線文、連鎖状隆線文、縄文 LR 横位充填施文。内面　口縁部:沈線文。	波状口縁。3 単位突起。	76-9

第 134 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物 (6)

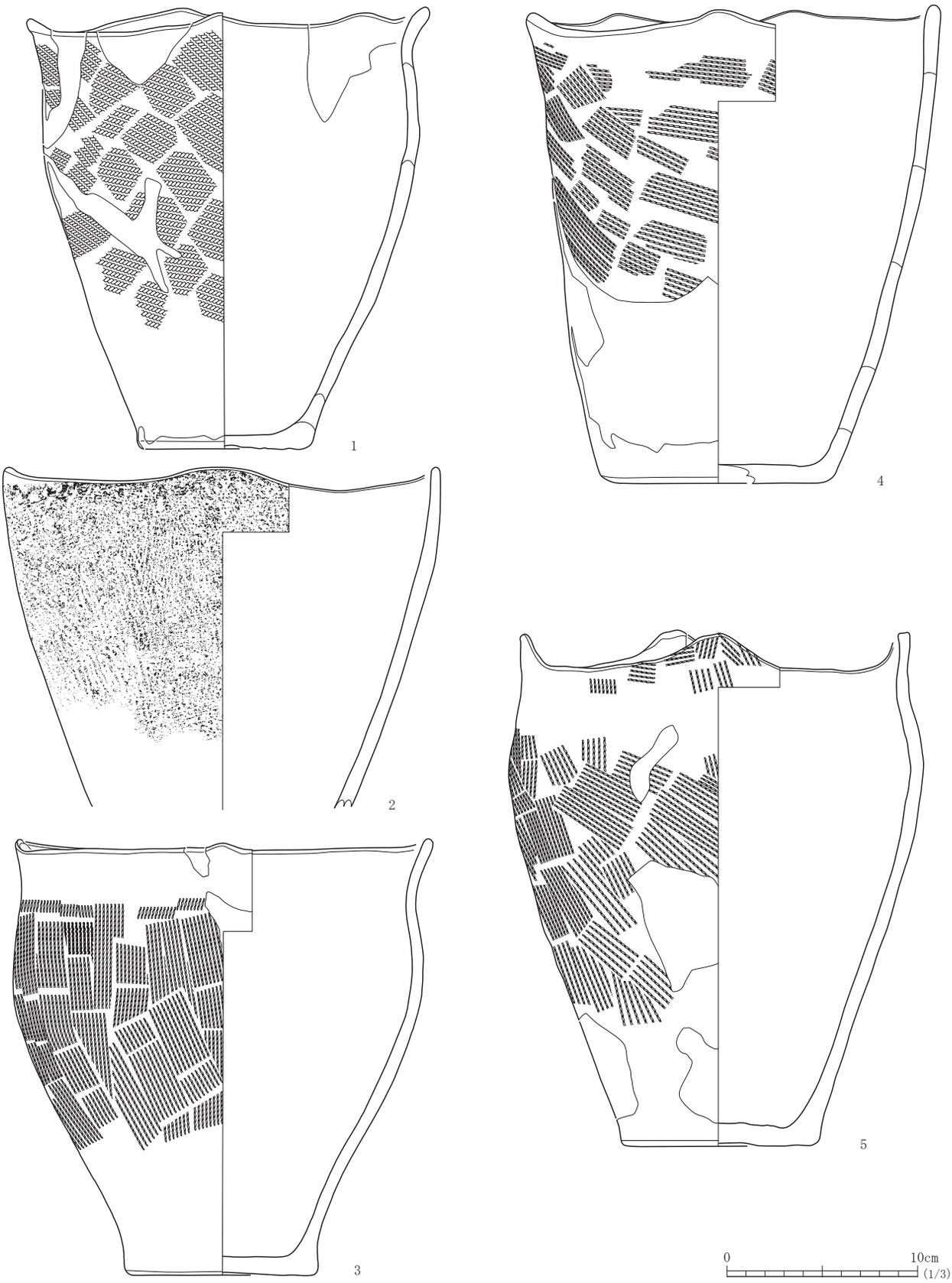
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-525	SR501	縄文土器	深鉢			76-10
2	A-736	SR501	縄文土器	深鉢		波状口縁。4 単位。	76-11
3	A-673	SR501	縄文土器	深鉢	縄文 LR 横位施文。	底部板状圧痕。	77-1
4	A-339	SR501	縄文土器	深鉢	縄文 RL 横・斜位施文。胴部下端：磨り消し。	底部板状圧痕。	77-2
5	A-320	SR501	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 縦・斜位施文。		77-3
6	A-317	SR501	縄文土器	深鉢	撚糸文 L 縦位施文。		77-4
7	A-319	SR501	縄文土器	深鉢	縄文 L 横・斜位施文。	底部板状圧痕。	77-5

第 135 図　V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物 (7)



No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-700	SR501	縄文土器	深鉢	口唇部：縄文 LR 横位施文。		-
2	A-362	SR501	縄文土器	深鉢	縄文 LR 横・斜位施文。	底部木葉痕。	77-6
3	A-351	SR501	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 縦・斜位施文。	波状口縁。4 単位。底部木葉痕。	77-7
4	A-756	SR501	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 縦・斜位施文。	波状口縁。4 単位。	77-8
5	A-752	SR501	縄文土器	深鉢	縄文 LR 横・斜位施文。	波状口縁。6 単位。	78-1

第 136 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物 (8)

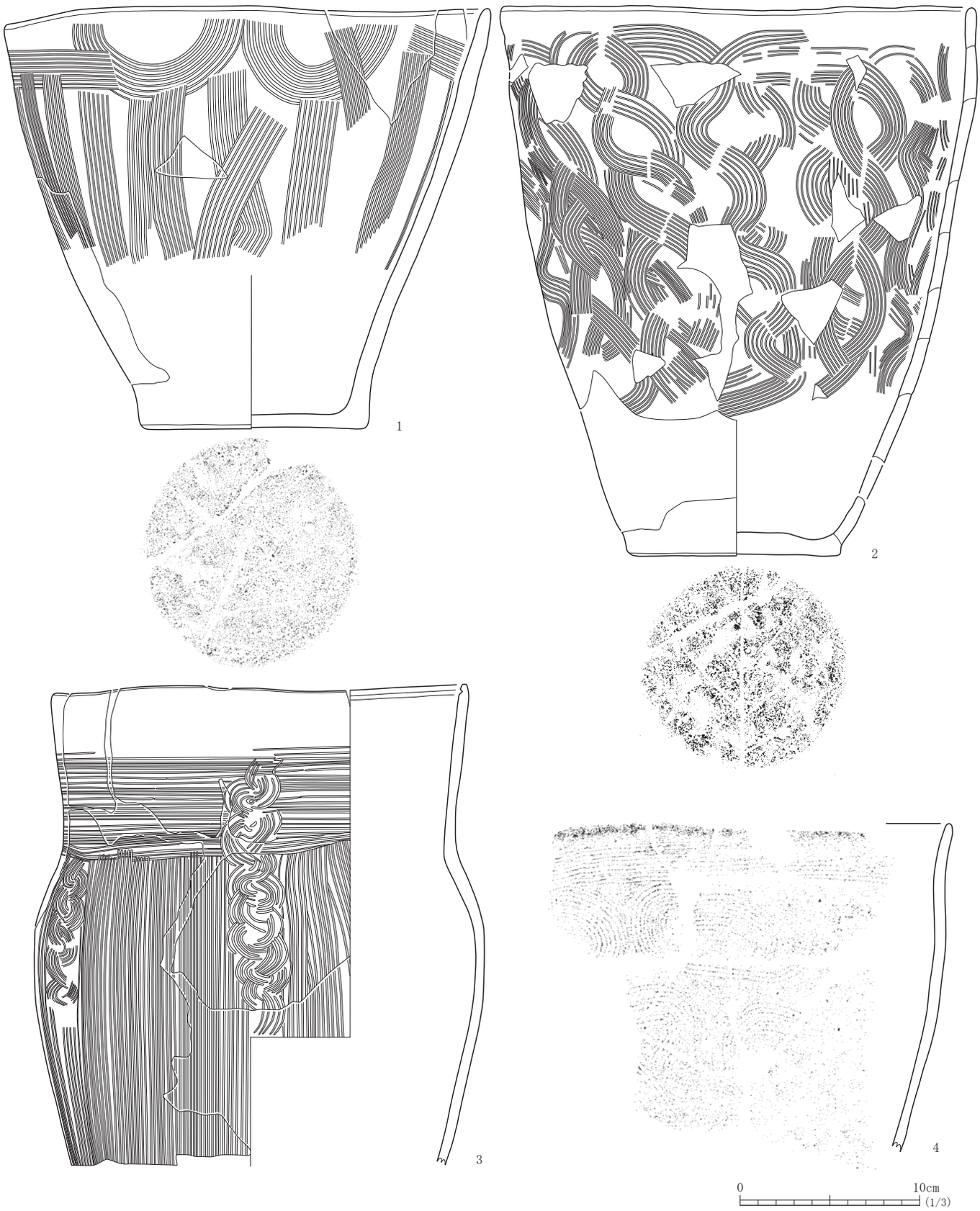


No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-356	SR501	縄文土器	深鉢	縄文 LR 縦位施文。	波状口縁。5 単位。	78-2
2	A-315	SR501	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 縦位施文。	波状口縁。4 単位。	-
3	A-312	SR501	縄文土器	深鉢	頸部：絡状体圧痕文。胴部：撚糸文 R 縦・斜位施文。	波状口縁。4 単位。	78-3
4	A-417	SR501	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 横・斜位施文。	波状口縁。5 単位。	78-4
5	A-403	SR501	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 縦・横・斜位施文。	波状口縁。4 単位。	78-5

第 137 図　V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物 (9)

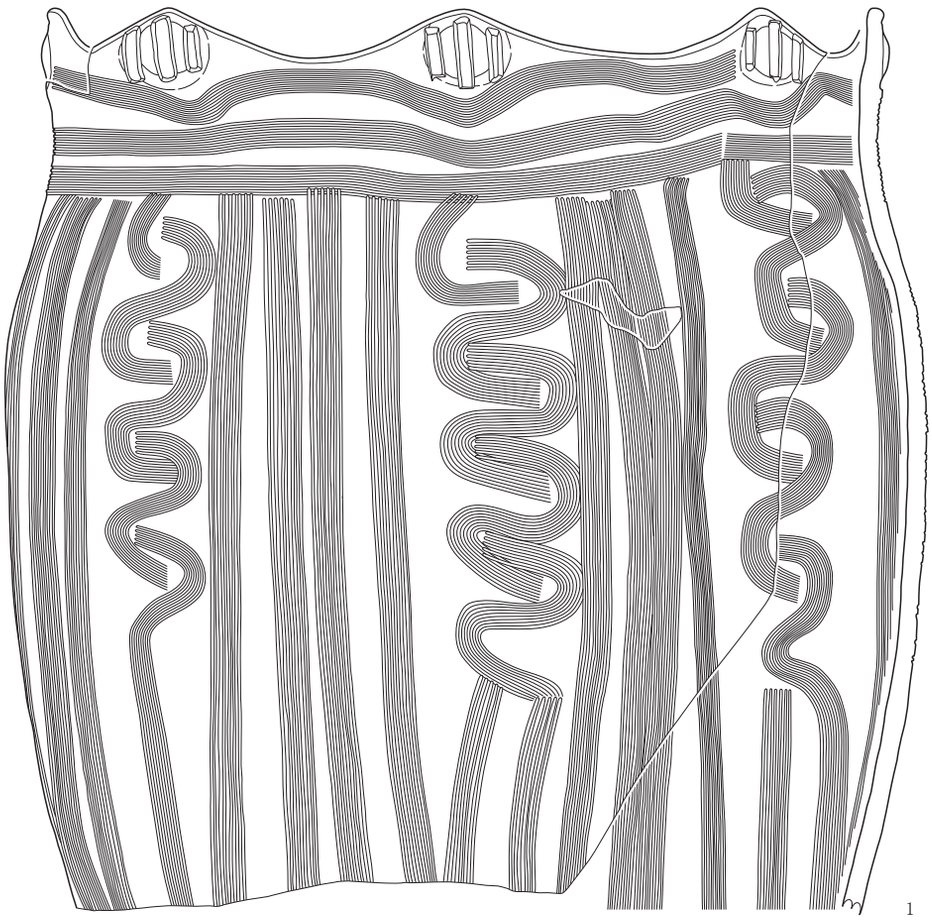
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-361	SR501	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 縦位施文。	波状口縁。4 単位。底部木葉痕。	78-6
2	A-415	SR501	縄文土器	深鉢	撚糸文 R 縦位施文。	波状口縁。4 単位。	-
3	A-371	SR501	縄文土器	深鉢	撚糸文 L 縦位施文。	波状口縁。4 単位。底部網代痕。	79-1

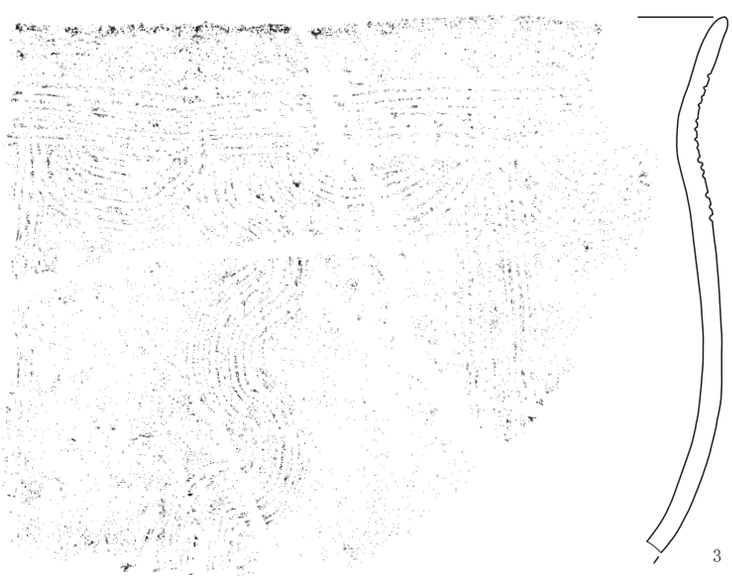
第 138 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物（10）

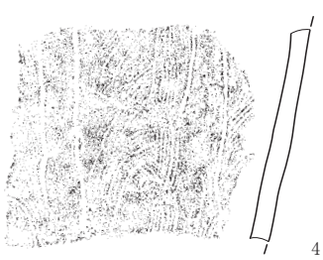


No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-912	SR501	縄文土器	深鉢	櫛歯状沈線文。	底部木葉痕。	79-2
2	A-735	SR501	縄文土器	深鉢	櫛歯状沈線文。	底部木葉痕。	79-3
3	A-901	SR501	縄文土器	深鉢	外面　櫛歯状沈線文。内面　口縁部：沈線文。		-
4	A-684	SR501	縄文土器	深鉢	櫛歯状沈線文。		79-4

第 139 図　V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物（11）



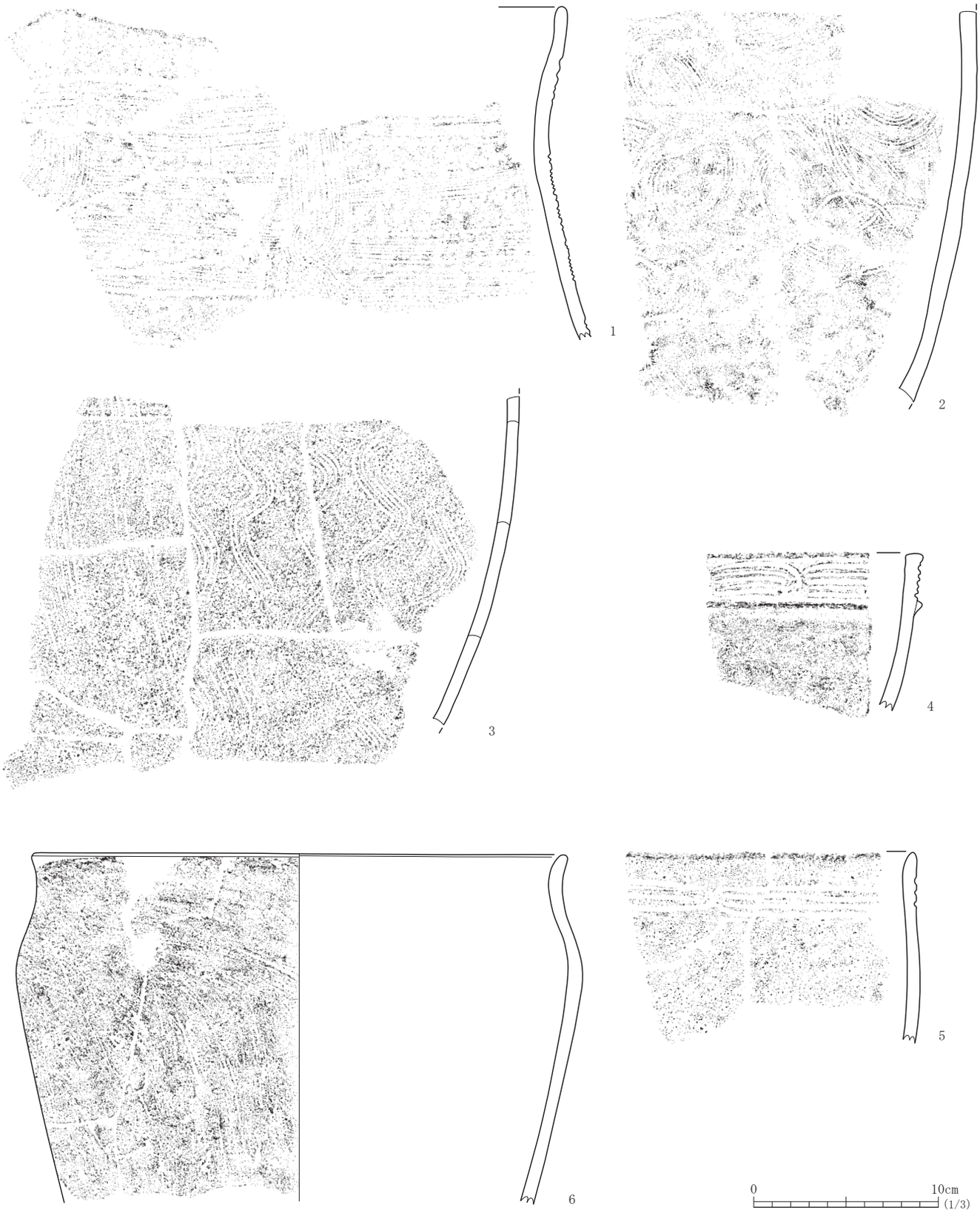




0　10cm
(1/3)

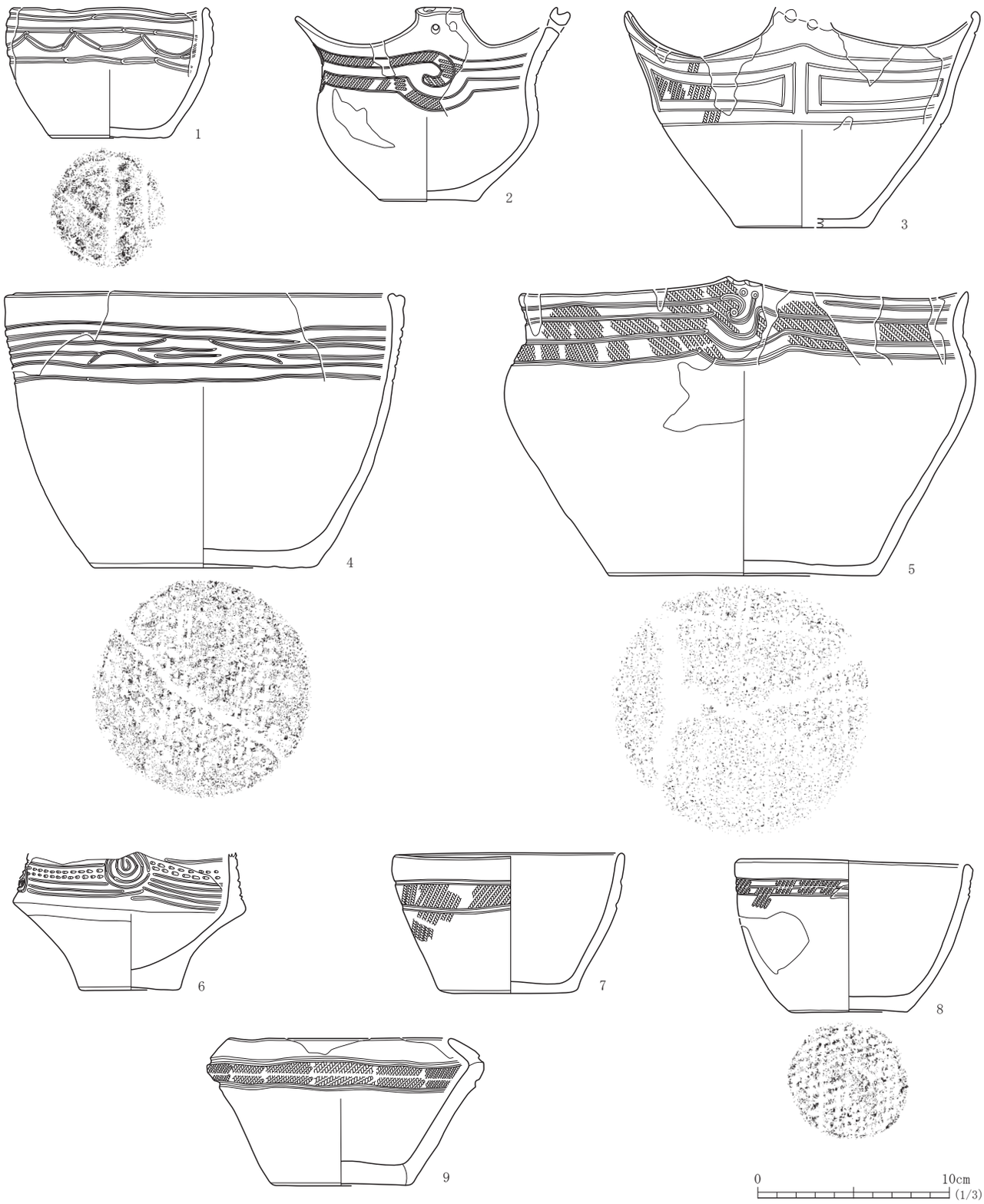
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-399	SR501	縄文土器	深鉢	口縁突起部：隆線文。胴部：櫛歯状沈線文。	波状口縁。	-
2	A-734	SR501	縄文土器	深鉢	櫛歯状沈線文。		79-5
3	A-913	SR501	縄文土器	深鉢	櫛歯状沈線文。		79-6
4	A-733	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文、櫛歯状沈線文。		79-7

第 140 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物（12）



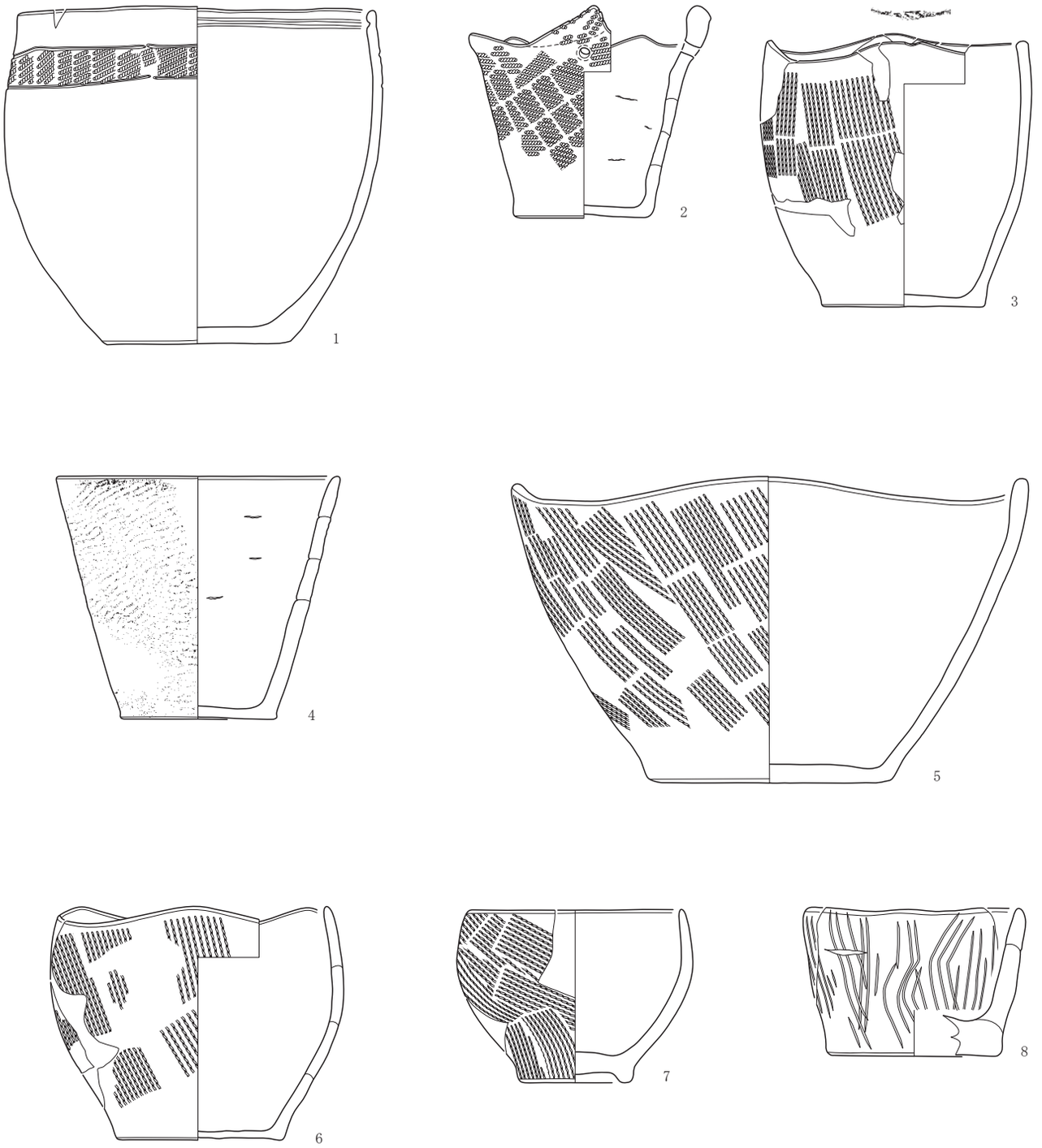
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-716	SR501	縄文土器	深鉢	櫛歯状沈線文、刺突文。	波状口縁。	79-8
2	A-727	SR501	縄文土器	深鉢	櫛歯状沈線文。		80-1
3	A-744	SR501	縄文土器	深鉢	櫛歯状沈線文、縄文 LR 縦位施文。		-
4	A-732	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文、隆線文。		80-2
5	A-725	SR501	縄文土器	深鉢	沈線文。		80-3
6	A-723	SR501	縄文土器	深鉢	条線文。	文様を意識したヘラ状工具による削り。	80-4

第 141 図　V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物 (13)



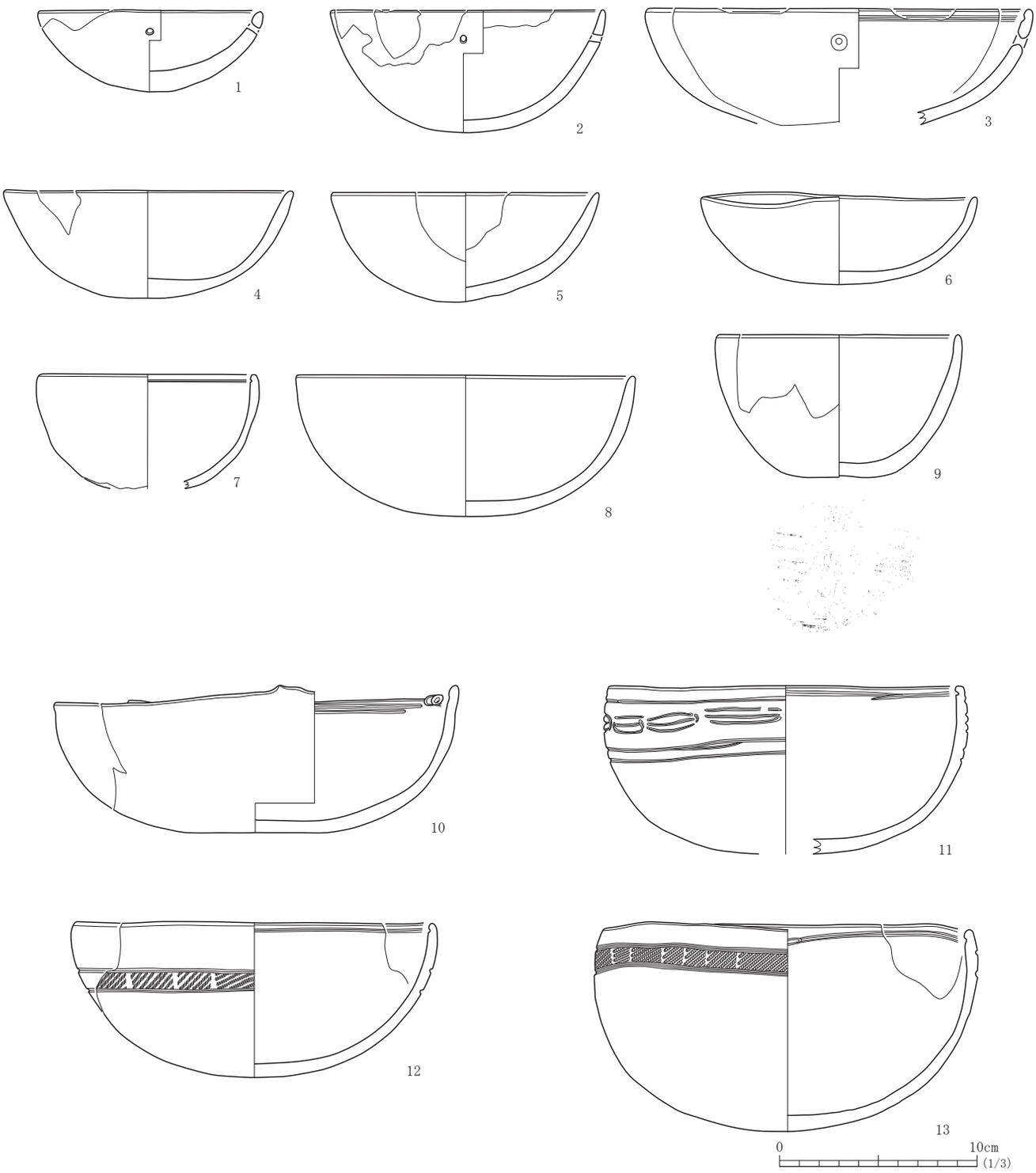
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-347	SR501	縄文土器	鉢	沈線文。	底部木葉痕。	80-5
2	A-438	SR501	縄文土器	鉢	沈線文、縄文 LR 横・斜位施文、磨り消し。	波状口縁。4 単位。貫通孔 2 ヶ所。	80-6
3	A-643	SR501	縄文土器	鉢	沈線文、縄文 LR 横位施文、磨り消し。	波状口縁。4 単位。貫通孔 2 ヶ所。	80-7
4	A-433	SR501	縄文土器	鉢	沈線文。	底部網代痕。	80-8
5	A-373	SR501	縄文土器	鉢	口縁部:横位沈線文、円形刺突文、縄文 RL 横位施文。一部口唇部にも縄文 RL 施文。	口縁部小突起。底部網代痕。	80-9
6	A-529	SR501	縄文土器	鉢	沈線文、刺突文。		80-10
7	A-459	SR501	縄文土器	鉢	沈線文、縄文 LR 横位施文。	底部木葉痕。	80-11
8	A-310	SR501	縄文土器	鉢	沈線文、縄文 LR 横位施文。	底部網代痕。	-
9	A-506	SR501	縄文土器	鉢	沈線文。縄文 LR 横位充填施文。		80-12

第 142 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物（14）



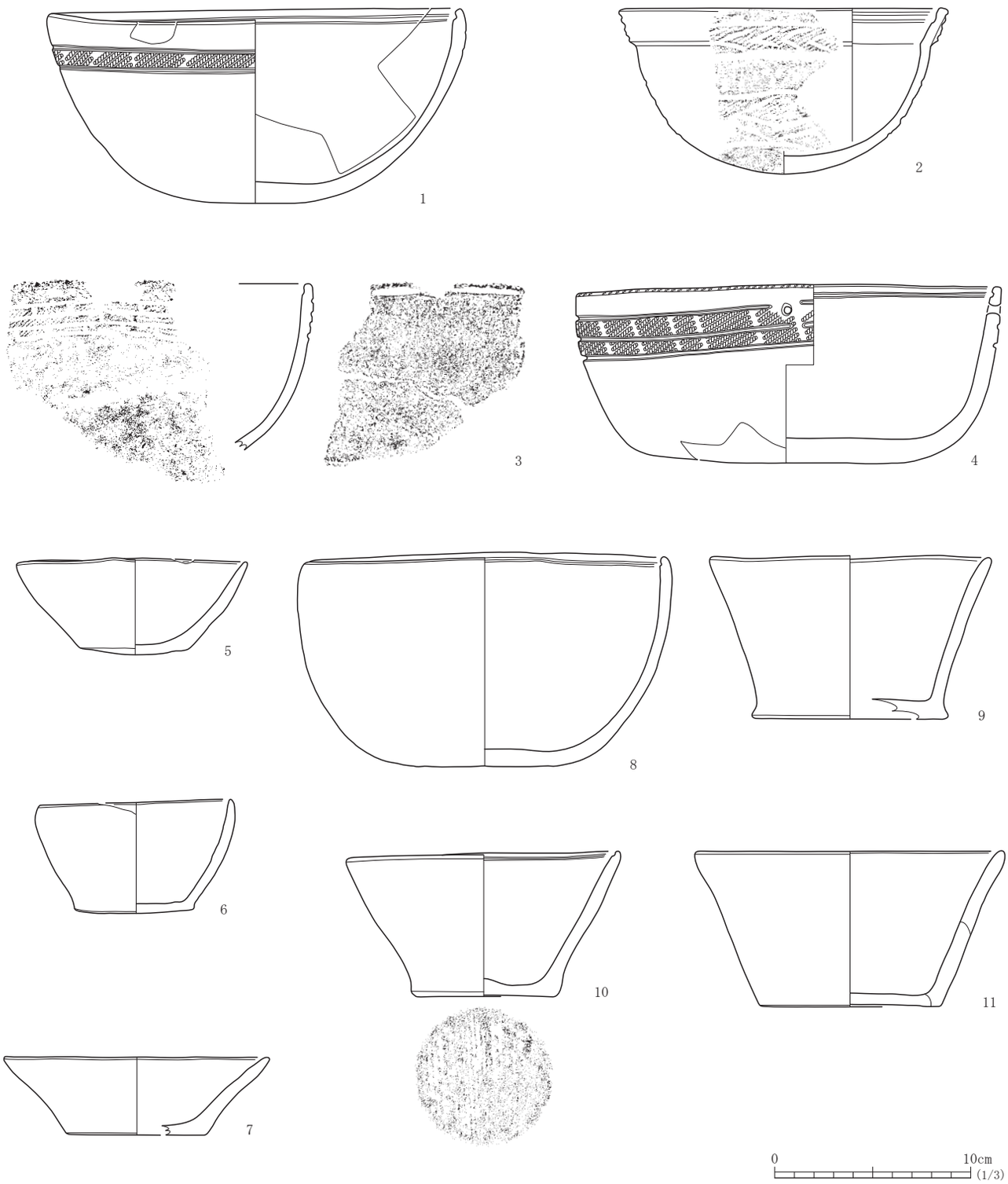
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-357	SR501	縄文土器	鉢	外面　沈線文、縄文 LR 横位充填施文。内面　口縁部：沈線文。		81-1
2	A-505	SR501	縄文土器	鉢	突起部：縄文 LR 原体側面圧痕横・斜位施文。体部：縄文 LR 斜位施文。	波状口縁。5 単位。貫通孔。内面輪積痕。	81-2
3	A-352	SR501	縄文土器	鉢	撚糸文 R 縦位施文、波頂部：絡状体圧痕文。	波状口縁。4 単位。底部木葉痕。	-
4	A-343	SR501	縄文土器	鉢	縄文 L 横・斜位施文。	輪積痕。	81-3
5	A-318	SR501	縄文土器	鉢	撚糸文 R 斜位施文。	波状口縁。4 単位。	81-4
6	A-408	SR501	縄文土器	鉢	撚糸文 R 縦位施文。	波状口縁。4 単位。被熱により器面剥離顕著。底部木葉痕。	-
7	A-619	SR501	縄文土器	鉢	撚糸文 R 縦・斜位施文。	底部台付状。	81-5
8	A-605	SR501	縄文土器	鉢	櫛歯状沈線文。		81-6

第 143 図　V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物（15）



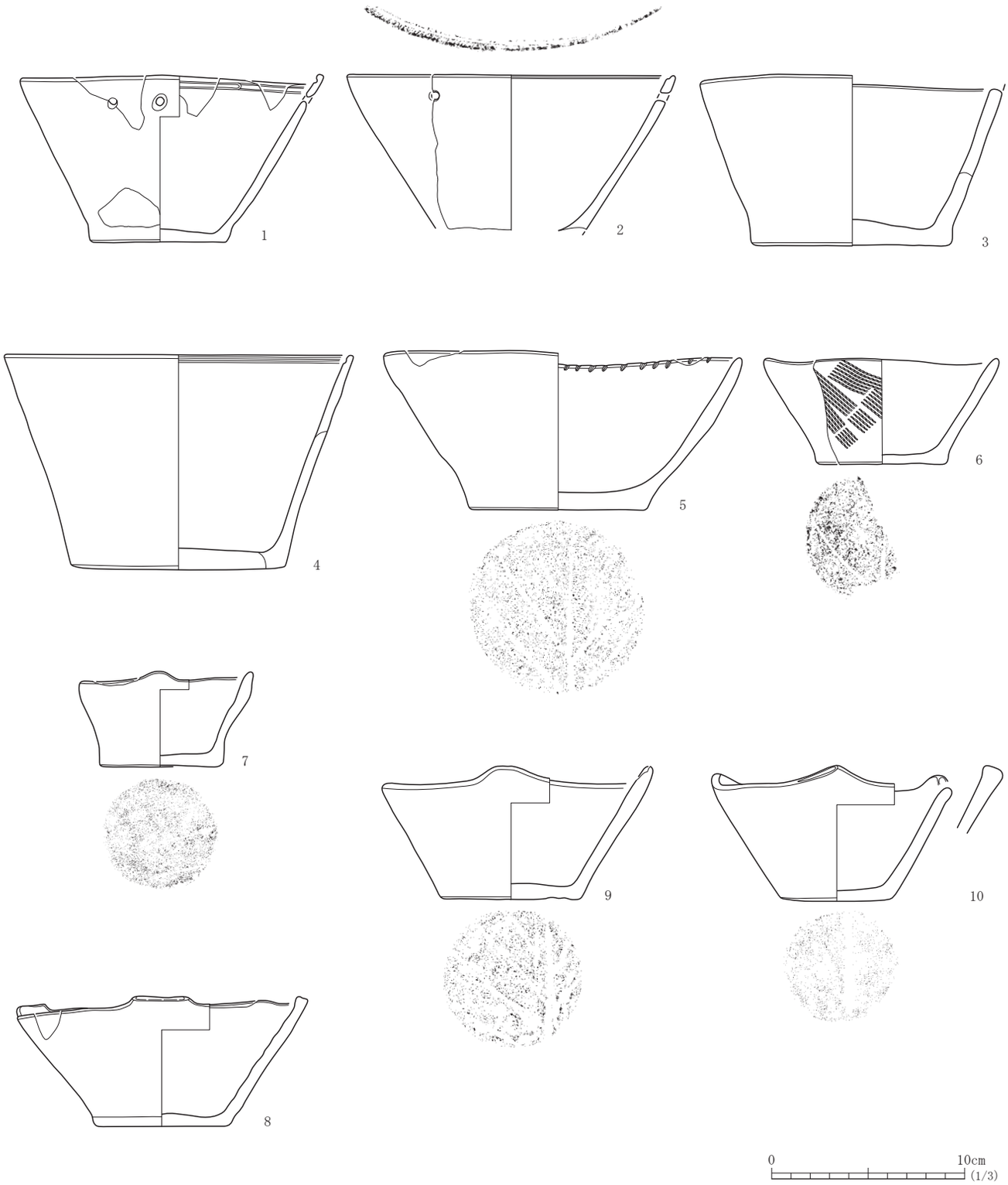
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-581	SR501	縄文土器	浅鉢		貫通孔。	-
2	A-344	SR501	縄文土器	浅鉢		貫通孔。	81-7
3	A-481	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　口縁部：沈線文。	焼成後の穿孔。	81-8
4	A-448	SR501	縄文土器	浅鉢			81-9
5	A-482	SR501	縄文土器	浅鉢			81-10
6	A-457	SR501	縄文土器	浅鉢			-
7	A-478	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　口縁部：沈線文。		81-11
8	A-686	SR501	縄文土器	浅鉢			-
9	A-390	SR501	縄文土器	浅鉢		底部不明圧痕。	81-12
10	A-467	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　口縁部：沈線文、刺突文。	3 単位小突起。	81-13
11	A-445	SR501	縄文土器	浅鉢	外面　沈線文。内面　口縁部：沈線文。		81-14
12	A-447	SR501	縄文土器	浅鉢	外面　沈線文、縄文 L 横位充填施文。内面　口縁部：沈線文。		82-1
13	A-435	SR501	縄文土器	浅鉢	外面　沈線文、縄文 LR 横位充填施文。内面　口縁部：沈線文。		82-2

第 144 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物（16）



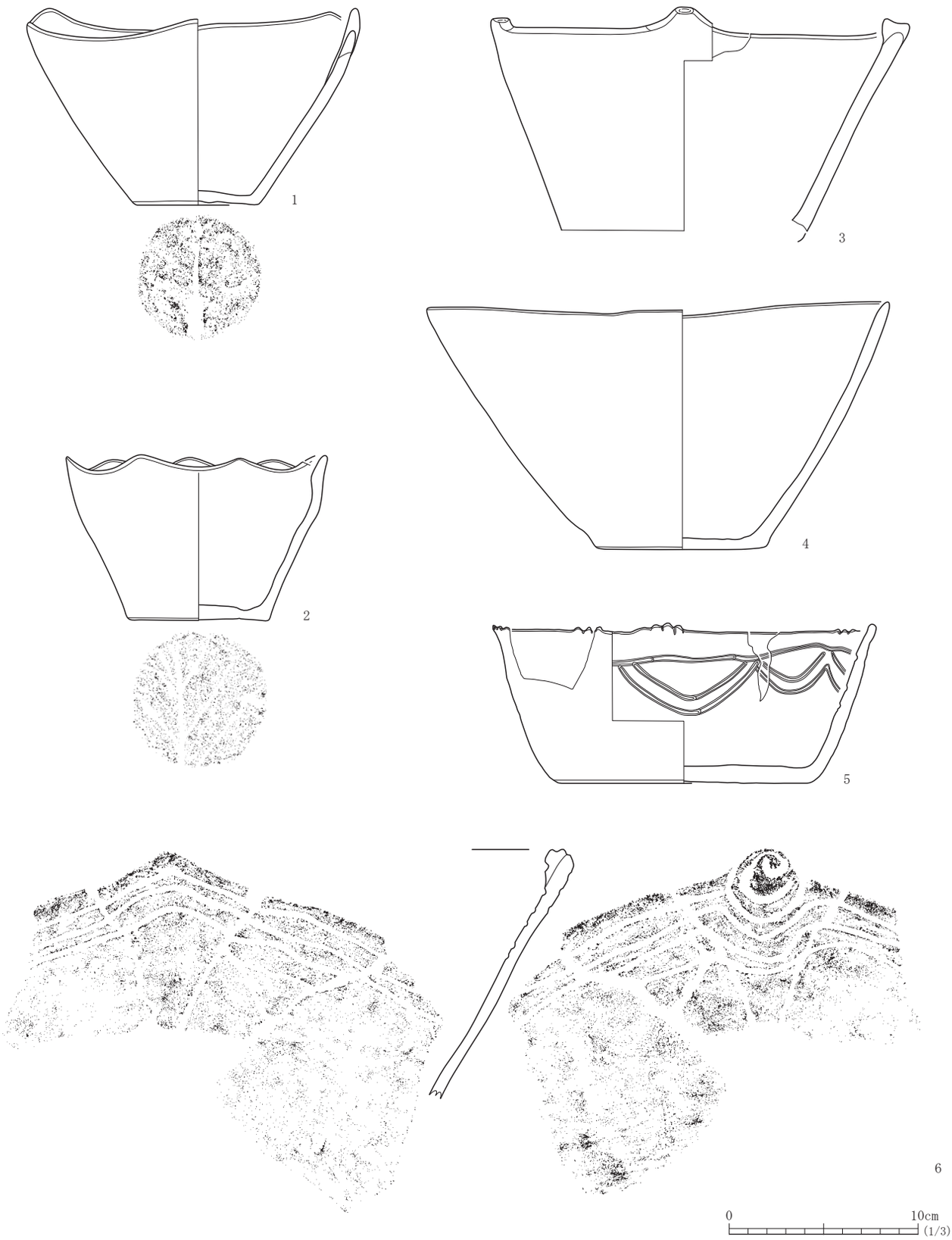
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-455	SR501	縄文土器	浅鉢	外面　沈線文、縄文 LR 横位充填施文。内面　口縁部：沈線文。		82-3
2	A-944	SR501	縄文土器	浅鉢	隆線文、沈線文、縄文 LR 横位施文。内面　口縁部：沈線文。		-
3	A-666	SR501	縄文土器	浅鉢	外面　沈線文、縄文 LR 横位施文。内面　沈線文。		82-4
4	A-328	SR501	縄文土器	浅鉢	外面　口唇部：縄文 LR 原体側面圧痕。体部：沈線文、縄文 LR 横位充填施文。 内面　口縁部：沈線文。	貫通孔。	82-5
5	A-536	SR501	縄文土器	浅鉢			82-6
6	A-539	SR501	縄文土器	浅鉢			82-7
7	A-283	SR501	縄文土器	浅鉢			82-8
8	A-509	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　口縁部：沈線文。		82-9
9	A-323	SR501	縄文土器	浅鉢			82-10
10	A-307	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　口縁部：沈線文。	底部網代痕。	82-11
11	A-324	SR501	縄文土器	浅鉢		底部網代痕。	82-12

第 145 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物（17）



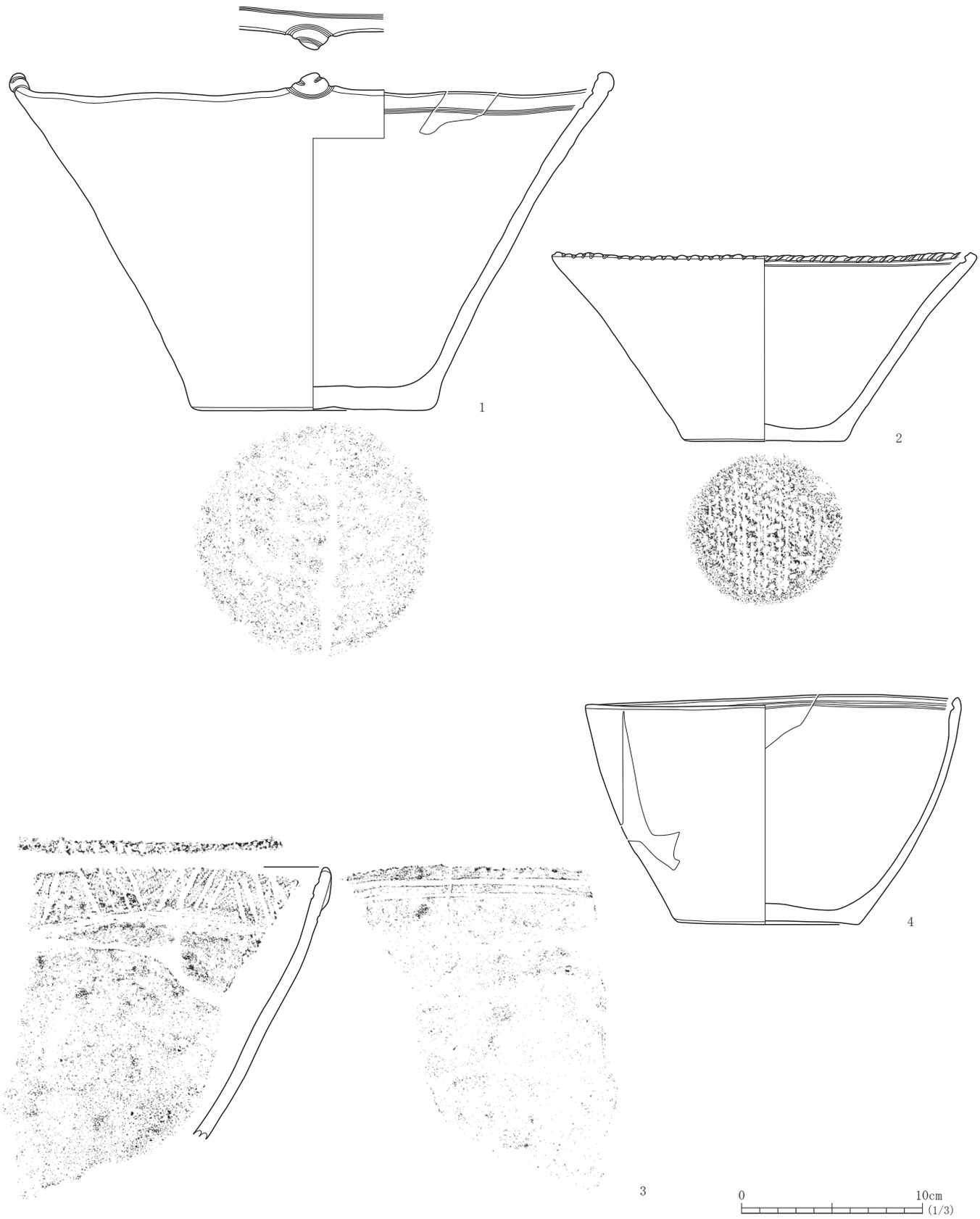
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-306	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　口縁部：沈線文。	補修孔。	82-13
2	A-646	SR501	縄文土器	浅鉢	外面　口唇部：細縄文 LR 横位施文。内面　沈線文。	補修孔。	-
3	A-429	SR501	縄文土器	浅鉢		底部網代痕。擬似口縁。輪積痕を利用して水平な口縁部を作出。	-
4	A-695	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　沈線文。		82-14
5	A-573	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　口唇部直下に刻み目、部分的に施文。	底部木葉痕。	82-15
6	A-602	SR501	縄文土器	浅鉢	撚糸文 R 斜位施文。	波状口縁。底部木葉痕。	-
7	A-304	SR501	縄文土器	浅鉢		小突起。底部木葉痕。	82-16
8	A-321	SR501	縄文土器	浅鉢		3 単位突起。	82-17
9	A-326	SR501	縄文土器	浅鉢		波状口縁。底部木葉痕。	82-18
10	A-599	SR501	縄文土器	浅鉢		波状口縁。3 単位。底部木葉痕。	83-1

第 146 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物（18）



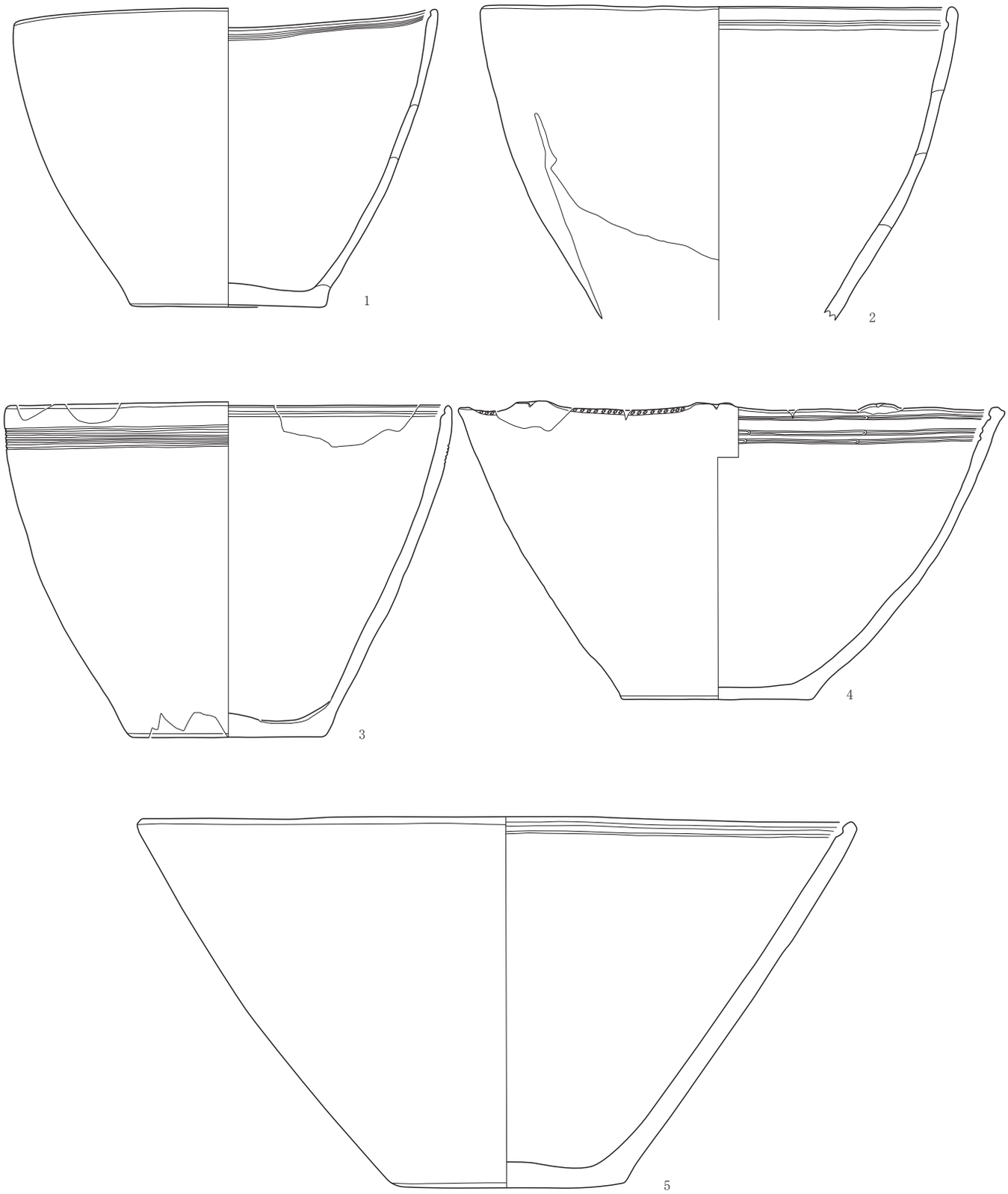
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-554	SR501	縄文土器	浅鉢		波状口縁。3 単位。底部木葉痕。	83-2
2	A-550	SR501	縄文土器	浅鉢		波状口縁。7 単位。底部木葉痕。	83-3
3	A-493	SR501	縄文土器	浅鉢		4 単位小突起。	-
4	A-322	SR501	縄文土器	浅鉢			83-4
5	A-499	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　沈線文。	5 単位小突起。	-
6	A-722	SR501	縄文土器	浅鉢	外面　沈線文。内面　沈線文。	波状口縁。突起。	83-5

第 147 図　V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物 (19)



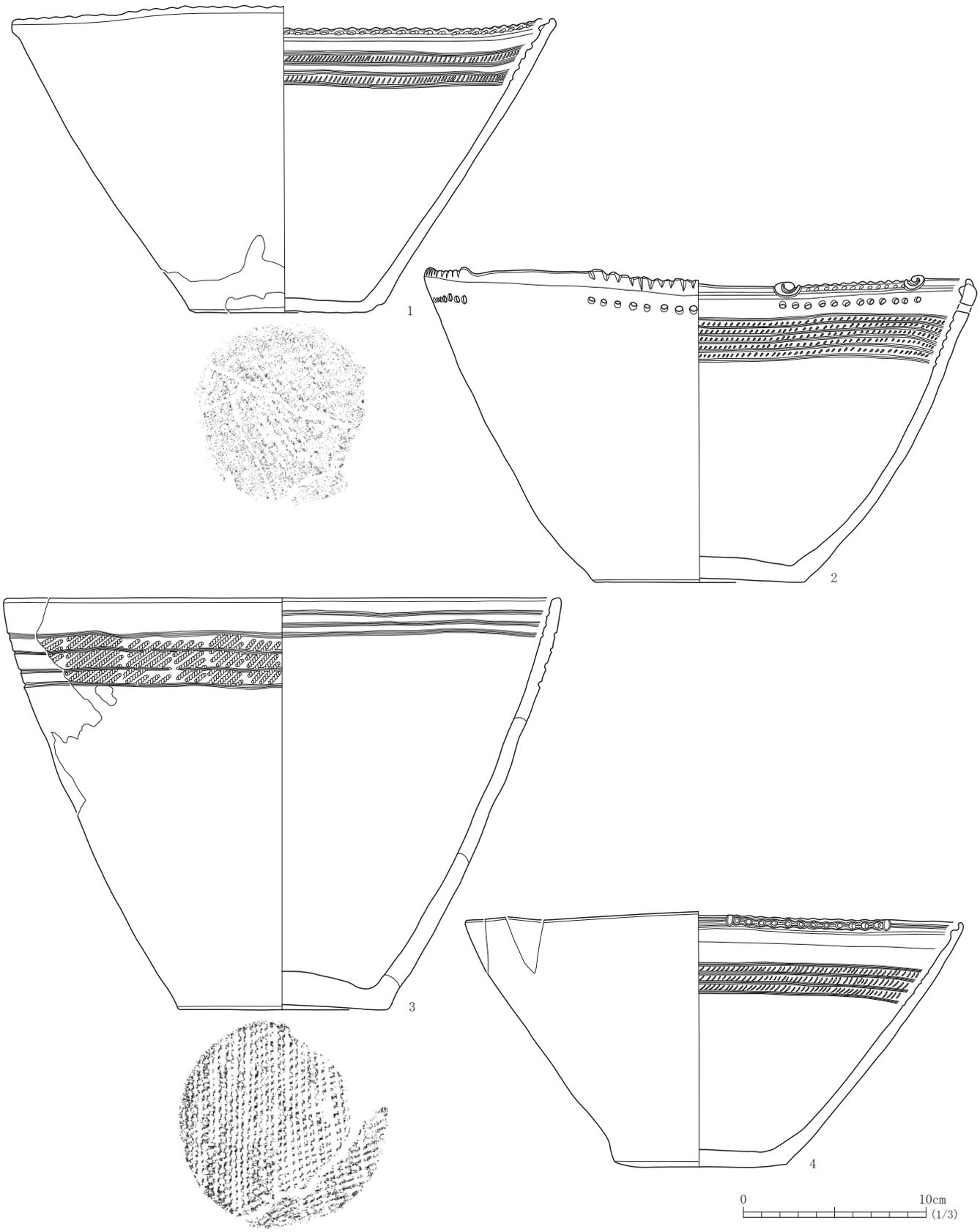
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-443	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　沈線文。	4 単位小突起。	83-6
2	A-609	SR501	縄文土器	浅鉢	口唇部：刻み目。内面　口縁部：沈線文。	底部網代痕。	－
3	A-706	SR501	縄文土器	浅鉢	外面　口唇部:刻み目。体部:沈線文、縄文 LR 横・斜位施文。内面　沈線文。		83-7
4	A-642	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　口縁部：沈線文。		83-8

第 148 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物（20）



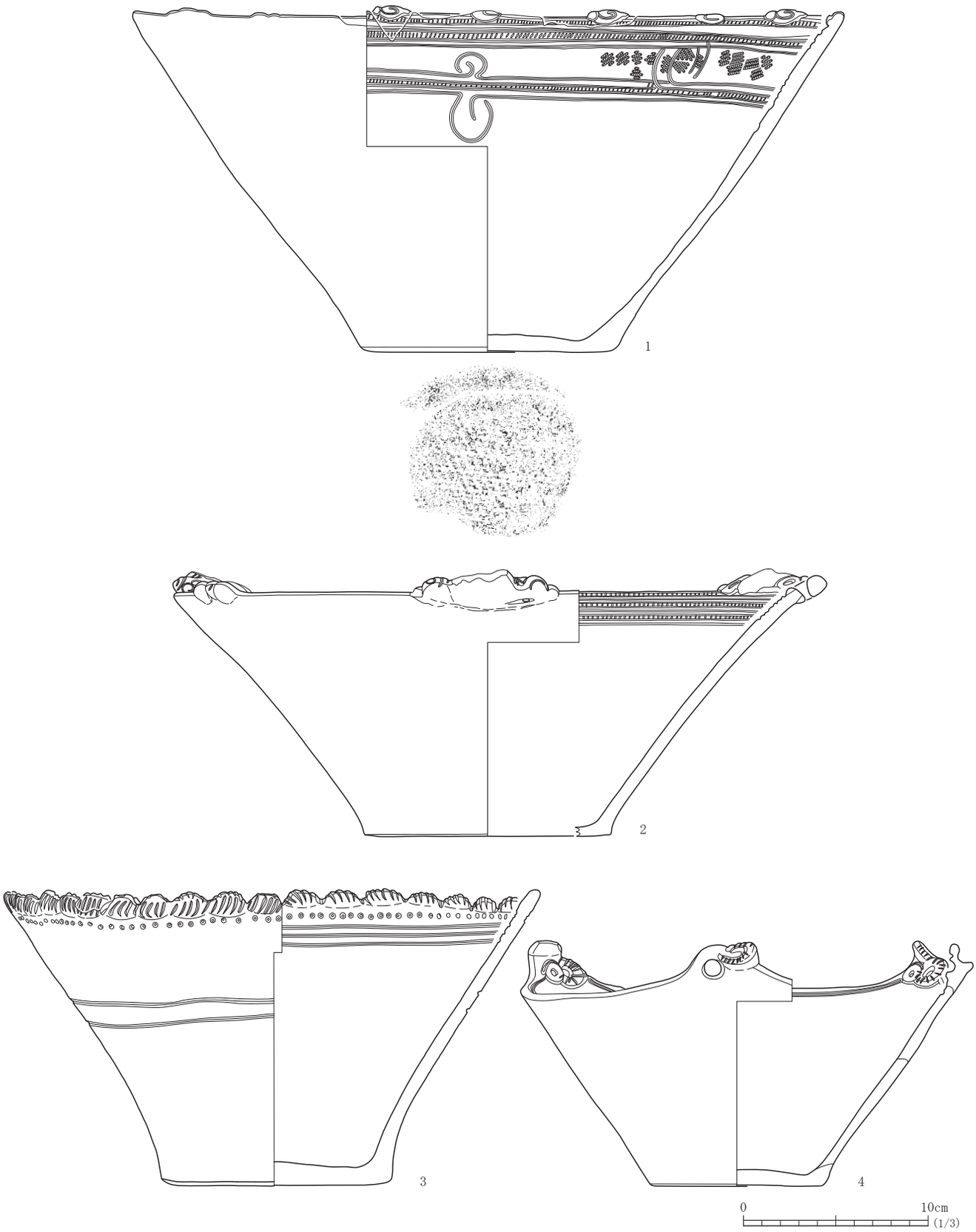
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-311	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　口縁部：沈線文。		83-9
2	A-484	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　口縁部：沈線文。		83-10
3	A-341	SR501	縄文土器	浅鉢	外面　多条沈線文。内面　口縁部：沈線文。		84-1
4	A-670	SR501	縄文土器	浅鉢	外面　口唇部：縄文 LR 横位施文。内面　沈線文。	8 単位小突起。	-
5	A-483	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　口縁部：沈線文。		84-2

第 149 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物（21）



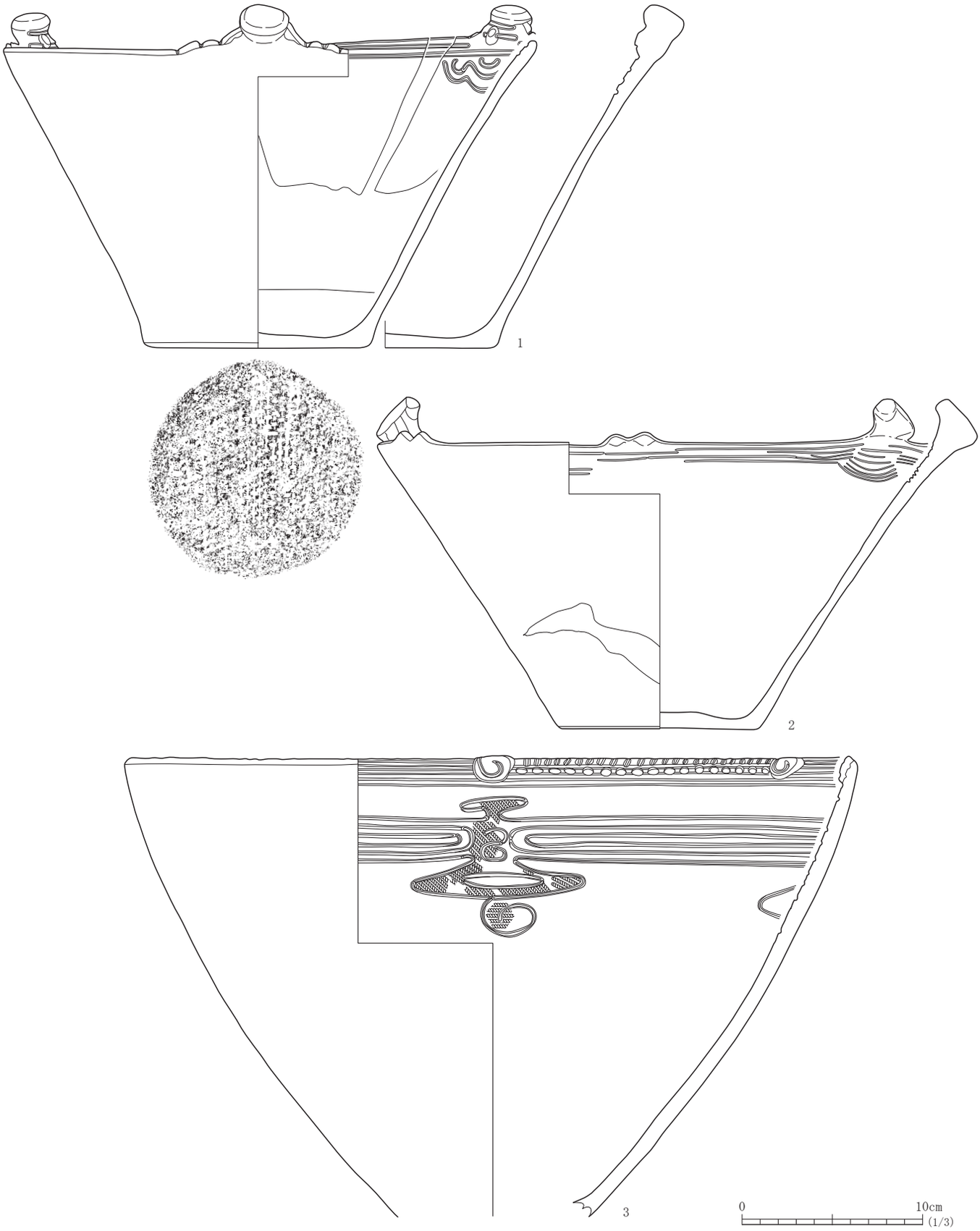
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-298	SR501	縄文土器	浅鉢	外面　口唇部：刻み目。内面　隆線文、沈線文、刺突文、刻み目。	底部網代痕。	84-3
2	A-896	SR501	縄文土器	浅鉢	外面　口唇部：刻み目。内面　沈線文、刻み目。	小突起。貫通孔。円形刺突文５単位。	84-4
3	A-749	SR501	縄文土器	浅鉢	外面　口縁部：沈線文、縄文 LR 横位充填施文。内面　口縁部：沈線文。	底部網代痕。	－
4	A-620	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　口縁部：隆線文、円形刺突文。体部上半：沈線文、刻み目。		84-5

第 150 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物（22）



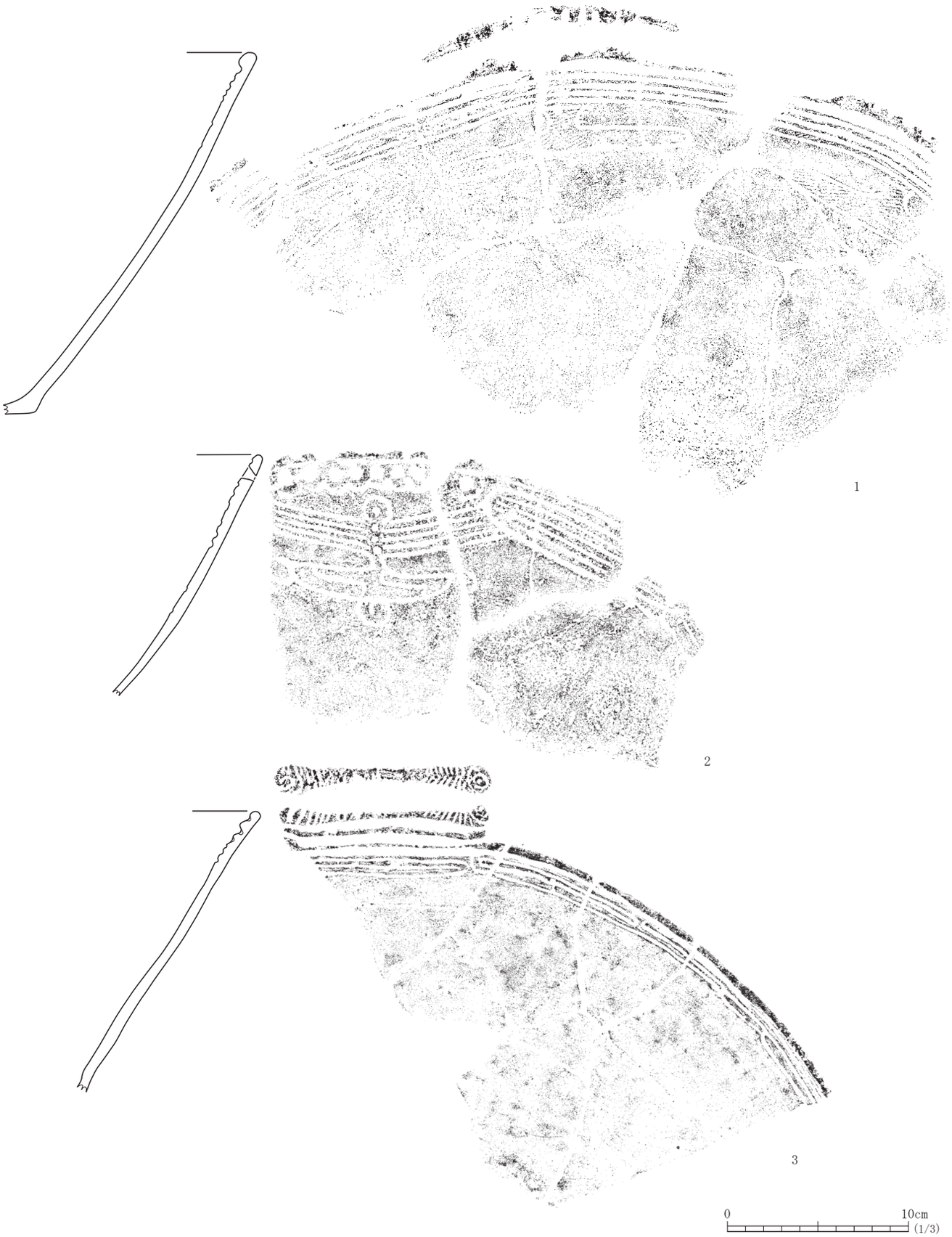
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-677	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　沈線文、刻み目、縄文 LR 縦・横位施文。	小突起。底部網代痕。	85-1
2	A-718	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　沈線文、刻み目。	大・小 3 単位突起。補修孔。	85-2
3	A-375	SR501	縄文土器	浅鉢	外面　口縁部：刻み目、円形刺突文。体部：沈線文。内面　口縁部：刻み目、円形刺突文、沈線文。	波状口縁。	85-3
4	A-610	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　沈線文。	波状口縁。3 単位突起。貫通孔。外面黒色付着物。	85-4

第 151 図　V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物（23）



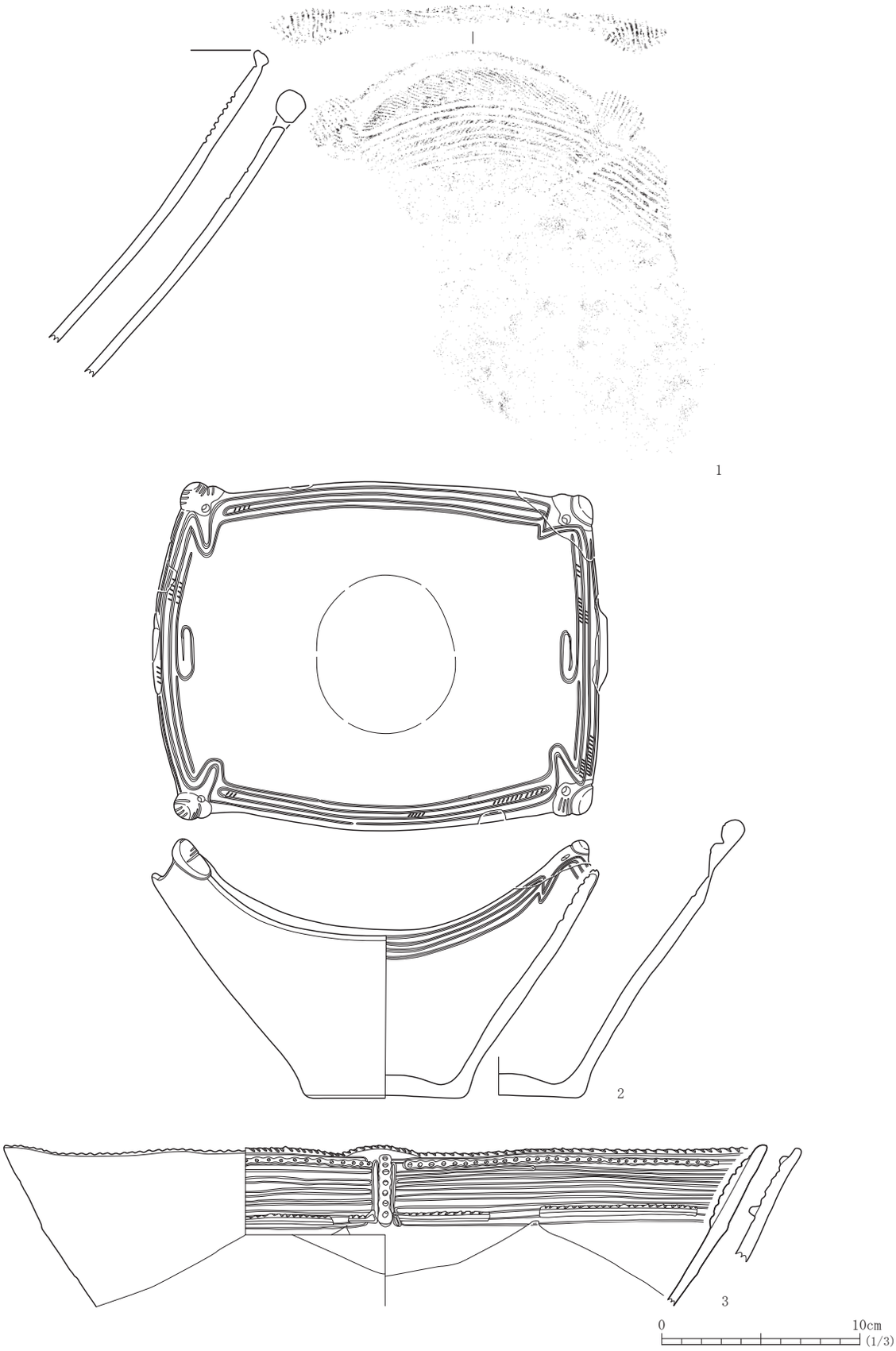
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-650	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　口縁部：沈線文。	3 単位突起。底部網代痕。	85-5
2	A-488	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　口縁部：沈線文。	大・小 3 単位突起。	－
3	A-747	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　沈線文、刻み目、円形刺突文、縄文 RL 横・斜位施文。磨り消し。	円形刺突文 4 単位か。	85-6

第 152 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物（24）



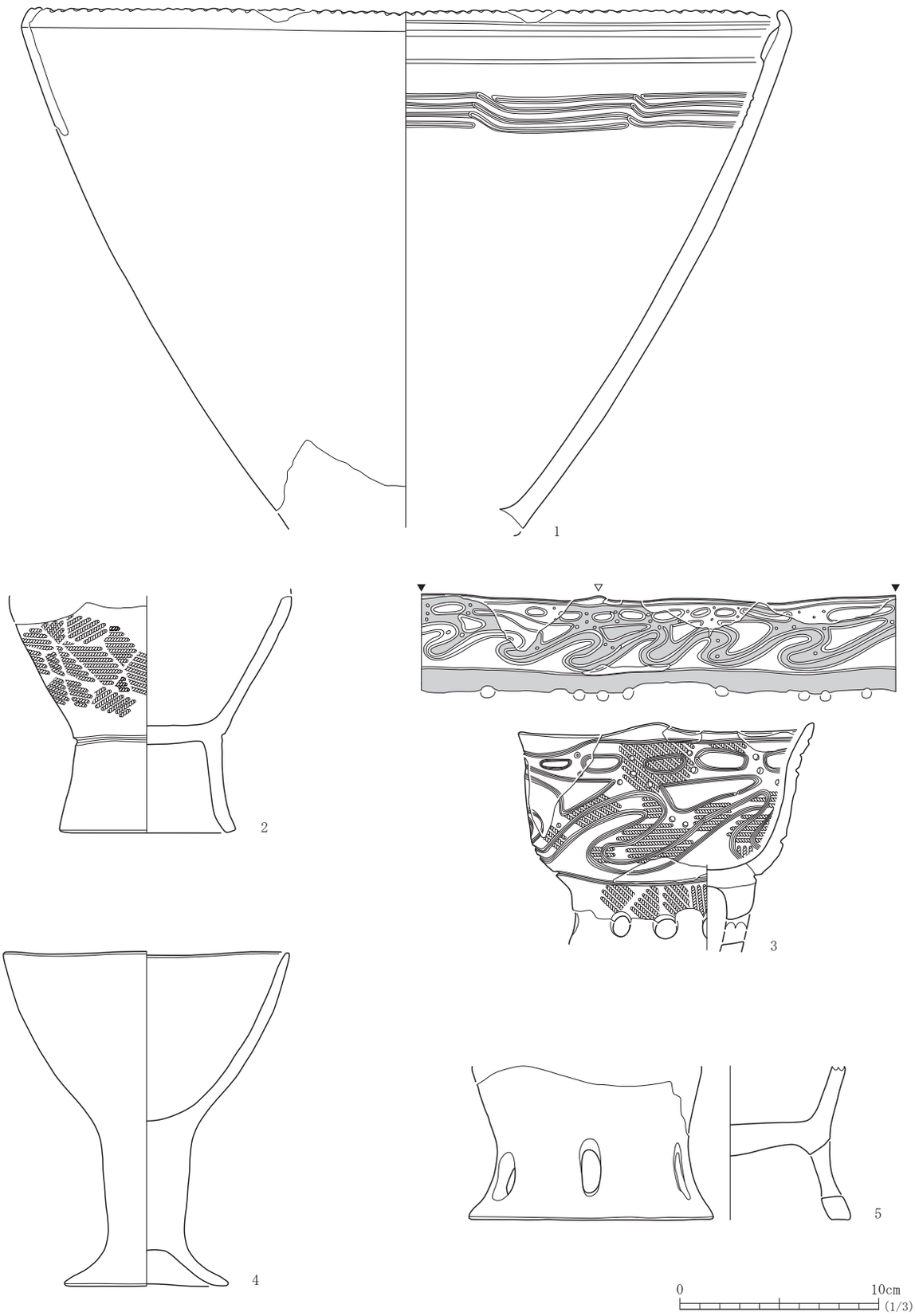
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-644	SR501	縄文土器	浅鉢	外面　口唇部：刻み目。内面　沈線文、縄文 LR 横位充填施文。	6 単位小突起。	－
2	A-713	SR501	縄文土器	浅鉢	外面　口唇部：刻み目。内面　沈線文、刺突文。	貫通孔。	86-1
3	A-741	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　突起部に押し引き文。沈線文、刻み目。	突起。	86-2

第 153 図　V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物（25）



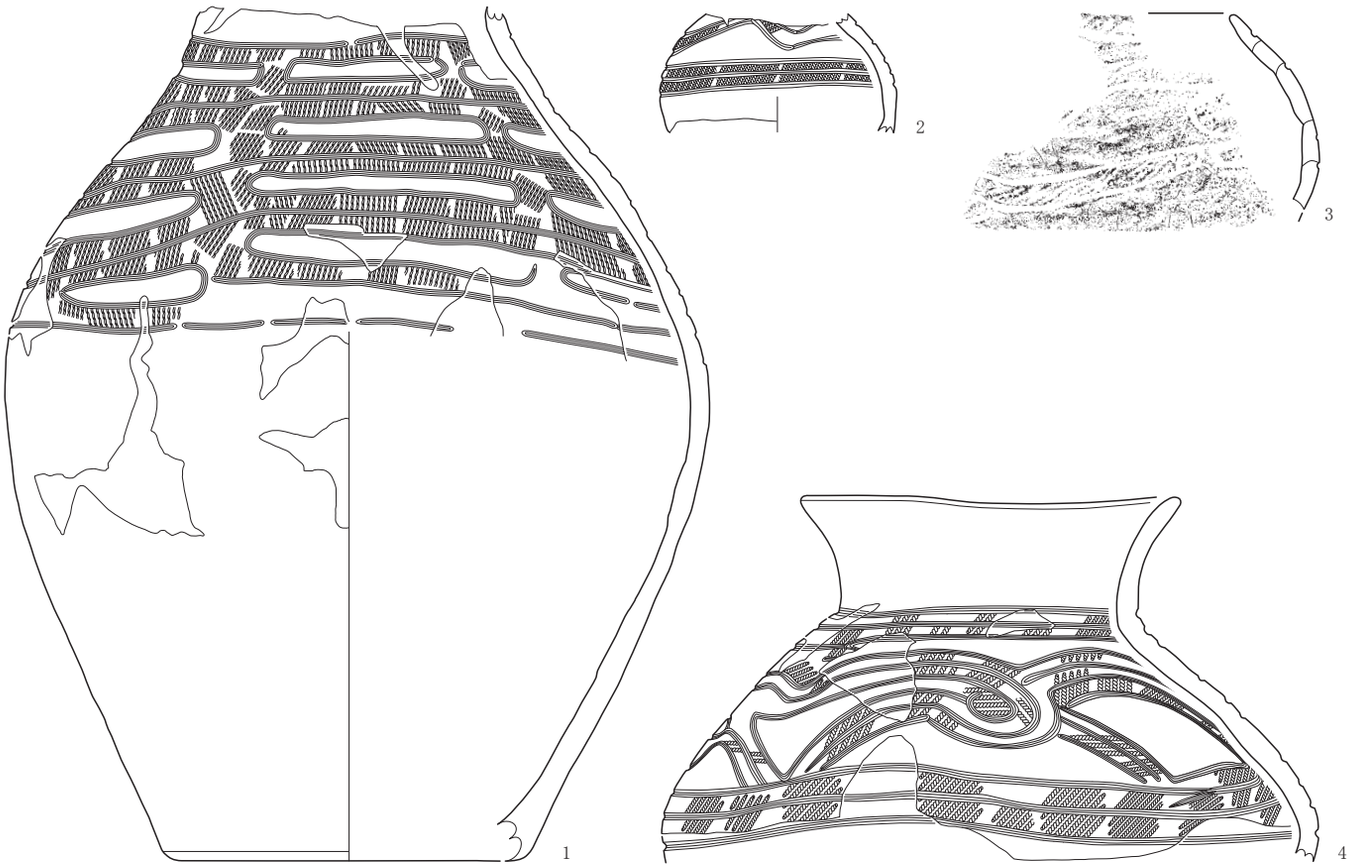
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-712	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　沈線文、縄文 RL 横位充填施文 。	波状口縁。突起。貫通孔。	86-3
2	A-648	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　盲孔、沈線文、刻み目。	波状口縁。4 単位。	86-4
3	A-730	SR501	縄文土器	浅鉢	内面　隆線上に刺突文、沈線文。	小突起。	-

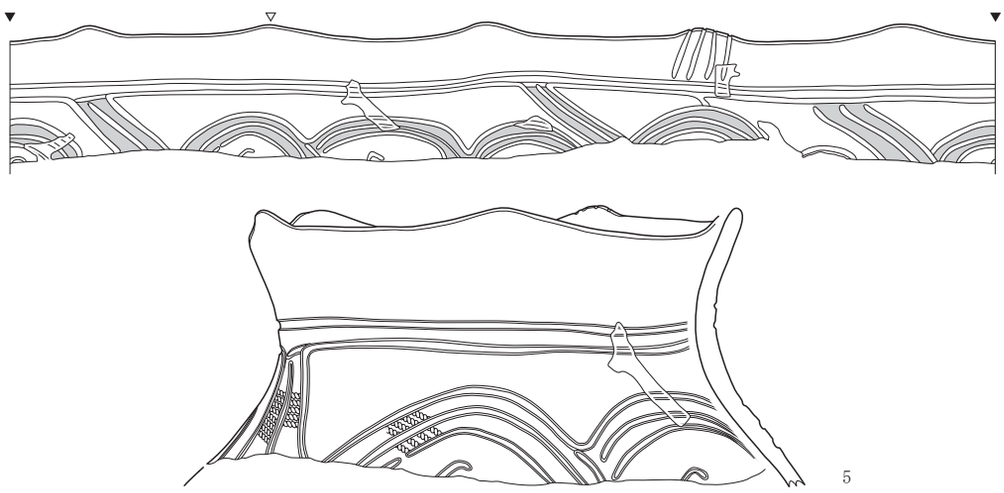
第 154 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物（26）



No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-662	SR501	縄文土器	浅鉢	外面　口唇部：刻み目。内面　隆線文、沈線文。		-
2	A-427	SR501	縄文土器	台付鉢	沈線文、縄文 LR 横・斜位施文。		86-5
3	A-524	SR501	縄文土器	台付鉢	沈線文、円形刺突文、縄文 RL 横・斜位施文。	波状口縁。脚部透穴 8 ヵ所。	86-6
4	A-472	SR501	縄文土器	台付鉢			86-7
5	A-548	SR501	縄文土器	台付鉢		脚部透穴 5 ヶ所。	86-8

第 155 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物（27）

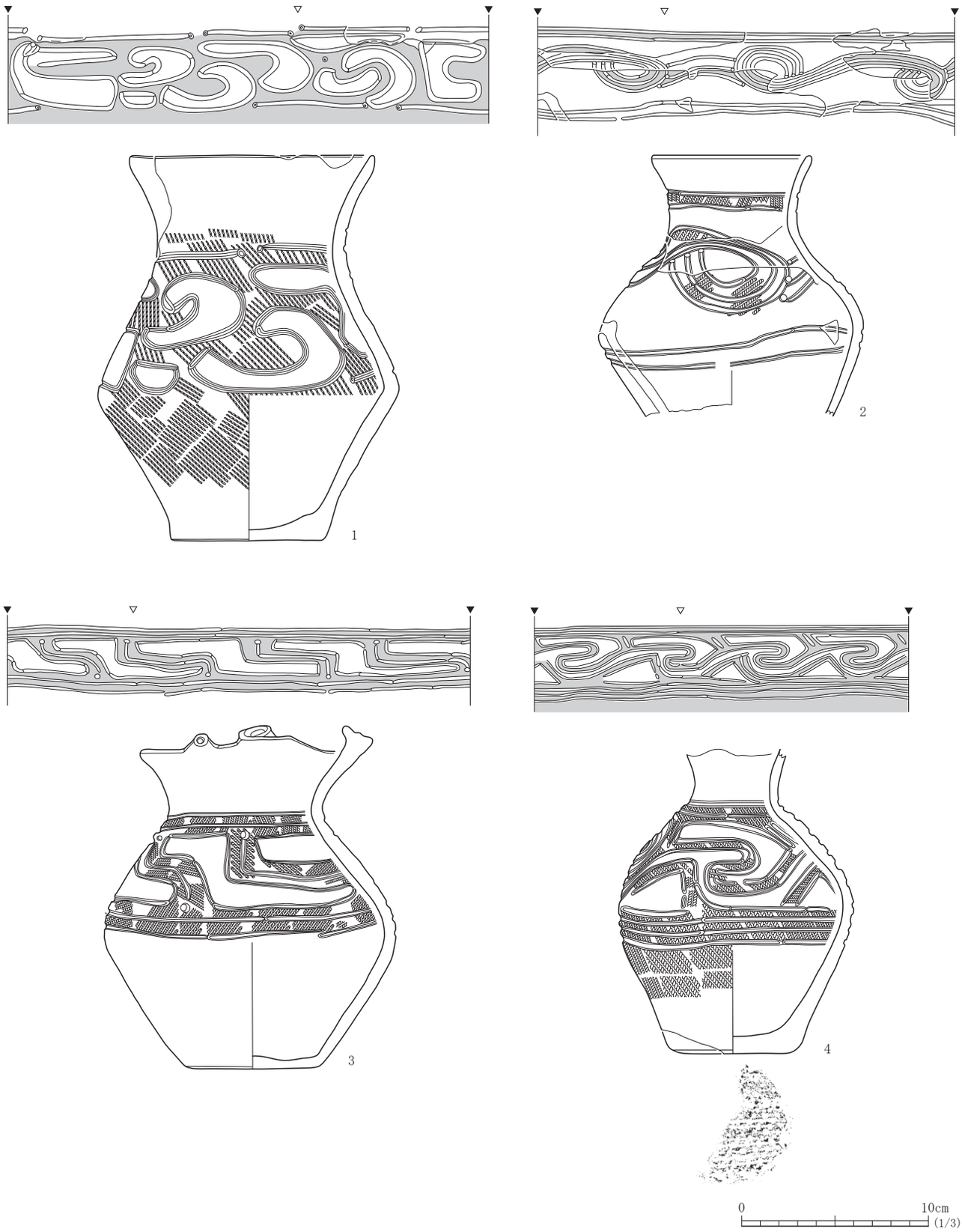




0　10cm (1/3)

No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-424	SR501	縄文土器	壺	沈線文、撚糸文L縦位施文、磨り消し。		87-1
2	A-346	SR501	縄文土器	壺	沈線文、縄文LR横位施文、磨り消し。		-
3	A-612	SR501	縄文土器	壺	沈線文、縄文LR横位充填施文。	内面輪積み痕。	87-2
4	A-413	SR501	縄文土器	壺	沈線文、縄文LR横・斜位施文、磨り消し。		-
5	A-407	SR501	縄文土器	壺	沈線文、縄文RL横・斜位施文。	波状口縁。5単位。	87-3

第156図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物（28）



No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-518	SR501	縄文土器	壺	沈線文、円形刺突文、撚糸文R縦・斜位施文、磨り消し。		87-4
2	A-875	SR501	縄文土器	壺	沈線文、円形刺突文、縄文LR横位施文、磨り消し。		-
3	A-517	SR501	縄文土器	壺	沈線文、円形刺突文、縄文LR縦・横・斜位施文、磨り消し。	突起。	87-5
4	A-807	SR501	縄文土器	壺	沈線文、縄文RL横位施文、磨り消し。	底部網代痕。	87-6

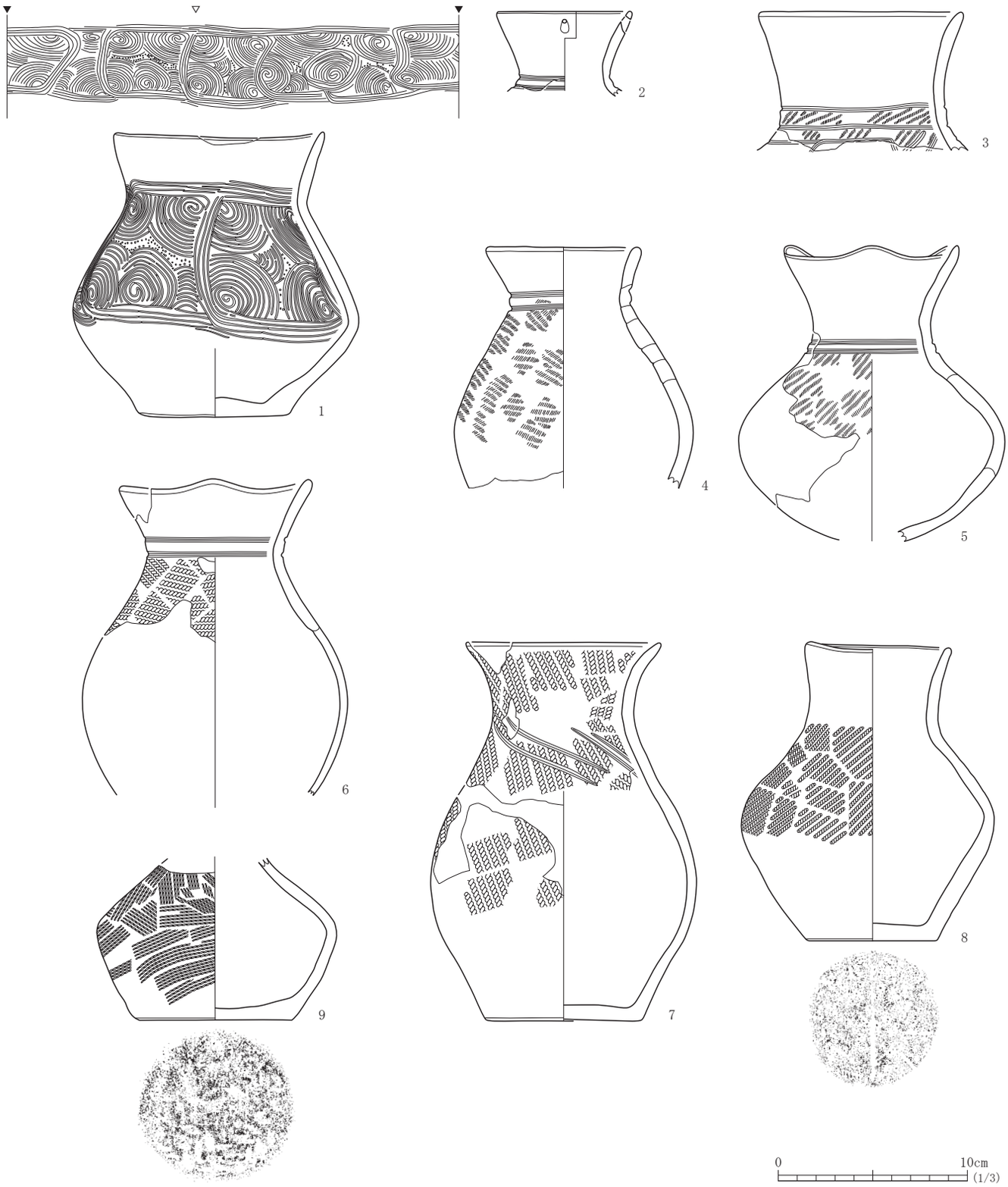
第157図　V層V区 SR501 河川跡出土遺物（29）

No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-466	SR501	縄文土器	壺	頸部～体部上半部：沈線文、円形刺突文。下半部：縄文 LR 横位施文。		-
2	A-378	SR501	縄文土器	壺	沈線文。縄文 RL 横位施文。	底部木葉痕。	-
3	A-882	SR501	縄文土器	壺	沈線文、縄文 RL 縦・横位施文、磨り消し。		87-7
4	A-660	SR501	縄文土器	壺	沈線文、縄文 LR 横・縦位施文、磨り消し。	底部木葉痕。	87-8
5	A-611	SR501	縄文土器	壺	沈線文、縄文 LR 横位施文、磨り消し。		87-9
6	A-625	SR501	縄文土器	壺	沈線文、撚糸文 L 縦・斜位充填施文。		88-1

第 158 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物（30）

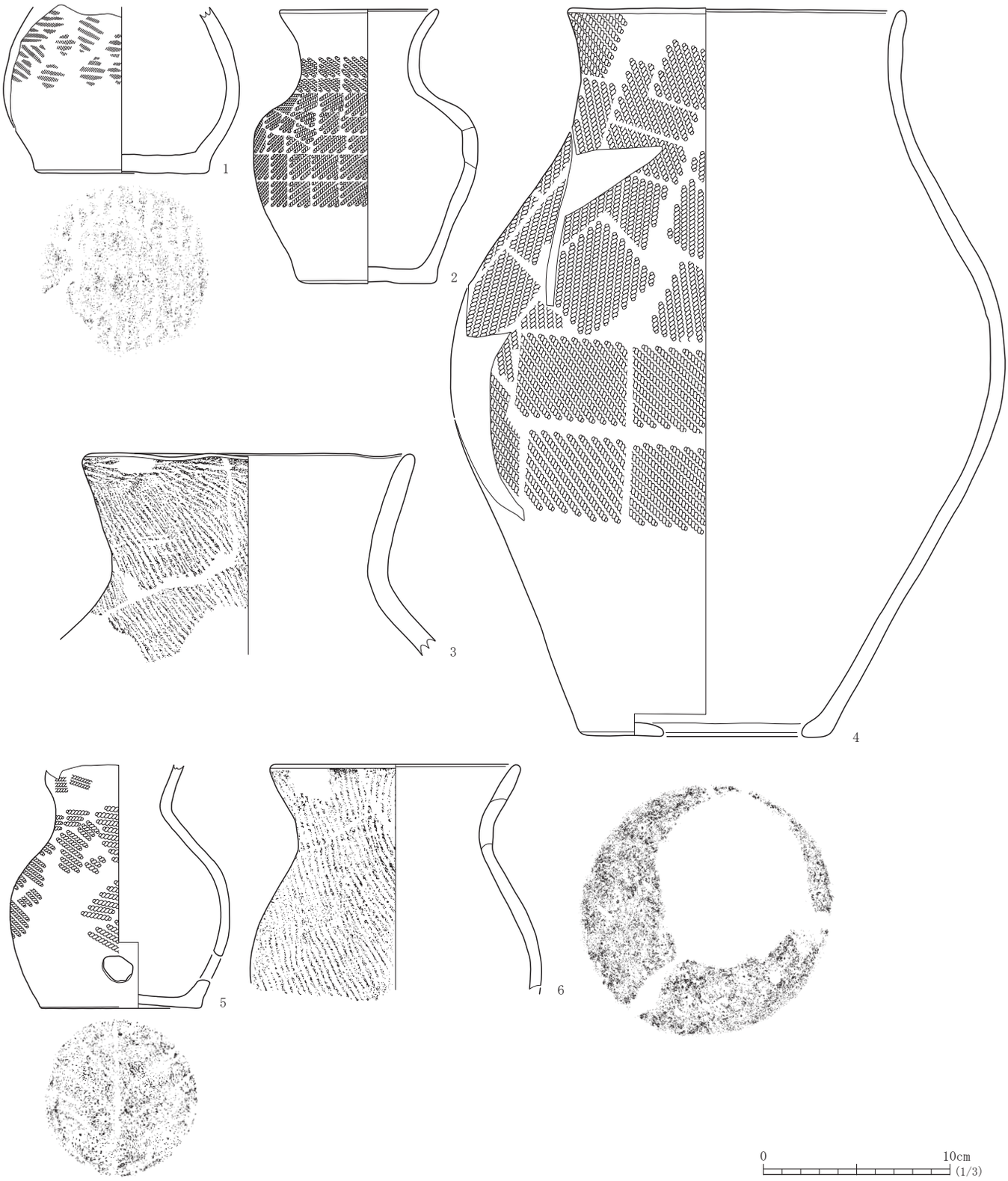
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-514	SR501	縄文土器	壺	沈線文、縄文 RL 縦・横位施文、磨り消し。		88-2
2	A-314	SR501	縄文土器	壺	頸部：縄文 LR 原体側面圧痕。体部：縄文 LR 縦・横・斜位施文。		88-3
3	A-949	SR501	縄文土器	壺	頸部：縄文 LR 原体側面圧痕。体部：縄文 LR 横位施文。	底部木葉痕。	88-4
4	A-423	SR501	縄文土器	壺	頸部：絡状体圧痕文。体部：撚糸文 R 縦位施文。		－
5	A-705	SR501	縄文土器	壺	沈線文、縄文 LR 縦・横位施文。	橋状把手。	－
6	A-910	SR501	縄文土器	壺	外面　沈線文、刻み目。内面　口縁部：沈線文。	橋状把手。2 単位。貫通孔。	88-5

第 159 図　V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物（31）



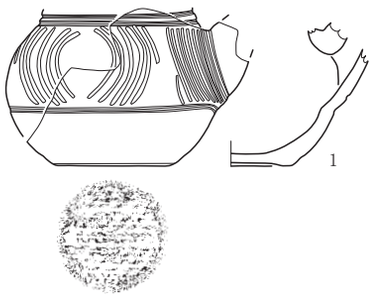
No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-520	SR501	縄文土器	壺	多条沈線文、円形刺突文。		88-6
2	A-461	SR501	縄文土器	壺	沈線文。	口縁部貫通孔２ヶ所。	-
3	A-638	SR501	縄文土器	壺	沈線文、縄文Ｌ横位施文。		88-7
4	A-464	SR501	縄文土器	壺	沈線文、縄文Ｌ縦位施文。		88-8
5	A-659	SR501	縄文土器	壺	沈線文、縄文Ｌ横位施文。	波状口縁。３単位。	88-9
6	A-412	SR501	縄文土器	壺	沈線文、縄文LR縦・横・斜位施文。	小突起１ヶ所。	88-10
7	A-338	SR501	縄文土器	壺	沈線文、縄文RL横位施文。		88-11
8	A-565	SR501	縄文土器	壺	縄文LR横位施文。	底部木葉痕。	89-1
9	A-502	SR501	縄文土器	壺	撚糸文R縦・横・斜位施文。	底部網代痕。	-

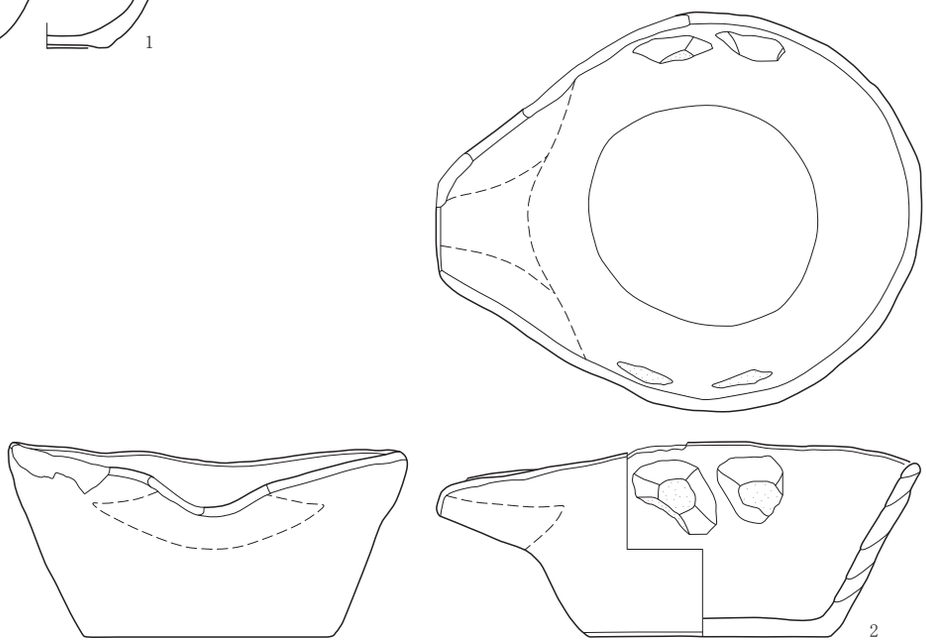
第160図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物（32）

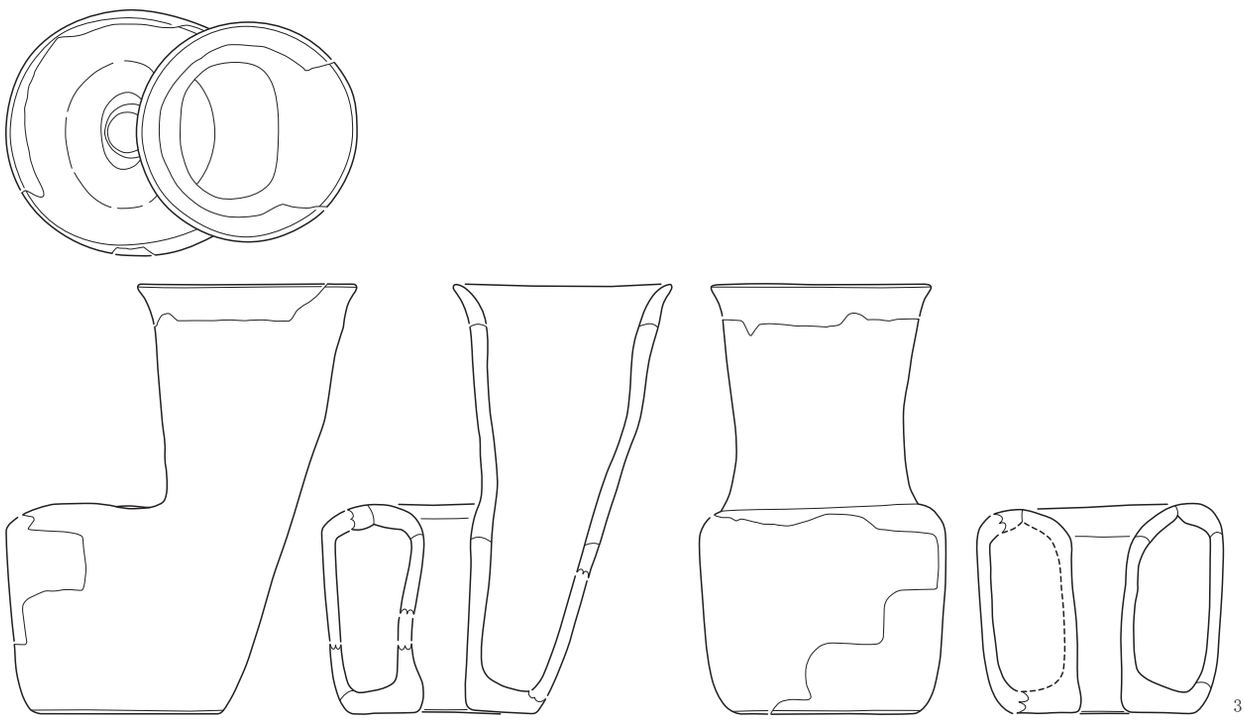


No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-639	SR501	縄文土器	壺	縄文 L 縦・斜位施文。	底部網代痕。	-
2	A-597	SR501	縄文土器	壺	縄文 LR 縦・横位施文。		89-2
3	A-370	SR501	縄文土器	壺	撚糸文 R 縦・斜位施文。		89-3
4	A-380	SR501	縄文土器	壺	縄文 RL 横・斜位施文。	底部網代痕。底部打ち欠き。	89-4
5	A-515	SR501	縄文土器	壺	縄文 LR 縦・斜位施文。	体部下端焼成後の穿孔。底部木葉痕。	89-5
6	A-454	SR501	縄文土器	壺	撚糸文 R 縦位施文。		89-6

第 161 図　V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物 (33)



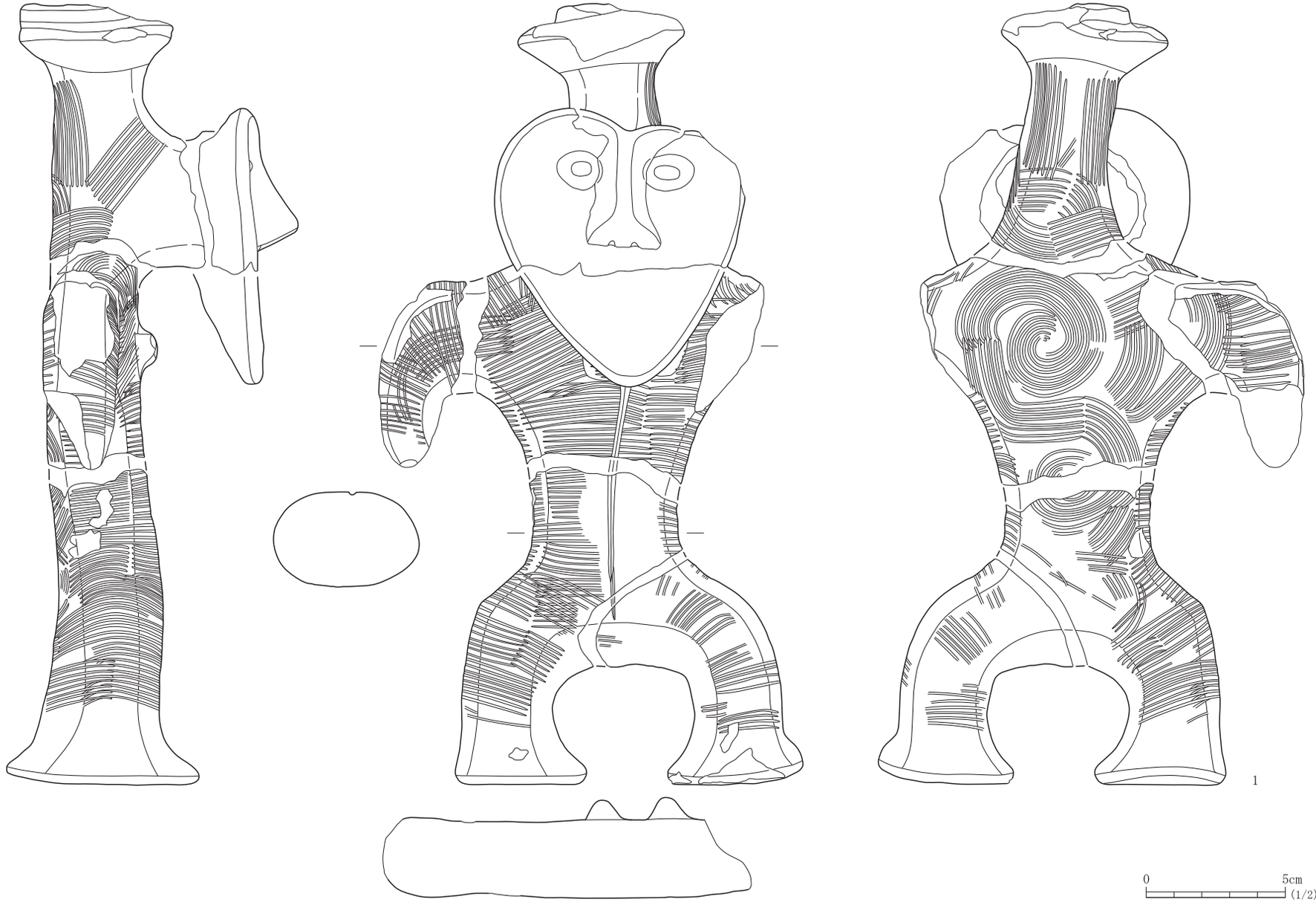




0　10cm
(1/3)

No.	登録番号	出土遺構	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-526	SR501	縄文土器	注口土器	多条沈線文。	底部網代痕。	89-7
2	A-532	SR501	縄文土器	特殊土器		片口状。内面体部突起２ヶ１対。底部木葉痕。	89-8
3	A-567	SR501	縄文土器	特殊土器		体部中央環状。	89-9

第 162 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物（34）

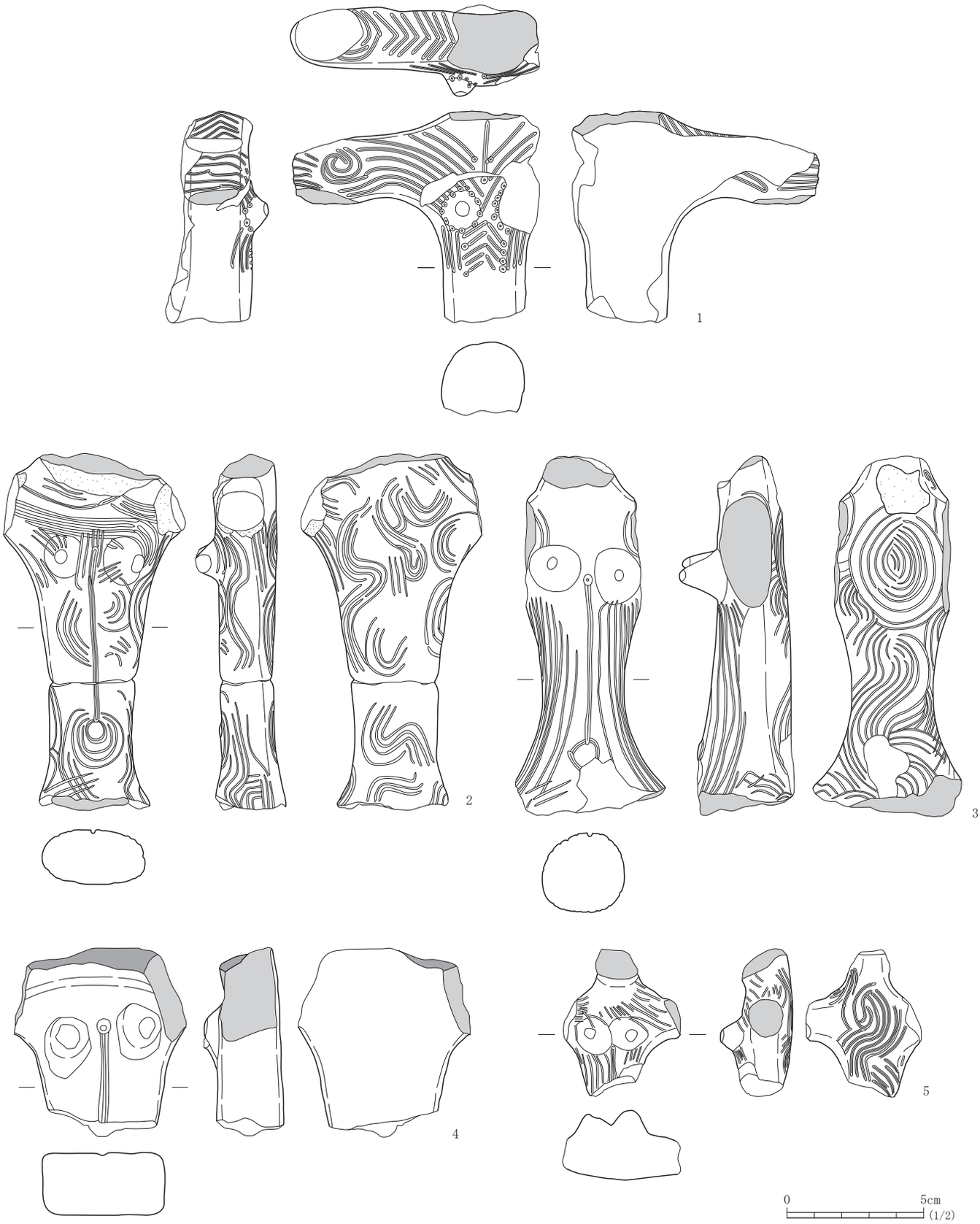


No.	登録番号	出土遺構	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	Pa-406	SR501・Ⅳ区 包含層	土偶	櫛歯状沈線文、正中線、頂部渦巻状隆線文。高さ 28.0 ×幅 (15.2) ×厚さ (9.0)cm。	頭・腕・胴・脚部。一部欠損。	90-1

第 163 図　V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物 (35)

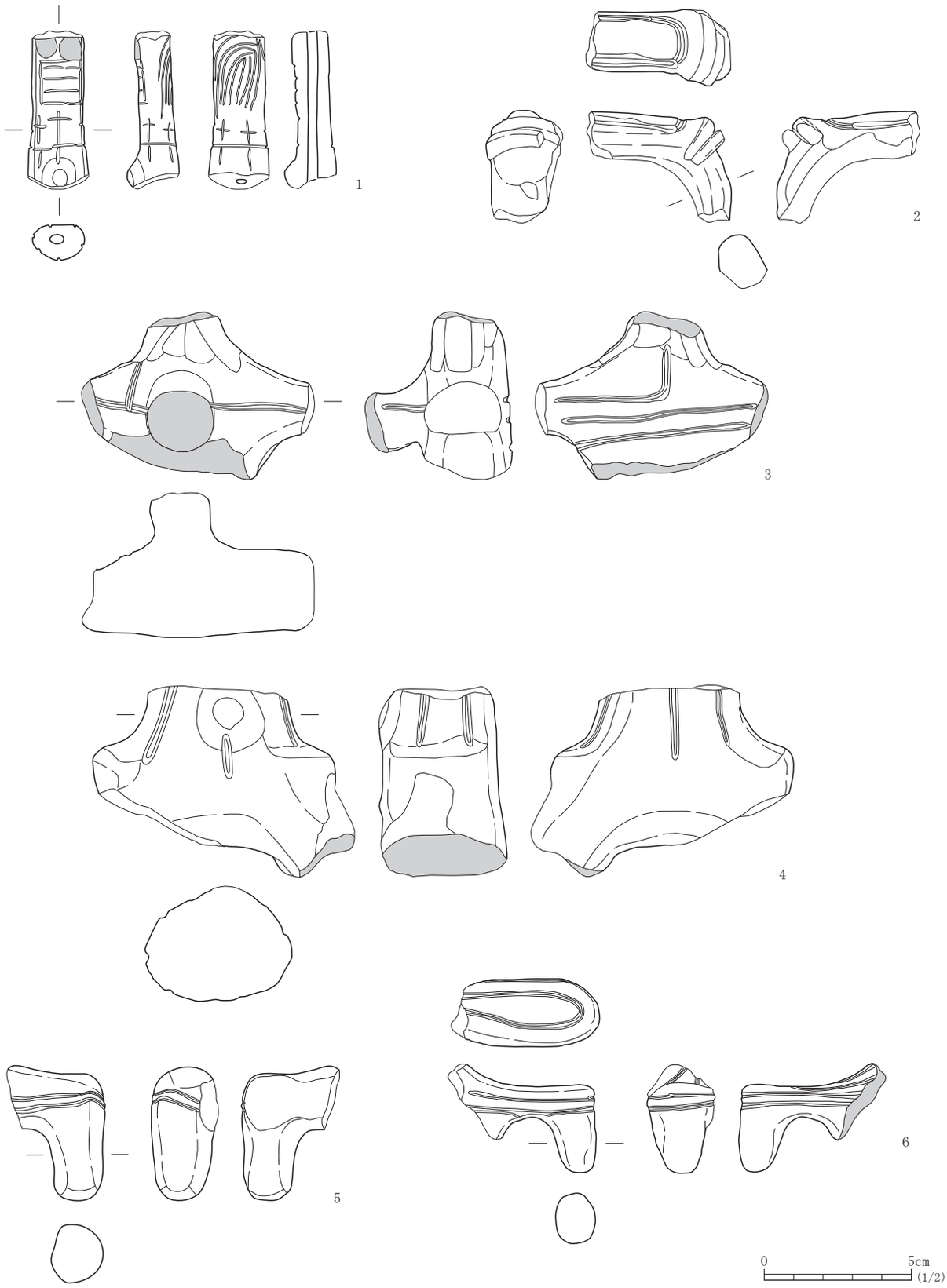
No.	登録番号	出土遺構	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	Pa-399	SR501	土偶	多条沈線文。櫛歯状沈線文。	頭部片。接合痕。	91-1
2	Pa-001	SR501	土偶	沈線文（目）。	頭部片。接合痕。	91-2
3	Pa-408	SR501	土偶	櫛歯状沈線文。	頭部片。橋状把手状。接合痕。	91-3
4	Pa-236	SR501	土偶		胴部片。	－
5	Pa-409	SR501	土偶		頭部片。接合痕。	91-4
6	Pa-007	SR501	土偶		頭部片。	91-5
7	Pa-349	SR501	土偶	櫛歯状沈線文、正中線。	腕・胴部片。接合痕。	91-6

第 164 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物（36）



No.	登録番号	出土遺構	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	Pa-173	SR501	土偶	多条沈線文、刺突文。	脚・胴部片。接合痕。	91-7
2	Pa-165	SR501	土偶	櫛歯状沈線文、正中線。	胴部片。接合痕。	91-8
3	Pa-164	SR501	土偶	櫛歯状沈線文、正中線。	胴部片。接合痕。	91-9
4	Pa-197	SR501	土偶	正中線。	胴部片。頭・胴部アスファルト接着痕。接合痕。	-
5	Pa-198	SR501	土偶	櫛歯状沈線文、正中線。	胴部片。接合痕。	91-10

第 165 図　V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物 (37)



No.	登録番号	出土遺構	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	Pa-225	SR501	土偶	沈線文、櫛歯状沈線文。	胴部片。接合痕。	91-11
2	Pa-193	SR501	土偶	隆線文、沈線文。	腕部片。	-
3	Pa-170	SR501	土偶	沈線文。	頭・胴部片。接合痕。	91-12
4	Pa-181	SR501	土偶	沈線文。	胴・脚部片。	-
5	Pa-122	SR501	土偶	沈線文。	腕部片。	-
6	Pa-217	SR501	土偶	沈線文。	腕部片。接合痕。	-

第 166 図　Ⅴ層Ⅴ区 SR501 河川跡出土遺物 (38)

No.	登録番号	出土遺構	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	Pa-014	SR501	土偶		腕部片。	-
2	Pa-018	SR501	土偶	櫛歯状沈線文、正中線。	胴・脚部片。	91-13
3	Pa-414	SR501	土偶	隆線文。	脚部片。接合痕。	-
4	Pa-031	SR501	土偶	多条沈線文。	脚部片。	-
5	Pa-177	SR501	土偶	櫛歯状沈線文。	脚部片。	91-14
6	Pa-055	SR501	土偶	沈線文。	脚部片。接合痕。	-

第 167 図　V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物 (39)